

# SHARP®

改訂3.0版  
2004年7月作成

シャーププログラマブルコントローラ

衛星 JW20H/30H/300

形名

ネットワークユニット **JW-22CM**

ユーザズマニュアル



このたびは、シャープニューサテライトJW20H/30H/300用ネットワークユニット(JW-22CM)をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用前に、本書をよくお読みいただき、JW-22CMの機能・操作方法等を十分理解したうえ、正しくご使用ください。

なお、JW20H/30H/300には下記マニュアルがありますので、本書とともにお読みください。

- ・ JW20H  
コントロールユニット
  - ユーザーズマニュアル・ハード編
  - プログラミングマニュアル・ラダー命令編
  - プログラミングマニュアル・ステップフロー編
- ・ JW30H  
コントロールユニット
  - ユーザーズマニュアル・ハード編
  - プログラミングマニュアル・ラダー命令編
- ・ JW300  
コントロールユニット
  - ユーザーズマニュアル・ハード編
  - プログラミングマニュアル・ラダー命令編

### 本書の記載について

- ・ 本書は、JW300 対応の JW-22CM について説明しています。  
JW300 対応の JW-22CM は、ユニット正面に **300** マークが付いています。 4・2ページ参照
- ・ 本書では、アドレス・設定値の数値を下記で表現しております。  
8進数……(8) 16進数……(H) 10進数……(D) または、なし

### SL スイッチについて

- ・ JW-22CM( **300** マーク付き )を実装する PLC 機種( JW20H/30H/300 )によって、JW-22CM の SL スイッチを設定する必要があります。 11・2ページ参照

### ご注意

・ 当社プログラマブルコントローラ(以下、PLC)をご使用いただくにあたりましては、万一PLC機器に故障・不具合などが発生した場合でも重大な事故に至らない用途であること、および故障・不具合発生時にはバックアップやフェールセーフ機能が機器外部でシステム的に実施されることをご使用の条件とさせていただきます。

・ 当社PLCは、一般工業などへの用途を対象とした汎用品として設計・製作されています。したがって、各電力会社様の原子力発電所およびその他発電所向けなどの公共への影響が大きい用途などで、特別品質保証体制をご要求になる用途には、PLCの適用を除外させていただきます。ただし、これらの用途であっても、用途を限定して特別な品質をご要求されないことをお客様に承認いただいた場合には、適用可能とさせていただきます。

また、航空、医療、鉄道、燃焼・燃料装置、有人搬送装置、娯楽機械、安全機械など人命や財産に大きな影響が予測され、安全面や制御システムに特に高信頼性が要求される用途へのご使用をご検討いただいている場合には、当社の営業部門へご相談いただき、必要な仕様書の取り交しなどをさせていただきます。

### おねがい


・ 本書の内容については十分注意して作成しておりますが、万一ご不審な点、お気づきのことがありましたらお買いあげの販売店、あるいは当社までご連絡ください。

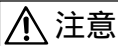
・ 本書の内容の一部または全部を、無断で複製することを禁止しています。

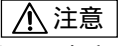
・ 本書の内容は、改良のため予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

# 安全上のご注意



取付、運転、保守・点検の前に必ずこのユーザーズマニュアルとその他の付属書類をすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。このユーザーズマニュアルでは、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。



 **危険** : 取扱を誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。

 **注意** : 取扱を誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。

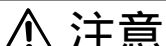
なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

禁止、強制の絵表示の説明を次に示します。


 : 禁止(してはいけないこと)を示します。例えば、分解厳禁の場合は  となります。

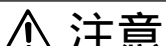
 : 強制(必ずしなければならないこと)を示します。例えば、接地の場合は  となります。

## (1) 取付について

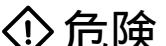
 <b>注意</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・カタログ、取扱説明書、ユーザーズマニュアルに記載の環境で使用してください。高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃がある環境で使用すると感電、火災、誤動作の原因となることがあります。</li><li>・取扱説明書、ユーザーズマニュアルに従って取り付けてください。取付に不備があると落下、故障、誤動作の原因となることがあります。</li><li>・電線くずなどの異物を入れないでください。火災、故障、誤動作の原因となることがあります。</li></ul>

## (2) 配線について

 <b>強制</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・必ず接地を行ってください。接地しない場合、感電、誤動作のおそれがあります。</li></ul>

 <b>注意</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・配線作業は、資格のある専門家が行ってください。配線を誤ると火災、故障、感電のおそれがあります。</li></ul>

## (3) 使用について


 <b>危険</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・通電中は端子に触れないでください。感電のおそれがあります。</li><li>・非常停止回路、インターロック回路等はプログラマブルコントローラの外部で構成してください。プログラマブルコントローラの故障により、機械の破損や事故のおそれがあります。</li></ul>

 <b>注意</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・運転中のプログラム変更、強制出力、RUN、STOP等の操作は十分安全を確認して行ってください。操作ミスにより機械の破損や事故のおそれがあります。</li></ul>

(4) 保守について

 禁止

- ・分解、改造はしないでください。  
火災、故障、誤動作の原因となります。

 注意

- ・ユニットの着脱は電源をOFFしてから行ってください。  
感電、誤動作、故障の原因となることがあります。

第1章 特長・機能

第2章 使用上のご注意

第3章 システム構成

第4章 各部のなまえとはたらき

第5章 取付方法

第6章 ケーブル加工方法

第7章 配線方法

第8章 データリンク動作説明

第9章 コンピュータリンク動作説明

第10章 SEND・RECEIVE機能

第11章 スイッチおよびパラメータ設定

第12章 異常と対策

第13章 JW-22CMの交換方法

第14章 サポートツール

第15章 仕様

第16章 付録

索引

第1章 特長・機能	1・1
第2章 使用上のご注意	2・1～2
2 - 1 設置・取付に関する事	2・1
2 - 2 配線に関する事	2・1
2 - 3 使用に関する事	2・2
2 - 4 静電気に関する事	2・2
2 - 5 清掃に関する事	2・2
2 - 6 リレー番号の割付について	2・2
第3章 システム構成	3・1
第4章 各部のなまえとはたらき	4・1～2
第5章 取付方法	5・1
第6章 ケーブル加工方法	6・1～6
6 - 1 ケーブルの端末加工手順	6・2
6 - 2 コネクタ圧着手順	6・5
第7章 配線方法	7・1～7
7 - 1 ケーブルの幹線と支線	7・1
7 - 2 幹線ケーブルの中継	7・1
7 - 3 ケーブルの盤内配線方法	7・2
7 - 4 コネクタ部の防水・絶縁処理	7・4
7 - 5 ケーブルの盤外配線方法	7・5
7 - 6 配線後のチェック	7・5
7 - 7 通信局増設時の配線方法	7・6
第8章 データリンク動作説明	8・1～7
8 - 1 通信方法	8・1
(1) データリンク(標準機能)	8・1
(2) データリンク(省メモリ機能)	8・2
8 - 2 伝送所要時間と通信遅延時間	8・3
(1) 伝送所要時間	8・3
(2) 通信遅延時間	8・4
(3) 親局PLCと子局PLC間のデータ伝送	8・5
8 - 3 ネットワーク拡張	8・6
(1) JW-22CMを複数実装	8・6
(2) 階層リンク	8・7
第9章 コンピュータリンク動作説明	9・1～3
9 - 1 コンピュータリンク機能について	9・1
9 - 2 コマンド	9・2
第10章 SEND・RECEIVE機能	10・1～13
10 - 1 SEND・RECEIVE機能について	10・1
10 - 2 2階層通信	10・2
10 - 3 起動方式	10・2
〔1〕命令方式	10・2
〔2〕データメモリ起動方式	10・2
通信情報格納領域の設定内容	10・2

- 10 - 4 命令方式に使用する応用命令 10・4
  - [ 1 ] F-202、F-203 10・4
    - ( 1 ) JW30H に実装時 10・4
    - ( 2 ) JW300 に実装時 10・4
  - FILE F、n( JW300 )と file N、n( JW30H )の相関関係 10・5
  - [ 2 ] F-204 10・6
  - [ 3 ] F-205 10・7
  - [ 4 ] F-206、F-207 10・8
    - ( 1 ) JW30H に実装時 10・8
    - ( 2 ) JW300 に実装時 10・8
- 10 - 5 命令方式のプログラム例 10・8
  - [ 1 ] 1階層通信の例 10・9
  - [ 2 ] 2階層通信の例 10・11
- 10 - 6 データメモリ起動方式のプログラム例 10・13

## 第11章 スイッチおよびパラメータ設定 ----- 11・1 ~ 37

- 11 - 1 操作手順 11・1
- 11 - 2 親局および子局のスイッチ設定 11・2
  - ( 1 ) 機種選択スイッチ( SL ) 11・2
  - ( 2 ) モードスイッチ( MODE ) 11・2
  - ( 3 ) ユニット No. スイッチ( UNIT NO. ) 11・2
  - ( 4 ) 局番スイッチ( STA NO. ) 11・3
  - ( 5 ) 終端抵抗スイッチ( LT ) 11・3
  - ( 6 ) シールド接地スイッチ( LG ) 11・4
- 11 - 3 親局のパラメータ設定 11・5
  - [ 1 ] 設定内容 11・5
  - [ 2 ] 通信エリアマップ 11・7
    - ( 1 ) 親局と子局全てが JW-22CM で、データリンク( 標準機能 )に設定する場合 11・7
    - ( 2 ) 親局と子局全てが JW-22CM で、データリンク( 省メモリ機能 )に設定する場合 11・8
    - ( 3 ) 親局と子局全てが JW-22CM で、子局にデータリンク( 標準機能 )  
とデータリンク( 省メモリ機能 )が混在する場合 11・7
  - [ 3 ] リレーリンクエリア、レジスタリンクエリア、フラグ領域の設定範囲 11・11
    - ( 1 ) 親局 PLC が JW20H の場合 11・11
    - ( 2 ) 親局 PLC が JW30H の場合 11・12
    - ( 3 ) 親局 PLC が JW300 の場合 11・13
  - [ 4 ] 設定手順 11・15
- 11 - 4 子局のパラメータ設定( 全子局共通 ) 11・25
  - [ 1 ] 設定内容 11・27
  - [ 2 ] フラグ領域の設定範囲 11・28
    - ( 1 ) 親局 PLC が JW20H の場合 11・28
    - ( 2 ) 親局 PLC が JW30H の場合 11・28
    - ( 3 ) 親局 PLC が JW300 の場合 11・29
  - [ 3 ] 設定手順 11・30

## 第12章 異常と対策 ----- 12・1 ~ 9

- 12 - 1 表示ランプ 12・1
- 12 - 2 フラグ 12・2
  - ( 1 ) フラグ一覧表 12・2
  - ( 2 ) 親局のとき 12・3
  - ( 3 ) 子局01 ~ 77<sup>(8)</sup>のとき 12・4

( 4 ) 各局PLCでの運転状態モニタ	12・5
12 - 3 エラーコードの格納	12・6
( 1 ) システムメモリ # 170 ~ 177 - - オプションユニットのエラーコード	12・7
( 2 ) システムメモリ # 160 ~ 167 - - 自己診断結果のエラーコード	12・7
( 3 ) システムメモリ # 050( JW20H/30H ) # 150( JW300 )	
- - 異常スイッチ番号のモニタ	12・7
( 4 ) 異常履歴	12・8
第13章 JW-22CMの交換方法-----	13・1
第14章 サポートツール-----	14・1 ~ 11
14 - 1 JW-22CM のパラメータ設定	14・1
( 1 ) JW-300SP によるパラメータ設定手順( JW-22CM を JW300 に実装時 )	14・2
( 2 ) JW-15PG によるパラメータ設定手順( JW-22CM を JW300 に実装時 )	14・3
14 - 2 リモートプログラミング・リモートモニタ	14・4
〔 1 〕 JW20H/30H に対する場合	14・4
( 1 ) 機能	14・5
( 2 ) 設定方法	14・5
( 3 ) リモートによるパラメータ設定	14・7
〔 2 〕 JW300 に対する場合	14・8
( 1 ) 機能	14・9
( 2 ) 設定方法	14・10
( 3 ) リモートによるパラメータ設定	14・11
第15章 仕 様-----	15・1 ~ 3
15 - 1 一般仕様	15・1
15 - 2 通信仕様	15・1
15 - 3 データリンク仕様	15・2
15 - 4 コンピュータリンク仕様	15・3
第16章 付 録-----	16・1 ~ 29
16 - 1 保守と点検	16・1
16 - 2 通信異常時の復旧方法	16・2
( 1 ) チェックフロー図	16・2
( 2 ) ケーブル・コネクタの確認	16・3
( 3 ) はじめて通信するとき( システム立ち上げ時 )	16・5
( 4 ) 瞬間的に通信異常が発生する場合	16・7
( 5 ) 連続して通信異常が発生する場合	16・7
16 - 3 パラメータメモリー一覧表	16・8
〔 1 〕 JW20H/30H に実装時	16・8
( 1 ) 親局	16・8
( 2 ) 子局 01 ~ 77 <sub>(8)</sub>	16・15
〔 2 〕 JW300 に実装時	16・16
( 1 ) 親局	16・16
( 2 ) 子局 01 ~ 77 <sub>(8)</sub>	16・23
16 - 4 JW300 の「ファイルアドレス」と「fileN、アドレスn」	16・24
〔 1 〕 JW300 のファイルアドレス	16・24
〔 2 〕 JW300 の「fileN、アドレスn」	16・26
索 引-----	索・1



# 第 1 章 特 長 ・ 機 能

ネットワークユニットJW-22CMは、プログラマブルコントローラ(以下、PLC)JW20H/30H/300に実装することにより、PLC・ホストコンピュータ間でON/OFF信号(マシン情報)、数値データ(生産データ)の送受信を行う通信システム(サテライトネット)を構築できます。

・本書は、JW300対応のJW-22CMについて説明しています。

JW300対応のJW-22CMは、ユニット正面に「300」マークが付いています。 4・2ページ参照

## データリンク機能

・JW-22CM相互間およびネットワークユニットJW-20CMとの間で、ON/OFF信号(リレーリンク)とデータの授受(レジスタリンク)を行います。

リンク方式	リンク点数
リレーリンク	合計2048点(256バイト)
レジスタリンク	合計2048バイト

・メモリを有効活用できるように、必要なデータのみを受信できる省メモリ機能があります。

最大64局間でデータ伝送でき、また、ケーブルは1kmまで延長できます。

## SEND・RECEIVE機能

PLC間でプログラムによるデータ交換が可能です。

・2階層(サテライトネット - サテライトネット間)のネットワーク間でも行えます。

・起動方式として「命令方式」と「データメモリ起動方式」があります。

実装PLCがJW20Hの場合、SEND・RECEIVE命令を使用(命令方式)できませんが、データメモリに該当情報を設定すること(データメモリ起動方式)で同等の機能を実現できます。

## リモートプログラミング・リモートモニタ

サテライトネット上の他局PLCのプログラミングおよびモニタをサポートツールで行えます。

・リモートプログラミングおよびリモートモニタの機能は、中継局にJW50H/70H/100H(JW-20CM)またはJW30H/300(JW-22CM)を使用すれば、2階層(サテライトネット - サテライトネット間、サテライトネット - SUMINET - 3200間)のネットワーク間でも行えます。

SUMINET - 3200は、住友電気工業の登録商標です。

・JW300に対するリモートプログラミング・リモートモニタについては、14・8ページを参照願います。

## コンピュータリンク機能(JW20H/30Hに実装時)

・ネットワークモジュールを実装したホストコンピュータからのコマンド(指令)により、JW20H/30Hのメモリ読出・書込等の処理を行います。

・ホストコンピュータからのコマンド(指令)に対し、レスポンス(応答)を返します。

「第9章」参照

(注) JW-22CMをJW300へ実装時には、コンピュータリンクを使用できません。

## 第 2 章 使用上のご注意

JW-22CM(以下、本機)を使用するにあたり、下記事項に注意してください。

### 2 - 1 設置・取付に関すること

次のような場所は避けてください。

- ・直射日光が当たる場所
- ・周囲温度が0～55（保存時：-20～70）の範囲を越える場所
- ・相対湿度が35～90%の範囲を越える場所
- ・温度変化が急激で結露する場所
- ・腐食性ガス、可燃性ガスがある場所
- ・本機へ直接に振動・衝撃がたつたわる場所

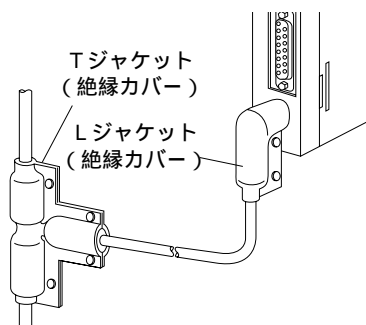
本機の取付け、取外しは、JW20H/30H/300への電源供給を断ってから行ってください。

本機のユニット固定ビスは、確実に締め付けてください

### 2 - 2 配線に関すること

ケーブル、コネクタおよび圧着工具は、必ず推奨品を使用してください。 6・1ページ参照

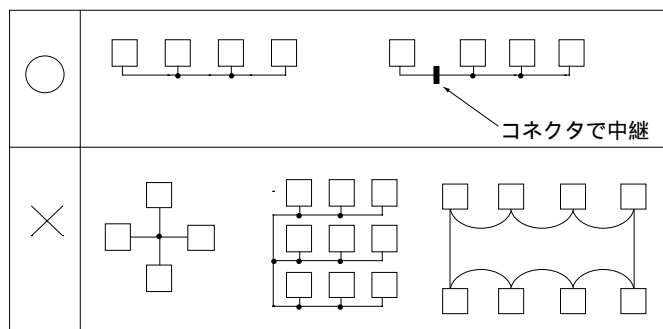
分岐・中継等コネクタの使用場所には、ジャケットを取り付けてコネクタを保護してください。  
(コネクタが外部筐体等に触れると通信異常の原因になります。)



電源ユニット等のアース端子は、他の機器との共用は避け必ずD種接地を行ってください。  
D種接地を行わず使用すると、ノイズによる誤動作の原因となります。

通信ケーブルは、強電線や動力線とは可能なかぎり離し、並行近接しないようにしてください。

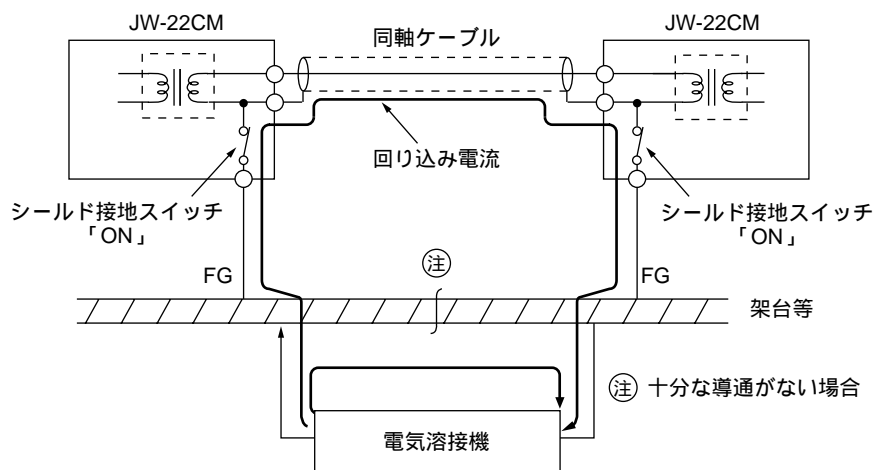
通信ケーブルは、親局から子局へ順次配線してください。タコ足配線(1箇所から複数分岐)や、終端のない配線方法は通信異常となり動作しません。



ケーブル総延長は1 km以内としてください。

幹線から分岐した支線の長さは、400mm以内としてください。

本機を設置している近くで電気溶接工事を行うときは、本機から同軸ケーブルを取り外してください。同軸ケーブルを取り付けた状態で溶接を行うと、溶接電流が回り込み、本機の回路パターンの一部が焼損する場合があります。



## 2 - 3 使用に関すること

本機のケースには内部の温度上昇防止のため、通風孔を設けています。通風を妨げないよう注意してください。

本機内に水・薬品等液状のもの、銅線等の金属物が入らないように注意してください。このような異物が入った状態での使用は大変危険です。また、故障の原因にもなります。

本機に故障、異常(過熱・異臭・発煙等)が発生した時は、すぐに使用を中止し、お買いあげの販売店または、当社サービス会社まで連絡してください。

## 2 - 4 静電気に関すること

異常に乾燥した場所では、人体に過大な静電気が発生するおそれがあります。静電気により、ユニット内部(基板)に実装している部品が破壊することがありますので、本機に触れる場合は、アースされた金属等に触れてあらかじめ人体の静電気を放電させてください。

## 2 - 5 清掃に関すること

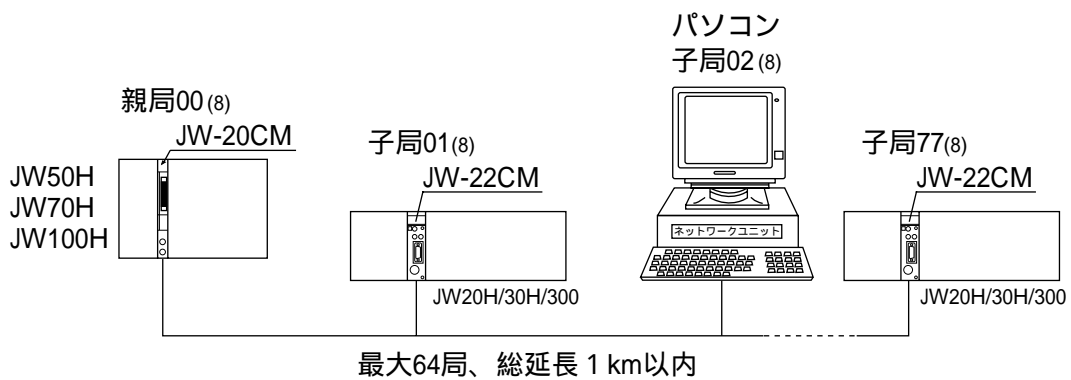
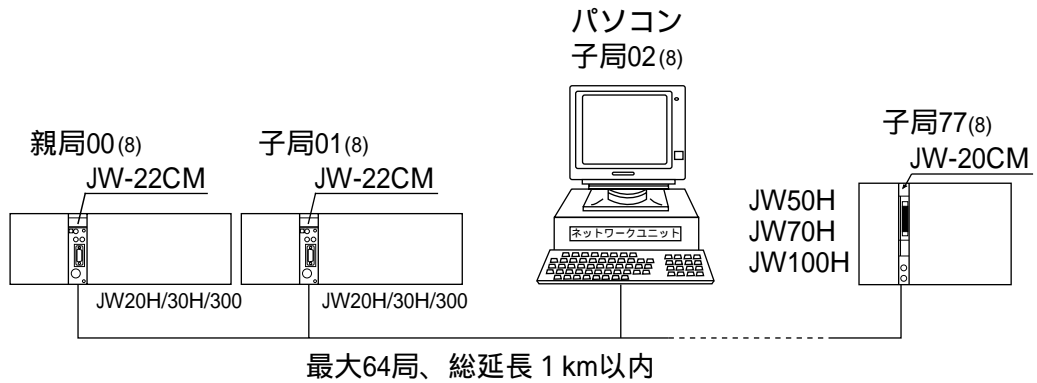
清掃する場合は、乾いたやわらかい布を使用してください。シンナー・アルコール等揮発性の高いもの、ぬれぞうきん等の使用は変形・変色の原因となるのでやめてください。

## 2 - 6 リレー番号の割付について

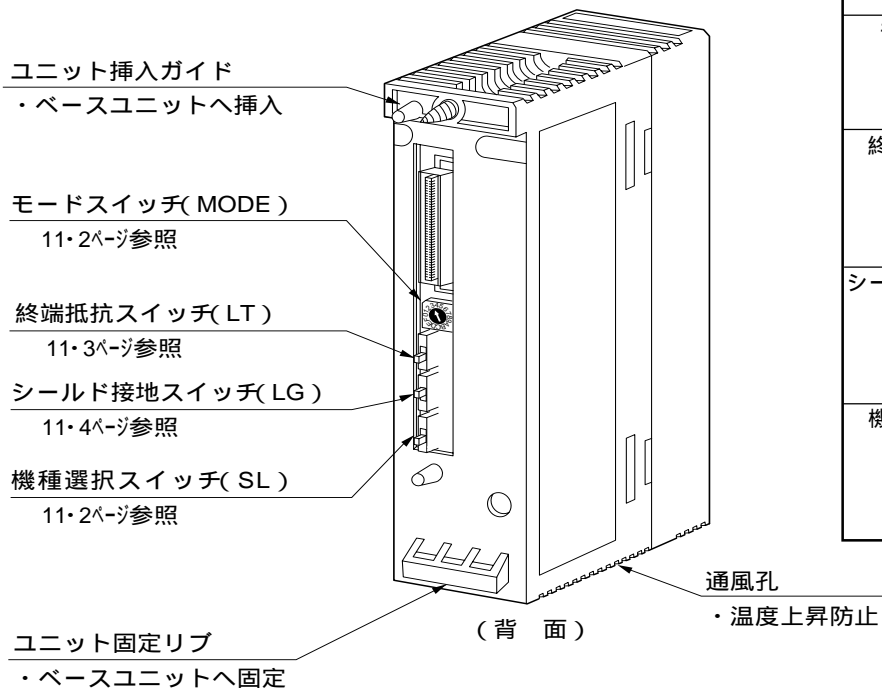
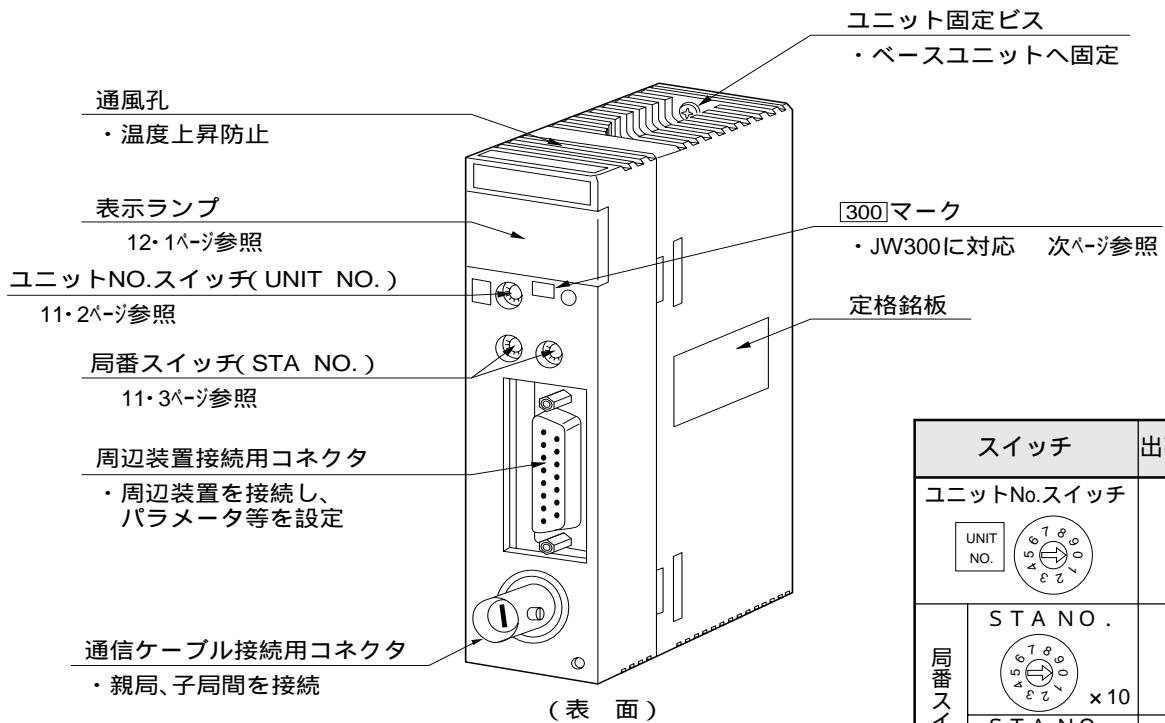
本機を実装したJW20H/30H/300では、本機にリレー番号として16点が割り付けられます。この16点は本機では使用しないダミー領域です。

# 第 3 章 システム 構 成

システムの構成例



# 第 4 章 各部のなまえとはたらき



スイッチ		出荷時の設定
ユニットNo.スイッチ 		0
局番スイッチ	STA NO.  x10	0
	STA NO.  x1	0
モードスイッチ 		2
終端抵抗スイッチ 		OFF
シールド接地スイッチ 		ON
機種選択スイッチ 		OFF

## JW-22CM の 300 マークについて

JW-22CM の 300 マーク(ユニット正面)は、JW300 対応を示します。 前ページ参照

なお、JW-22CM には 300 マーク付き以外に、30Hn マーク付き、30H マーク付き、マーク無しがあります。

JW-22CM	対応機種			
	JW300シリーズ	JW30Hシリーズ		JW20Hシリーズ
		1	2	
<u>300</u> マーク付き				
<u>30Hn</u> マーク付き	×			
<u>30H</u> マーク付き	×			
マーク無し	×	×	×	

1 コントロールユニット = JW-31CUH1、JW-32CUH1、JW-33CUH1/H2/H3、JW-32CUM1/M2

2 " = JW-31CUH、JW-32CUH、JW-33CUH

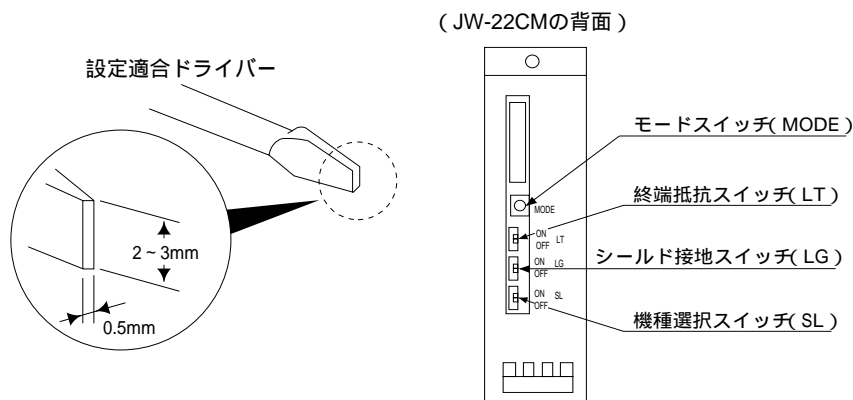
: 使用可能、× : 使用不可、 : JW-31CUH、JW-32CUH、JW-33CUHの範囲内で使用可能

# 第 5 章 取 付 方 法

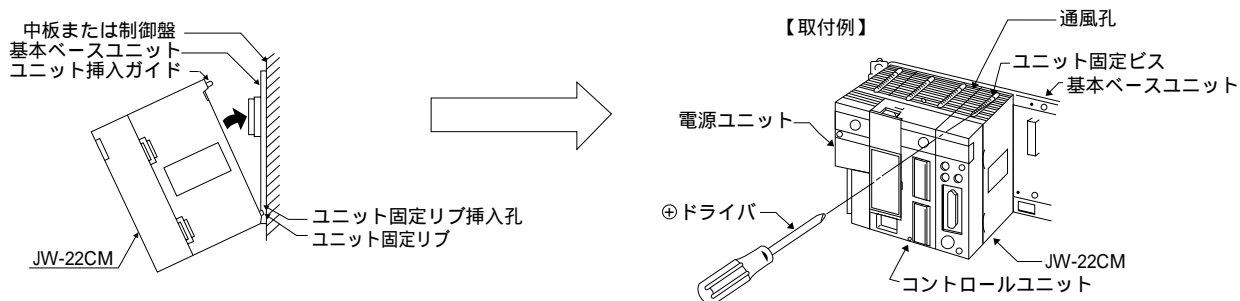
JW-22CM(以下、本機)は下記手順で取り付けてください。

JW20H/30H/300への電源供給をOFF。

本機(背面)の機種選択スイッチ、モードスイッチ、終端抵抗スイッチ、シールド接地スイッチを設定。  
設定内容は11・2・4ページ参照



本機のユニット固定リブを、JW20H/30H/300の基本ベースユニットの固定リブ挿入孔に引っかけて押し込み、本機上部のユニット固定ビスを⊕ドライバーで締め付ける。

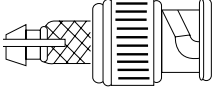
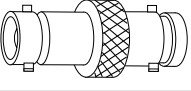


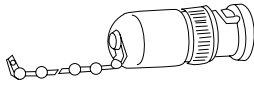


## 留 意 点

- ・本機は増設ベースユニットに実装できません。
- ・本機は、同じコントロールユニット上(JW20H/30H/300の基本ベースユニット)に複数台を実装できますが、ユニットNo.スイッチの設定値を他のオプションユニット(JW-22CMを含む)と重複させないでください。
- ・ユニット固定ビスは、確実に締め付けてください。ビスに緩みがあると誤動作の原因になります。

## 第 6 章 ケーブル加工方法

ケーブル、コネクタ等は必ず下記の推奨品を使用してください。

	名 称	形 名	メ ー カ ー
ケーブル	高周波同軸ケーブル	ME - 5 C - 2 V	三菱電線工業(株) 藤倉電線(株) 古河電工(株) 中国電線(株) 品川電線(株)
	圧着工具	ME - 4 2 H ダイス：67 - 4 2 H	東光電子(株)
	高周波同軸ケーブル用ストリッパー	CST - TM (本体、プレート、カッター) (刃認定ゲージ式)	日本ワイドミユラー(株)
ジャケット	Lジャケット	SB - 2 8 7 8	品川商工(株)
	Tジャケット	SB - 2 8 7 9	
絶縁テープ	自己融着テープ	NO . 1 1	日東電工(株)
コネクタ類	コネクタ 	ME - GP - 0 1	東光電子(株) 第一電子工業(株)
	ストレート 	ME - JJ - 0 1	
	エルボ 	ME - LA - 0 1	
	ティーズ 	ME - TA - 0 1	
	ターミネーション 	ME - 7 5	



## 6 - 1 ケーブルの端末加工手順

適用ケーブル

高周波同軸ケーブル ME - 5 C - 2 V

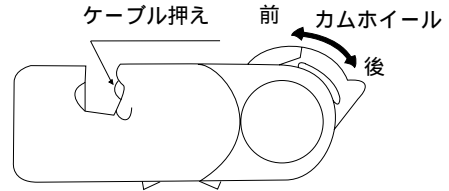
使用工具

高周波同軸ケーブル用ストリッパー CST - TM

加工手順

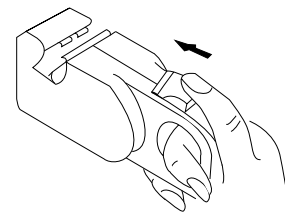
### 基本動作

カムホイール(オレンジ色のリング)を前後に動かすとケーブル押えも前後に動きます。この基本動作をまず確認してください。持ち方は、人さし指を穴に通し、親指でカムホイールを前後に動かします。

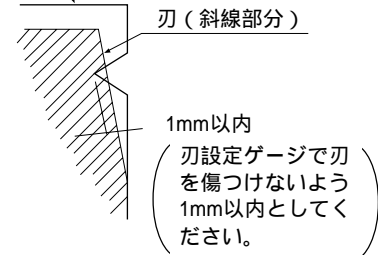


### 圧力設定

本体底面のスライダーでケーブル押えの動作範囲を設定します。目盛が左に行くほど押え圧力が高くなります。ここではカムホイール側(右端)で使用します。

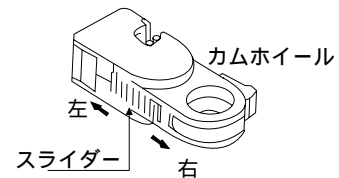


### ブレードカセット

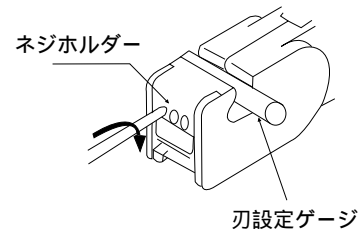


### 刃の切断深度設定

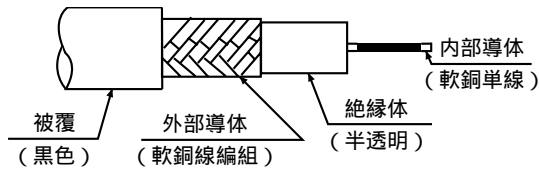
刃の切断深度は、ネジホルダーの両端2つのネジで調整します。刃は調整前にブレードカセットの切込み面より1mm以内に納めてください。付属の「刃設定ゲージ」を置き、刃の位置とゲージの窪みの位置を合せカムホイールを前に押し、しっかりと固定します。ネジホルダーの両端2つの調整ネジを止まるまで軽く(刃設定ゲージの材質はアルミです。折らないよう注意してください。)右へ回し調整します。



(最適切断深度には微調整が必要です。)



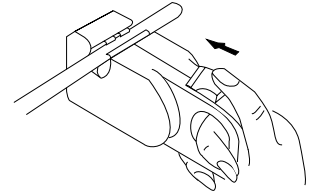
次ページへ



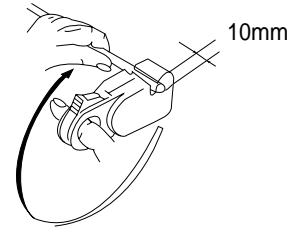
前ページより

被覆、外部導体、絶縁体の切断

同軸ケーブルをケーブルストリッパーに約 10 mm 余して入れ、左手中指、薬指、小指でストリッパー回転中にブレないようにしっかりと固定します。  
右手人差し指をカムホイールの中に入れ 1 ステップから順番に実行します。

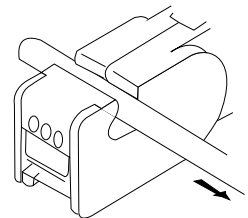


- 1 ステップ カムホイールを 3 回前へ押し矢印方向へ 2 ~ 3 回、回転させます。
- 2 ステップ 更に 1 回前へ押し矢印方向へ 2 ~ 3 回、回転させます。
- 3 ステップ 更に 1 回前へ押し矢印方向に 2 ~ 3 回、回転させます。



被覆、外部導体、絶縁体の除去

左手で同軸ケーブルを持ったまま、右手でケーブルストリッパーが同軸ケーブルに対し直角になるよう固定し、左手親指でケーブルストリッパーを押して抜きます。

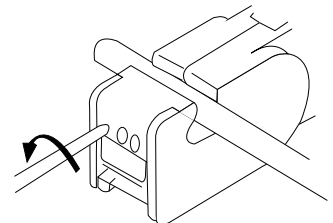


調整不要時

もし、スムーズに抜けなければ刃の調整が不完全です。カムホイールを後ろに戻し同軸ケーブルを本体から抜き、刃の調整が必要です。

刃の切断深度微調整

刃の深さが浅すぎる時、または深すぎて内部導体や外部導体を傷つけてしまう時は、ネジホルダーのネジを少しだけ回し、刃の切断深度を微調整してください。

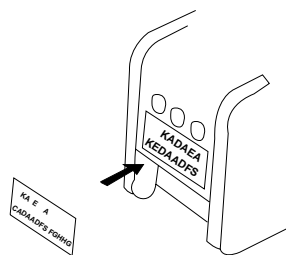


次ページへ

前ページより

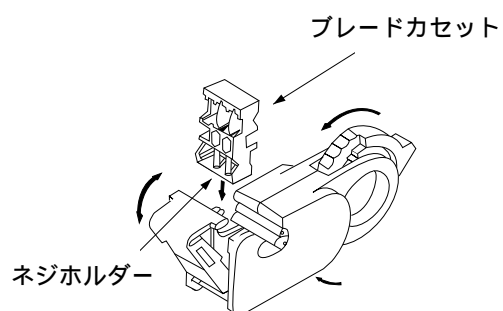
### 刃の設定表示

使用する(ストリップする)同軸ケーブルとネジホルダーの調整完了後、刃の調整ネジを保持するため、添付のシールにネジ位置等記入の上、調整ネジの下に貼ることをお勧めします。



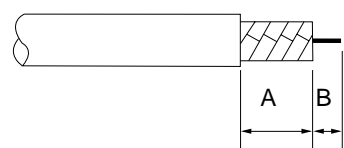
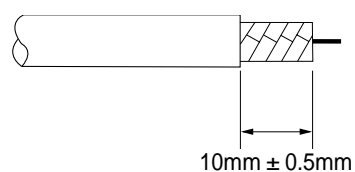
### 刃の交換

ネジホルダーの上側をドライバー等で持ち上げ、ネジホルダーを開きます。ブレードカセットを外し、裏刃か新しいブレードカセットを上から入れます。



### ケーブル端末加工

ストリッパーで切断した同軸ケーブルの内部導体をニッパ等により最適寸法4mmに切断します。



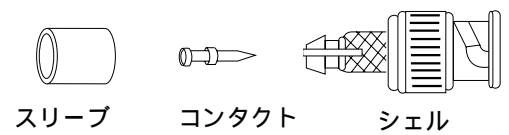
A:  $10 \pm 0.5\text{mm}$   
B:  $4 \pm 0.5\text{mm}$

## 6 - 2 コネクタ圧着手順

使用工具：ハンディ型圧着工具

（ 形 名：ME - 42H  
 ダイスNo.：67 - 42H  
 圧着幅：10mm ）

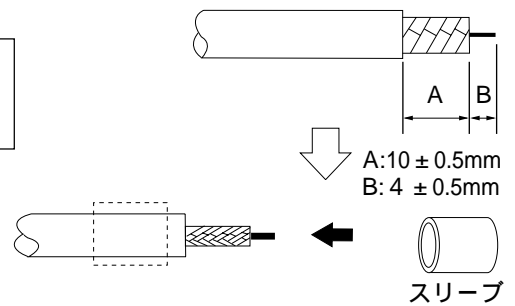
コネクタ部品



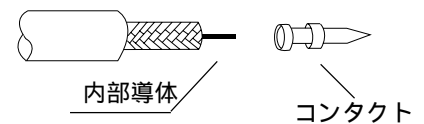
使用コネクタ：ME - GP - 01

加工手順

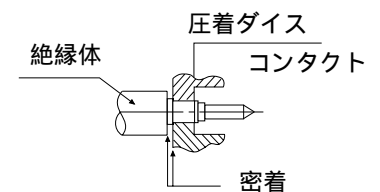
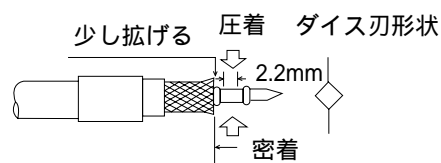
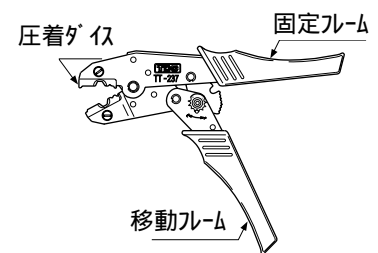
スリーブを挿入  
 端末加工した高周波同軸ケーブルにスリーブを通します。



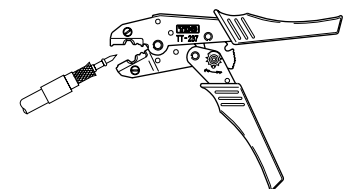
コンタクトの圧着  
 内部導体にコンタクトを入れ圧着します。



ダイスの刃形状（菱形）にコンタクトを入れ端面を絶縁体とダイスに密着させます。移動フレームを固定フレーム側に引きラチェットがはずれるまで圧着します。  
 （圧着幅 2.2mm）



圧着工具は、右図の方向で使用してください。  
 逆方向で圧着しても正しく圧着できません。

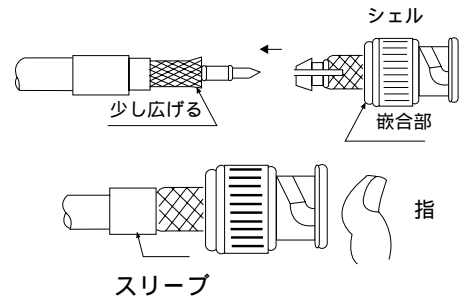


次ページへ

前ページより

### コネクタの装着

内部導体にコンタクトを圧着した同軸ケーブルの外部導体がシェルに当たらないように少し広げます。同軸ケーブルの外部導体端面をシェルの嵌合部手前まで押し込み、スリーブを嵌合部に入れ同軸ケーブルを強くカチッと音が出るまで押し込みます。指の腹部分にコンタクトの先端が触れることを確認してください。

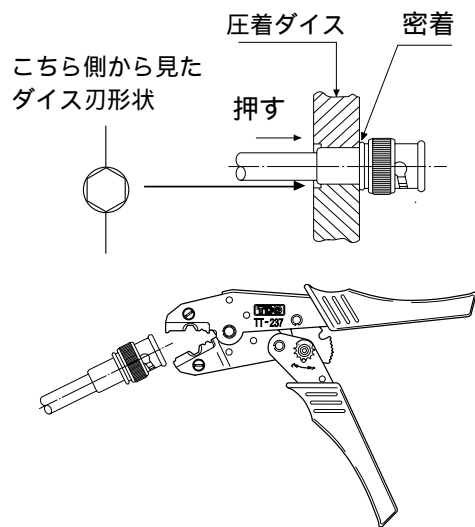
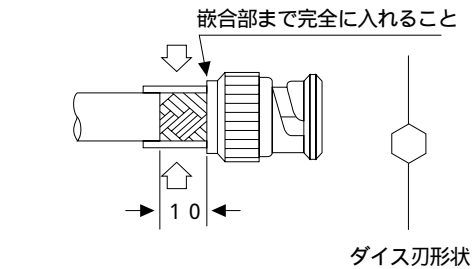


### 外部導体の圧着

外部導体の圧着を行います。

スリーブをシェルの嵌合部迄完全に入れ圧着します。ダイスの六角にスリーブを入れシェルを圧着ダイスに密着させ、同軸ケーブルとシェルを両側から押しながら移動フレームを固定フレーム側に引き、ラチェットがはずれるまで圧着します。  
(圧着幅 10 mm)

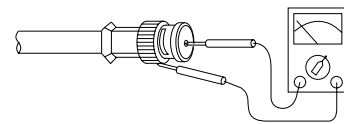
圧着工具は、右図の方向で使用してください。  
逆方向で圧着しても正しく圧着できません。



### 絶縁試験

シェルとコンタクトの絶縁試験

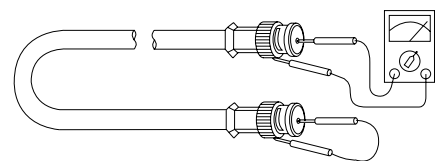
コネクタ内で、内部導体と外部導体がショートしていないか、テスターで導通を測ってください。値がなくなっていれば正常です。



### 導通試験

導通テスト

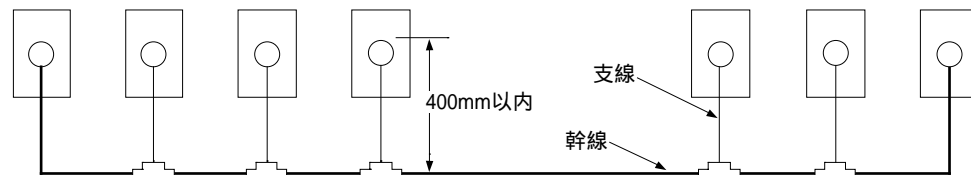
同軸ケーブルに圧着したコネクタの一端を短絡後、導通があることを確認してください。



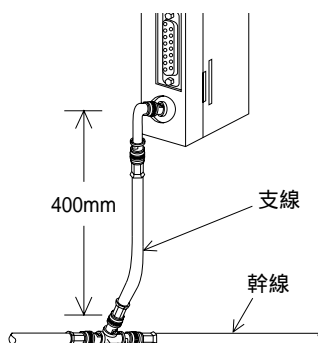
# 第 7 章 配 線 方 法

## 7 - 1 ケーブルの幹線と支線

下図のケーブル配線で太線の部分を幹線といい、T分岐した側を支線といいます。



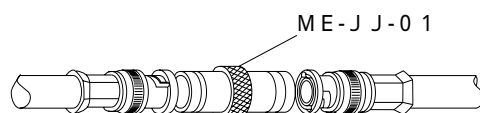
幹線からT分岐する支線の長さは、400mm以内としてください。



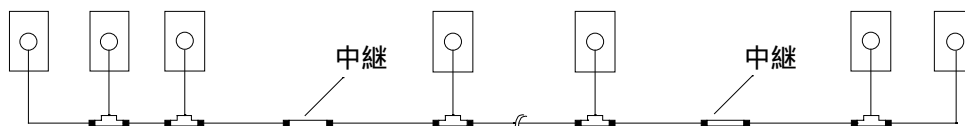
ケーブル総延長は、1 km以内としてください。

## 7 - 2 幹線ケーブルの中継

幹線ケーブルの中継は、ストレート [ME-JJ-01] を使用してください。



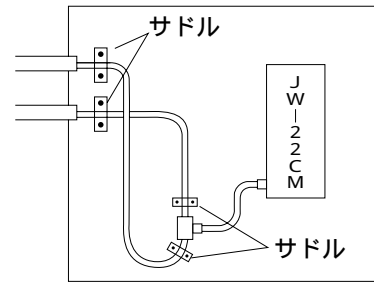
幹線ケーブルの中継は、必要不可欠な場所のみとしてください。不必要な中継は、中継コネクタ(ストレート)での接触抵抗による信号レベルの低下等信頼性の低下要因となります。



## 7 - 3 ケーブルの盤内配線方法

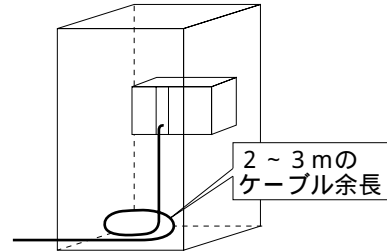
### (1) ケーブルの固定

ケーブルおよびJW-22CM(以下、本機)へ無理な力を掛けないために、制御盤の入線口近くや本機へT分岐した場所にサドル等でケーブルを固定してください。



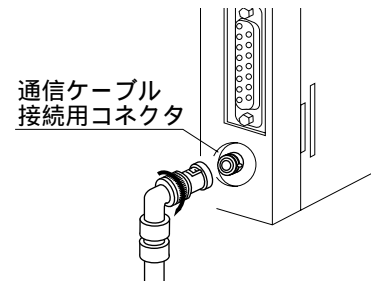
### (2) ケーブルの余長

盤内でケーブルに2~3mの余長をとると、ケーブル末端処理やユニット位置変更時に作業が楽になります。



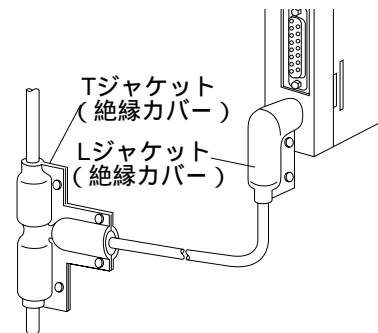
### (3) JW-22CMへの接続

コネクタは、差し込むだけでなく必ず右方向へ回しロックしてください。



### (4) 絶縁カバー

コネクタが、強電部や外部筐体等に触れると通信異常の原因となります。必ず絶縁カバーを取り付けてください。

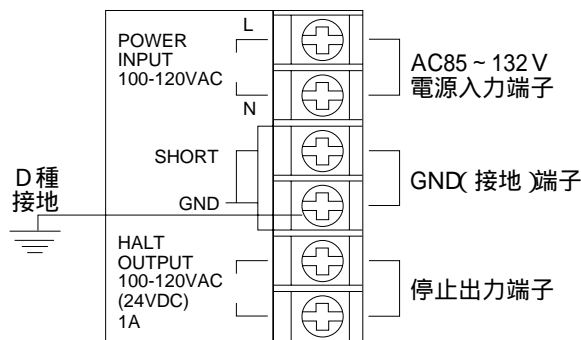


### (5) 電源ユニット(JW-22PU/31PU)の接地

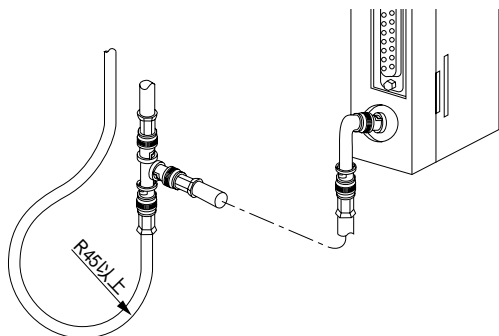
電源ユニットのGND端子は、必ずD種接地をしてください。

- ・電源ユニットを接地しないと、本機のシールド接地スイッチを「ON」しても大地と導通しません。

#### AC電源ユニット(JW-31PU)の場合

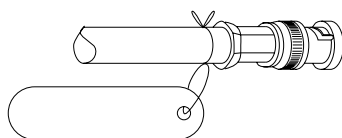


( 6 ) 信号ケーブルの折曲げは、半径45mm( 外側 )以上にしてください。

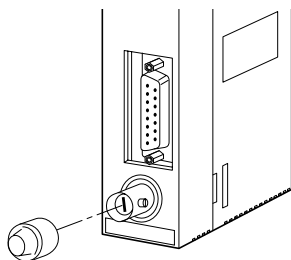


ケーブルメーカーの仕様では、ケーブル仕上り外径( 約7.5mm )の6倍以上が曲げ半径です。

( 7 ) 複数台の本機を1台のPLCに実装するとき、ケーブル接続を誤らないように識別札を取り付けると便利です。



( 8 ) 本機を輸送や保存されるときは、本機のコンネクタ部に保護キャップを取り付けてください。





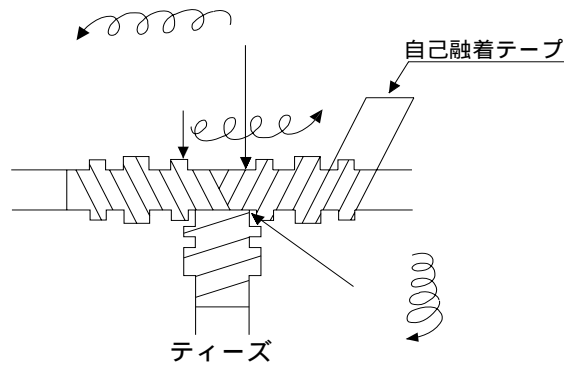
## 7 - 4 コネクタ部の防水・絶縁処理

ティーズ( T分岐コネクタ )、ストレート( 中継コネクタ )への水の侵入を防ぐため、コネクタに自己融着テープを巻き付け、防水処理を行うことを推奨します。また、絶縁の為ジャケットで保護してください。

### ( 1 ) ティーズ( T分岐コネクタ )の場合

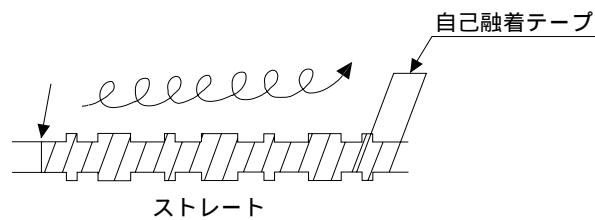
自己融着テープの巻き付けは、自己融着テープを10cm程の長さに切り、位置 から巻き付け始めます。

同様に 、 の位置から巻き付けます。



### ( 2 ) ストレート( 中継コネクタ )の場合

自己融着テープの巻き付けは、自己融着テープを15cm程の長さに切り、位置 から巻き付け始めます。



### 留意点

- ・コネクタの表面を清浄後、自己融着テープの接着面をコネクタに密着させ、軽く伸ばしながら半分重なりでコネクタ金属部が見えなくなるよう均等に巻き付けてください。  
テープを伸ばし過ぎないように注意してください。

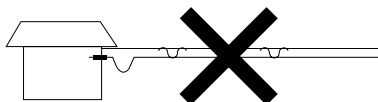
## 7 - 5 ケーブルの盤外配線方法

動力ケーブルとは束線せず、最低100mm離して別配線としてください。動力線の配線ダクトには収納せず、別の配線ダクトに収納するのが最も良い方法です。

同軸ケーブルが他のケーブル等の重量物の下敷きになったりして、荷重が掛からないようにしてください。

同一ダクトに他のケーブルがある場合、同軸ケーブルを最上側に収納してください。

屋外への架空配線はしないでください。誘導雷や雷発生時の空中帯電等により、本機の故障原因となります。



## 7 - 6 配線後のチェック

配線を終了後、下記項目をチェックしてください。

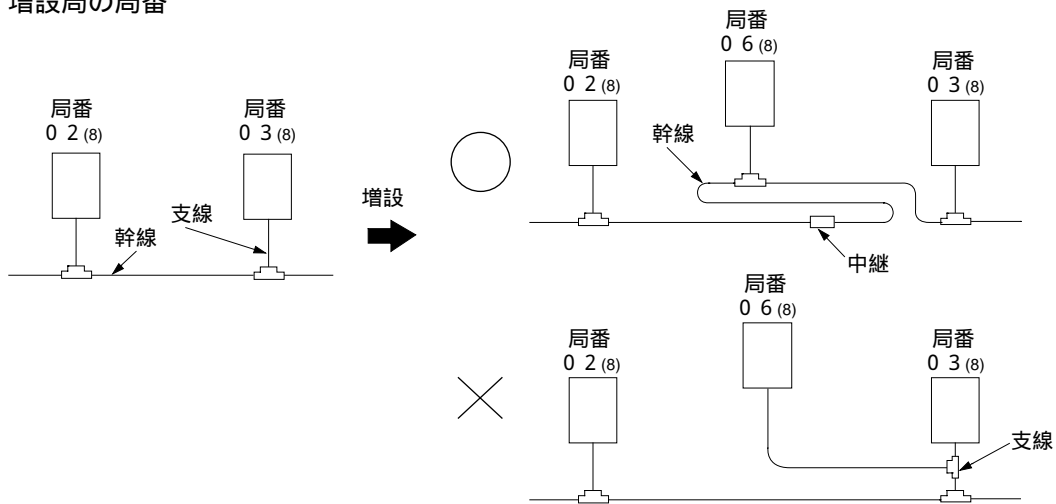
	チェック内容
1	コネクタは推奨品か
2	コネクタは確実にロックされているか
3	コネクタはTジャケット・Lジャケットで絶縁されているか
4	同軸ケーブルは推奨品か
5	同軸ケーブルの曲げ半径は45mm以上か
6	同軸ケーブルの上に重量物は乗っていないか
7	同軸ケーブルと動力線が束線していないか(100mm以上離れているか)
8	支線の長さは400mm以内か
9	ケーブルの総延長は1km以内か
10	各局の終端抵抗スイッチ、シールド接地スイッチの設定は、設計どおりか

## 7 - 7 通信局増設時の配線方法

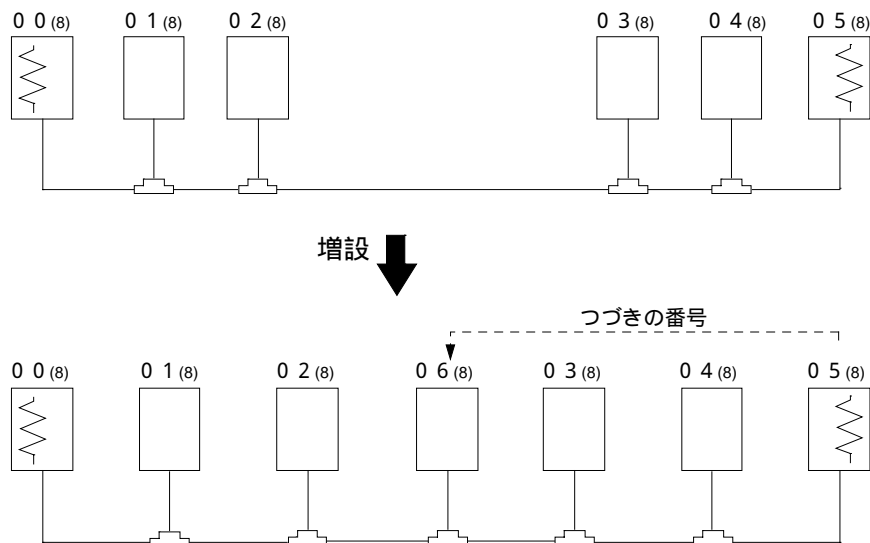
### (1) 分岐方法


増設局へのケーブル分岐は、必ず幹線からT分岐配線してください。  
支線からのT分岐配線はしないでください。

### (2) 増設局の局番



増設局の番号は、増設前の一番大きな局番号につづく番号を設定してください。  
番号の付け方は、設置位置の順番と同じようにする必要はありません。



・  は終端抵抗スイッチ「ON」を示します。

(3) 注意事項

通信局を増やすときは、次の項目に注意してください。

No.	項目	理由
1	幹線から分岐する。	支線から分岐すると、反射波により正常に通信できない。
2	局番号を重複しない。	通信異常となる。
3	終端抵抗スイッチを点検する。	増設局が回線の終端になるときは、LTスイッチの設定を変更する。
4	増設ケーブルに余長をもつ。	無理な配線にならないようなケーブル長にする。
5	ケーブル総延長が1 kmを超えない。	信号減衰等による通信異常となる。
6	設置のレイアウト図を変更する。	増設工事用資料は保守保全のため整備する。
7	PLCの通信領域を重複しない。	増設局の通信領域やフラグ領域が他の使用アドレスと重複すると通信異常となる。
8	親局と増設局のパラメータメモリを設定する。	パラメータメモリを設定しないと増設局と通信できない。

# 第 8 章 データリンク動作説明

サテライトネット上のPLCやパソコンの内1台を親局とし、他の局を子局としたユニット相互間で、ON/OFF信号(リレーリンク)とデータ(レジスタリンク)の授受を行います。PLCやパソコンは最大64台を接続できます。

各局は自局の送信領域のデータをサイクリックに送信し、他局から受信したデータを受信領域に格納します。この通信はJW-22CM(以下、本機)が自動的に行うため、通信用の特別なプログラムは不要です。本機が子局の場合にはデータリンクに標準機能と省メモリ機能があり、他局からの受信する内容が異なります。(本機が親局の場合、標準機能のみ)

本機が親局、子局の場合

- ・親局 — データリンク(標準機能) — 受信データは全局の全リレーリンクエリア、全レジスタリンクエリアのデータ
- ・子局 — データリンク(標準機能) —
- データリンク(省メモリ機能) — 受信データはメモリを有効活用できるよう、一部のエリアのデータ  
また、子局の送受信アドレス(プログラム)を統一可能

本機の標準機能と省メモリ機能の仕様については、15・2ページを参照願います。

## 8 - 1 通信方法

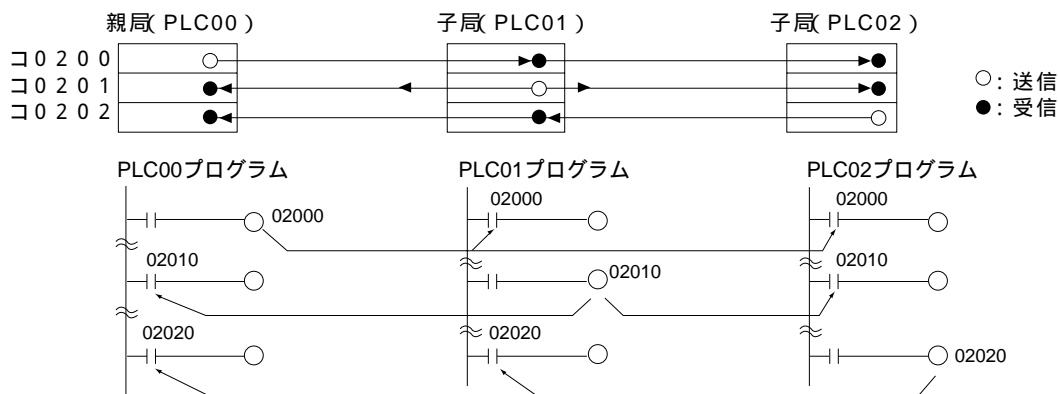
### (1) データリンク(標準機能)

各局は親局パラメータに設定したリレーリンクエリア、レジスタリンクエリアのON/OFF信号およびデータをサイクリックに送受信します。

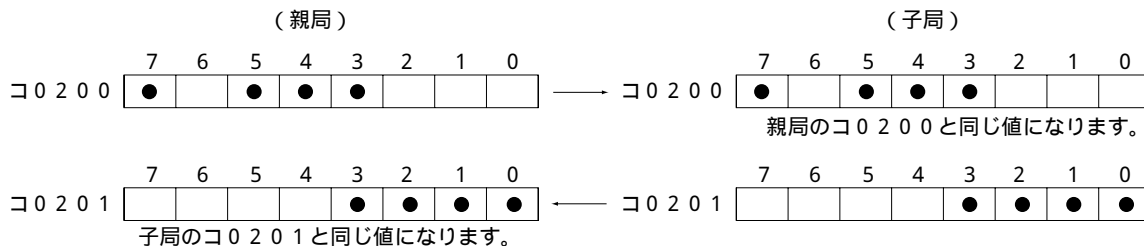
リレーリンク

主として、ON/OFF情報の授受に使用します。

【例】親局、子局01/02から各1バイトのデータを送信する例



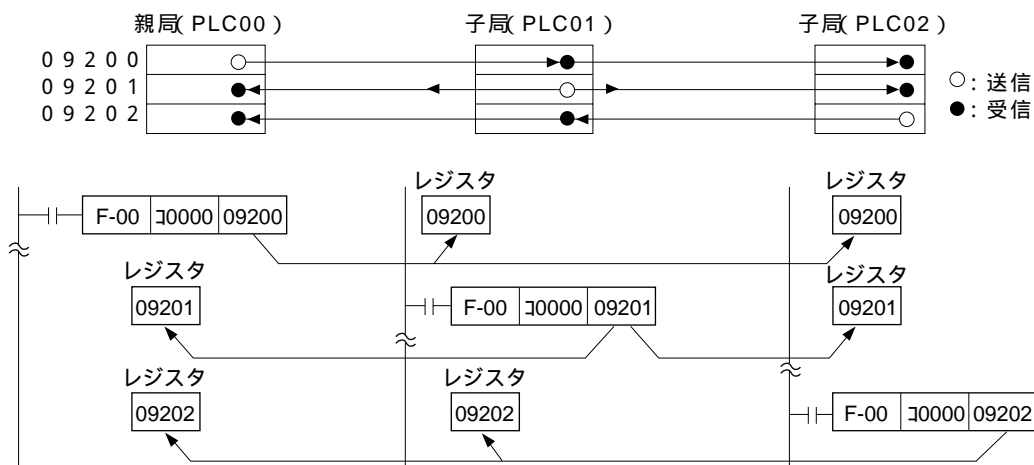
- ・受信するリレーリンクのアドレスは、PLCのプログラムでは入力信号としてください。なお、応用命令のS(ソース)側としても使用できます。
- ・送信データと受信データは、1点単位のビットで対応しています。



## レジスタリンク

主として、数値データの授受に使用します。

【例】親局、子局01 / 02から各 1 バイトを送信する例

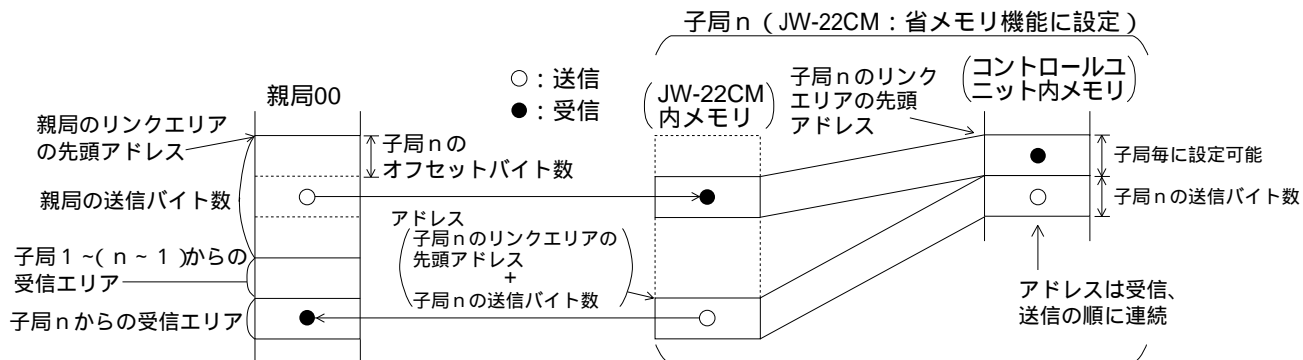


- ・送信するレジスタリンクのアドレスは、PLCのプログラムでは応用命令のD(ディネーション)側として使用します。
- ・受信するレジスタリンクのアドレスは、PLCのプログラムでは応用命令のS(ソース)側として使用します。

### (2) データリンク(省メモリ機能)

省メモリ機能とはデータリンクエリア内の一部を、受信エリアとして子局のデータメモリ上にとる方式です。子局は、リレーリンク/レジスタリンクにて必要なエリアだけ受信できますので、メモリの有効活用がはかれます。

各子局の受信エリアのアドレスと送信エリアのアドレスを統一できるため、各子局で共通のプログラムを使用できます。また、データリンク(標準機能)と混在が可能です。



- ・子局における受信エリアの先頭アドレスは、リンクエリア先頭からのオフセットバイト数で設定します。(0 オフセットバイト数 リンクエリアの合計バイト数)

設定項目	設定箇所
親局のリンクエリアの先頭アドレス	親局のパラメータ
親局の送信バイト数	
子局のオフセットバイト数	
子局の送信バイト数	
子局のリンクエリアの先頭アドレス	子局のユニットNo.スイッチ
子局の受信バイト数	子局のパラメータ

## 8 - 2 伝送所要時間と通信遅延時間

### (1) 伝送所要時間

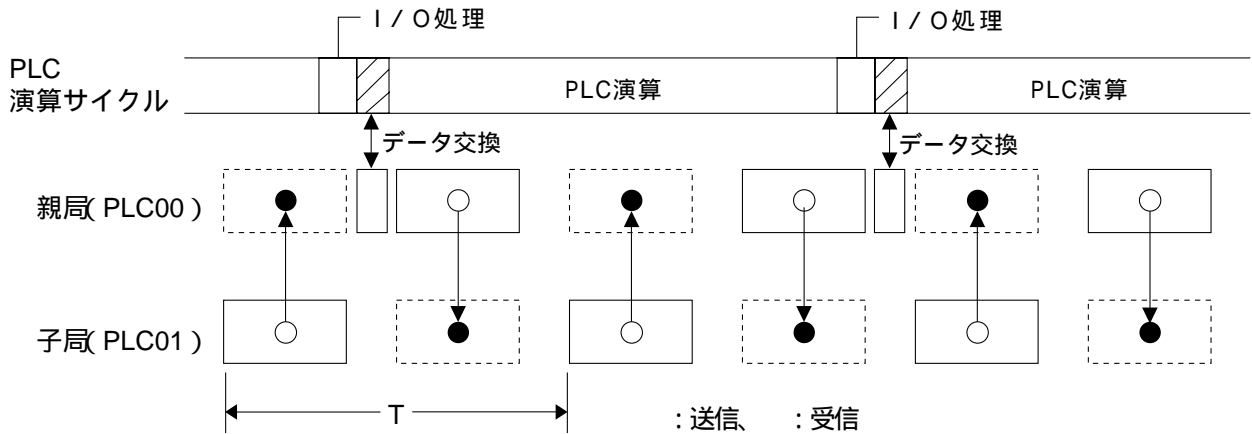
親局から順に伝送を行い、最終局番の伝送が終わるまでに必要な時間は接続局数、伝送データ数により決まります。

$$\text{伝送の1演算サイクル } T = \frac{N + 136 \times P}{1250} + 2.5 \times P + 16 \text{ (ms)}$$

- N : リンク点数の合計 (値はリレーリンクとレジスタリンクのバイト数 × 8点)
- P : 接続局数 (親局 + 子局)
- 136 : 通信フォーマット上のステーションアドレスや誤りチェック用のデータに136ビット使用
- 1250 : 伝送速度 1,25Mビット/s
- 2.5 : 局間通信の待ち時間と通信局の順送り処理時間の合計 (単位: ms)
- : 通信回復動作の時間
  - ・ 通信異常局が発生すると親局から定期的に処理  
= 3.5 × 異常局数 (ms)
- 16 : トークンバス維持のための時間で、不規則の間隔ではいりません。

【例】 接続局数2局、各局のリンク点数8バイトのとき

$$\text{伝送の1演算サイクル } T = \frac{8 \text{ バイト} \times 8 \text{ 点} \times 2 \text{ 局} + 136 \times 2 \text{ 局}}{1250} + 2.5 \times 2 \text{ 局} + 16 = 21.32 \text{ms}$$



PLC本体とJW-22CM間のデータ交換時間は、次式で求められます。

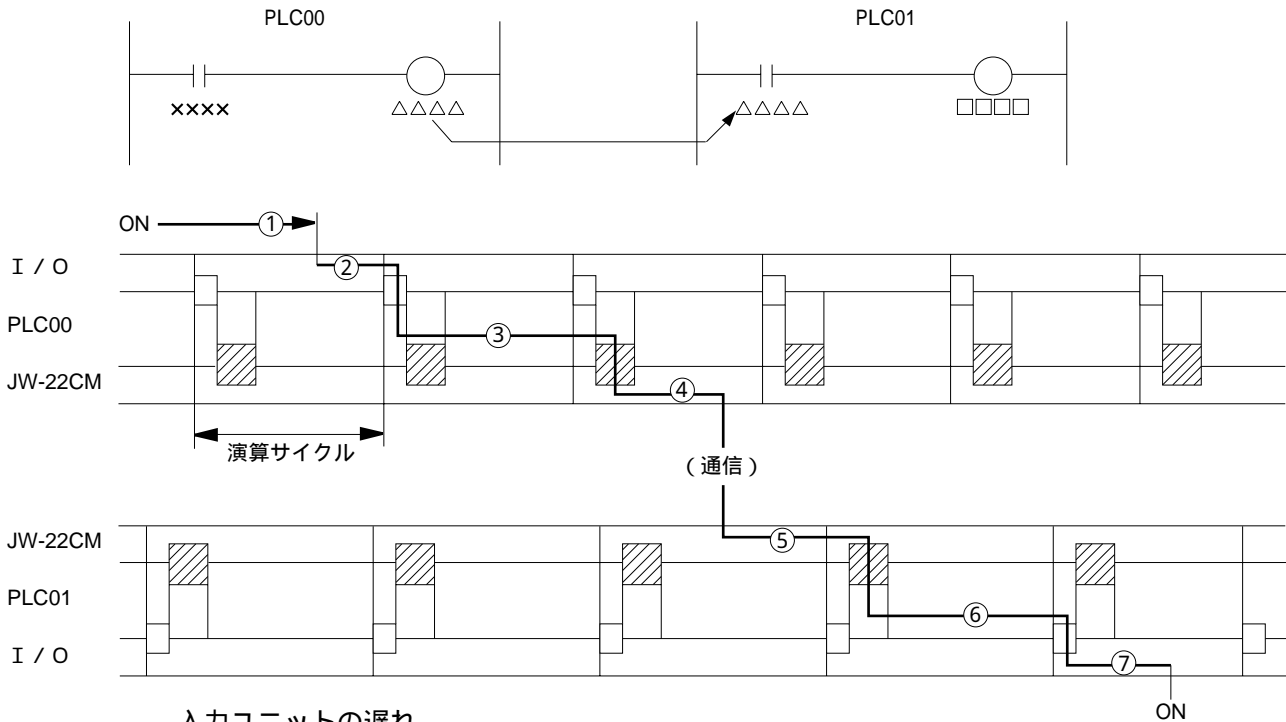
コントロールユニットがJW-31CUH1、JW-32CUH1、JW-33CUH1/H2/H3、JW-32CUM1/M2の場合

$$0.5 \text{ms} + 0.5 \mu\text{s} \times \text{転送バイト数}$$

転送バイト数が最大(2304バイト)のとき、 $0.5 \text{ms} + 0.5 \mu\text{s} \times 2304 = 1.65 \text{ms}$ となります。

## (2) 通信遅延時間

サテライトネット上の通信データは、下記の遅れが生じます。



入力ユニットの遅れ

入力状態をPLCが検知するまでの時間 (最大1 演算サイクル)

送信側PLCの演算時間 (1 演算サイクル)

演算結果を送信完了するまでの時間 (最大1 通信サイクル)

受信側PLCが受信データをPLCのデータメモリに書き込むまでの時間 (最大2 演算サイクル)

受信側PLCの演算時間 (1 演算サイクル)

出力ユニットの遅れ

通信遅延時間は上記 ~ の合計値です。

### 留意点

- ・本機のバッファメモリの内容は、PLCの演算サイクルごとに書き換わります。よって、PLCの1 演算サイクルだけONする接点は、通信できない場合があります。



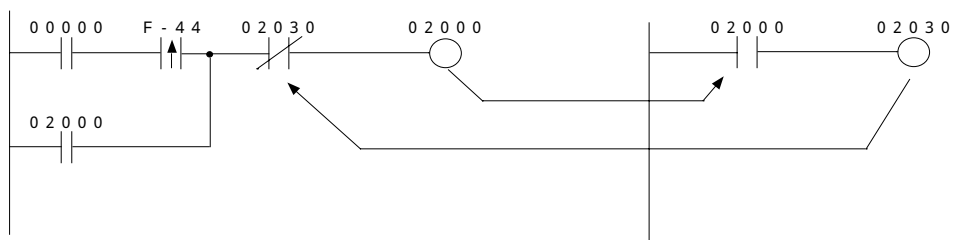
- (3) 親局PLCと子局PLC間のデータ伝送  
同期をとると確実なデータ伝送が行えます。

OUT命令で同期をとる例



親局プログラム

子局プログラム



- ・親局側で00000をONする。(OUT 02000は自己保持回路)
- ・子局側で02000がONすると、OUT 02030をONさせ、親局側に送り返します。

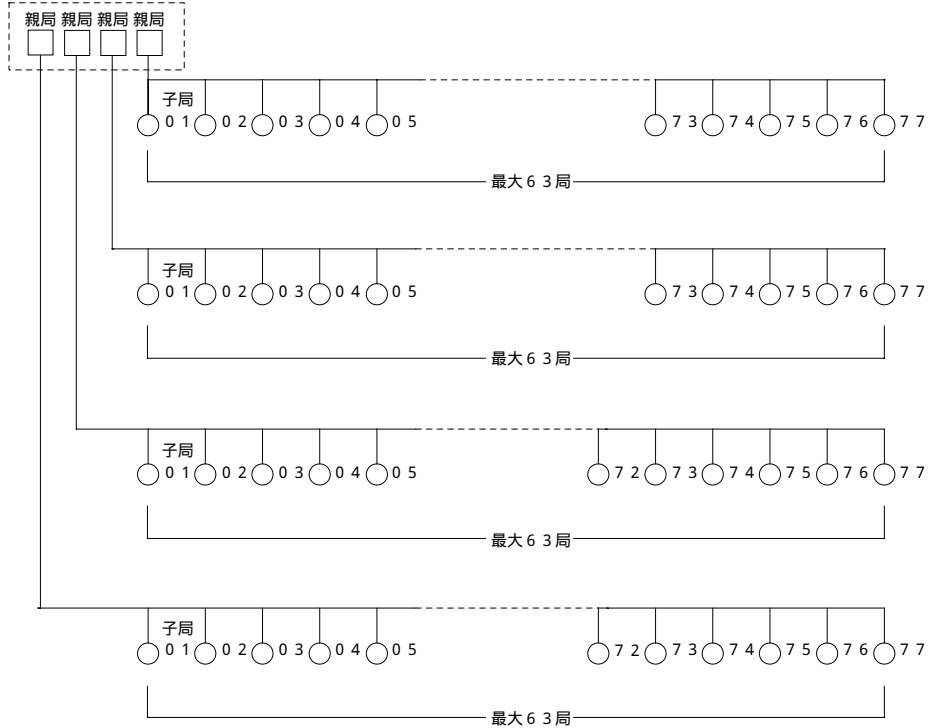
## 8 - 3 ネットワーク拡張

最大64局間でデータ伝送を行えますが、この局数を越える場合、次の方法で通信局を増やせませす。

### (1) JW-22CMを複数実装

JW20H/30H/300の基本ベースユニットに本機を複数実装すると、局数を増やせませす。

JW-22CMを4台実装した場合



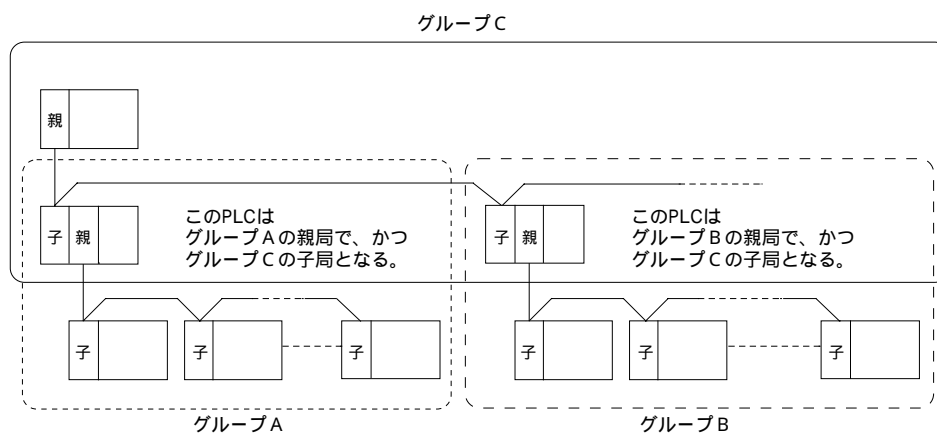
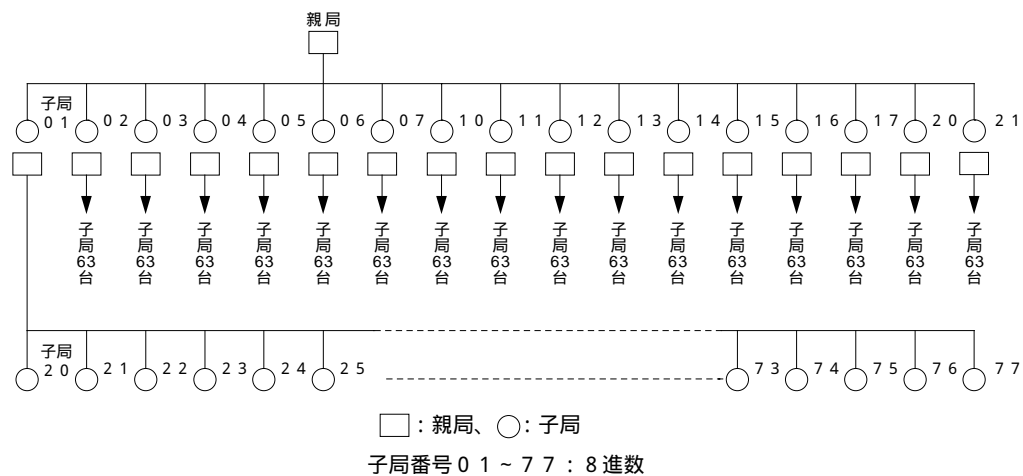
□ : 親局、○ : 子局  
子局番号 01 ~ 77 : 8進数

### 留意点

- PLC 1 台に本機を複数実装するときは、リレーリンクエリア、レジスタリンクエリア、フラグ領域が重複しないようにしてください。
- PLC 1 台に本機を複数実装するときは、通信総データ量と通信エリアに使えるバイト数に注意してください。
- 本機は 1 台の基本ベースユニットに複数実装できますが、ネットワークをまたがったデータリンクはできません。

## (2) 階層リンク

JW20H/30H/300の基本ベースユニットに本機を2台実装すると、階層リンク通信ができ、局数を増やせます。



### 留意点

- ・ 2階層以上の階層リンクは、最上位子局と最下位子局との通信に時間を要しますので注意してください。
- ・ 本機は1台の基本ベースユニットに複数実装できますが、ネットワークをまたがったデータリンクはできません。

## 第 9 章 コンピュータリンク動作説明

JW20H/30H に実装の JW-22CM と、ホストコンピュータに実装のネットワークモジュール ZW-98CM、ZW-20AX 等を接続すると、JW20H/30H とホストコンピュータ間でデータ伝送(コンピュータリンク)を行えます。

(注) JW-22CM を JW300 へ実装時には、コンピュータリンクを使用できません。

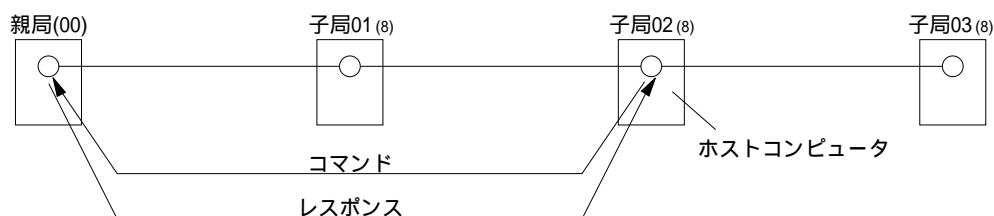
### 9 - 1 コンピュータリンク機能について

ホストコンピュータと各局番間で 1 対 1 通信を行います。また、コンピュータリンクではデータリンクの親局/子局とは関係なく、任意の局番間で通信できます。

ホストコンピュータから、通信する局番・通信内容・メモリアドレス・データ等を「コマンド」として指令します。

「コマンド」を受信した局はそれを処理し、結果を「レスポンス」として返します。

システム例



以上のコンピュータリンク機能を使用するためには、ホストコンピュータ側でアプリケーションソフトウェアを作成する必要があります。この作成についてはネットワークモジュール ZW-98CM、ZW-20AX 等に付属の取扱説明書を参照願います。

## 9 - 2 コマンド

ホストコンピュータはJW-22CMを実装しているPLC ( JW20H/30H ) に対して、以下のコマンドを使用できます。

通信フォーマット等の詳細は、ホストコンピュータ側のネットワークモジュールZW-98CM、ZW-20AX等の取扱説明書を参照願います。

コマンド ( コマンドコード、 BASICモードでのコマンド名 )	設定可能アドレス範囲( 8進数 )と注意事項	
	JW20H	JW30H
リレーのモニタ ( 00 (H)、MRL )	00000 ~ 15777 ( リレー ) 0000 ~ 0777 ( タイマ、カウンタ接点 )	00000 ~ 15777、20000 ~ 75777 ( リレー ) 0000 ~ 0777、1000 ~ 1777 ( タイマ、カウンタ接点 )
リレーのセット/リセット ( 10 (H)、SRR )	00000 ~ 15777	00000 ~ 15777 20000 ~ 75777
レジスタの現在値のモニタ ( 01 (H)、MRG )	10000 ~ 11577、b0000 ~ b1777 09000 ~ 09777、19000 ~ 19777	10000 ~ 11577、12000 ~ 17577、 b0000 ~ b1777、b2000 ~ b3777、
レジスタへの書込 ( 11 (H)、WRG )	29000 ~ 29777、39000 ~ 39777 49000 ~ 49777、59000 ~ 59777 69000 ~ 69777、79000 ~ 79777	09000 ~ 09777、19000 ~ 19777、29000 ~ 29777 39000 ~ 39777、49000 ~ 49777、59000 ~ 59777 69000 ~ 69777、79000 ~ 79777、89000 ~ 89777
レジスタへの同一データの 書込 ( 15 (H)、FRG )	89000 ~ 89777、99000 ~ 99777 E0000 ~ E0777、E1000 ~ E1777	99000 ~ 99777、E0000 ~ E7777
ファイルレジスタの読出 ( 01 (H)、RFL )		コントロールユニットにより異なります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JW-31CUH/H1 —— ファイルα 000000 ~ 035777 )</li> <li>・ JW-32CUH —— ファイルα 000000 ~ 035777 )                     ファイル1( 000000 ~ 037777 )                     ファイル2( 000000 ~ 177777 )</li> <li>・ JW-32CUH1 —— ファイルα 000000 ~ 035777 )                     ファイル1( 000000 ~ 037777 )                     ファイル2( 000000 ~ 177777 )                     または000000 ~ 077777 )</li> <li>・ JW-33CUH/H1 —— ファイルα 000000 ~ 035777 )                     ファイル1( 000000 ~ 037777 )                     ファイル2、3 各000000 ~ 177777 )</li> <li>・ JW-33CUH2 —— ファイルα 000000 ~ 035777 )                     ファイル1( 000000 ~ 037777 )                     ファイル2、3、10 ~ 14 (H) 各000000 ~ 177777 )</li> <li>・ JW-33CUH3 —— ファイルα 000000 ~ 035777 )                     ファイル1( 000000 ~ 037777 )                     ファイル2、3、10 ~ 20 (H) 各000000 ~ 177777 )</li> </ul>
ファイルレジスタへの書込 ( 11 (H)、WFL )		
タイマ・カウンタ・MDの 現在値読出( 03 (H)、MTC )	00000 ~ 07777	00000 ~ 07777 ( タイマ・カウンタ・MD ) 10000 ~ 17777 ( タイマ・カウンタ )
タイマ・カウンタのセット /リセット ( 13 (H)、SRT )		
システムメモリの読出 ( 04 (H)、RSM )	00000 ~ 03777	00000 ~ 03777、04000 ~ 21777
システムメモリの書込 ( 14 (H)、WSM )		
プログラムメモリの読出 ( 05 (H)、RPM )	コントロールユニットとメモリユニ ットにより異なります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JW-21CU —— 000000 ~ 006777</li> <li>・ JW-22CU —— 000000 ~ 006777                     ( メモリユニットJW-21MA                     /21MO/21ME使用時 )</li> <li>                    000000 ~ 016777                     ( メモリユニットJW-22MA                     使用時 )</li> </ul>	コントロールユニットにより異なります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JW-31CUH/H1 000000 ~ 016777</li> <li>・ JW-32CUH —— 000000 ~ 036777</li> <li>・ JW-32CUH1 —— 000000 ~ 036777                     または 000000 ~ 076777</li> <li>・ JW-33CUH/H1 000000 ~ 076777</li> <li>・ JW-33CUH2/H3 000000 ~ 076777、                     100000 ~ 176777</li> </ul>
プログラムメモリへの書込 ( 15 (H)、WPM )		
タイマ・カウンタの設定値変更 ( 16 (H)、CTC )		

コマン ド (コマンドコード, BASICモードでのコマンド名)	設定可能アドレス範囲(8進数)と注意事項			
	JW20H	JW30H		
PLCの運転状態のモニタ (20 <sup>(H)</sup> 、MPC)				
PLCの演算停止/演算再開 (30 <sup>(H)</sup> 、HLT/RUN)				
メモリ容量の読出 (21 <sup>(H)</sup> 、VLM)				
メモリ容量の設定 (31 <sup>(H)</sup> 、SVL)				
書込モードの状態読出 (22 <sup>(H)</sup> 、SWE)				
書込モードの指定 (32 <sup>(H)</sup> 、EWR)				
⑳ パラメータメモリビットの 読出(08 <sup>(H)</sup> 、PML)	JW-22CMのパラメータアドレス 000000~007777			
㉑ パラメータメモリビットのセット/リセット (18 <sup>(H)</sup> 、PWL)				
㉒ パラメータメモリの読出 (09 <sup>(H)</sup> 、PMR)	JW-22CMのパラメータアドレス 000000~007777			
㉓ パラメータメモリへの書込 (19 <sup>(H)</sup> 、PWR)				
㉔ 日付の読出 (23 <sup>(H)</sup> 、MDY)	コントロールユニットが JW-22CU(時計機能あり)のこと			
㉕ 日付の設定 (33 <sup>(H)</sup> 、SDY)				
㉖ 時刻の読出 (24 <sup>(H)</sup> 、MTM)			コントロールユニットがJW-32CUH/H1、 JW-33CUH/H1/H2/H3(時計機能あり)のこと	
㉗ 時刻の設定 (34 <sup>(H)</sup> 、STM)				
㉘ 時刻の補正の設定 (35 <sup>(H)</sup> 、ACL)				
㉙ シークレット機能の設定 (FB <sup>(H)</sup> 、SES)	使用不可			
㉚ シークレット機能の解除 パスワードの登録 (FC <sup>(H)</sup> 、PAS)				
㉛ シークレット機能の確認 (FD <sup>(H)</sup> 、SEI)				
		パスワードは英数字4文字のこと		

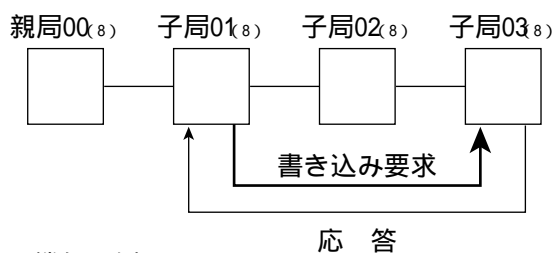
# 第 10 章 SEND・RECEIVE機能

## 10 - 1 SEND・RECEIVE機能について

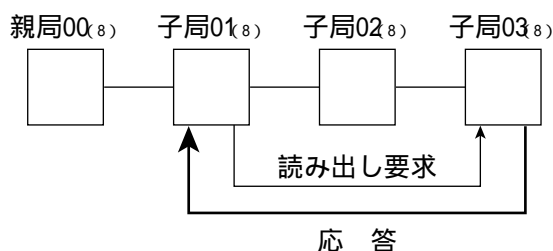
SEND・RECEIVE機能はデータリンクと異なりPLC間、またはPLCとパソコンとの間で必要なときに必要な局のデータを交換する機能です。

相手局を指定してデータを書き込む機能がSEND機能、データを読み出す機能がRECEIVE機能です。

SEND機能の例



RECEIVE機能の例

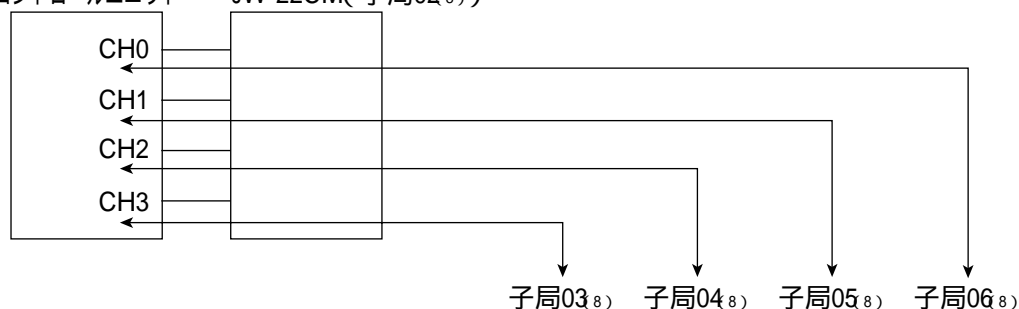


- ・この命令では、相手局からの応答(レスポンス)があると完了します。また、相手局PLCには特別なプログラムは不要です。相手局が上位コンピュータの場合、SEND・RECEIVE命令を解釈してレスポンスを返すためのプログラムが必要です。

ただし、上位コンピュータ側で本コマンドを解釈できないときは、SEND・RECEIVE命令を使用できません。

- ・SEND・RECEIVE機能において、コントロールユニットとJW-22CM間のデータ通路をチャンネルと呼びます。チャンネルは1ユニットにつきCH0～CH3の4つあり、各256バイトのデータを転送できます。よって、ラダープログラム上では同時に4つのSEND・RECEIVE機能を実行できます。

【例】コントロールユニット JW-22CM(子局02<sub>8</sub>)



## 10 - 2 2階層通信

SEND・RECEIVE機能では、サテライトネットの2階層通信が可能です。

ただし、下記の制限があります。

- ・JW20Hは中継局として使用できません。
- ・ZW-98CM、ZW-20AXは相手局として使用できません。
- ・データ量は最大256バイトです。

## 10 - 3 起動方式

SEND・RECEIVE機能の起動方式として、「命令方式」と「データメモリ起動方式」があります。各方式の使用はチャンネル毎にパラメータで選択できます。

### 〔1〕命令方式

「命令方式」とは、専用命令(F-202等)を使用してSEND・RECEIVE機能を起動する方式で、JW30H/300へJW-22CMを実装時に使用できます。

【注】JW20HへJW-22CMを実装時には、命令方式を使用できません。

使用する専用命令	内 容	ページ
F - 2 0 2 ( O P C H )	相手局を指定する ( 1 階層 : 局番 8 進数設定 )	10・4
F - 2 0 3 ( O P C H )	相手局を指定する ( 1 階層 : 局番 16 進数設定 )	
F - 2 0 6 ( E O P 1 )	中継局、相手局を指定する ( 2 階層 )	10・8
F - 2 0 7 ( E O P 2 )		
F - 2 0 4 ( S E N D )	相手局へデータを書き込む	10・6
F - 2 0 5 ( R C V )	相手局からデータを読み出す	10・7

命令方式のプログラム例は、10・9-12ページを参照願います。

### 〔2〕データメモリ起動方式

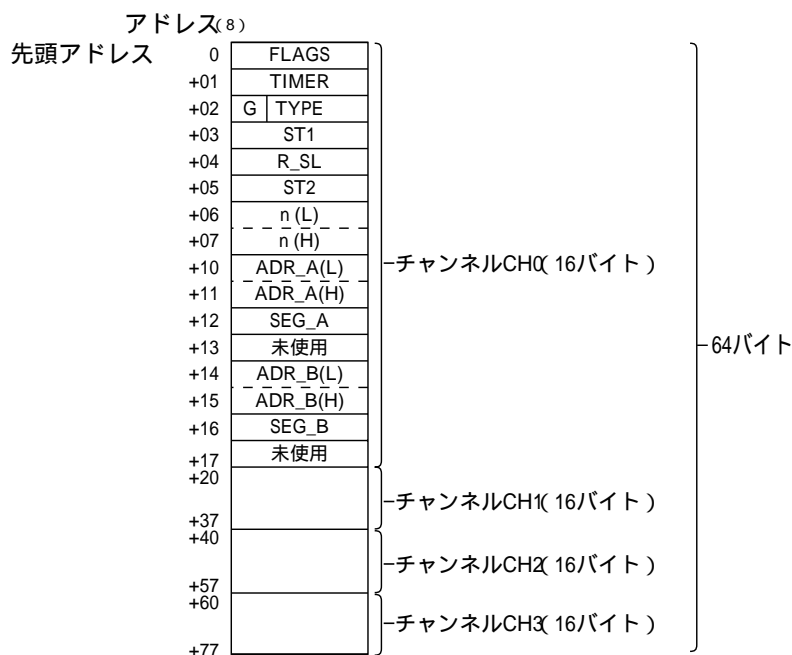
「データメモリ起動方式」とは、専用命令を使用せずに、SEND・RECEIVE機能を起動する方式です。相手局番、データメモリアドレス等を、指定のデータメモリ(通信情報格納領域)に設定します。また、複数のチャンネルを連結して使用すると、1回のSEND・RECEIVE動作で転送可能なデータ量を拡大できます。

- ・ 1チャンネル単独時、最大 256バイト
- ・ 2チャンネル連結時、最大 512バイト
- ・ 3チャンネル連結時、最大 768バイト
- ・ 4チャンネル連結時、最大1024バイト

このチャンネル連結はパラメータに設定します。 11・23、34ページ参照

#### 通信情報格納領域の設定内容

通信情報格納領域(64バイト)はパラメータに先頭アドレスを設定します。 11・24、35ページ参照



チャンネルCH1～CH3の各領域(16バイト)の内容は、CH0と同じです。



領域	入力 / 出力	内 容
FLAGS	入 力	フラグ(コ0735と同様。詳細 下表参照)
TIMER	出 力	通信監視時間001 <sub>(D)</sub> (0.1秒)~255 <sub>(D)</sub> (25.5秒)(初期値00 <sub>(D)</sub> は1秒)
G(7ビット目)	出 力	スタート指示。通信起動時、ONにする。
TYPE (0~6ビット目)	出 力	転送タイプ $\left[ \begin{array}{l} 00_{(H)}: \text{SEND(1階層)}, 01_{(H)}: \text{SEND(2階層)} \\ 02_{(H)}: \text{RCV(1階層)}, 03_{(H)}: \text{RCV(2階層)} \end{array} \right]$
ST1	出 力	1階層の場合、相手局番00~77 <sub>(8)</sub> 、2階層の場合、中継局番00~77 <sub>(8)</sub>
R_SL	出 力	・2階層の場合、中継局における次階層のユニット番号(中継局がJW50/70/100、JW50H/70H/100Hの場合、ラック/スロット番号を表わす)。 ・1階層の場合、無効。
ST2	出 力	2階層の場合、相手局番00~77 <sub>(8)</sub> 、1階層の場合、無効。
n	出 力	転送バイト数000~377 <sub>(8)</sub> (00 <sub>(8)</sub> は256バイト)
ADR_A	出 力	自局のファイルアドレス ・JW20Hのとき、ファイルアドレス000000~017777 <sub>(8)</sub> ・JW30Hのとき、ファイルアドレス000000~177777 <sub>(8)</sub> ・JW50H/70H/100Hのとき、ファイルアドレス000000~177777 <sub>(8)</sub> ・JW300のとき、アドレスn(000000~177777 <sub>(8)</sub> ) 16・26ページ参照
SEG_A	出 力	自局のファイル番号 ・JW20H - - 0 ・JW30H - - 0~3、10~2 <sub>(H)</sub> ・JW50H/70H/100H - - 0~7 ・JW300 - - fileN(00~8 <sub>(H)</sub> ) 16・26ページ参照
ADR_B	出 力	相手局のファイルアドレス(アドレスn)
SEG_B	出 力	相手局のファイル番号

入力：コントロールユニット JW-22CM  
出力：コントロールユニット JW-22CM

#### FLAGSの内容

FLAGSの値 <sub>(H)</sub>	内 容	ビット内容				
		7	6	5	4	3~0
0 0	非実行時	0	0	0	0	0
9 0	通信中。命令実行後、完了までの間。	1	0	0	1	0
4 0	正常終了	0	1	0	0	0
6 0	異常終了(通信におけるタイムアウト)	0	1	1	0	0
E 0	異常終了(エラーレスポンス)	1	1	1	0	0

データメモリ起動方式のプログラム例は、10・13ページを参照願います。

## 10 - 4 命令方式に使用する応用命令

SEND・RECEIVE 機能の命令方式に使用する応用命令( F-202等 )について説明します。

なお、命令方式は「 JW30H/300 に JW-22CM を実装時」に使用できます。

( JW20H に実装時は使用不可 )

### [ 1 ] F-202、F-203

**F-202 OPCH** オープンチャンネル( 1 階層 : 局番 8 進数設定 )

**F-203 OPCH** オープンチャンネル( 1 階層 : 局番 16 進数設定 )

#### ( 1 ) JW30H に実装時

JW-22CM を JW30H に実装時の F-202、F-203 命令は、次のとおりです。

シンボル	— F-202 OPCH	UN CH・ST	file N	n	— F-203 OPCH	UN CH・ST	file N	n
機能	サテライトネット( JW-22CM、JW-20CM )を使用した PLC 間データ交換用の相手局指定命令です。F-204( SEND )または F-205( RCV )命令と組み合わせて使用します。							
UN	使用範囲 0 ~ 6 : JW-22CM のユニット番号 ( ユニット No. スイッチの設定値 )							
CH	使用範囲 0 ~ 3 : 指定ユニット番号に対するチャンネル番号 PLC プログラム中で同じユニット番号を、CH0、CH1、CH2、CH3 と分けて 4 回使用可能です。							
ST	使用範囲 000 ~ 377 <sup>(8)</sup> 、00 ~ FF <sup>(H)</sup> : 通信相手局の局番 F-202 は 8 進数、F-203 は 16 進数を使用します。							
file N	使用範囲 0 ~ 3、10 ~ 2C <sub>H</sub> <sup>(X)</sup> ( JW30H )、0 ~ 7 ( JW50H/70H/100H ) : 通信相手局のファイル番号 } 1							
n	使用範囲 000000 ~ 177777 <sup>(8)</sup> : 通信相手局のファイルアドレス 【データ先頭アドレス】							
演算条件	入力信号が ON のとき ( OFF ON の変化時に限定されない )							
フラグ	不変							

1 通信相手が JW300 の場合、相手( JW300 )の「 FILE F、n 」を、JW30H の「 file N、n 」に変換してください。 次ページ参照

#### ( 2 ) JW300 に実装時

JW-22CM を JW300 に実装時の F-202、F-203 命令は、次のとおりです。

なお、機能、CH、ST、演算条件、フラグは上記( JW30H に実装時 )と同じです。

シンボル	— F-202 OPCH	UN CH・ST	FILE F	n	— F-203 OPCH	UN CH・ST	FILE F	n
UN	使用範囲 0 ~ 7 : JW-22CM のユニット番号 ( ユニット No. スイッチの設定値 )							
FILE F	使用範囲 0、1 : 通信相手局のファイル番号 } 2							
n	使用範囲 00000000 ~ 37777777 <sup>(8)</sup> : 通信相手局のファイル( バイト )アドレス 【データ先頭アドレス】							

2 通信相手が JW30H、JW50H/70H/100H の場合、相手( JW30H 等 )の「 file N、n 」を、JW300 の「 FILE F、n 」に変換してください。 次ページ参照

F-202、203 命令の入力信号は ON した後、命令実行終了( エラーフラグまたはキャリーフラグが ON する )まで ON のままにしておいてください。命令実行中に入力信号が OFF すると、命令は不完全な状態で終了します。この状態になると、次に F-202、203 命令を実行時に「通信渋滞」となり、命令は実行されません。復旧には PLC の電源を一度 OFF し、再投入してください。

F-202、203 命令は必ず、F-204( SEND )命令または F-205( RCV )命令と併用してください。

FILE F、n( JW300 )とfile N、n( JW30H )の相関関係

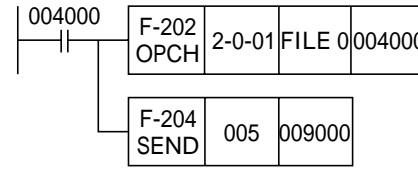
応用命令 F-202、F-203、F-207 で設定する「FILE F、n : JW300 に実装時」と「file N、n : JW30H に実装時」の相関関係は、次のとおりです。

JW300		JW30H		
ファイルアドレス (8)	FILE F	n	file N ( 16進 )	n
00000000 ~ 00177777	0 (ファイルレジスタ以外)	【ファイルアドレス】 00000000 ~ 00177777	00	000000 ~ 177777
00200000 ~ 00377777	1 (ファイルレジスタ)	【バイトアドレス】 00000000 ~ 00177777	01	000000 ~ 177777
00400000 ~ 00577777		00200000 ~ 00377777	02	000000 ~ 177777
00600000 ~ 00777777		00400000 ~ 00577777	03	000000 ~ 177777
01000000 ~ 01177777		00600000 ~ 00777777	04	000000 ~ 177777
01200000 ~ 01377777		01000000 ~ 01177777	05	000000 ~ 177777
01400000 ~ 01577777		01200000 ~ 01377777	06	000000 ~ 177777
01600000 ~ 01777777		01400000 ~ 01577777	07	000000 ~ 177777
02000000 ~ 02177777		01600000 ~ 01777777	08	000000 ~ 177777
04000000 ~ 04177777		03600000 ~ 03777777	10	000000 ~ 177777
04200000 ~ 04377777		04000000 ~ 04177777	11	000000 ~ 177777
04400000 ~ 04577777		04200000 ~ 04377777	12	000000 ~ 177777
04600000 ~ 04777777		04400000 ~ 04577777	13	000000 ~ 177777
05000000 ~ 05177777		04600000 ~ 04777777	14	000000 ~ 177777
05200000 ~ 05377777		05000000 ~ 05177777	15	000000 ~ 177777
05400000 ~ 05577777		05200000 ~ 05377777	16	000000 ~ 177777
05600000 ~ 05777777		05400000 ~ 05577777	17	000000 ~ 177777
06000000 ~ 06177777	05600000 ~ 05777777	18	000000 ~ 177777	
06200000 ~ 06377777	06000000 ~ 06177777	19	000000 ~ 177777	
06400000 ~ 06577777	06200000 ~ 06377777	1A	000000 ~ 177777	
06600000 ~ 06777777	06400000 ~ 06577777	1B	000000 ~ 177777	
07000000 ~ 07177777	06600000 ~ 06777777	1C	000000 ~ 177777	
07200000 ~ 07377777	07000000 ~ 07177777	1D	000000 ~ 177777	
07400000 ~ 07577777	07200000 ~ 07377777	1E	000000 ~ 177777	
07600000 ~ 07777777	07400000 ~ 07577777	1F	000000 ~ 177777	
10000000 ~ 10177777	07600000 ~ 07777777	20	000000 ~ 177777	
10200000 ~ 10377777	10000000 ~ 10177777	21	000000 ~ 177777	
10400000 ~ 10577777	10200000 ~ 10377777	22	000000 ~ 177777	
10600000 ~ 10777777	10400000 ~ 10577777	23	000000 ~ 177777	
11000000 ~ 11177777	10600000 ~ 10777777	24	000000 ~ 177777	
11200000 ~ 11377777	11000000 ~ 11177777	25	000000 ~ 177777	
11400000 ~ 11577777	11200000 ~ 11377777	26	000000 ~ 177777	
11600000 ~ 11777777	11400000 ~ 11577777	27	000000 ~ 177777	
12000000 ~ 12177777	11600000 ~ 11777777	28	000000 ~ 177777	
12200000 ~ 12377777	12000000 ~ 12177777	29	000000 ~ 177777	
12400000 ~ 12577777	12200000 ~ 12377777	2A	000000 ~ 177777	
12600000 ~ 12777777	12400000 ~ 12577777	2B	000000 ~ 177777	
13000000 ~ 13177777	12600000 ~ 12777777	2C	000000 ~ 177777	
13200000 ~ 13377777	13000000 ~ 13177777	2D	000000 ~ 177777	
40000000 ~ 40177777		37600000 ~ 37777777	80	000000 ~ 177777

**F-204 SEND 送信命令**

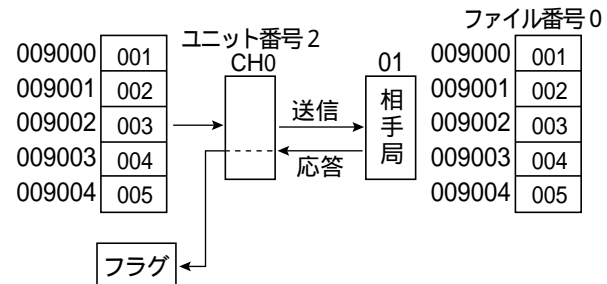
シンボル	F-204 SEND    n    S					
機能	衛星ネット間データ通信の送信 (先頭アドレスと送信バイト数を指定)					
演算内容	S ~ S+n-1 → 指定局					
n	使用範囲 000 ~ 377 <sup>(8)</sup> (000 <sup>(8)</sup> のとき256バイト)					
S	JW30H, JW300のプログラミングマニュアルを参照					
演算条件	入力信号の立上り(OFF ON)					
演算後の内容	S	不変				
	フラグ	通信内容	ゼロ 007357	キャリー 007356	エラー 007355	ノンキャリー 007354
		ポートからの 応答なし <sup>1</sup>	0	0	1	0
		通信渋滞 <sup>2</sup>	0	0	0	1
		通信中 (相手からの 応答待ち)	1	0	0	1
		正常終了	0	1	0	0
		異常終了 <sup>3</sup> (通信エラー)	0	1	1	0
		相手局が 書込禁止	1	1	1	0

[ JW300の使用例 ]



命 令	
STR	004000
F-202	2-0-01 FILE 0 004000
F-204	005 009000

入力条件004000がOFF ONの変化時に、レジスタ009000~009004の内容(5バイトデータ)を、ユニット番号2のCH0を通して衛星ネット01局のファイル番号0、ファイルアドレス00004000(レジスタ009000)に送信します。



1 指定のユニット番号のネットワークユニットが実装されていないとき

2 設定したチャンネル番号を、他の SEND・RECEIVE 命令で使用している場合です。

実行中の他の命令が終了後に本命令が実行され、フラグは「通信渋滞」から「通信中」の状態に変わります。

3 相手局からの応答がタイムアウト時間以内に無いとき

F-204 命令は、必ず次の命令と併用してください。

1 階層通信のとき、F-202 または F-203

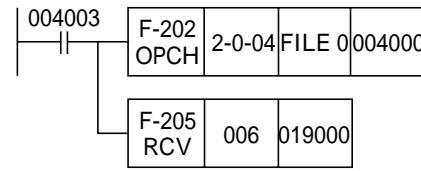
2 階層通信のとき、F-206 と F-207

F-204 命令の入力信号は ON した後、命令実行終了(エラーフラグまたはキャリーフラグが ON する)まで ON のままにしておいてください。命令実行中に入力信号が OFF すると、命令は不完全な状態で終了します。この状態になると、次に F-204 命令を実行時に「通信渋滞」となり、命令は実行されません。復旧には PLC の電源を一度 OFF し、再投入してください。

**F-205 RCV** 受信命令

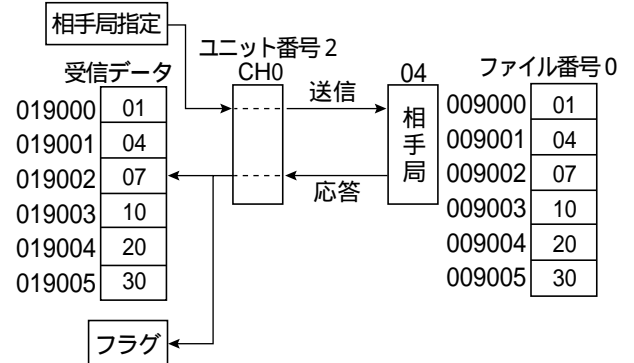
シンボル	— F-205 RCV    n    D					
機能	衛星ネット間データ通信の受信 (先頭アドレスと受信バイト数を指定)					
演算内容	指定局 → D ~ D+n-1					
n	使用範囲 000 ~ 377 <sup>(8)</sup> (000 <sup>(8)</sup> のとき256バイト)					
D	JW30H、JW300のプログラミングマニュアルを参照					
演算条件	入力信号の立上り(OFF ON)					
演算後の内容	D	演算結果				
	フラグ	通信内容	ゼロ 007357	キャリア 007356	エラー 007355	ノンキャリア 007354
		ポートからの 応答なし 1	0	0	1	0
		通信渋滞 2	0	0	0	1
		通信中 (相手からの 応答待ち)	1	0	0	1
		正常終了	0	1	0	0
異常終了 3 (通信エラー)	0	1	1	0		

[ JW300の使用例 ]



命 令	
STR	004003
F-202	2-0-04 FILE 0 004000
F-205	006 019000

入力条件004003がOFF ONの変化時に、ユニット番号2のCH0を通して、衛星ネット04局のファイル番号0、ファイルアドレス004000から6バイトのデータを読み出します。読み出したデータはレジスタ019000 ~ 019005に格納します。



- 1 指定のユニット番号のネットワークユニットが実装されていないとき
- 2 設定したチャンネル番号を、他の SEND・RECEIVE 命令で使用中的の場合です。  
実行中の他の命令が終了後に本命令が実行され、フラグは「通信渋滞」から「通信中」の状態に変わります。
- 3 相手局からの応答がタイムアウト時間以内に無いとき

F-205 命令は、必ず次の命令と併用してください。

- 1 階層通信のとき、F-202 または F-203
- 2 階層通信のとき、F-206 と F-207

F-205 命令の入力信号は ON した後、命令実行終了(エラーフラグまたはキャリアフラグが ON する)まで ON のままにしておいてください。命令実行中に入力信号が OFF すると、命令は不完全な状態で終了します。この状態になると、次に F-205 命令を実行時に「通信渋滞」となり、命令は実行されません。復旧には PLC の電源を一度 OFF し、再投入してください。

[ 4 ] F-206、F-207

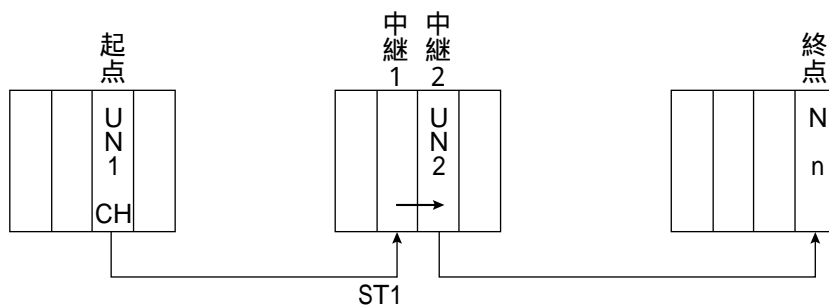
- F-206  
EOP1 オープンチャンネル 1(階層通信設定)
- F-207  
EOP2 オープンチャンネル 2(階層通信設定)

( 1 ) JW30Hに実装時

JW-22CM を JW30H に実装時の F-206、F-207 命令は、次のとおりです。

シンボル	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">F-206 EOP1</span> UN1,CH ST1 UN2	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">F-207 EOP2</span> ST2 file N n
機能	衛星ネット(JW-22CM、JW-20CM)を使用したPLC間データ交換用の相手局指定命令です。F-206(EOP1)はF-207(EOP2)、F-204(SEND)またはF-205(RCV)命令と組み合わせて使用します。	
UN1	使用範囲 0 ~ 6 : SEND、RECEIVE命令の起点となるユニットのユニット番号	
UN2	使用範囲 0 ~ 7 : SEND、RECEIVEの中継局 2 となるユニットのユニット番号 (注)中継局 2 がJW50H/70H/100Hのとき、スロット番号となる。	
CH	使用範囲 0 ~ 3 : SEND、RECEIVE命令の起点となるユニットのチャンネル番号	
ST1	使用範囲 00 ~ 77 <sup>(8)</sup> : SEND、RECEIVE命令の中継局 1 の局番	
ST2	使用範囲 00 ~ 77 <sup>(8)</sup> : SEND、RECEIVE命令の終点局の局番	
file N	使用範囲 0 ~ 3、10 ~ 2CH(JW30H)、0 ~ 7(JW50H/70H/100H) : SEND、RECEIVE命令の終点局でのファイル番号	
n	使用範囲 000000 ~ 177777 <sup>(8)</sup> : SEND、RECEIVE命令の終点局でのファイルアドレス	
演算条件	入力信号がONのとき (OFF ONの変化時に限定されない)	
フラグ	不変	

1 通信相手が JW300 の場合、相手(JW300)の「FILE F、n」を、JW30Hの「file N、n」に変換してください。 10・5ページ参照



( 2 ) JW300 に実装時

JW-22CM を JW300 に実装時の F-206、F-207 命令は、次のとおりです。

なお、機能、UN2、CH、ST1、ST2、演算条件、フラグは上記(JW30Hに実装時)と同じです。

シンボル	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">F-206 EOP1</span> UN1,CH ST1 UN2	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">F-207 EOP2</span> ST2 FILE F n
UN1	使用範囲 0 ~ 7 : SEND、RECEIVE命令の起点となるユニットのユニット番号	
FILE F	使用範囲 0、1 : SEND、RECEIVE命令の終点局でのファイル番号	
n	使用範囲 00000000 ~ 37777777 <sup>(8)</sup> : SEND、RECEIVE命令の終点局でのファイルアドレス	

2 通信相手が JW30H、JW50H/70H/100H の場合、相手(JW30H等)の「file N、n」を、JW300の「FILE F、n」に変換してください。 10・5ページ参照

F-206、F-207、F-204の3命令、またはF-206、F-207、F-205の3命令は必ず併用してください。

# 10 - 5 命令方式のプログラム例

## 〔 1 〕 1階層通信の例

( 1 ) 子局03<sup>(8)</sup>へ 8 バイトのデータを書き込む例

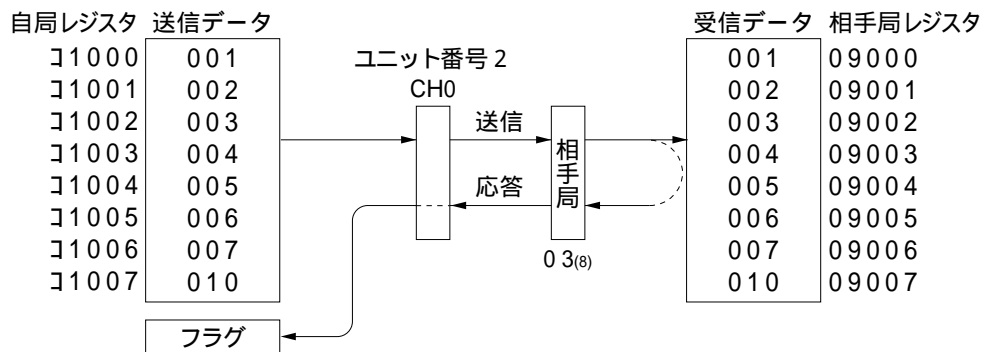
自局のJW-22CM実装ユニット番号： 2

自局のJW-22CM使用チャンネル番号： 0

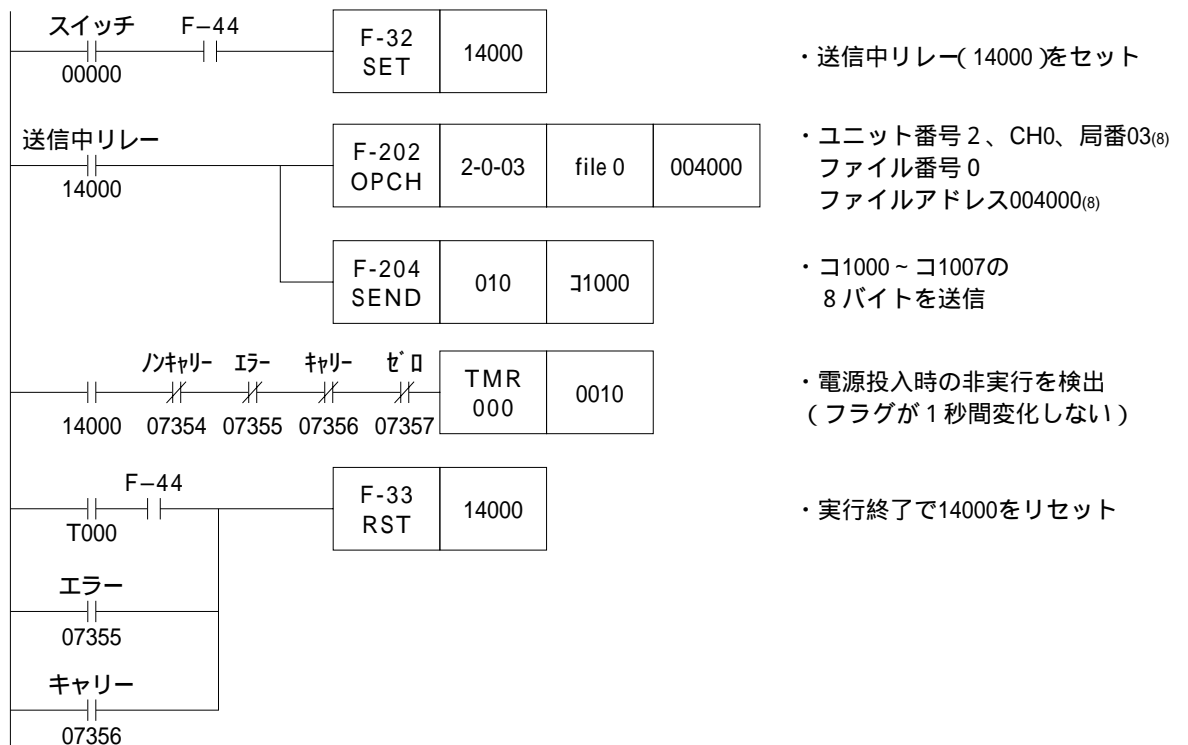
子局03<sup>(8)</sup>のデータ領域： 0(ファイル番号)

子局03<sup>(8)</sup>の受信先頭アドレス：レジスタ0900<sub>(8)</sub>(ファイルアドレス004000<sub>(8)</sub>)

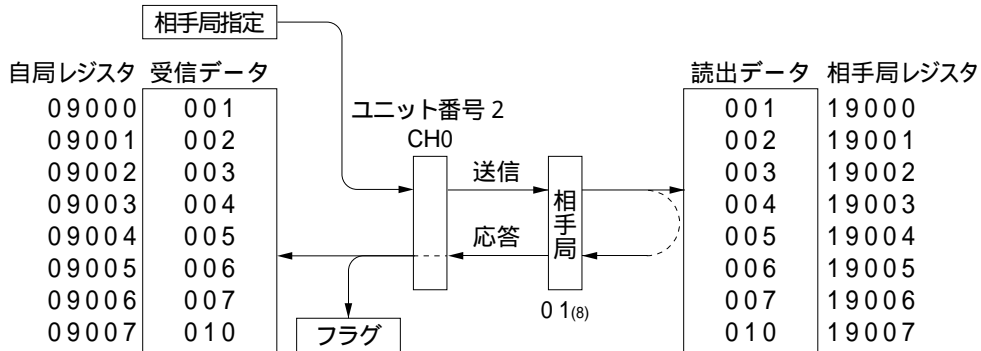
自局の送信データ先頭アドレス：コ1000



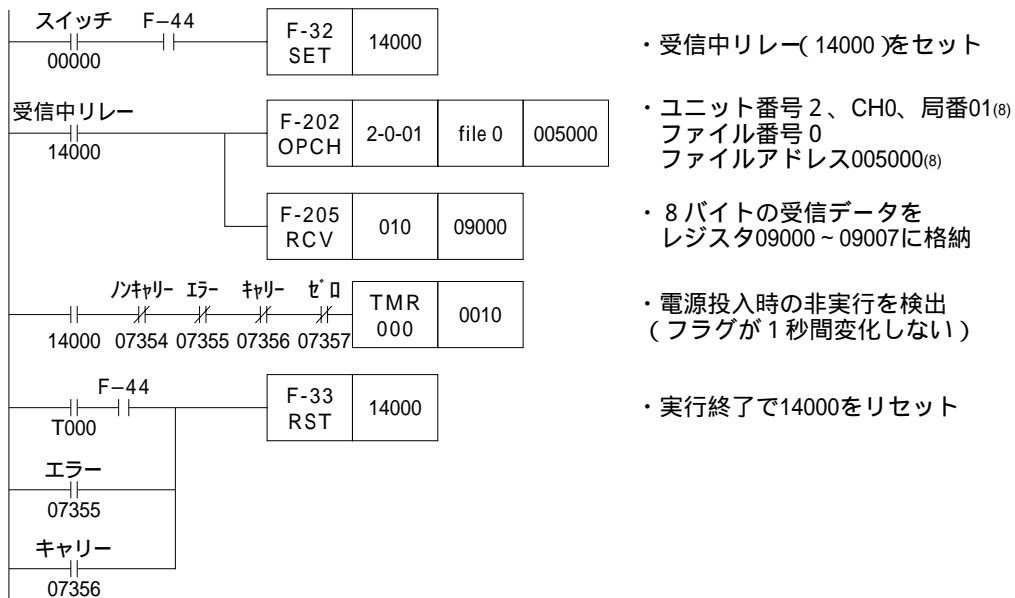
### PLCプログラム( JW30H )



- (2) 子局01(8)から8バイトのデータを読み出す例  
 自局のJW-22CM実装ユニット番号：2  
 自局のJW-22CM使用チャンネル番号：0  
 子局01(8)のデータ領域：0(ファイル番号)  
 子局01(8)の送信先頭アドレス：レジスタ19000(ファイルアドレス005000(8))  
 自局の受信データ先頭アドレス：09000



PLCプログラム( JW30H )



留意点

F-202、F-204、F-205命令の入力条件は、命令の実行終了(エラーフラグまたはキャリーフラグがONする)までONする必要があります。

・ 命令実行中に入力条件がOFFすると、命令は不完全な状態で終了します。この状態になると次に本命令を実行したときに「通信渋滞」となり、命令は実行されません。

復旧にはPLCの電源を一度OFFし、再投入してください。

なお、次の場合には対応を考慮してください。

・ 10ms以上の瞬停が発生して入力条件がOFFする場合

【対応】入力条件をキープリレーにしてください。

ただし、入力条件がキープリレーでF-204、F-205命令を実行中に完全に電源をOFFして、再度、電源を投入した場合には次のようになります。

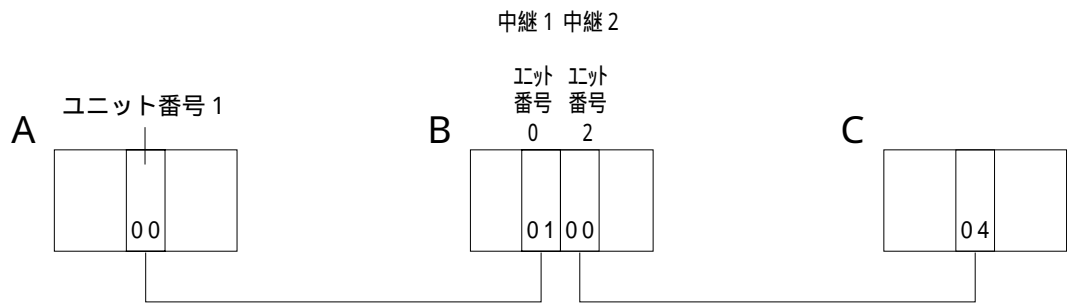
実行中であったF-204、F-205命令の処理は消え、入力条件もONのままのため入力の上りを検出できず、この命令は動作しません。

【対応】フラグ( 07354 ~ 07357 )がすべてOFFになりますので、これをタイマで検出して入力条件をリセット後に次命令を動作してください。

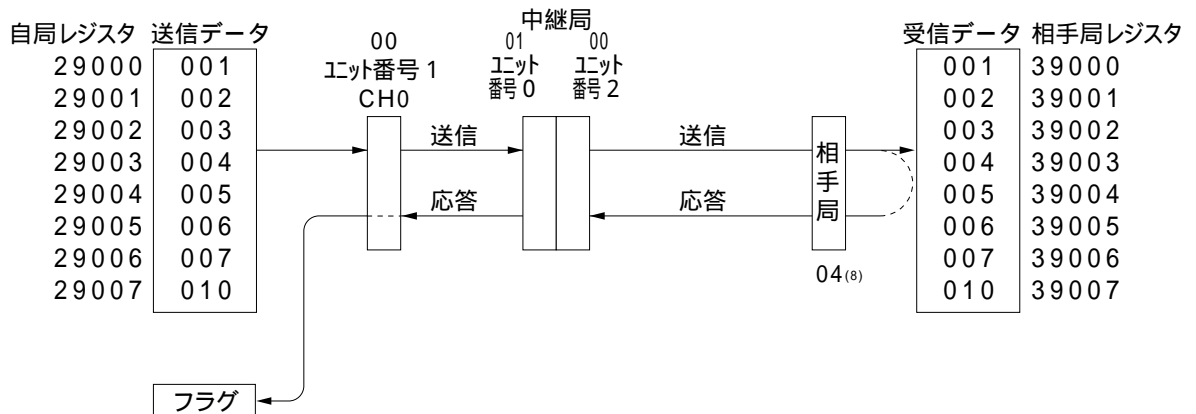


## 〔 2 〕 2 階層通信の例

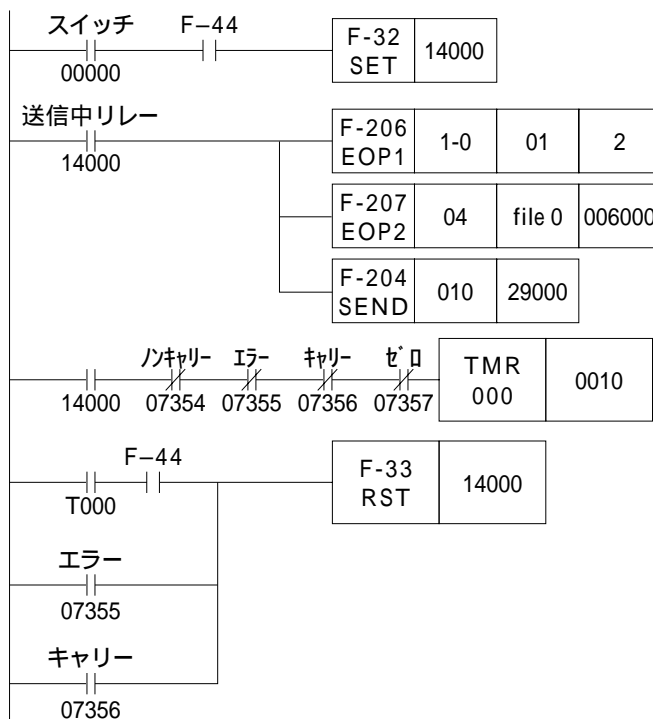
( 1 ) A の PLC から B の PLC を経由して、C の PLC にデータを書き込む例



自局の JW-22CM 実装ユニット番号 : 1  
 自局の JW-22CM 使用チャンネル番号 : 0  
 中継1の局番 : 01  
 中継2のユニット番号 : 2  
 相手局番 : 04  
 相手局のデータ領域 : 3900 (ファイル 0、ファイルアドレス 006000<sup>(8)</sup>)  
 自局の送信データ先頭アドレス : 29000



### PLC プログラム ( JW30H )



・送信中リレー( 14000 )をセット

#### 【自局】

ユニット番号 1、チャンネル番号 0  
 中継局 1 の局番 01、中継局 2 のユニット番号 2

**【相手局】** 局番 04、ファイル 0、  
 ファイルアドレス 006000 ( 39000 )

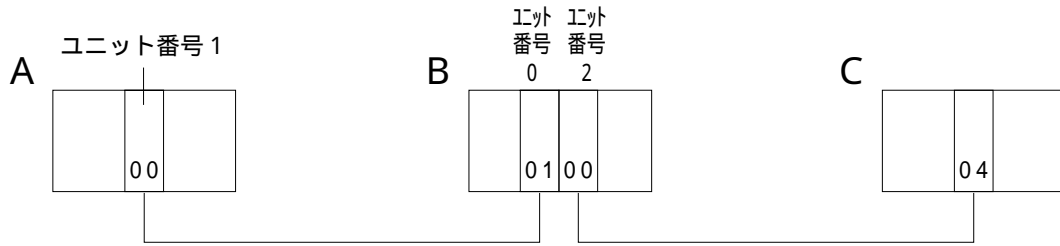
・ 29000 ~ 29007 の 8 バイト

・電源投入時の非実行を検出  
 ( フラグが 1 秒間変化しない )

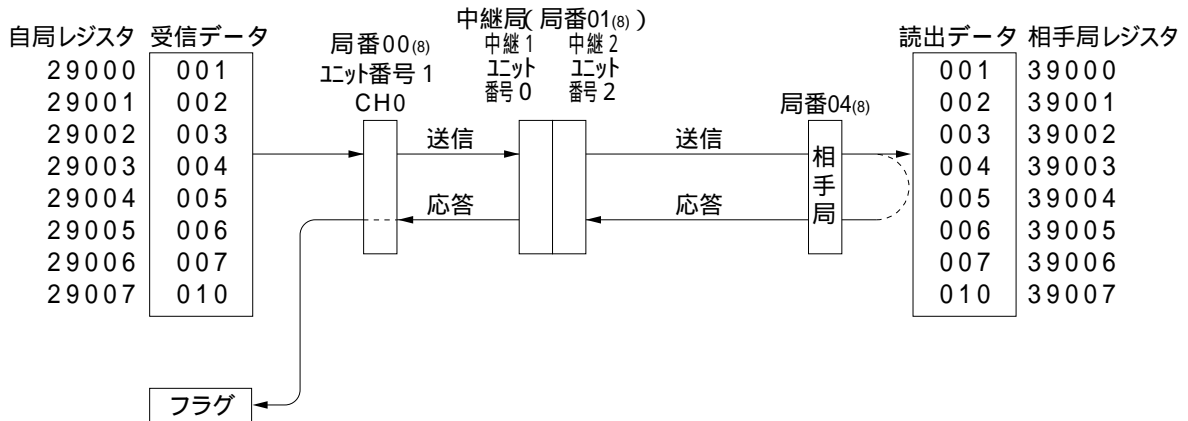
・実行終了で 14000 をリセット

( 2 ) C のPLCから B のPLCを経由して、 A のPLCにRCV命令でデータを読み出す例

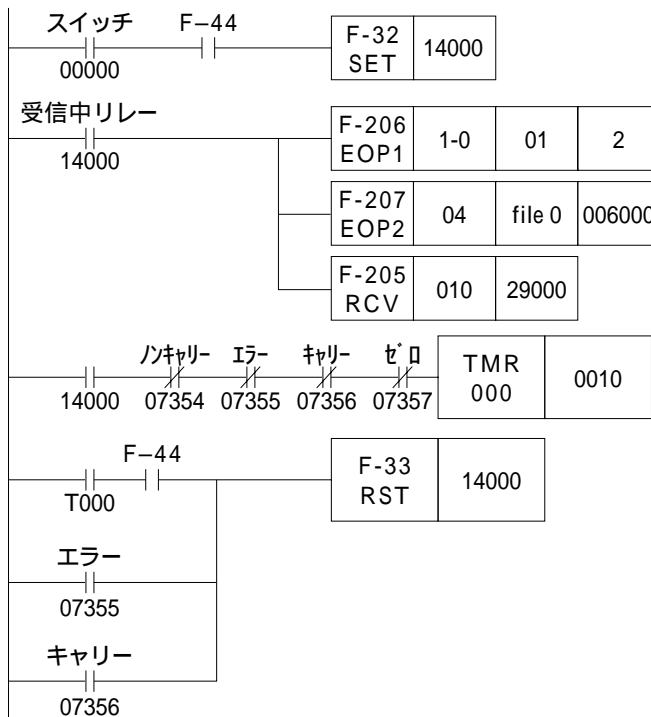
中継 1 中継 2



自局のJW-22CM実装ユニット番号 : 1  
 自局のJW-22CM使用チャンネル番号 : 0  
 中継 1 の局番 : 01  
 中継 2 のユニット番号 : 2  
 相手局番 : 04  
 相手局のデータ領域 : 3900( ファイル 0、ファイルアドレス006000<sup>(8)</sup> )  
 自局の送信データ先頭アドレス : 29000



PLCプログラム( JW30H )



・ 受信中リレー( 14000 )をセット

【自局】

ユニット番号 1、チャンネル番号 0  
 中継局 1 の局番01、中継局 2 のユニット番号 2

【相手局】 局番04、ファイル 0、  
ファイルアドレス 006000( 39000 )

・ 29000 ~ 29007 の 8 バイト

・ 電源投入時の非実行を検出  
( フラグが 1 秒間変化しない )

・ 実行終了で14000をリセット

## 10 - 6 データメモリ起動方式のプログラム例

( 1 ) 子局03へ8バイトのデータを書き込む例

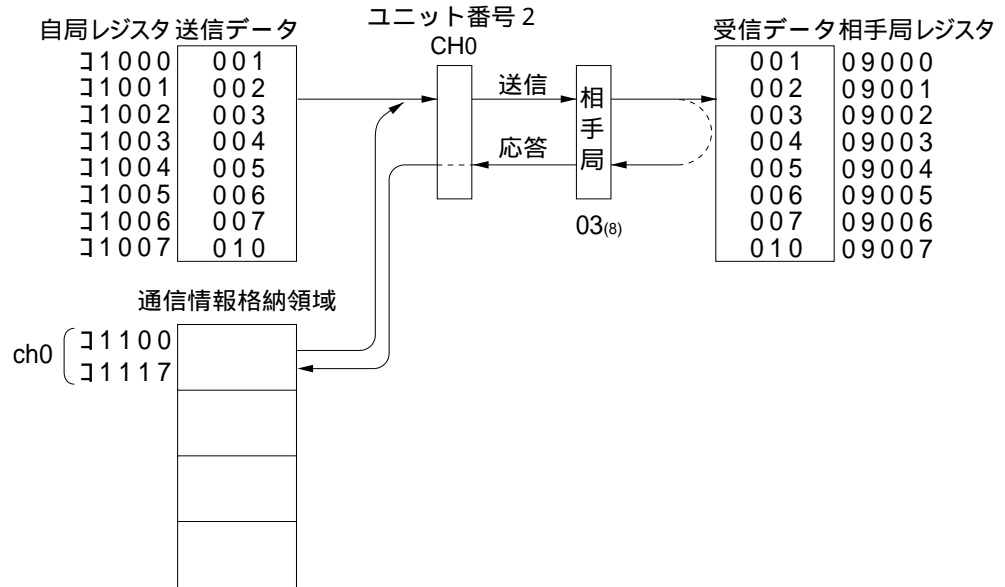
自局のJW-22CM実装ユニット番号： 2

自局のJW-22CM使用チャンネル番号： 0

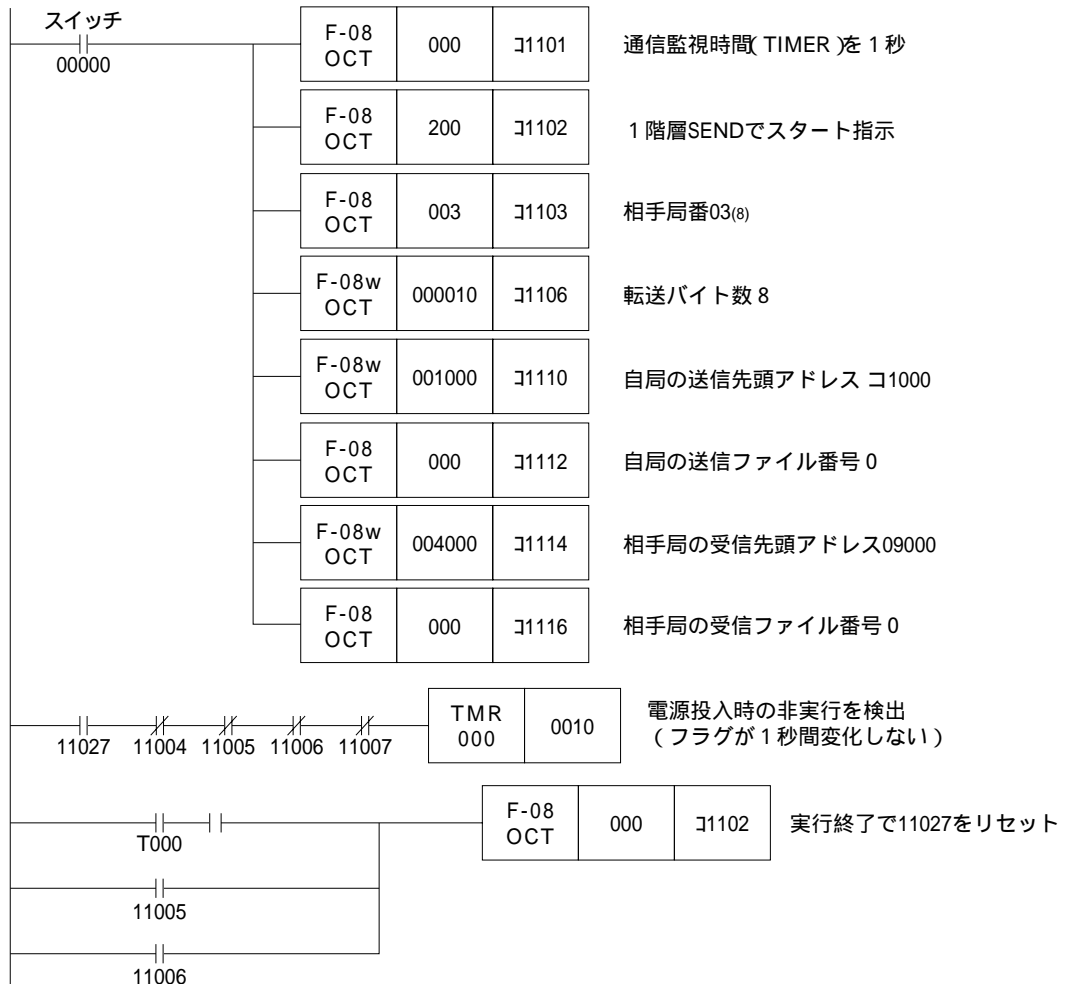
相手局のデータ領域： 0900( ファイル 0、ファイルアドレス00400( 8 ))

自局の送信データ先頭アドレス： 3100( ファイル 0、ファイルアドレス00100( 8 ))

通信情報格納領域の先頭アドレス： 3110



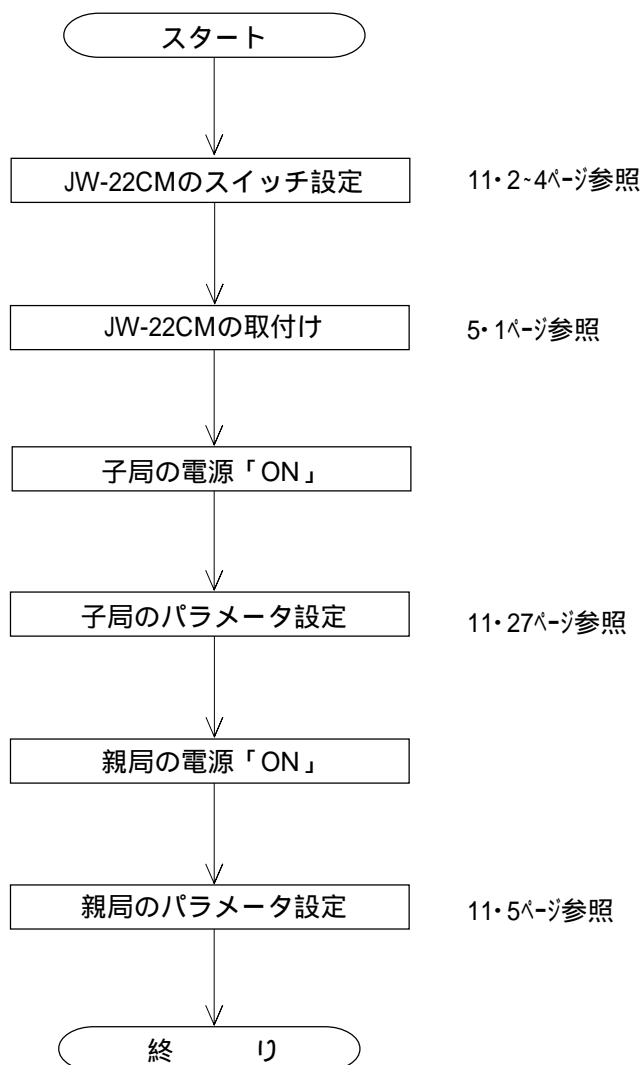
### PLCプログラム



# 第 11 章 スイッチおよびパラメータ設定

JW-22CM のスイッチ、パラメータ(親局 / 子局)の設定について説明します。

## 11 - 1 操作手順



### 留意点

- ・ JW-22CMを取り付け後にユニットNo.スイッチ、局番スイッチを設定する場合は、必ずPLC電源「OFF」の状態で行ってください。
- ・ パラメータの設定は、JW-22CMを実装するJW20H/30H/300のモードを「プログラムモード」に設定後、行ってください。  
JW20H/30Hのときは、設定対象のJW-22CMのモードを「プログラムモード」に設定してください。  
11・16、31ページ参照
- ・ パラメータを設定後、必ずJW-22CM内蔵のEEPROMへの書込み(転送)操作を行ってください。  
11・26、37ページ参照

## 11 - 2 親局および子局のスイッチ設定

JW-22CM(以下、本機)を使用する場合、以下のスイッチを設定してください。

### (1) 機種選択スイッチ(SL)

本機を実装するPLC機種を設定します。

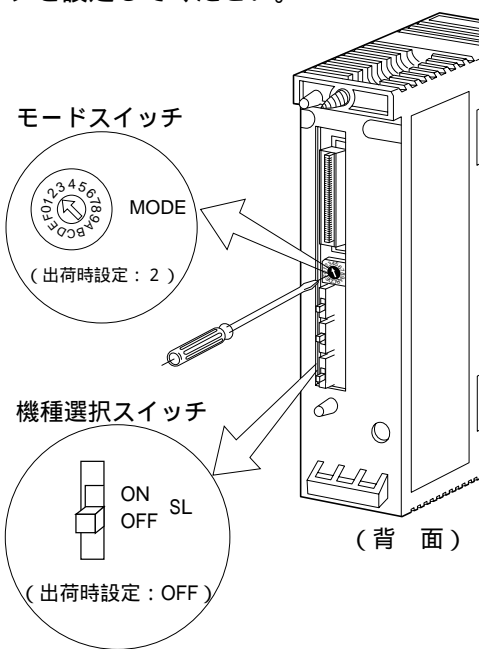
機種選択 スイッチ設定	実装 PLC 機種
ON	JW300
OFF	JW20H、JW30H

### (2) モードスイッチ(MODE)

親局/子局とデータリンク(標準機能/省メモリ機能)を設定します。

局	データリンク	モードスイッチ 設定値
親局	標準機能	2
子局	標準機能	2
	省メモリ機能	3

- ・モードスイッチは「0、1、4～F」に設定しないでください。
- ・コンピュータリンク機能は「2、3」のどちらにも含まれています。



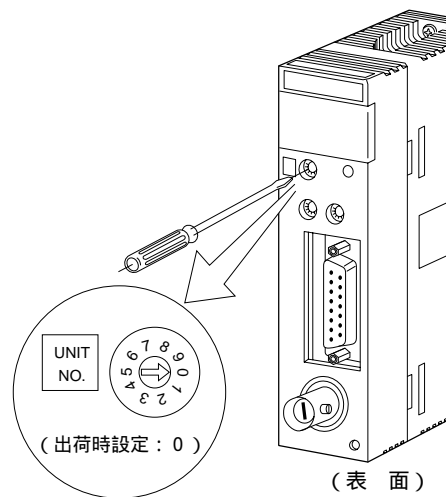
### (3) ユニットNo.スイッチ(UNIT NO.)

モードスイッチの設定値により、異常履歴格納レジスタ 1 および子局のデータリンク(省メモリ機能)時のエリアを設定します。

なお、ユニットNo.スイッチの設定値は、同じ基本ベースユニットに実装する他のオプションユニット(JW-22CMを含む)と重複させないでください。

モードスイッチ = 2(標準機能)の場合

ユニットNo. スイッチ設定値	異常履歴格納レジスタ		
	JW20H	JW30H	JW300
0	E1400 ~ E1577	E7400 ~ E7577	
1	E1200 ~ E1377	E7200 ~ E7377	
2	E1000 ~ E1177	E7000 ~ E7177	
3	E0600 ~ E0777	E6600 ~ E6777	
4	E0400 ~ E0577	E6400 ~ E6577	
5	E0200 ~ E0377	E6200 ~ E6377	
6	E0000 ~ E0177	E6000 ~ E6177	
7	設定禁止		E5600 ~ E5777
8、9	設定禁止		



モードスイッチ = 3(省メモリ機能)の場合

ユニットNo. スイッチ設定値	データリンク(省メモリ機能) 2		異常履歴格納レジスタ		
	リレーリンクエリア	レジスタリンクエリア	JW20H	JW30H	JW300
0	コ1000 ~ コ1077	09000 ~ 09777	E1400 ~ E1577	E7400 ~ E7577	
1	コ1100 ~ コ1177	19000 ~ 19777	E1200 ~ E1377	E7200 ~ E7377	
2	コ1200 ~ コ1277	29000 ~ 29777	E1000 ~ E1177	E7000 ~ E7177	
3	コ1300 ~ コ1377	39000 ~ 39777	E0600 ~ E0777	E6600 ~ E6777	
4	コ1400 ~ コ1477	49000 ~ 49777	E0400 ~ E0577	E6400 ~ E6577	
5 ~ 9	設定禁止				

1 JW30Hのときシステムメモリ # 210 = 02(H)、JW300のとき # 0213 = 02(H)の設定を要します。

2 リレーリンクエリアとレジスタリンクエリアの各先頭アドレスは、11・8-9ページの f<sub>1</sub> ~ f<sub>n</sub> と g<sub>1</sub> ~ g<sub>n</sub> に相当します。

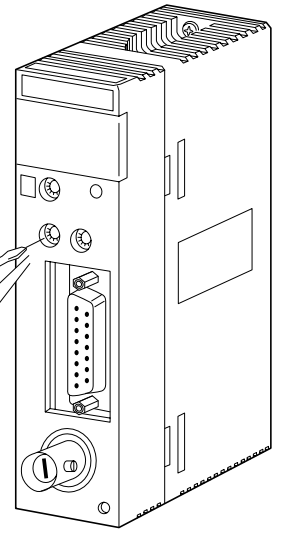
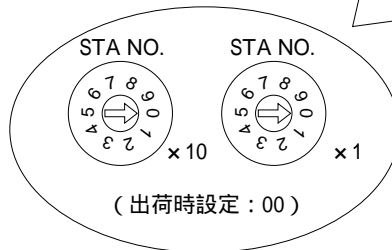
(4) 局番スイッチ(STA NO.)

親局の場合は必ず「00」に設定してください。子局の場合は「01」から順番に8進数で「01~77」を連続設定してください。

- ・接続できる子局数は63台です。また、局番は8進数設定のため下記の値を設定すると、エラーとなり通信しません。

08、09、18、19、28、29、38、39、48、49、58、59、68、69、78~99

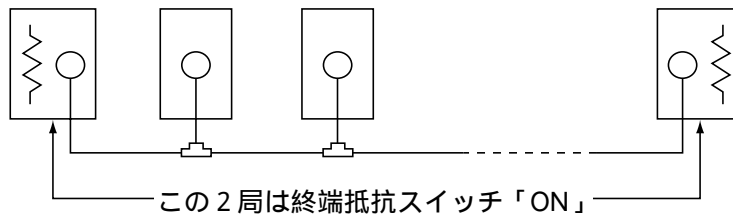
- ・重複や抜け番号がないように注意してください。



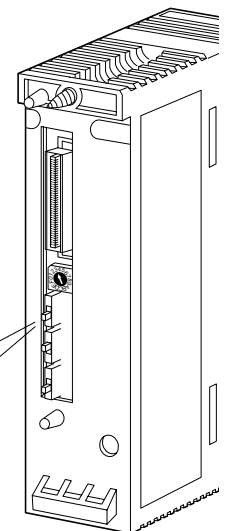
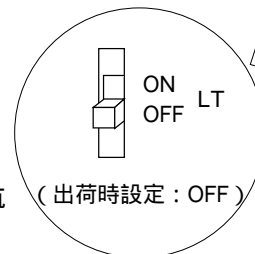
(表面)

(5) 終端抵抗スイッチ(LT)

本機が通信回線の両端局になるときは、終端抵抗スイッチを必ず「ON」に設定してください。

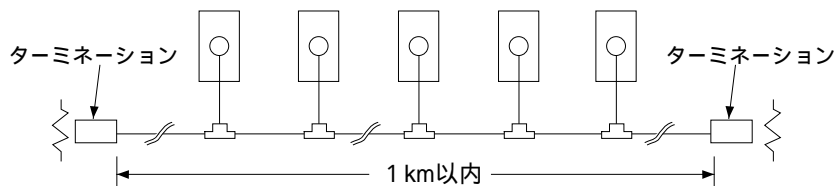


終端抵抗スイッチ設定	JW-22CMの状態
ON	終端抵抗を挿入する
OFF	終端抵抗を挿入しない



(背面)

- ・信号ケーブルの終端にターミネーション(東光電子製ME-75)を使用するときは、終端局の終端抵抗スイッチは「OFF」にしてください。



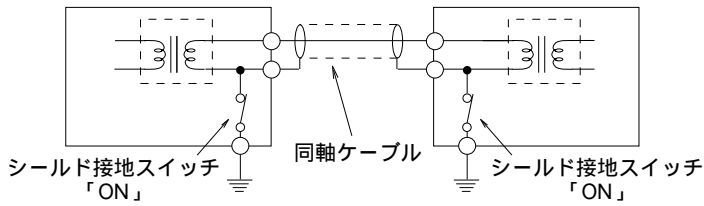
**参考** 終端抵抗が必要な理由

通信回線に終端抵抗が無い場合、回線終端で反射波が発生し、送信信号と衝突して正常に通信できません。終端抵抗により反射波の発生を防ぎます。なお、中間局の終端抵抗スイッチを「ON」にすると、その局で信号の反射・減衰が起こり、正常に通信できなくなります。

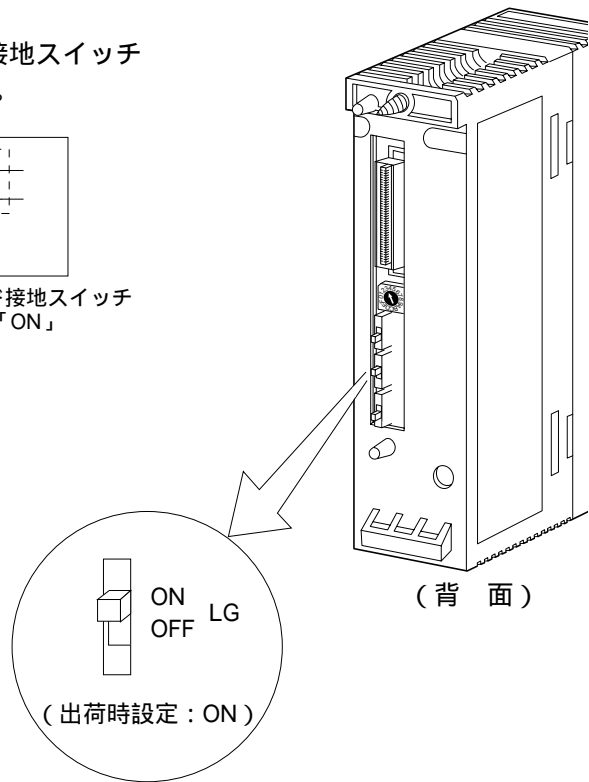
(6) シールド接地スイッチ(LG)

通信には同軸ケーブルを使用します。

同軸ケーブルは不平衡回線のため、シールド接地スイッチを「ON」にしてシールドを接地してください。

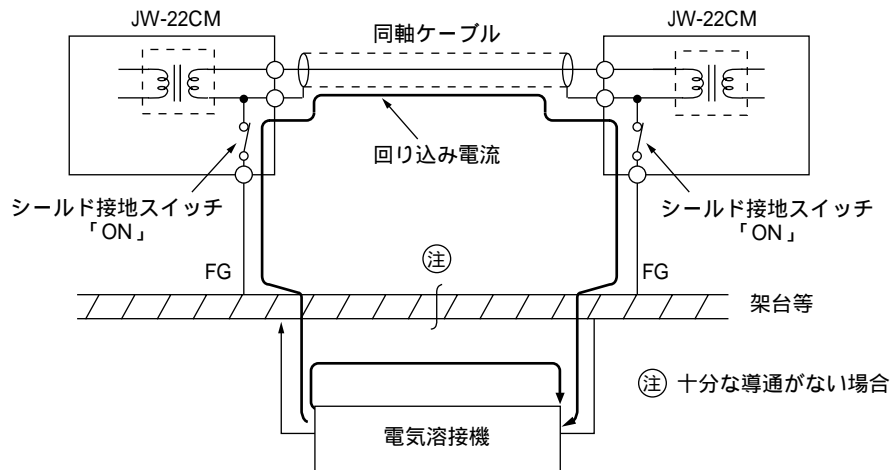


シールド接地スイッチ設定	JW-22CMの状態
ON	シールドとJW20H/30H/300のFG間が導通する
OFF	シールドとJW20H/30H/300のFG間が導通しない



留意点

- ・電源ユニットのGND端子は必ずD種接地をしてください。電源ユニットを接地しないと、シールド接地スイッチを「ON」しても大地と導通しません。 7・2ページ参照
- ・本機を設置している近くで電気溶接工事を行うときは、本機から同軸ケーブルを取り外してください。同軸ケーブルを取り付けた状態で溶接を行うと、溶接電流が回り込み、本機の回路パターンの一部が焼損する場合があります。



## 11 - 3 親局のパラメータ設定

## 〔 1 〕 設定内容

JW-22CMを親局として使用する場合、以下の項目をパラメータに設定してください。

- ・ JW-22CM を実装する PLC 機種( JW20H/30H、JW300 )によって、下記が異なります。

1. パラメータアドレス 下表参照
2. パラメータ設定に使用可能なサポートツール 14・1ページ参照
3. パラメータを設定するユニット

JW20H/30H のとき JW-22CM に、 JW300 のときコントロールユニット( JW-3\*\*CU )の本体パラメータ( 該当オプションNo. )に、パラメータを設定します。

- ・ 子局が JW-22CM の場合、パラメータアドレス 4004 ~ 4377<sub>(8)</sub>( 0004 ~ 0377<sub>(8)</sub> )と 4404 ~ 4777<sub>(8)</sub>( 0404 ~ 0777<sub>(8)</sub> )の設定内容は、子局のデータリンク( 標準機能 / 省メモリ機能 )設定により異なります。
- ・ パラメータの詳細は、16・8 - 23ページを参照願います。

11・7-9ページでの  
該当記号

設定項目	パラメータアドレス <sup>(8)</sup>				内 容 ( 設定範囲 )	
	JW20H/30H		JW300			
親局上でのリレーリンクエリアの先頭アドレス	4000 ~ 4001	00	0000 ~ 0001	00	ファイルアドレス <sup>(8)</sup> で設定 11・11-14ページ参照	a <sub>0</sub>
機能	4002	00	0002	00	リレー / レジスタリンクに設定 ( 01 <sub>(H)</sub> のみ )	-
接続局数	4003	00	0003	00	親局を含む局数を10進数で設定 ( 002 ~ 064 <sub>(D)</sub> )	-
子局01 <sub>(8)</sub> 上でのリレーリンクエリアの先頭アドレスまたはオフセットバイト数	4004 ~ 4007	00	0004 ~ 0007	00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子局がデータリンク ( 標準機能 ) のとき、先頭アドレスをファイルアドレス<sup>(8)</sup>で設定 11・11-14ページ参照</li> <li>・ 子局がデータリンク ( 省メモリ機能 ) のとき、オフセットバイト数を10進数で設定 ( 00000 ~ 00256<sub>(D)</sub> )</li> </ul>	a <sub>1</sub>
子局02 ~ 77 <sub>(8)</sub> 上でのリレーリンクエリアの先頭アドレスまたはオフセットバイト数	4010 ~ 4377	00	0010 ~ 0377	00		a <sub>2</sub> ~ a <sub>77</sub>
親局上でのレジスタリンクエリアの先頭アドレス	4400 ~ 4403	00	0400 ~ 0403	00	ファイルアドレス <sup>(8)</sup> で設定 11・11-14ページ参照	b <sub>0</sub>
子局01 <sub>(8)</sub> 上でのレジスタリンクエリアの先頭アドレスまたはオフセットバイト数	4404 ~ 4407	00	0404 ~ 0407	00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子局がデータリンク ( 標準機能 ) のとき、先頭アドレスをファイルアドレス<sup>(8)</sup>で設定 11・11-14ページ参照</li> <li>・ 子局がデータリンク ( 省メモリ機能 ) のとき、オフセットバイト数を10進数で設定 ( 00000 ~ 02048<sub>(D)</sub> )</li> </ul>	b <sub>1</sub>
子局02 ~ 77 <sub>(8)</sub> 上でのレジスタリンクエリアの先頭アドレスまたはオフセットバイト数	4410 ~ 4777	00	0410 ~ 0777	00		b <sub>2</sub> ~ b <sub>77</sub>
親局のリレーリンクエリアの送信バイト数	5000 ~ 5001	00	1000 ~ 1001	00	バイト数を10進数で設定 ( 00000 ~ 00256 <sub>(D)</sub> )	c <sub>0</sub>
子局01 <sub>(8)</sub> のリレーリンクエリアの送信バイト数	5002 ~ 5003	00	1002 ~ 1003	00	バイト数を10進数で設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子局がデータリンク( 標準機能 ) のとき 00000 ~ 00256<sub>(D)</sub></li> <li>・ 子局がデータリンク( 省メモリ機能 ) のとき 00000 ~ 00032<sub>(D)</sub></li> </ul>	c <sub>1</sub>
子局02 ~ 77 <sub>(8)</sub> のリレーリンクエリアの送信バイト数	5004 ~ 5177	00	1004 ~ 1177	00		c <sub>2</sub> ~ c <sub>77</sub>
親局のレジスタリンクエリアの送信バイト数	5200 ~ 5201	00	1200 ~ 1201	00	バイト数を10進数で設定 ( 00000 ~ 01024 <sub>(D)</sub> )	d <sub>0</sub>
子局01 <sub>(8)</sub> のレジスタリンクエリアの送信バイト数	5202 ~ 5203	00	1202 ~ 1203	00	バイト数を10進数で設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子局がデータリンク( 標準機能 ) のとき 00000 ~ 01024<sub>(D)</sub></li> <li>・ 子局がデータリンク( 省メモリ機能 ) のとき 00000 ~ 00256<sub>(D)</sub></li> </ul>	d <sub>1</sub>
子局02 ~ 77 <sub>(8)</sub> のレジスタリンクエリアの送信バイト数	5204 ~ 5377	00	1204 ~ 1377	00		d <sub>2</sub> ~ d <sub>77</sub>

↓  
次ページへ

↑ 初期値<sub>(H)</sub> ↑



設定項目	パラメータアドレス <sup>(8)</sup>				内容(設定範囲)	
	JW20H/30H		JW300			
SEND・RECEIVE命令の タイムアウト時間設定	7501 ~ 7577	00	3501 ~ 3577	00	タイムアウト時間を10進数で設定 001(0.1秒)~ 255(25.5秒)	-
SEND・RECEIVE機能において 各局のPLC機種設定	7601 ~ 7677	91	3601 ~ 3677	00	16進数で91 <sub>(H)</sub> を設定	-
SEND・RECEIVE機能において チャンネル毎の方式選択	7700 ~ 7703	00	3700 ~ 3703	00	CH0~CH3において、命令方式/データメモリ 起動方式を選択 (命令方式はJW30H/300で使用可能)	-
SEND・RECEIVE機能において データメモリ起動方式を使用時、 通信情報格納領域の 先頭アドレス	7710 ~ 7713	00	3710 ~ 3713	00	ファイル番号、ファイルアドレスで設定 ・通信情報格納領域(64バイト)の設定範囲は、 フラグ領域の設定範囲と同じです。 11・11・14ページ参照	-
子局の接続状況 (エラーコード出力)	7750 ~ 7757	00	3750 ~ 3757	00	各局に該当するビットを「ON」 16・14、22ページ参照	-
局番情報出力の有無	7763	00	3763	00	01 <sub>(H)</sub> に設定すると自局番号をデータメモリに格納 (格納領域はフラグ領域の24バイトに続く1バイト、 007767 <sub>(8)</sub> = 80 <sub>(H)</sub> 時に有効)	-
フラグ領域の先頭アドレス (通信およびPLC運転状態 監視用フラグ)	7764	E0	3764	00	ファイルアドレス下位	e <sub>0</sub>
	7765	01	3765	00	ファイルアドレス上位	
	7766	00	3766	00	ファイル番号	
	7767	80	3767	00	フラグ出力(する: 80 <sub>(H)</sub> 、しない: 00 <sub>(H)</sub> )	
JW20H/30Hのとき ・JW-22CMの 動作スタート/停止 ・JW-22CMのEEPROMへの 書込	7777	01	—	—	16進数で「00、01、08、80、81」を選択 16・14ページ参照	-
JW300のとき スタートスイッチ	—	—	3777	00	パラメータを設定(書込)時に00 <sub>(H)</sub> を設定し、 00 <sub>(H)</sub> 01 <sub>(H)</sub> へ変更時に、パラメータの設定内容 がコントロールユニットからJW-22CMへ転送	-

初期値<sub>(H)</sub>

- ・ ~ は、11・15ページの番号に対応しています。
- ・ 上記以外のパラメータアドレスは予約領域で、設定値変更禁止です。
- ・ 子局がJW-22CMの場合、先頭アドレスと送信バイト数の設定は、各領域の設定範囲内に行ってください。 11・7・14ページ参照
- ・ 子局がJW-22CM以外の場合には、各機器の取扱説明書(ユーザーズマニュアル)を参照願います。

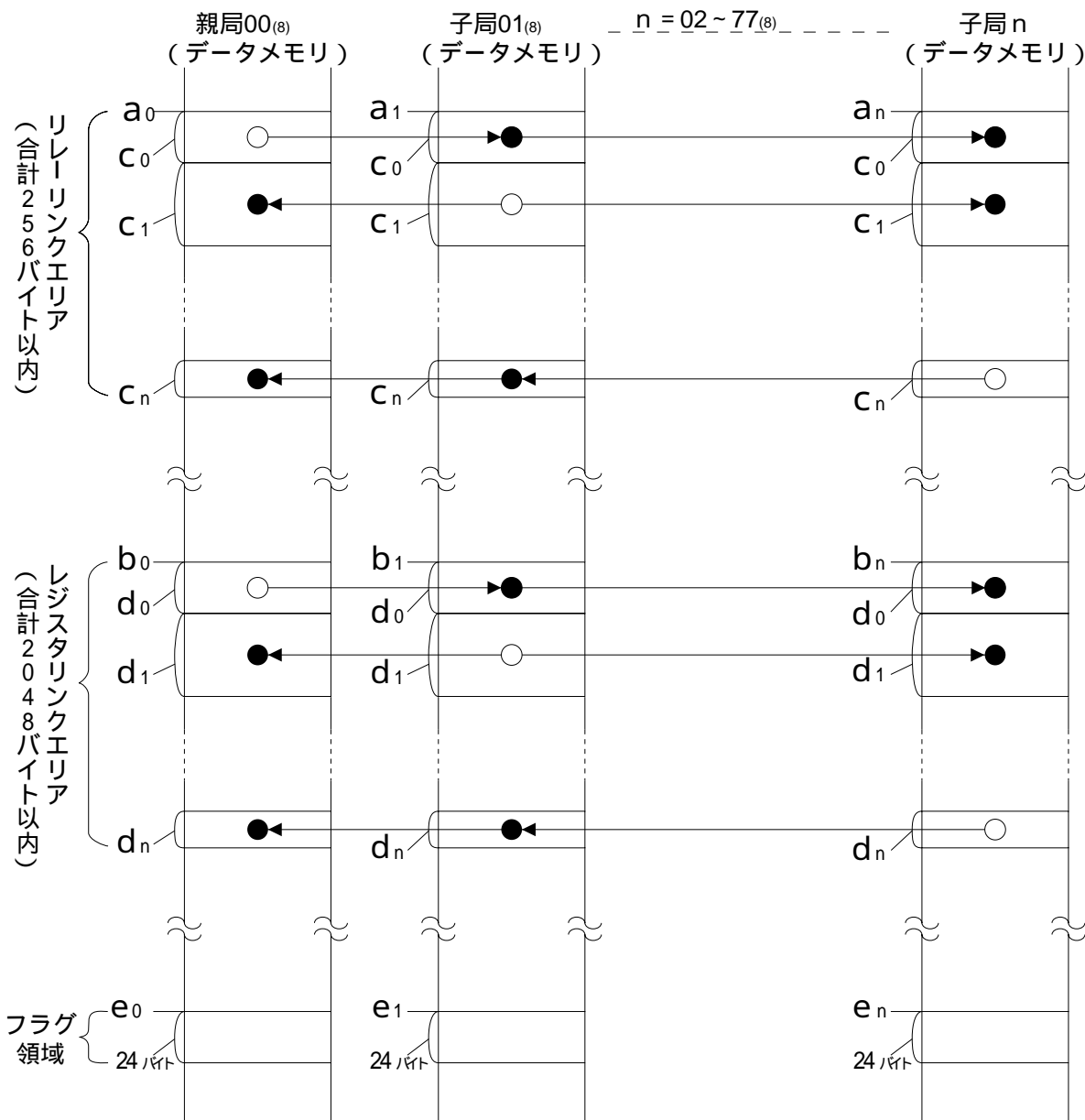
## 留意点

- ・ JW-22CMをJW300に実装時、パラメータの初期値はすべて00<sub>(H)</sub>となります。

〔 2 〕 通信エリアマップ

( 1 ) 親局と子局全てがJW-22CMで、データリンク(標準機能)に設定する場合

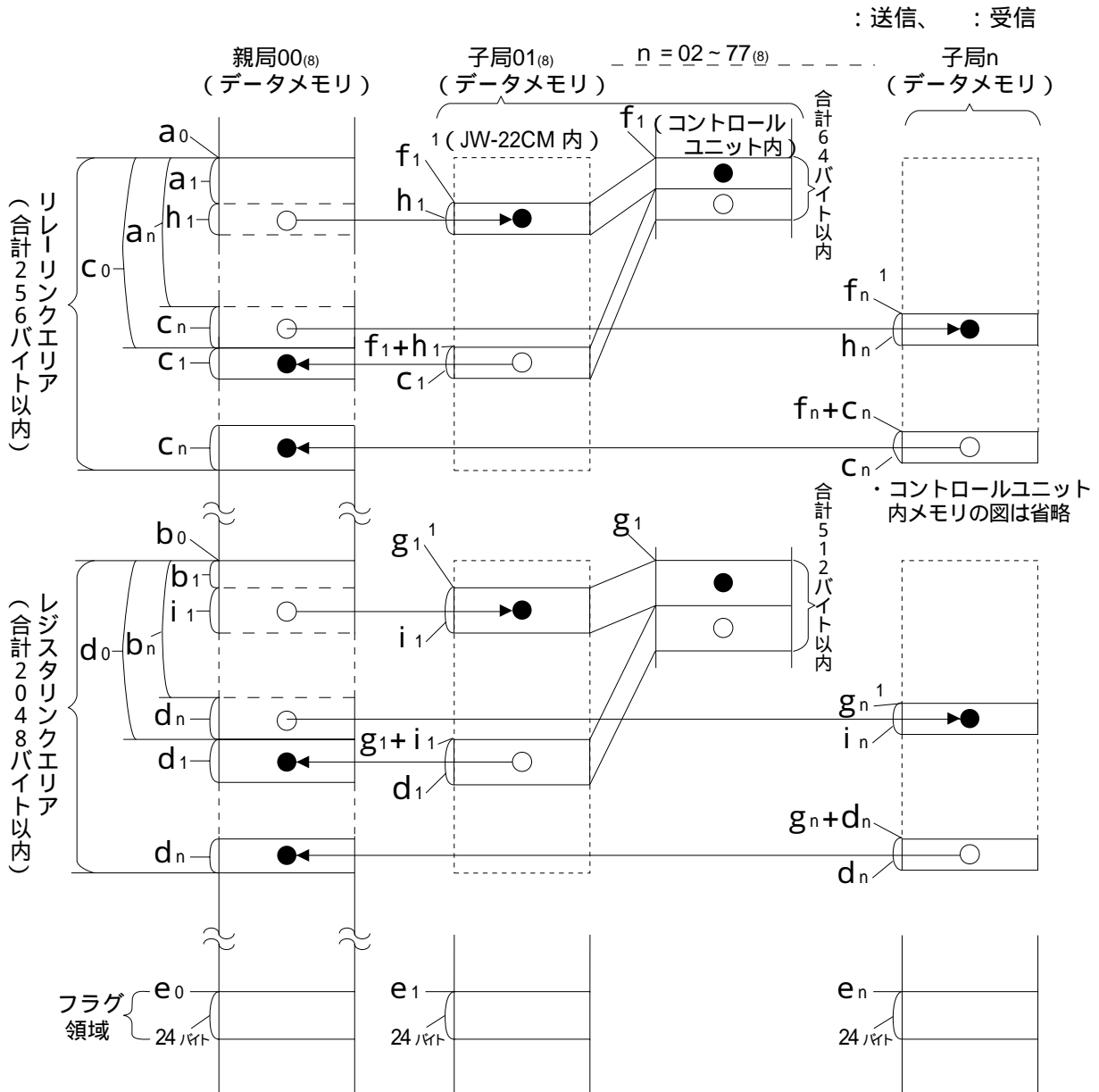
: 送信、 : 受信



- ・リレーリンクエリア、レジスタリンクエリア、フラグ領域は、11・11-13、28、29ページに記載の範囲内に設定してください。ただし、アドレスが重複しないようにしてください。
- ・上記 a<sub>0</sub> ~ e<sub>n</sub> は、親局 / 子局のパラメータで設定します。 11・5、6、27ページ参照

親局に設定するパラメータ	子局に設定するパラメータ
リレーリンクエリアの先頭アドレス a <sub>0</sub> 、a <sub>1</sub> ~ a <sub>n</sub>	フラグ領域の先頭アドレス (子局) e <sub>1</sub> ~ e <sub>n</sub>
レジスタリンクエリアの先頭アドレス b <sub>0</sub> 、b <sub>1</sub> ~ b <sub>n</sub>	/
リレーリンクエリアの送信バイト数 c <sub>0</sub> 、c <sub>1</sub> ~ c <sub>n</sub>	
レジスタリンクエリアの送信バイト数 d <sub>0</sub> 、d <sub>1</sub> ~ d <sub>n</sub>	
フラグ領域の先頭アドレス (親局) e <sub>0</sub>	

(2) 親局と子局全てがJW-22CMで、子局をデータリンク(省メモリ機能)に設定する場合  
 子局のコントロールユニット内メモリのアドレスは、受信・送信の順に連続します。



- ・リレーリンクエリア、レジスタリンクエリア、フラグ領域は、11・11、12、14、28、29ページの範囲内に設定してください。ただし、アドレスが重複しないようにしてください。
- ・上記の  $a_0 \sim e_n$  と  $h_1 \sim i_n$  は親局・子局のパラメータ(11・5、6、27ページ)で、1印の  $f_1$ 、 $f_n$ 、 $g_1$ 、 $g_n$  はJW-22CMのユニットNo.スイッチ(11・2ページ)で設定します。

親局に設定するパラメータ	子局に設定するパラメータ
リレーリンクエリアの先頭アドレス $a_0$ 、 $a_1 \sim a_n$	フラグ領域の先頭アドレス(子局) $e_1 \sim e_n$
レジスタリンクエリアの先頭アドレス $b_0$ 、 $b_1 \sim b_n$	リレーリンクエリアの受信バイト数 $h_1 \sim h_n$
リレーリンクエリアの送信バイト数 $c_0$ 、 $c_1 \sim c_n$	レジスタリンクエリアの受信バイト数 $i_1 \sim i_n$
レジスタリンクエリアの送信バイト数 $d_0$ 、 $d_1 \sim d_n$	
フラグ領域の先頭アドレス(親局) $e_0$	

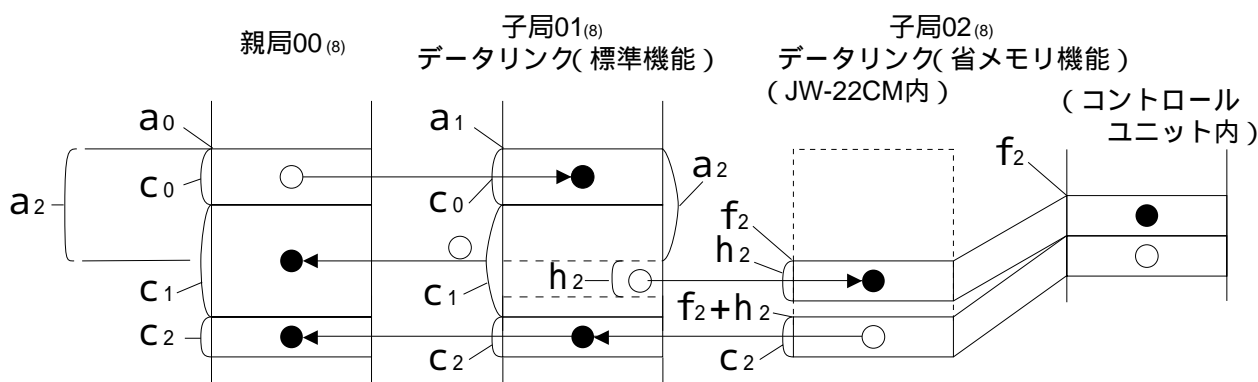
2 子局の受信バイト数(  $h_1 \sim h_n$ 、 $i_1 \sim i_n$  )

子局のパラメータ7720 ~ 7723(3720 ~ 3723)により、「個別設定」または「送信バイト数(  $c_1 \sim c_n$ 、 $d_1 \sim d_n$  )と同じ」を選択します。

- ・省メモリ機能における受信エリアは、リンクエリアの範囲内に設定してください。  
 $0 \ a_1$  リレーリンクエリア合計バイト数 -  $h_1$   
 $0 \ a_n$  リレーリンクエリア合計バイト数 -  $h_n$   
 $0 \ b_1$  レジスタリンクエリア合計バイト数 -  $i_1$   
 $0 \ a_n$  レジスタリンクエリア合計バイト数 -  $i_n$
- ・オフセットバイト数は親局の送信バイト数を越える設定もできます。  
 $a_1, a_n \ c_0$  および  $b_1, b_n \ d_0$
- ・先頭アドレス  $f_1, f_n, g_1, g_n$  の設定例  
 ユニットNo.スイッチの設定値が「2」の場合、 $f_1, f_n$ はコ1200、 $g_1, g_n$ は29000となります。

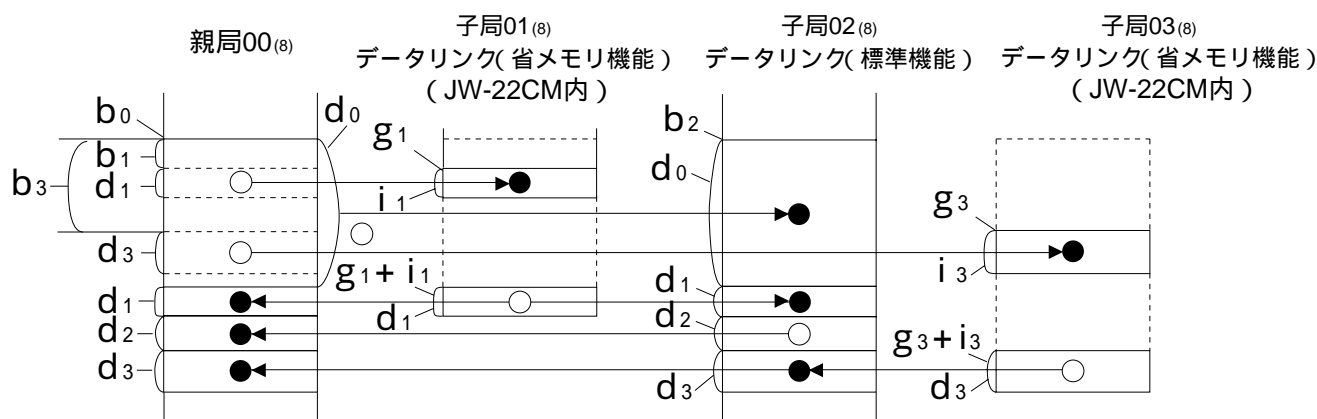
(3) 親局と子局全てがJW-22CMで、子局にデータリンク(標準機能)とデータリンク(省メモリ機能)が混在する場合  
 下記の記号は、親局のパラメータ(11・5、6ページ)およびJW-22CMのユニットNo.スイッチ(11・2ページ)で設定します。

- ・子局01をデータリンク(標準機能)、子局02をデータリンク(省メモリ機能)に設定時のリレーリンクエリアマップ例



〔 リレーリンクエリアの合計バイト数(  $C_0 + C_1 + C_2$  ) 256バイト  
 $C_2 + h_2$  64バイト  $0 \ a_2 \ C_0 + C_1$  〕

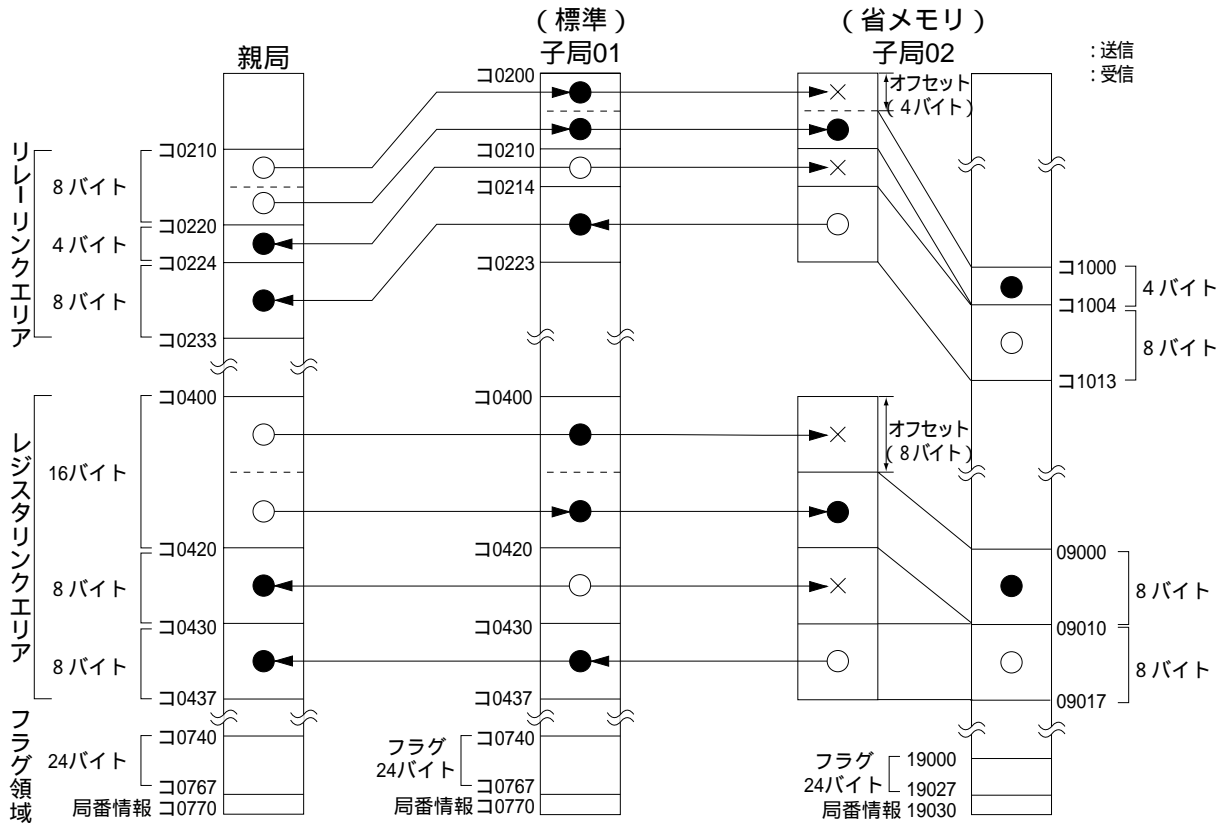
- ・子局01、03をデータリンク(省メモリ機能)、子局02をデータリンク(標準機能)に設定時のレジスタリンクエリアマップ例



〔 レジスタリンクエリアの合計バイト数(  $d_0 + d_1 + d_2 + d_3$  ) 2048バイト  
 $0 \ b_1 \ d_0 + d_2 + d_3 \ 0 \ b_3 \ d_0 + d_1 + d_2$   
 $i_1 + d_1 \ 512 \ i_3 + d_3 \ 512$  〕

設定例

親局と子局01、02はJW-22CMで、子局01はデータリンク(標準機能)、子局02はデータリンク(省メモリ機能)に設定時の例を示します。



	親局	子局01(標準)	子局02(省メモリ)
リレーリンクエリアの先頭アドレス	コ0210	コ0200	コ1000
リレーリンクエリアのオフセットバイト数			4バイト
リレーリンクの送信バイト数	8バイト	4バイト	8バイト
リレーリンクの受信バイト数			4バイト
レジスタリンクエリアの先頭アドレス	コ0400	コ0400	09000
レジスタリンクエリアのオフセットバイト数			8バイト
レジスタリンクの送信バイト数	16バイト	8バイト	8バイト
レジスタリンクの受信バイト数			8バイト
フラグ領域の先頭アドレス	コ0740	コ0740	19000
局番情報出力	あり	あり	あり

無印 — 親局のパラメータで設定  
— 子局のパラメータで設定  
— 子局のユニットNo.スイッチで設定

## 〔 3 〕 リレーリンクエリア、レジスタリンクエリア、フラグ領域の設定範囲

親局のリレーリンクエリア、レジスタリンクエリア、フラグ領域の先頭アドレスは、全体を通して割り付けたファイルアドレス(8)で設定し、リレーリンクエリア、レジスタリンクエリアの送信バイト数は、以下の設定範囲内に設定してください。フラグ領域は先頭アドレスから24バイトです。

・子局がJW-22CMでデータリンク(標準機能)に設定時、子局のリレーリンクエリア、レジスタリンクエリアの先頭アドレスと送信バイト数は、以下の設定範囲内に設定してください。

子局がJW-22CMでデータリンク(省メモリ機能)に設定時、子局のリレーリンクエリア、レジスタリンクエリアは、本機のユニットNo.スイッチの設定値(11・2ページ)で以下のように決まります。

## ( 1 ) 親局PLCがJW20Hの場合

親局、子局がJW-22CMで、  
データリンク(標準機能)に設定時

ファイル アドレス(8)		バイト アドレス			
000000		30000			
	入出力リレー				
000377		30377			
000400	補助リレー	30400			
000677		30677			
000700	キーブリレー	30700			
000777		30777			
001000	汎用リレー	31000			
001577		31577			
001600	TMR・CNTの限時接点				
001777					
002000	TMR・CNT・MD 現在値	b0000			
003777		b1777			
004000	レジスタ	09000			
004777		09777			
005000	レジスタ	19000			
005777		19777			
006000	レジスタ	29000			
006777		29777			
007000	レジスタ	39000			
007777		39777			
010000	レジスタ	49000			
010777		49777			
011000	レジスタ	59000			
011777		59777			
015000	レジスタ	99000			
015777		99777			
016000	レジスタ	E0000			
016777		E0777			
017000	レジスタ	E1000			
017777		E1777			

リレーリンクエリアの設定範囲

レジスタリンクエリアの設定範囲

フラグ領域の設定範囲

子局がJW-22CMで、  
データリンク(省メモリ機能)に設定時

ファイル アドレス(8)		バイト アドレス			
000000		30000			
001000	ユニットNo.0	31000			
	ユニットNo.1	31100			
	ユニットNo.2	31200			
	ユニットNo.3	31300			
	ユニットNo.4	31400			
001477					
001500		31500			
003777					
004000	ユニットNo.0	09000			
004777		09777			
005000	ユニットNo.1	19000			
005777		19777			
006000	ユニットNo.2	29000			
006777		29777			
007000	ユニットNo.3	39000			
007777		39777			
010000	ユニットNo.4	49000			
010777		49777			
011000		59000			
017777		E1777			

リレーリンクエリア

レジスタリンクエリア

フラグ領域の設定範囲

( 2 ) 親局PLCがJW30Hの場合

親局、子局がJW-22CMで、  
データリンク(標準機能)に設定時

ファイル アドレス(8)		バイト アドレス			
000000	リレー	00000	リレーリンクエリアの設定範囲	レジスタリンクエリアの設定範囲	
001577		01577			
001600		TMR・CNT 0000 ~ 0777 の接点			
001777					
002000		TMR・CNT・MD 0000 ~ 0777 の現在値			b0000
003777					b1777
004000		レジスタ			09000
007777					39777
010000		レジスタ			49000
015777					99777
016000		レジスタ			E0000
025777					E7777
026000		TMR・CNT 1000 ~ 1777 の現在値			b2000
027777					b3777
030000		リレー			02000
035577		07577			
035600	TMR・CNT 1000 ~ 1777 の接点				
035777					

000000	ファイル 1	↑	レジスタリンクエリアの設定範囲	フラグ領域の設定範囲
037777		1		
000000	ファイル 2	↓		
177777		2		
000000	ファイル 3	↓	レジスタリンクエリアの設定範囲	フラグ領域の設定範囲
177777		3		
000000	ファイル1QH)	↓		
177777		4		
000000	ファイル14H)		レジスタリンクエリアの設定範囲	フラグ領域の設定範囲
177777				
000000	ファイル2QH)		レジスタリンクエリアの設定範囲	フラグ領域の設定範囲
177777				

子局がJW-22CMで、  
データリンク(省メモリ機能)に設定時

ファイル アドレス(8)		バイト アドレス			
000000	リレー	00000	リレーリンクエリア	フラグ領域の設定範囲	
001000		ユニットNo.0			01000
		ユニットNo.1			01100
		ユニットNo.2			01200
		ユニットNo.3			01300
001477		ユニットNo.4			01400
001500					01500
003777					09000
004000		ユニットNo.0			09777
004777					19000
005000		ユニットNo.1			19777
005777					29000
006000		ユニットNo.2			29777
006777					39000
007000		ユニットNo.3			39777
007777		49000			
010000	ユニットNo.4	49777			
010777		59000			
011000					
015777		99777			
035777					

000000	ファイル 1	↑	レジスタリンクエリアの設定範囲	フラグ領域の設定範囲
037777		1		
000000	ファイル 2	↓		
177777		2		
000000	ファイル 3	↓	レジスタリンクエリアの設定範囲	フラグ領域の設定範囲
177777		3		
000000	ファイル1QH)	↓		
177777		4		
000000	ファイル14H)		レジスタリンクエリアの設定範囲	フラグ領域の設定範囲
177777				
000000	ファイル2QH)		レジスタリンクエリアの設定範囲	フラグ領域の設定範囲
177777				

1 JW-32CUH/H1 のとき( JW-32CUH1 は 000000 ~ 177777 または 000000 ~ 077777 )  
 2 JW-33CUH/H1 のとき      3 JW-33CUH2 のとき      4 JW-33CUH3 のとき

## (3) 親局PLCがJW300の場合

親局、子局がJW-22CMで、データリンク(標準機能)に設定時

ファイルアドレス(容量)					
JW-311CU JW-312CU	JW-321CU JW-322CU	JW-331CU JW-332CU	JW-341CU JW-342CU	JW-352CU	JW-362CU
00000000 <sub>(8)</sub> } 00073777 <sub>(8)</sub> (30K <sub>(1)</sub> ト)	00000000 <sub>(8)</sub> } 00105777 <sub>(8)</sub> (35K <sub>(1)</sub> ト)		00000000 <sub>(8)</sub> } 00177777 <sub>(8)</sub> (64K <sub>(1)</sub> ト)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リレー 30720点 (3.75K<sub>(1)</sub>ト)</li> <li>・TMR/CNT接点 1024点 (0.25K<sub>(1)</sub>ト)</li> <li>・TMR/CNT/MD の現在値 (2K<sub>(1)</sub>ト)</li> <li>・レジスタ (24K<sub>(1)</sub>ト)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リレー 53248点 (6.5K<sub>(1)</sub>ト)</li> <li>・TMR/CNT接点 2048点 (0.5K<sub>(1)</sub>ト)</li> <li>・TMR/CNT/MD の現在値 (4K<sub>(1)</sub>ト)</li> <li>・レジスタ (24K<sub>(1)</sub>ト)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リレー 180224点 (22K<sub>(1)</sub>ト)</li> <li>・TMR/CNT接点 8192点 (2K<sub>(1)</sub>ト)</li> <li>・TMR/CNT/MD の現在値 (16K<sub>(1)</sub>ト)</li> <li>・レジスタ (24K<sub>(1)</sub>ト)</li> </ul>		
ファイルレジスタ	00200000 <sub>(8)</sub> } 00277777 <sub>(8)</sub> (32K <sub>(1)</sub> ト)	00200000 <sub>(8)</sub> } 00577777 <sub>(8)</sub> (128K <sub>(1)</sub> ト)	00200000 <sub>(8)</sub> } 02177777 <sub>(8)</sub> (512K <sub>(1)</sub> ト)	00200000 <sub>(8)</sub> } 10177777 <sub>(8)</sub> (2048K <sub>(1)</sub> ト)	00200000 <sub>(8)</sub> } 40177777 <sub>(8)</sub> (8192K <sub>(1)</sub> ト)

リレーリンクエリアの設定範囲

レジスタリンクエリアの設定範囲

フラグ領域の設定範囲

JW300の場合、パラメータ(JW-22CM)の「レジスタリンクエリアとフラグ領域の先頭アドレス」には、間接アドレス指定の「fileN、アドレスn」を設定してください。  
 JW300のファイルアドレス(詳細)と「fileN、アドレスn」の関係は16・24・29ページを参照願います。



子局がJW-22CMで、データメモリ(省メモリ機能)に設定時

ファイルアドレス(容量)					
JW-311CU JW-312CU	JW-321CU JW-322CU	JW-331CU JW-332CU	JW-341CU JW-342CU	JW-352CU	JW-362CU
00000000 <sub>(8)</sub> 00073777 <sub>(8)</sub> (30Kバイト)	00000000 <sub>(8)</sub> 00105777 <sub>(8)</sub> (35Kバイト)		00000000 <sub>(8)</sub> 00177777 <sub>(8)</sub> (64Kバイト)		バイト アドレス
00001000 <sub>(8)</sub> 00001077 <sub>(8)</sub>		ユニットNo. 0			301000 301077
00001100 <sub>(8)</sub> 00001177 <sub>(8)</sub>		ユニットNo. 1			301100 301177
00001200 <sub>(8)</sub> 00001277 <sub>(8)</sub>		ユニットNo. 2			301200 301277
00001300 <sub>(8)</sub> 00001377 <sub>(8)</sub>		ユニットNo. 3			301300 301377
00001400 <sub>(8)</sub> 00001477 <sub>(8)</sub>		ユニットNo. 4			301400 301477
00004000 <sub>(8)</sub> 00004777 <sub>(8)</sub>		ユニットNo. 0			009000 009777
00005000 <sub>(8)</sub> 00005777 <sub>(8)</sub>		ユニットNo. 1			019000 019777
00006000 <sub>(8)</sub> 00006777 <sub>(8)</sub>		ユニットNo. 2			029000 029777
00007000 <sub>(8)</sub> 00007777 <sub>(8)</sub>		ユニットNo. 3			039000 039777
00010000 <sub>(8)</sub> 00010777 <sub>(8)</sub>		ユニットNo. 4			049000 049777
00200000 <sub>(8)</sub> 00277777 <sub>(8)</sub> (32Kバイト)	00200000 <sub>(8)</sub> 00577777 <sub>(8)</sub> (128Kバイト)	00200000 <sub>(8)</sub> 02177777 <sub>(8)</sub> (512Kバイト)	00200000 <sub>(8)</sub> 10177777 <sub>(8)</sub> (2048Kバイト)	00200000 <sub>(8)</sub> 40177777 <sub>(8)</sub> (8192Kバイト)	

リレーリンクエリア

レジスタリンクエリア

フラグ領域の設定範囲

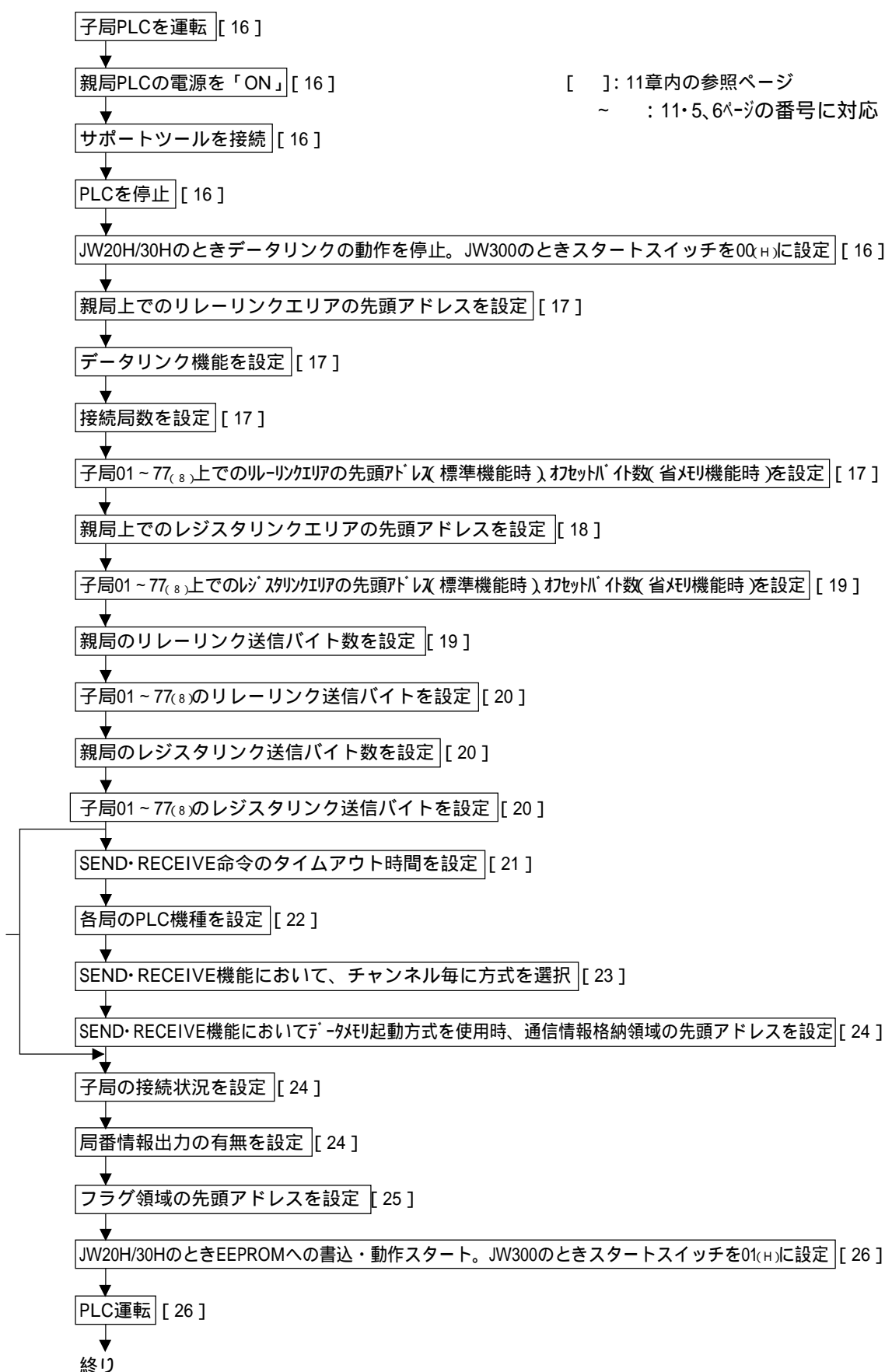
ファイルレジスタ

JW300 の場合、パラメータ(JW-22CM)の「レジスタリンクエリアとフラグ領域の先頭アドレス」には、間接アドレス指定の「fileN、アドレスn」を設定してください。

JW300 のファイルアドレス(詳細)と「fileN、アドレスn」の関係は16・24・29ページを参照願います。

## 〔 4 〕 設定手順

親局のパラメータを、下記手順に従って設定してください。



SEND・RECEIVE機能を使用しない場合

以下の項目に記載の [ ] は下記内容を示します。

【例】データリンクの動作を停止 [ HEX( 16進数 ) バイト ]  
動作停止は、16進数・バイト単位で設定します。

子局PLCを「運転」にする

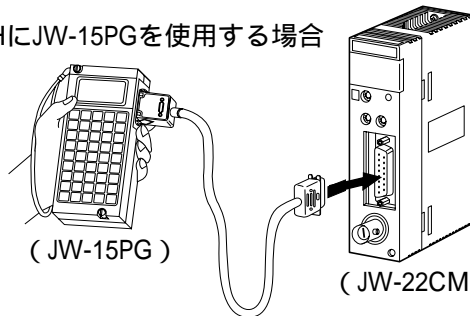
親局PLCの電源を「ON」し、サポートツールを接続

JW-22CM を実装する PLC 機種 ( JW20H/30H, JW300 ) によって、JW-22CM のパラメータ設定に使用可能なサポートツール、およびパラメータを設定 ( サポートツールを接続 ) するユニットが異なります。 14・1ページ参照

・ JW20H/30H のとき JW-22CM に、 JW300 のときコントロールユニット ( JW-3\*\*CU ) の本体パラメータ ( 該当オプションNo. ) に、パラメータを設定します。

以下の説明では、 JW-15PG を使用時のキー操作例を示します。

JW20H/30Hに JW-15PGを使用する場合



JW300に JW-15PGを使用する場合、 JW-15PGはコントロールユニット ( JW-3\*\*CU ) に接続します。

PLCを停止

プログラムモード ( PLC停止 ) にします。パラメータ設定は、 PLCがプログラムモード時のみ可能です。

\* \* PROG MODE SET 8 → PLC停止

パラメータ設定モードを選択します。

JW20H/30Hのとき

クリア CLR \* \* シフト SHIFT INTL DISP SET 8 B 1  
イニシャルモード選択 (パラメータ設定)

JW300のとき

クリア CLR 編集 EDIT A 0 B 1 SW番号 (ユニットNo. スイッチ) ,

JW20H/30Hのとき、データリンクの動作を停止 [ HEX( 16進数 ) バイト ]  
JW300のとき、スタートスイッチを00(H)に設定

JW20H/30Hのとき

パラメータアドレス7777<sup>(B)</sup>に00<sup>(H)</sup>を書き込んで、 JW-22CMの動作を停止させます。  
パラメータ設定は、 JW-22CMの動作停止中のみ可能です。

JW-15PGの画面  
7 7 7 7 モニタ MNTR A 0 書込 ENT  
パラメータアドレス7777の内容を16進数で表示 (00(H)を書き込む)

0 7 7 7 5	HEX	0 0
0 7 7 7 6	HEX	1 F
I パラメータ		
> 0 7 7 7 7	HEX	0 0

JW300のとき

パラメータアドレス3777<sup>(B)</sup> ( スタートスイッチ ) に00<sup>(H)</sup>を書き込みます。

JW-15PGの画面  
3 7 7 7 モニタ MNTR A 0 書込 ENT  
パラメータアドレス3777の内容を16進数で表示 (00(H)を書き込む)

3 7 7 5	HEX	0 0
3 7 7 6	HEX	0 0
P パラメータ	O - SW :	0
> 3 7 7 7	HEX	0 0

7777<sup>(B)</sup> 00<sup>(H)</sup>  
( 3777<sup>(B)</sup> )

( ) 内は JW300 のとき 以下、同様

ユニットNo. スイッチ = 0 のとき

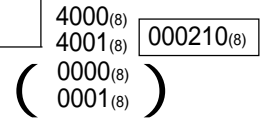
次ページへ

前ページより

アドレスの( )内はJW300のとき  
以下、同様

**親局上でのリレーリンクエリアの先頭アドレスを設定** [OCT(8進数)ワード]

パラメータアドレス4000~4001(8) (0000~0001(8))に、  
ファイルアドレス(8)で設定します。  
【例】コ021Q(ファイルアドレス000210(8))を設定する場合 - - 11・10ページ

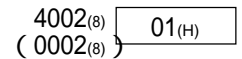


JW-15PGの画面 (JW20H/30H)

0	3	7	7	4	0	0	0	0	0	0	0
0	3	7	7	6	0	0	0	0	0	0	0
I	パラメータ										
>	0	4	0	0	0	0	0	0	2	1	0

**データリンク機能を設定** [HEX(16進数)バイト]

パラメータアドレス4002(8) (0002(8))に01(H) (=001(8))  
を設定し、「リレー/レジスタリンク」機能にします。



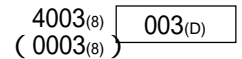
JW-15PGの画面 (JW20H/30H)

0	4	0	0	0	HEX	8	8	
0	4	0	0	1	HEX	0	0	
I	パラメータ							
>	0	4	0	0	2	HEX	0	1

**接続局数を設定** [DCM(10進数)バイト]

パラメータアドレス4003(8) (0003(8))に親局を含む接続局数(02~64(D))を  
10進数で設定します。

【例】3台(003(D))に設定する場合 - - 11・10ページ

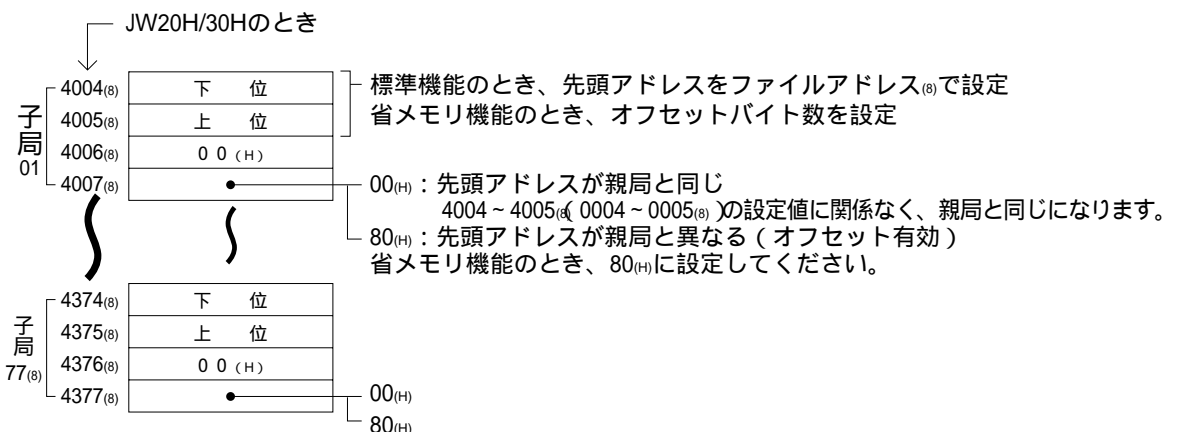


JW-15PGの画面 (JW20H/30H)

0	4	0	0	1	DCM	0	0	0	
0	4	0	0	2	DCM	0	0	1	
I	パラメータ								
>	0	4	0	0	3	DCM	0	0	3

**子局 01~77 止でのリレーリンクエリアにおいて、先頭アドレス(標準機能時)/オフセットバイト数(省メモリ機能時)を設定**

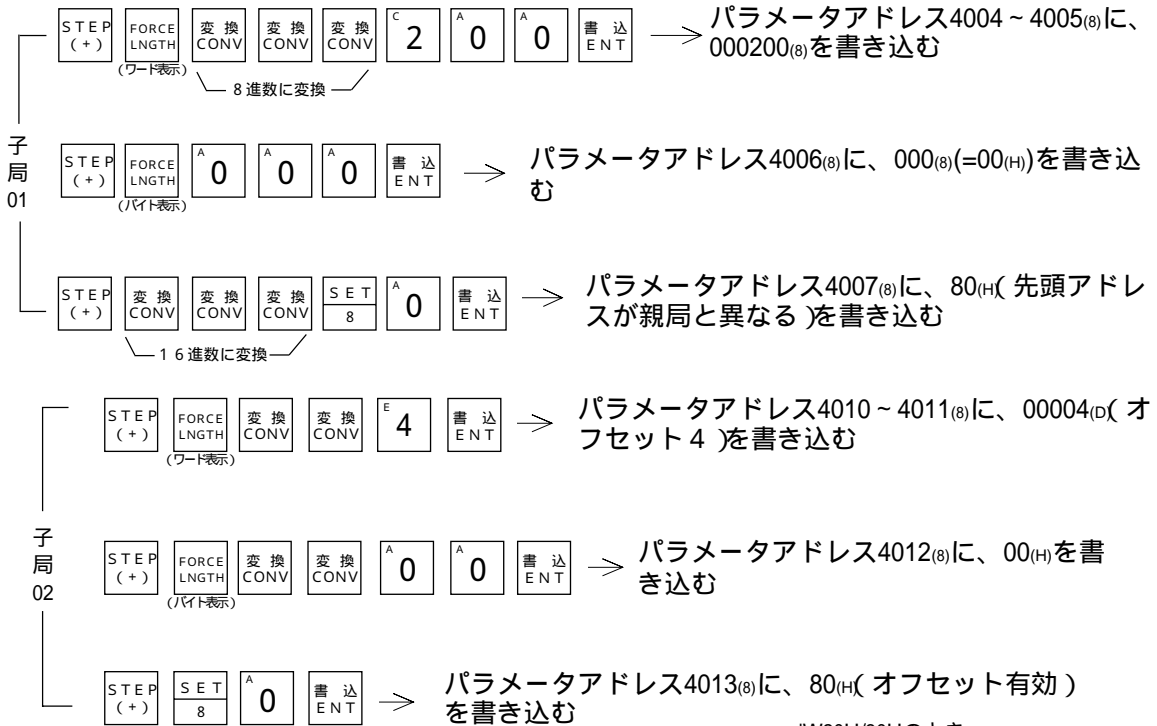
パラメータアドレス4004~4377(8) (0004~0377(8))に設定します。レジスタリンクエリア、フラグ領域  
および他のオプションユニットの使用領域と重複しないようにしてください。



次ページへ

前ページより

【例】JW20H/30Hのとき、パラメータアドレス4004~4007<sub>(8)</sub>(子局01)にコ020<sub>(X)</sub> (ファイルアドレス000200<sub>(8)</sub>)、4010~4013<sub>(8)</sub>(子局02)に4(オフセットバイト数)を設定する場合 - - 11・10ページ



JW-15PGの画面(JW20H/30H)

0 4 0 1 1	HEX	0 0
0 4 0 1 2	HEX	0 0
I	パラメータ	
> 0 4 0 1 3	HEX	8 0

JW20H/30Hのとき

子局 01	4004 <sub>(8)</sub>	000200 <sub>(8)</sub>
	4005 <sub>(8)</sub>	
	4006 <sub>(8)</sub>	00 <sub>(H)</sub>
	4007 <sub>(8)</sub>	80 <sub>(H)</sub>

子局 02	4010 <sub>(8)</sub>	00004 <sub>(D)</sub>
	4011 <sub>(8)</sub>	
	4012 <sub>(8)</sub>	00 <sub>(H)</sub>
	4013 <sub>(8)</sub>	80 <sub>(H)</sub>

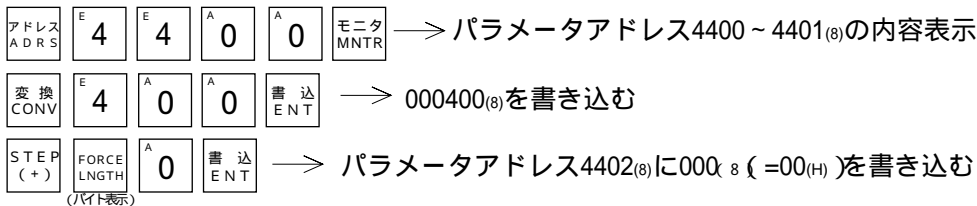
親局上でのレジスタリンクエリアの先頭アドレスを設定

パラメータアドレス4400~4403<sub>(8)</sub>(0400~0403<sub>(8)</sub>)に、ファイルアドレス<sub>(8)</sub>で設定します。リレーリンクエリア、フラグエリアおよび他のオプションユニットの使用領域と重複しないようにしてください。

JW20H/30Hのとき

4400 <sub>(8)</sub>	下位	} ファイルアドレス <sub>(8)</sub>
4401 <sub>(8)</sub>	上位	
4402 <sub>(8)</sub>	ファイル番号	
4403 <sub>(8)</sub>	未使用(00 <sub>(H)</sub> )	

【例】JW20H/30Hのとき、パラメータアドレス4400~4401<sub>(8)</sub>にコ040<sub>(X)</sub> (ファイルアドレス000400<sub>(8)</sub>)、4402<sub>(8)</sub>に0(ファイル番号)を設定する場合 - - 11・10ページ



JW-15PGの画面

0 4 4 0 0	OCT	0 0 0
0 4 4 0 1	OCT	0 0 1
I	パラメータ	
> 0 4 4 0 2	OCT	0 0 0

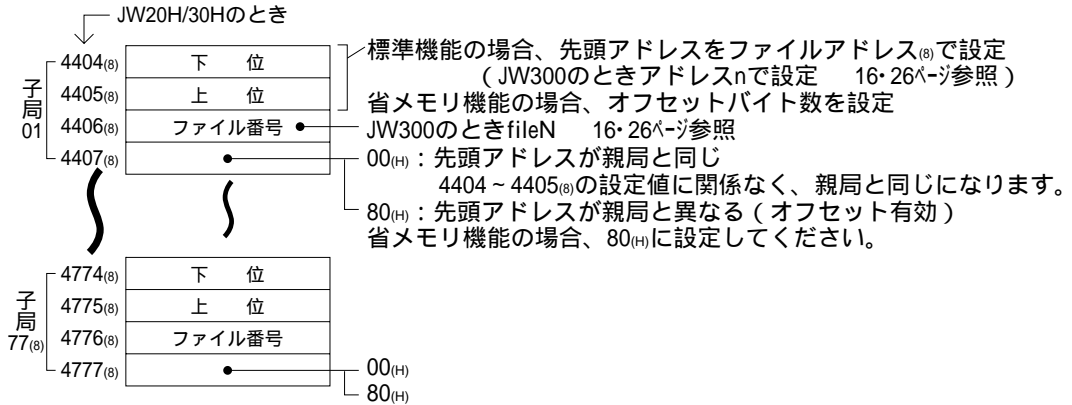
4400 <sub>(8)</sub>	000400 <sub>(8)</sub>
4401 <sub>(8)</sub>	
4402 <sub>(8)</sub>	00 <sub>(H)</sub>
4403 <sub>(8)</sub>	未使用(00 <sub>(H)</sub> )

次ページへ

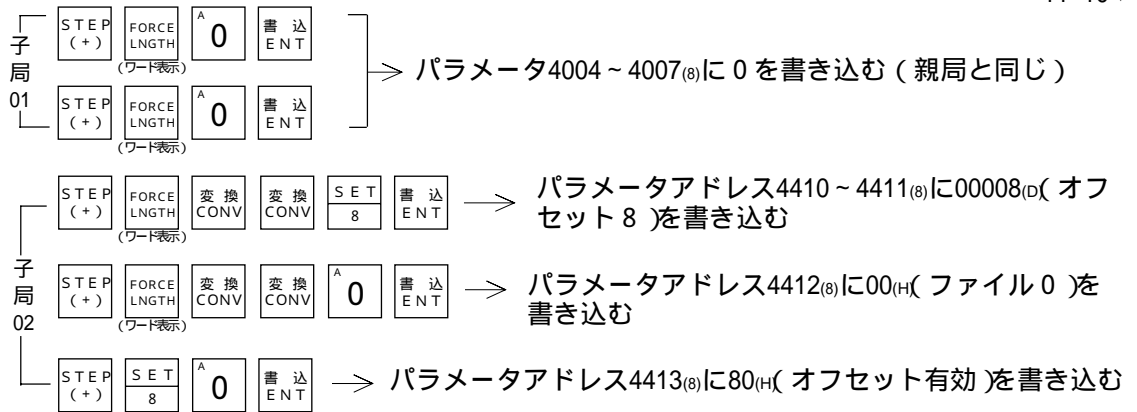
前ページより

子局 (01 ~ 77<sup>(8)</sup>) 上でのレジスタリンクエリアにおいて、先頭アドレス(標準機能時)/ オフセットバイト数(省メモリ機能時)を設定

パラメータアドレス4404 ~ 4777<sup>(8)</sup> (0404 ~ 0777<sup>(8)</sup>) に設定します。リレーリンクエリア、フラグ領域および他のオプションユニットの使用領域と重複しないようにしてください。



【例】 JW20H/30Hのとき、パラメータアドレス4404 ~ 4407<sup>(8)</sup> (子局01) に 0 (先頭アドレスが親局と同じ) 0440<sup>(8)</sup>、4410 ~ 4413<sup>(8)</sup> (子局02) に オフセットバイト数 8 と「オフセット有効」を設定する場合 - - 11・10ページ



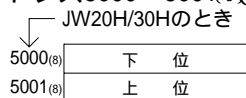
JW-15PGの画面

0 4 0 1 1	HEX	0 0
0 4 0 1 2	HEX	0 0
I	パラメータ	
> 0 4 0 1 3	HEX	8 0

子局 01	4404 <sup>(8)</sup>	0000 <sup>(H)</sup>
	4405 <sup>(8)</sup>	
	4406 <sup>(8)</sup>	00 <sup>(H)</sup>
	4407 <sup>(8)</sup>	00 <sup>(H)</sup>
子局 02	4410 <sup>(8)</sup>	00008 <sup>(D)</sup>
	4411 <sup>(8)</sup>	
	4412 <sup>(8)</sup>	00 <sup>(H)</sup>
	4413 <sup>(8)</sup>	80 <sup>(H)</sup>

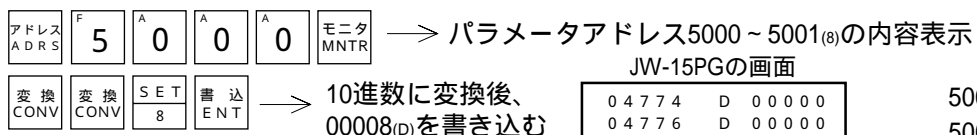
親局のリレーリンク送信バイト数を設定 [ DCM (10進数) \ ワード ]

パラメータアドレス5000 ~ 5001<sup>(8)</sup> ( 1000 ~ 1001<sup>(8)</sup> ) に設定します。



レジスタリンクエリア、フラグ領域と重複したり、設定範囲( 1局あたり0 ~ 256バイト、全局合計256バイト)を越えないようにしてください。

【例】 JW20H/30Hのとき、8バイトに設定する場合 - - 11・10ページ



JW-15PGの画面

0 4 7 7 4	D	0 0 0 0 0
0 4 7 7 6	D	0 0 0 0 0
I	パラメータ	
> 0 5 0 0 0	D	0 0 0 0 8

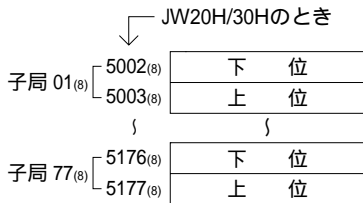
5000 <sup>(8)</sup>	00008 <sup>(D)</sup>
5001 <sup>(8)</sup>	

次ページへ

前ページより

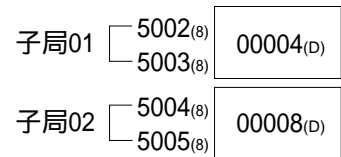
子局(01~77)のリレーリンク送信バイト数を設定 [ DCM(10進数)ワード ]

パラメータアドレス5002~5177<sup>(8)</sup>(1002~1177<sup>(8)</sup>)に、10進数で設定(1局毎に設定、1局2バイト使用)します。レジスタリンクエリア、フラグ領域と重複したり、設定範囲(1局あたり0~256バイト、全局合計256バイト)を越えないようにしてください。



【例】JW20H/30Hのとき、パラメータアドレス5002~5003<sup>(8)</sup>(子局01)に4バイト、5004~5005<sup>(8)</sup>(子局02)に8バイトを設定する場合 - - 11・10ページ

子局01 STEP (+) 4 書込 ENT → パラメータアドレス5002~5003<sup>(8)</sup>に00004<sup>(D)</sup>を書き込む  
 子局02 STEP (+) SET 8 書込 ENT → パラメータアドレス5004~5005<sup>(8)</sup>に00008<sup>(D)</sup>を書き込む

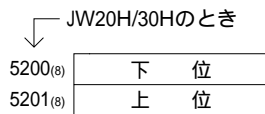


JW-15PGの画面

05000	D	00008
05002	D	00004
I	パラメータ	
>05004	D	00008

親局のレジスタリンク送信バイト数を設定 [ DCM(10進数)ワード ]

パラメータアドレス5200~5201<sup>(8)</sup>(1200~1201<sup>(8)</sup>)に、10進数で設定します。リレーリンクエリア、フラグ領域と重複したり、設定範囲1局あたり0~2048バイト、全局合計2048バイトを越えないようにしてください。

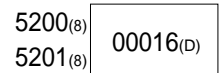


【例】JW20H/30Hのとき、パラメータアドレス5200~5201<sup>(8)</sup>に16バイトを設定する場合 - - 11・10ページ

アドレス ADRS 5 2 0 0 モニタ MNTR → パラメータアドレス5200~5201<sup>(8)</sup>の内容表示  
 B 1 6 書込 ENT → 00016<sup>(D)</sup>を書き込む

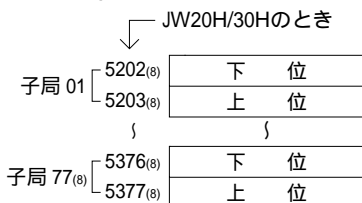
JW-15PGの画面

05174	D	00000
05176	D	00000
I	パラメータ	
>05200	D	00016



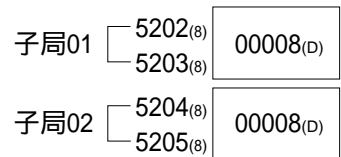
子局(01~77)のレジスタリンク送信バイト数を設定 [ DCM(10進数)ワード ]

パラメータアドレス5202~5377<sup>(8)</sup>(1202~1377<sup>(8)</sup>)に、10進数で設定(1局毎に設定、1局2バイト使用)します。リレーリンクエリア、フラグ領域と重複したり、設定範囲(1局あたり0~2048バイト、全局合計2048バイト)を越えないようにしてください。



【例】JW20H/30Hのとき、パラメータアドレス5202~5203<sup>(8)</sup>(子局01)に8バイト、5204~5205<sup>(8)</sup>(子局02)に8バイトを設定する場合 - - 11・10ページ

子局01 STEP (+) SET 8 書込 ENT → パラメータアドレス5202~5203<sup>(8)</sup>に00008<sup>(D)</sup>を書き込む  
 子局02 STEP (+) SET 8 書込 ENT → パラメータアドレス5204~5205<sup>(8)</sup>に00008<sup>(D)</sup>を書き込む



JW-15PGの画面

05200	D	00016
05202	D	00008
I	パラメータ	
>05204	D	00008

次ページへ

前ページより

SEND・RECEIVE機能を使用時のみ

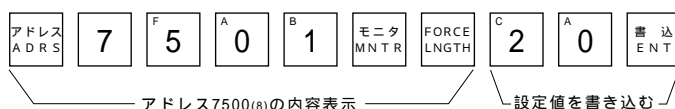
SEND・RECEIVE命令のタイムアウト時間を設定 [ DCM( 10進数 ) バイト ]

自局がSEND・RECEIVE命令を使用するとき、タイムアウト時間を通信相手局毎に設定します。  
設定範囲は10進数で、001( 0.1秒 )~255( 25.5秒 )です。初期値の00(H)は 1秒となります。

アドレス ( 8 )			アドレス ( 8 )			アドレス ( 8 )			アドレス ( 8 )		
JW20H/30H	JW300	局番号 ( 8 )	JW20H/30H	JW300	局番号 ( 8 )	JW20H/30H	JW300	局番号 ( 8 )	JW20H/30H	JW300	局番号 ( 8 )
			7520	3520	2 0	7540	3540	4 0	7560	3560	6 0
7501	3501	0 1	7521	3521	2 1	7541	3541	4 1	7561	3561	6 1
7502	3502	0 2	7522	3522	2 2	7542	3542	4 2	7562	3562	6 2
7503	3503	0 3	7523	3523	2 3	7543	3543	4 3	7563	3563	6 3
7504	3504	0 4	7524	3524	2 4	7544	3544	4 4	7564	3564	6 4
7505	3505	0 5	7525	3525	2 5	7545	3545	4 5	7565	3565	6 5
7506	3506	0 6	7526	3526	2 6	7546	3546	4 6	7566	3566	6 6
7507	3507	0 7	7527	3527	2 7	7547	3547	4 7	7567	3567	6 7
7510	3510	1 0	7530	3530	3 0	7550	3550	4 8	7570	3570	7 0
7511	3511	1 1	7531	3531	3 1	7551	3551	5 1	7571	3571	7 1
7512	3512	1 2	7532	3532	3 2	7552	3552	5 2	7572	3572	7 2
7513	3513	1 3	7533	3533	3 3	7553	3553	5 3	7573	3573	7 3
7514	3514	1 4	7534	3534	3 4	7554	3554	5 4	7574	3574	7 4
7515	3515	1 5	7535	3535	3 5	7555	3555	5 5	7575	3575	7 5
7516	3516	1 6	7536	3536	3 6	7556	3556	5 6	7576	3576	7 6
7517	3517	1 7	7537	3537	3 7	7557	3557	5 7	7577	3577	7 7

初期値：全アドレス00(H)( 1秒 )

【例】JW20H/30Hのとき、パラメータアドレス7501( 子局01 )、7502( 子局02 )をともに020( 2秒 )に設定する場合

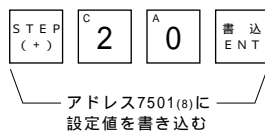


JW-15PGの画面

```

0 7 5 0 0 DCM 0 0 0
0 7 5 0 1 DCM 0 2 0
I パラメータ
> 0 7 5 0 2 DCM 0 2 0

```



次ページへ



前ページより

SEND・RECEIVE機能を使用時のみ

各局のPLC機種を設定 [ HEX( 16進数 ) バイト ]

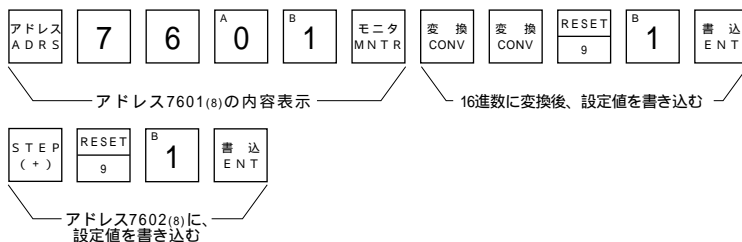
通信相手局として91(H)を設定します。

相手局のPLC 相手局の通信ユニット	ZWモデル	JWモデル
ZW-20CM ( JW対応マーク無し )	使用不可	使用不可
ZW-20CM ( JW対応マーク付き )	使用不可	91(H)
JW-20CM	使用不可	91(H)
JW-22CM	91(H)	

アドレス ( 8 )			アドレス ( 8 )			アドレス ( 8 )			アドレス ( 8 )		
JW20H/30H	JW300	局番号 ( 8 )	JW20H/30H	JW300	局番号 ( 8 )	JW20H/30H	JW300	局番号 ( 8 )	JW20H/30H	JW300	局番号 ( 8 )
			7620	3620	2 0	7640	3640	4 0	7660	3660	6 0
7601	3601	0 1	7621	3621	2 1	7641	3641	4 1	7661	3661	6 1
7602	3602	0 2	7622	3622	2 2	7642	3642	4 2	7662	3662	6 2
7603	3603	0 3	7623	3623	2 3	7643	3643	4 3	7663	3663	6 3
7604	3604	0 4	7624	3624	2 4	7644	3644	4 4	7664	3664	6 4
7605	3605	0 5	7625	3625	2 5	7645	3645	4 5	7665	3665	6 5
7606	3606	0 6	7626	3626	2 6	7646	3646	4 6	7666	3666	6 6
7607	3607	0 7	7627	3627	2 7	7647	3647	4 7	7667	3667	6 7
7610	3610	1 0	7630	3630	3 0	7650	3650	4 8	7670	3670	7 0
7611	3611	1 1	7631	3631	3 1	7651	3651	5 1	7671	3671	7 1
7612	3612	1 2	7632	3632	3 2	7652	3652	5 2	7672	3672	7 2
7613	3613	1 3	7633	3633	3 3	7653	3653	5 3	7673	3673	7 3
7614	3614	1 4	7634	3634	3 4	7654	3654	5 4	7674	3674	7 4
7615	3615	1 5	7635	3635	3 5	7655	3655	5 5	7675	3675	7 5
7616	3616	1 6	7636	3636	3 6	7656	3656	5 6	7676	3676	7 6
7617	3617	1 7	7637	3637	3 7	7657	3657	5 7	7677	3677	7 7

初期値は、JW20H/30Hのとき全アドレス91(H)、JW300のとき全アドレス00(H)です。

【例】JW20H/30Hのとき、パラメータアドレス7601(8) (子局01)、7602(子局02)をともに91(H) (JW-22CM) に設定する場合 - - 11・10ページ



JW-15PGの画面

07600	HEX	00
07601	HEX	91
I	パラメータ	
>07602	HEX	91

次ページへ

前ページより

SEND・RECEIVE機能を使用時のみ

## SEND・RECEIVE機能のチャンネル毎に方式を選択

パラメータアドレス7700～7703<sub>(8)</sub>(3700～3703<sub>(8)</sub>)に、各チャンネル毎の方式(命令/データメモリ起動)を選択します。

↓ JW20H/30Hのとき

7700 <sub>(8)</sub>	CH0
7701 <sub>(8)</sub>	CH1
7702 <sub>(8)</sub>	CH2
7703 <sub>(8)</sub>	CH3

## 1. チャンネル単独使用の場合

チャンネル	設定値 <sub>(H)</sub>	方 式
CH0	00	命令方式
	80	データメモリ起動方式
CH1	00	命令方式
	81	データメモリ起動方式
CH2	00	命令方式
	82	データメモリ起動方式
CH3	00	命令方式
	83	データメモリ起動方式

## 2. チャンネル連結使用の場合 10・2ページ参照

SEND・RECEIVE機能では各チャンネル毎に最大256バイトのデータを送受信できますが、データメモリ起動方式の場合にはチャンネルの連結により通信データ量を拡大できます。

値は8X<sub>(H)</sub>(Xは0～3で、そのチャンネルを連結してどのチャンネルとして使用するか)を設定します。

連結使用する場合、連結するチャンネルは連続していなければなりません。例えばチャンネル0と1、チャンネル2と3は連結できますが、チャンネル1と3は連結できません。

## 【例1】すべてデータメモリ起動方式(単独使用)の場合

↓ JW20H/30Hのとき

CH0	7700 <sub>(8)</sub>	80 <sub>(H)</sub>
CH1	7701 <sub>(8)</sub>	81 <sub>(H)</sub>
CH2	7702 <sub>(8)</sub>	82 <sub>(H)</sub>
CH3	7703 <sub>(8)</sub>	83 <sub>(H)</sub>

## 【例2】チャンネル0は命令方式、チャンネル1～3はデータメモリ起動方式で連結使用の場合

CH0	7700 <sub>(8)</sub>	00 <sub>(H)</sub>
CH1	7701 <sub>(8)</sub>	81 <sub>(H)</sub>
CH2	7702 <sub>(8)</sub>	81 <sub>(H)</sub>
CH3	7703 <sub>(8)</sub>	81 <sub>(H)</sub>

・このときチャンネル2、3は使用できません。

「00<sub>(H)</sub>、80～83<sub>(H)</sub>」以外の値を設定した場合、無視されます。

次ページへ

前ページより

SEND・RECEIVE機能を使用時のみ

SEND・RECEIVE機能においてデータメモリ起動方式を使用時、通信情報格納領域の先頭アドレスを設定

パラメータアドレス7710～7713(8)(3710～3713(8))に設定します。

通信情報格納領域(64バイト)の設定範囲は、フラグ領域の設定範囲と同じです。 11・11-14ページ参照

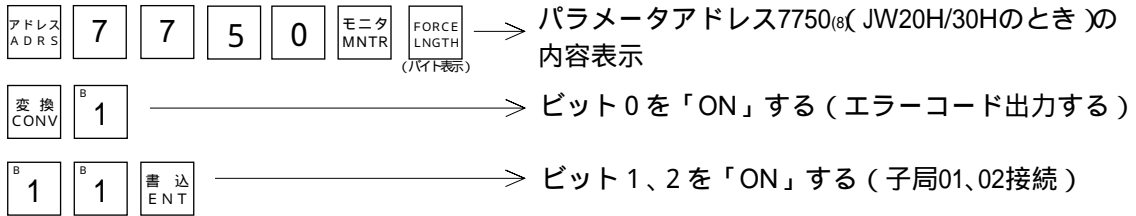
JW20H/30Hのとき

7710(8)	下位	通信情報格納領域の先頭アドレスをファイルアドレス(8)で設定 (JW300のときアドレスnで設定 16・26ページ参照)
7711(8)	上位	
7712(8)	通信情報格納領域のファイル番号	JW300のときfileN 16・26ページ参照
7713(8)	80(H)で本設定が有効	

子局の接続状況を設定 [ビットパターン、バイト]

パラメータアドレス7750(8)(3750(8))に「接続している子局01、02 / エラーコード出力する」を設定します。

7750(8)	7	6	5	4	3	2	1	0
(3750(8))	0	0	0	0	0	1	1	1



JW-15PGの画面(JW20H/30H)

0	7	7	4	6
0	7	7	4	7
I	パラメータ			
>	0	7	7	5

局番情報出力の有無を設定

パラメータアドレス7763(8)(3763(8))に、局番情報出力の有無を設定します。

7763(8)	局番情報出力の有無	00(H) : 出力しない
(3763(8))		01(H) : 出力する

- ・フラグ領域(24バイト)の次の1バイトに出力されます。
- ・パラメータアドレス7767(8)(3767(8))=80(H)のときに、設定有効です。

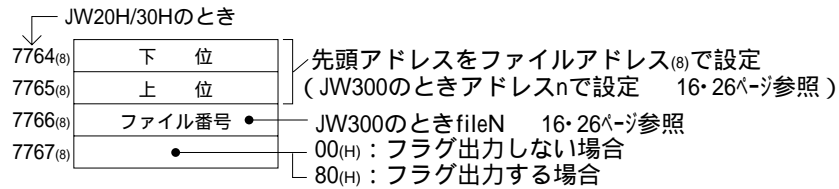
次ページへ

前ページより

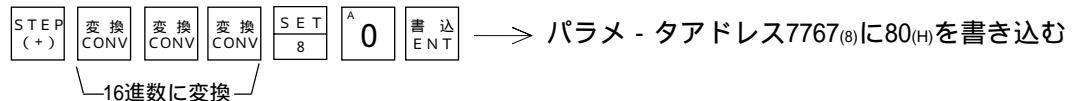
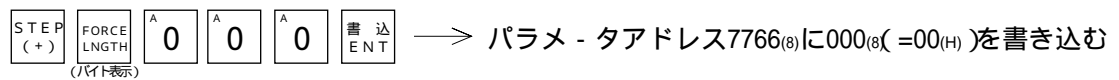
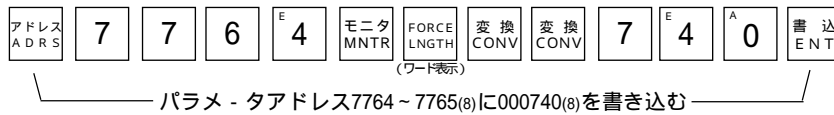
### フラグ領域の先頭アドレスを設定

[ ファイルアドレス : OCT( 8進数 )ワード  
ファイル番号/フラグ : HEX( 16進数 )バイト ]

通信状態およびPLC運転状態を監視するフラグ領域(24バイト)の先頭アドレスを、パラメータアドレス7764~7767<sub>(8)</sub>(3764~3767<sub>(8)</sub>)に設定します。  
フラグ領域は接続局数に関係なく24バイトを使用します。



【例】JW20H/30Hのとき、パラメータアドレス7764~7767<sub>(8)</sub>にコ0740(ファイルアドレス000740<sub>(8)</sub>)、「フラグ出力する」を設定する場合 - - 11・10ページ



#### JW-15PGの画面

07765	HEX	01
07766	HEX	00
I パラメータ		
> 07767	HEX	80

7764 <sub>(8)</sub>	000740 <sub>(8)</sub>
7765 <sub>(8)</sub>	
7766 <sub>(8)</sub>	00 <sub>(H)</sub>
7767 <sub>(8)</sub>	80 <sub>(H)</sub>

次ページへ

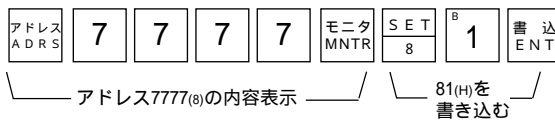
前ページより

JW20H/30Hのとき、JW-22CMのEEPROMへの書込・動作スタート  
 JW300のとき、スタートスイッチを01<sub>(H)</sub>に設定 [ HEX( 16進数 ) バイト ]

JW20H/30H のとき

パラメータアドレス7777<sub>(8)</sub>に81<sub>(H)</sub>を書き込んで、設定したパラメータ内容を本機のEEPROMに書き込み後、本機を動作させます。動作スタートすると、設定値は01<sub>(H)</sub>に変化します。

設定値 <sub>(H)</sub>	内 容
00	JW-22CMの動作停止
01	JW-22CMの動作スタート
80	JW-22CMのEEPROMへ書込・動作停止
81	JW-22CMのEEPROMへ書込・動作スタート
08	パラメータアドレス4000 ~ 7777 <sub>(8)</sub> の設定値を初期化



JW-15PGの画面

0 7 7 7 5	HEX	0 0
0 7 7 7 6	HEX	3 6
I	パラメータ	
> 0 7 7 7 7	HEX	8 1

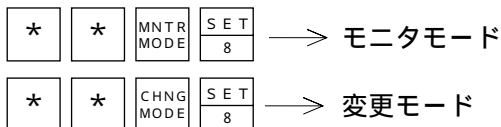
- EEPROMへの書き込み時間は約0.7秒です。パラメータ設定に誤りがあると、エラーコード ( 6F<sub>(H)</sub> ) を本機の表示ランプで点灯します。復旧方法は16・2ページを参照願います。
- EEPROMへ書き込んだ内容は、JW20H/30Hの電源投入時に本機のRAMへ自動的に読み出します。読み出し時、BCCチェックを行い、パラメータメモリアドレス( 7776<sub>(8)</sub> )のBCCチェックコードと比較します。誤りがあるとエラーコード( 6E<sub>(H)</sub> )を本機の表示ランプで点灯します。

JW300 のとき

パラメータアドレス 3777<sub>(8)</sub>( スタートスイッチ )に01<sub>(H)</sub>を書き込んで、設定したパラメータ内容を、コントロールユニットから本機へ転送します。

PLC運転

親局のPLCをモニタまたは変更モード( PLC運転 )にします。



JW-15PGの画面

C 0 0 0 0 0
>

## 11 - 4 子局のパラメータ設定(全子局共通)

JW-22CMを子局として使用する場合、各子局で下記の項目をパラメータに設定してください。

## 〔1〕設定内容

11・7、8ページでの  
該当記号

設定項目	パラメータアドレス <sup>(8)</sup>				内 容	
	JW20H/30H		JW300			
SEND・RECEIVE命令の タイムアウト時間設定	7500 ~ 7577	00	3500 ~ 3577	00	タイムアウト時間を10進数で設定 00(0.1秒) ~ 255(25.5秒)	—
SEND・RECEIVE機能にお いて、各局のPLC機種設定	7600 ~ 7677	91	3600 ~ 3677	00	16進数で91 <sup>(H)</sup> を設定	—
SEND・RECEIVE機能にお いて、チャンネル毎の方式 選択	7700 ~ 7703	00	3700 ~ 3703	00	CH0 ~ CH3において、命令方式 / データメモリ 起動方式を選択 (命令方式はJW30H/300で使用可能)	—
SEND・RECEIVE機能にお いて、データメモリ起動方 式を使用時、通信情報格納 領域の先頭アドレス	7710 ~ 7713	00	3710 ~ 3713	00	ファイル番号、ファイルアドレスで設定 ・通信情報格納領域(64バイト)の設定範囲は、 フラグ領域の設定範囲と同じです。 11・28、29ページ参照	—
省メモリ機能において、 リレーリンクの受信バイト 数	7720 7721	00	3720 3721	00	バイト数を10進数で設定(0~64) ・設定値を0にすると、送信バイト数(親局で 設定)と同じになる	h <sub>1</sub> ~ h <sub>n</sub>
省メモリ機能において、 レジスタリンクの受信バイ ト数	7722 7723	00	3722 3723	00	バイト数を10進数で設定(0~512) ・設定値を0にすると、送信バイト数(親局で 設定)と同じになる	i <sub>1</sub> ~ i <sub>n</sub>
局番情報出力の有無	7763	00	3763	00	01 <sup>(H)</sup> に設定すると自局番号をデータメモリに格 納(格納領域はフラグ領域の24バイトに続く1 バイト。7767 <sup>(8)</sup> 、3767 <sup>(8)</sup> = 80 <sup>(H)</sup> 時に有効)	—
フラグ領域の先頭アドレス (通信およびPLC運転状態 監視用フラグ)	7764	E0	3764	00	ファイルアドレス下位	e <sub>1</sub> ~ e <sub>n</sub>
	7765	01	3765	00	ファイルアドレス上位	
	7766	00	3766	00	ファイル番号	
	7767	00	3767	00	フラグ出力(する: 80 <sup>(H)</sup> 、しない: 00 <sup>(H)</sup> )	
JW20H/30Hのとき ・ JW-22CMの 動作スタート / 停止 ・ JW-22CMのEEPROM への書込	7777	01	—	-	00 <sup>(H)</sup> : 動作停止	—
					01 <sup>(H)</sup> : 動作スタート	
					80 <sup>(H)</sup> : EEPROMへの書込・動作停止	
					81 <sup>(H)</sup> : EEPROMへの書込・動作スタート	
					08 <sup>(H)</sup> : パラメータ初期化	
JW300のとき スタートスイッチ	—	-	3777	00	パラメータを設定(書込)時に00 <sup>(H)</sup> を設定し、 00 <sup>(H)</sup> 、01 <sup>(H)</sup> へ変更時に、パラメータの設定内容 がコントロールユニットからJW-22CMへ転送	—

↑ 初期値<sup>(H)</sup> ↑

- ・ ~ は、11・30ページの番号に対応しています。
- ・ 上記以外のパラメータアドレスは予約領域で、設定値変更禁止です。
- ・ 子局がJW-22CM以外の場合には、各機器の取扱説明書(ユーザーズマニュアル)を参照願います。

## 留意点

- ・ JW-22CMをJW300に実装時、パラメータの初期値はすべて00<sup>(H)</sup>となります。

〔 2 〕 フラグ領域の設定範囲

フラグ領域は先頭アドレスから24バイトです。フラグ領域の先頭アドレスは、全体を通して割り付けたファイルアドレス(8)で、下記範囲内になるよう設定してください。

なお、データリンク(標準機能)とデータリンク(省メモリ機能)のフラグ領域設定範囲は同じです。

( 1 ) 実装PLCがJW20Hの場合

ファイル アドレス(8)		バイト アドレス
000000	入出力リレー	00000
000377		00377
000400	補助リレー	00400
000677		00677
000700	キープリレー	00700
000777		00777
001000	汎用リレー	01000
001577		01577
001600	TMR・CNTの限時接点	
001777		
002000	TMR・CNT・MD 現在値	b0000
003777		b1777
004000	レジスタ	09000
004777		09777
005000	レジスタ	19000
005777		19777
006000	レジスタ	29000
006777		29777
007000	レジスタ	39000
007777		39777
010000	レジスタ	49000
010777		49777
011000	レジスタ	59000
011777		59777
015000	レジスタ	99000
015777		99777
016000	レジスタ	E0000
016777		E0777
017000	レジスタ	E1000
017777		E1777

フラグ領域  
の設定範囲

( 2 ) 実装PLCがJW30Hの場合

ファイル アドレス(8)		バイト アドレス
000000	リレー	00000
001577		01577
001600	TMR・CNT 0000 ~ 0777 の接点	
001777		
002000	TMR・CNT・MD 0000 ~ 0777 の現在値	b0000
003777		b1777
004000	レジスタ	09000
007777		39777
010000	レジスタ	49000
015777		99777
016000	レジスタ	E0000
025777		E7777
026000	TMR・CNT 1000 ~ 1777 の現在値	b2000
027777		b3777
030000	リレー	02000
035577		07577
035600	TMR・CNT 1000 ~ 1777 の接点	
035777		

フラグ領域  
の設定範囲

000000	ファイル 1	↑	1	↑	↑		
037777		↓					
000000	ファイル 2	↑				2	↑
177777		↓					
000000	ファイル 3	↑	3	↑			
177777		↓					
000000	ファイル1Q <sub>H</sub> )	↑	4	↑			
177777		↓					
000000	ファイル14 <sub>H</sub> )	↑	4	↑			
177777		↓					
000000	ファイル2Q <sub>H</sub> )	↑	4	↑			
177777		↓					

フラグ領域  
の設定範囲

- 1 JW-32CUH/H1のとき  
( JW-32CUH1は000000 ~ 177777または000000 ~ 077777 )
- 2 JW-33CUH/H1のとき
- 3 JW-33CUH2のとき      4 JW-33CUH3のとき

( 3 ) 実装PLCがJW300の場合

ファイルアドレス(容量)					
JW-311CU JW-312CU	JW-321CU JW-322CU	JW-331CU JW-332CU	JW-341CU JW-342CU	JW-352CU	JW-362CU
00000000 <sub>(8)</sub> } 00073777 <sub>(8)</sub> ( 30K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> ) ・リレー 30720点 ( 3.75K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> ) ・TMR/CNT接点 1024点 ( 0.25K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> ) ・TMR/CNT/MD の現在値 ( 2K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> ) ・レジスタ ( 24K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> )	00000000 <sub>(8)</sub> } 00105777 <sub>(8)</sub> ( 35K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> ) ・リレー 53248点 ( 6.5K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> ) ・TMR/CNT接点 2048点 ( 0.5K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> ) ・TMR/CNT/MD の現在値 ( 4K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> ) ・レジスタ ( 24K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> )		00000000 <sub>(8)</sub> } 00177777 <sub>(8)</sub> ( 64K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> ) ・リレー 180224点 ( 22K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> ) ・TMR/CNT接点 8192点 ( 2K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> ) ・TMR/CNT/MD の現在値 ( 16K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> ) ・レジスタ ( 24K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> )		
ファイルレジスタ	00200000 <sub>(8)</sub> } 00277777 <sub>(8)</sub> ( 32K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> )	00200000 <sub>(8)</sub> } 00577777 <sub>(8)</sub> ( 128K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> )	00200000 <sub>(8)</sub> } 02177777 <sub>(8)</sub> ( 512K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> )	00200000 <sub>(8)</sub> } 10177777 <sub>(8)</sub> ( 2048K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> )	00200000 <sub>(8)</sub> } 40177777 <sub>(8)</sub> ( 8192K <sub>16</sub> 1 <sub>16</sub> )

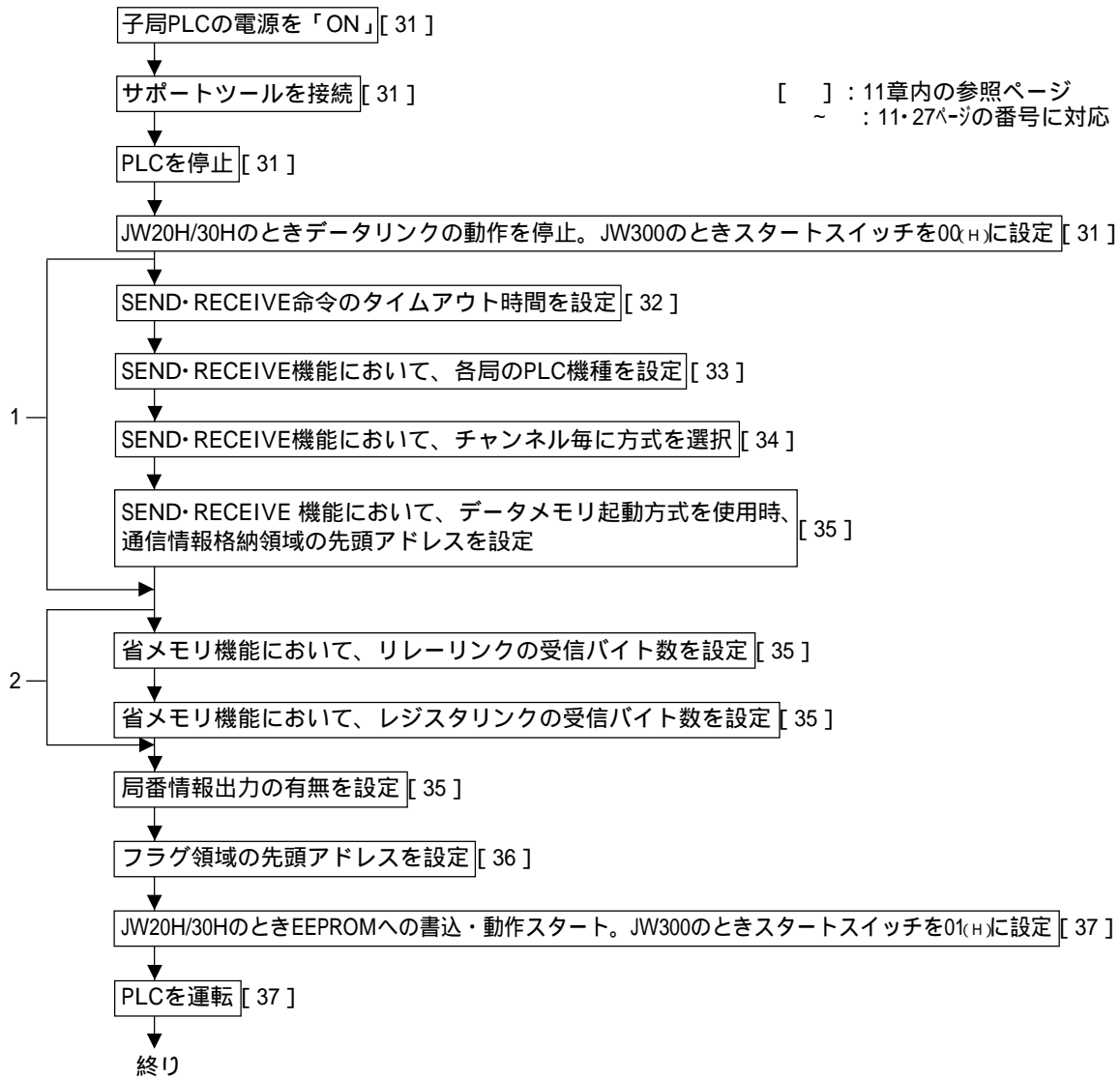
フラグ領域の設定範囲

JW300 の場合、パラメータ( JW-22CM )の「フラグ領域の先頭アドレス」には、間接アドレス指定の「fileN、アドレスn」を設定してください。  
 JW300 のファイルアドレス( 詳細 )と「fileN、アドレスn」の関係は 16・24・29ページを参照願います。



〔 3 〕 設定手順

子局のパラメータを、下記手順に従って設定してください。



以下の項目に記載の [ ] は下記内容を示します。

【例】データリンクの動作を停止 [ HEX( 16進数 ) バイト ]  
動作停止は、16進数・バイト単位で設定します。

子局PLCの電源を「ON」にする

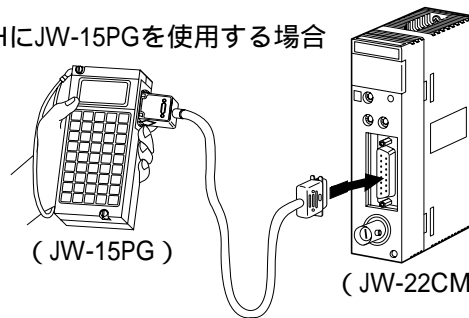
サポートツールを接続

JW-22CM を実装する PLC 機種 ( JW20H/30H、JW300 ) によって、JW-22CM のパラメータ設定に使用可能なサポートツール、およびパラメータを設定 ( サポートツールを接続 ) するユニットが異なります。 14・1ページ参照

・JW20H/30HのときJW-22CMに、JW300のときコントロールユニット( JW-3\*\*CU )の本体パラメータ( 該当オプションNo. )に、パラメータを設定します。

以下の説明では、JW-15PG を使用時のキー操作例を示します。

JW20H/30HにJW-15PGを使用する場合



JW300にJW-15PGを使用する場合、JW-15PGはコントロールユニット ( JW-3\*\*CU ) に接続します。

PLCを停止

プログラムモード( PLC停止 )にします。パラメータ設定は、PLCがプログラムモード時のみ可能です。

\* \* PROG MODE SET 8 → PLC停止

パラメータ設定モードを選択します。

JW20H/30Hのとき

クリア CLR \* \* シフト SHIFT INTL DISP SET 8 B 1  
イニシャルモード選択 (パラメータ設定)

JW300のとき

クリア CLR 編集 EDIT A 0 B 1 SW番号 (ユニットNo. スイッチ) ,

JW20H/30Hのとき、データリンクの動作を停止 [ HEX( 16進数 ) バイト ]  
JW300のとき、スタートスイッチを00(H)に設定

JW20H/30Hのとき

パラメータアドレス7777<sup>(8)</sup>に00<sup>(H)</sup>を書き込んで、JW-22CMの動作を停止させます。  
パラメータ設定は、JW-22CMの動作停止中のみ可能です。

JW-15PGの画面  
7 7 7 7 モニタ MNTR A 0 書込 ENT  
パラメータアドレス7777の内容を16進数で表示 ( 00<sup>(H)</sup>を書き込む )  
07775 HEX 00  
07776 HEX 1F  
I パラメータ  
> 07777 HEX 00

JW300のとき

パラメータアドレス3777<sup>(8)</sup>( スタートスイッチ ) に00<sup>(H)</sup>を書き込みます。

JW-15PGの画面  
3 7 7 7 モニタ MNTR A 0 書込 ENT  
パラメータアドレス3777の内容を16進数で表示 ( 00<sup>(H)</sup>を書き込む )  
3775 HEX 00  
3776 HEX 00  
P パラメータ O-SW: 0  
> 3777 HEX 00

7777<sup>(8)</sup> ( 3777<sup>(8)</sup> ) 00<sup>(H)</sup>

( )内はJW300のとき  
以下、同様

ユニットNo.スイッチ = 0 のとき

次ページへ

前ページより

SEND・RECEIVE機能を使用時のみ

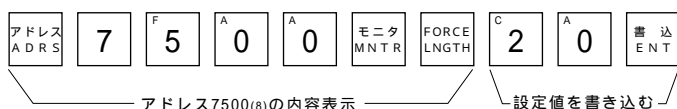
**SEND・RECEIVE命令のタイムアウト時間を設定** [ DCM( 10進数 ) バイト ]

自局がSEND・RECEIVE命令を使用するとき、タイムアウト時間を通信相手局毎に設定します。設定範囲は10進数で、00( 0.1秒 )~ 25( 25.5秒 )です。初期値の00(H)は 1秒 となります。

アドレス(8)			局番号	アドレス(8)			局番号	アドレス(8)			局番号	アドレス(8)			局番号
JW20H/30H	JW300	(8)	(8)	JW20H/30H	JW300	(8)	(8)	JW20H/30H	JW300	(8)	(8)	JW20H/30H	JW300	(8)	(8)
7500	3500		親局	7520	3520	2 0		7540	3540	4 0		7560	3560	6 0	
7501	3501	0 1		7521	3521	2 1		7541	3541	4 1		7561	3561	6 1	
7502	3502	0 2		7522	3522	2 2		7542	3542	4 2		7562	3562	6 2	
7503	3503	0 3		7523	3523	2 3		7543	3543	4 3		7563	3563	6 3	
7504	3504	0 4		7524	3524	2 4		7544	3544	4 4		7564	3564	6 4	
7505	3505	0 5		7525	3525	2 5		7545	3545	4 5		7565	3565	6 5	
7506	3506	0 6		7526	3526	2 6		7546	3546	4 6		7566	3566	6 6	
7507	3507	0 7		7527	3527	2 7		7547	3547	4 7		7567	3567	6 7	
7510	3510	1 0		7530	3530	3 0		7550	3550	4 8		7570	3570	7 0	
7511	3511	1 1		7531	3531	3 1		7551	3551	5 1		7571	3571	7 1	
7512	3512	1 2		7532	3532	3 2		7552	3552	5 2		7572	3572	7 2	
7513	3513	1 3		7533	3533	3 3		7553	3553	5 3		7573	3573	7 3	
7514	3514	1 4		7534	3534	3 4		7554	3554	5 4		7574	3574	7 4	
7515	3515	1 5		7535	3535	3 5		7555	3555	5 5		7575	3575	7 5	
7516	3516	1 6		7536	3536	3 6		7556	3556	5 6		7576	3576	7 6	
7517	3517	1 7		7537	3537	3 7		7557	3557	5 7		7577	3577	7 7	

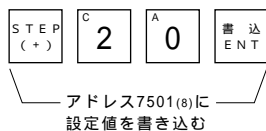
初期値：全アドレス00(H) ( 1秒 )

【例】JW20H/30Hのとき、パラメータアドレス7500(α 親局 )、7501(α 子局01 )をとともに020(α 2秒 )に設定する場合



JW-15PGの画面

0 7 4 7 7	DCM	0 0 0
0 7 5 0 0	DCM	0 2 0
I	パラメータ	
> 0 7 5 0 1	DCM	0 2 0



次ページへ

前ページより

SEND・RECEIVE機能を使用時のみ

各局のPLC機種を設定 [ HEX( 16進数 ) バイト ]

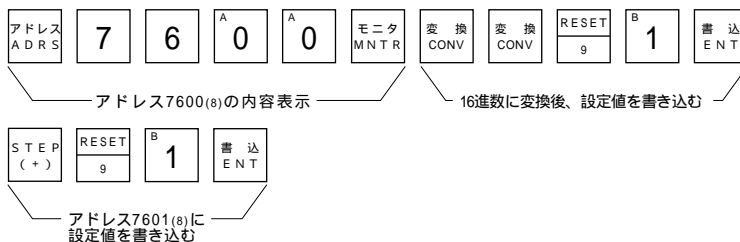
通信相手局として91(H)を設定します。

相手局の通信ユニット \ 相手局のPLC	ZWモデル	JWモデル
ZW-20CM ( JW対応マーク無し )	使用不可	使用不可
ZW-20CM ( JW対応マーク付き )	使用不可	91(H)
JW-20CM	使用不可	91(H)
JW-22CM	91(H)	

アドレス ( 8 )			局番号 ( 8 )	アドレス ( 8 )			局番号 ( 8 )	アドレス ( 8 )			局番号 ( 8 )
JW20H/30H	JW300			JW20H/30H	JW300			JW20H/30H	JW300		
7600	3600		親局	7620	3620		2 0	7640	3640		4 0
7601	3601		0 1	7621	3621		2 1	7641	3641		4 1
7602	3602		0 2	7622	3622		2 2	7642	3642		4 2
7603	3603		0 3	7623	3623		2 3	7643	3643		4 3
7604	3604		0 4	7624	3624		2 4	7644	3644		4 4
7605	3605		0 5	7625	3625		2 5	7645	3645		4 5
7606	3606		0 6	7626	3626		2 6	7646	3646		4 6
7607	3607		0 7	7627	3627		2 7	7647	3647		4 7
7610	3610		1 0	7630	3630		3 0	7650	3650		4 8
7611	3611		1 1	7631	3631		3 1	7651	3651		5 1
7612	3612		1 2	7632	3632		3 2	7652	3652		5 2
7613	3613		1 3	7633	3633		3 3	7653	3653		5 3
7614	3614		1 4	7634	3634		3 4	7654	3654		5 4
7615	3615		1 5	7635	3635		3 5	7655	3655		5 5
7616	3616		1 6	7636	3636		3 6	7656	3656		5 6
7617	3617		1 7	7637	3637		3 7	7657	3657		5 7

初期値は、JW20H/30Hのとき全アドレス91(H)、JW300のとき全アドレス00(H)です。

【例】JW20H/30Hのとき、パラメータアドレス7600(8)( 親局 )、7601( 子局01 )をともに91(H)( JW-22CM )に設定する場合 - - 11・10ページ



JW-15PGの画面

07577	HEX	00
07600	HEX	91
I	パラメータ	
> 07601	HEX	91

次ページへ

前ページより

SEND・RECEIVE機能を使用時のみ

**SEND・RECEIVE機能のチャンネル毎に方式を選択**

パラメータアドレス7700～7703<sub>(8)</sub>(3700～3703<sub>(8)</sub>)に、各チャンネル毎の方式(命令/データメモリ起動)を選択します。

↓ JW20H/30Hのとき

7700 <sub>(8)</sub>	CH0
7701 <sub>(8)</sub>	CH1
7702 <sub>(8)</sub>	CH2
7703 <sub>(8)</sub>	CH3

1. チャンネル単独使用の場合

チャンネル	設定値 <sub>(H)</sub>	方式
CH0	00	命令方式
	80	データメモリ起動方式
CH1	00	命令方式
	81	データメモリ起動方式
CH2	00	命令方式
	82	データメモリ起動方式
CH3	00	命令方式
	83	データメモリ起動方式

2. チャンネル連結使用の場合 10・2ページ参照

SEND・RECEIVE機能では各チャンネル毎に最大256バイトのデータを送受信できますが、データメモリ起動方式の場合にはチャンネルの連結により通信データ量を拡大できます。値は8X<sub>(H)</sub>(Xは0～3で、そのチャンネルを連結してどのチャンネルとして使用するか)を設定します。

連結使用する場合、連結するチャンネルは連続していなければなりません。例えばチャンネル0と1、チャンネル2と3は連結できますが、チャンネル1と3は連結できません。

【例1】すべてデータメモリ起動方式(単独使用)の場合

↓ JW20H/30Hのとき

CH0	7700 <sub>(8)</sub>	80 <sub>(H)</sub>
CH1	7701 <sub>(8)</sub>	81 <sub>(H)</sub>
CH2	7702 <sub>(8)</sub>	82 <sub>(H)</sub>
CH3	7703 <sub>(8)</sub>	83 <sub>(H)</sub>

【例2】チャンネル0は命令方式、チャンネル1～3はデータメモリ起動方式で連結使用の場合

CH0	7700 <sub>(8)</sub>	00 <sub>(H)</sub>
CH1	7701 <sub>(8)</sub>	81 <sub>(H)</sub>
CH2	7702 <sub>(8)</sub>	81 <sub>(H)</sub>
CH3	7703 <sub>(8)</sub>	81 <sub>(H)</sub>

・このときチャンネル2、3は使用できません。

「00<sub>(H)</sub>、80～83<sub>(H)</sub>」以外の値を設定した場合、無視されます。

次ページへ

前ページより

SEND・RECEIVE機能を使用時のみ

SEND・RECEIVE機能においてデータメモリ起動方式を使用時、通信情報格納領域の先頭アドレスを設定

パラメータアドレス7710～7713<sub>(8)</sub>(3710～3713<sub>(8)</sub>)にファイルアドレス<sub>(8)</sub>で設定します。  
通信情報格納領域(64バイト)の設定範囲は、フラグ領域の設定範囲と同じです。 11・28、29ページ参照

JW20H/30Hのとき

7710 <sub>(8)</sub>	下位
7711 <sub>(8)</sub>	上位
7712 <sub>(8)</sub>	通信情報格納領域のファイル番号
7713 <sub>(8)</sub>	80 <sub>(H)</sub> で本設定が有効

通信情報格納領域の先頭アドレスをファイルアドレス<sub>(8)</sub>で設定(JW300のときアドレスnで設定 16・26ページ参照)

JW300のときfileN 16・26ページ参照

省メモリ機能を使用時のみ

省メモリ機能において、リレーリンクの受信バイト数を設定 [DCM(10進数)ワード]

パラメータアドレス7720～7721<sub>(8)</sub>(3720～3721<sub>(8)</sub>)に10進数で設定します。設定範囲は0～64<sub>(D)</sub>です。

JW20H/30Hのとき

7720 <sub>(8)</sub>	下位
7721 <sub>(8)</sub>	上位

【例】JW20H/30Hのとき、4バイトに設定する場合 - - 11・10ページ

アドレス ADRS	7	7	C	A	0	モニタ MNTR
--------------	---	---	---	---	---	-------------

→ パラメータアドレス7720～7721<sub>(8)</sub>の内容表示

変換 CONV	変換 CONV	E	4	書込 ENT
------------	------------	---	---	-----------

→ 10進数に変換後、00004<sub>(D)</sub>を書き込む

JW-15PGの画面

07714	D	00000
07716	D	00000
I	パラメータ	
>07720	D	00004

7720<sub>(8)</sub> 00004<sub>(D)</sub>  
7721<sub>(8)</sub>

省メモリ機能を使用時のみ

省メモリ機能において、レジスタリンクの受信バイト数を設定 [DCM(10進数)ワード]

パラメータアドレス7722～7723<sub>(8)</sub>(3722～3723<sub>(8)</sub>)に10進数で設定します。設定範囲は0～512<sub>(D)</sub>です。

7722 <sub>(8)</sub>	下位
7723 <sub>(8)</sub>	上位

【例】JW20H/30Hのとき、パラメータアドレス7722～7723<sub>(8)</sub>に8バイトを設定する場合 - - 11・10ページ

アドレス ADRS	7	7	C	C	モニタ MNTR
--------------	---	---	---	---	-------------

→ パラメータアドレス7722～7723<sub>(8)</sub>の内容表示

SET	書込 ENT
8	

→ 00008<sub>(D)</sub>を書き込む

JW-15PGの画面

07716	D	00000
07720	D	00004
I	パラメータ	
>07722	D	00008

7722<sub>(8)</sub> 00008<sub>(D)</sub>  
7723<sub>(8)</sub>

局番情報出力の有無を設定

パラメータアドレス7763<sub>(8)</sub>(3763<sub>(8)</sub>)に、局番情報出力の有無を設定します。

7763<sub>(8)</sub>(3763<sub>(8)</sub>) 局番情報出力の有無00<sub>(H)</sub>: 出力しない01<sub>(H)</sub>: 出力する

- ・フラグ領域(24バイト)の次の1バイトに出力されます。
- ・パラメータアドレス7767<sub>(8)</sub>(3767<sub>(8)</sub>)=80<sub>(H)</sub>のときに、設定有効です。

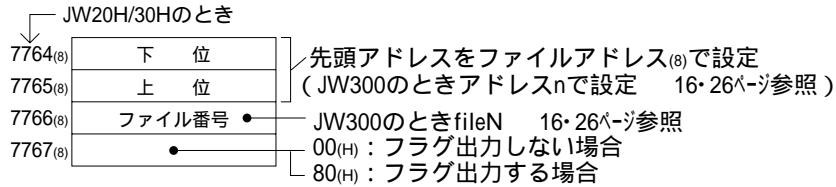
次ページへ

前ページより

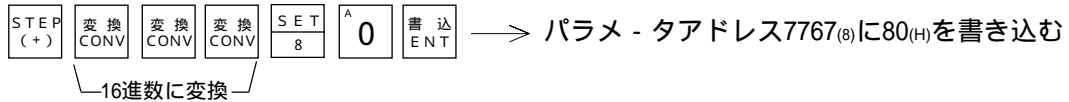
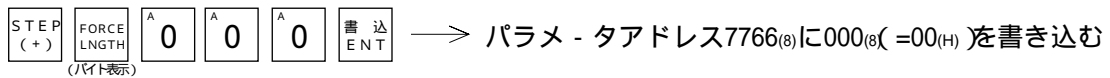
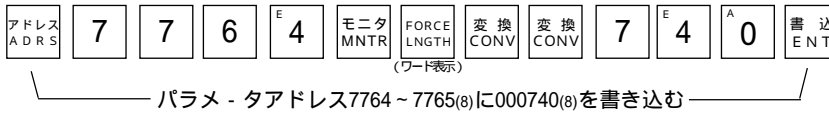
フラグ領域の先頭アドレスを設定

[ ファイルアドレス：OCT( 8進数 )ワード  
ファイル番号/フラグ：HEX( 16進数 )バイト ]

通信状態およびPLC運転状態を監視するフラグ領域( 24バイト )の先頭アドレスを、パラメータアドレス7764 ~ 7767<sup>(8)</sup>( 3764 ~ 3767<sup>(8)</sup> )に設定します。  
フラグ領域は接続局数に関係なく24バイトを使用します。



【例】JW20H/30Hのとき、パラメータアドレス7764 ~ 7767<sup>(8)</sup>にコ0740( ファイルアドレス000740<sup>(8)</sup> )、「フラグ出力する」を設定する場合 - - 11・10<sup>ページ</sup>の子局01



JW-15PGの画面

0 7 7 6 5	HEX	0 1
0 7 7 6 6	HEX	0 0
I パラメータ		
> 0 7 7 6 7	HEX	8 0

7764 <sup>(8)</sup>	000740 <sup>(8)</sup>
7765 <sup>(8)</sup>	
7766 <sup>(8)</sup>	00 <sup>(H)</sup>
7767 <sup>(8)</sup>	80 <sup>(H)</sup>

次ページへ

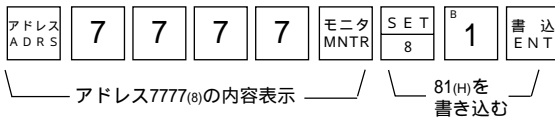
前ページより

JW20H/30Hのとき、JW-22CMのEEPROMへの書込・動作スタート  
 JW300のとき、スタートスイッチを01(H)に設定 [HEX(16進数)バイト]

JW20H/30Hのとき

パラメータアドレス7777(8)に81(H)を書き込んで、設定したパラメータ内容を本機のEEPROMに書き込み後、本機を動作させます。動作スタートすると、設定値は01(H)に变化します。

設定値(H)	内 容
00	JW-22CMの動作停止
01	JW-22CMの動作スタート
80	JW-22CMのEEPROMへ書込・動作停止
81	JW-22CMのEEPROMへ書込・動作スタート
08	パラメータアドレス4000~7777(8)の設定値を初期化



JW-15PGの画面

07775	HEX	00
07776	HEX	36
I	パラメータ	
>07777	HEX	81

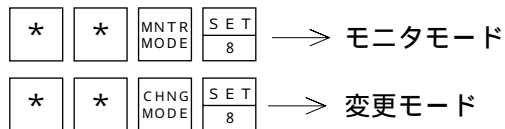
- EEPROMへの書き込み時間は約0.7秒です。パラメータ設定に誤りがあると、エラーコード(6F(H))を本機の表示ランプで点灯します。復旧方法は16・2ページを参照願います。
- EEPROMへ書き込んだ内容は、JW20H/30Hの電源投入時に本機のRAMへ自動的に読み出します。読み出し時、BCCチェックを行い、パラメータメモリアドレス(7776(8))のBCCチェックコードと比較します。誤りがあるとエラーコード(6E(H))を本機の表示ランプで点灯します。

JW300のとき

パラメータアドレス3777(8)(スタートスイッチ)に01(H)を書き込んで、設定したパラメータ内容を、コントロールユニットから本機へ転送します。

PLC運転

子局のPLCをモニタまたは変更モード(PLC運転)にします。



JW-15PGの画面

C00000
>

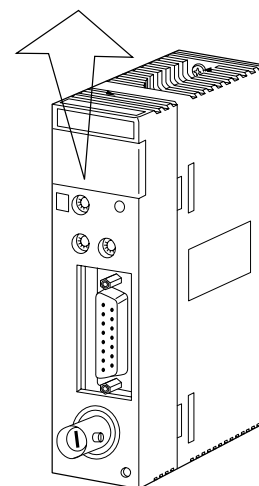
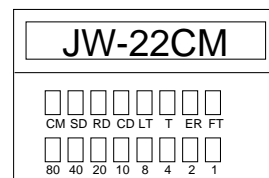


# 第 12 章 異常と対策

JW-22CM(以下、本機)の動作状態は、表示ランプ、フラグおよびJW20H/30H/30C(以下、PLC)のシステムメモリで確認できます。

## 12 - 1 表示ランプ

LED名	内 容	対 策
CM	データリンク動作中、点灯	——
SD	データ送信中、点灯	——
RD	データ受信中、点灯	——
CD	キャリア検出時、点灯	——
LT	終端抵抗「ON」時、点灯	——
T	テスト中、点灯	——
ER	通信異常時、点灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信ケーブルの断線チェック</li> <li>・スイッチの設定内容チェック</li> <li>・パラメータの設定内容チェック</li> <li>・PLCの電源電圧チェック</li> </ul>
FT	ウォッチドグタイムアップ時、点灯	本機の交換



LED「1」～「80」は異常発生時、エラーコードを点灯・消灯で表示します。エラーコードとその原因、対策は下表のとおりです。

：点灯、 ：消灯

LED名								エラーコード (16進数)	原 因	対 策	
80	40	20	10	8	4	2	1				
								01	上位CPU ROM異常	本機を交換	
								02	上位CPU RAM異常		
								03	上位CPU PLCとの2ポートRAM異常		
								04	上位CPU 通信CPUとの2ポートRAM異常		
								11	通信CPU ROM異常	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信ケーブルをチェック</li> <li>・子局番号の重複をチェック</li> <li>・本機を交換</li> </ul>	
								12	通信CPU RAM異常		
								18	通信CPU 通信LSI異常		
								1F	通信CPU 応答なし		
								20	複数トークン検出	パラメータ設定をチェック	
								21	重複アドレス検出		
								22	送信部故障	本機を交換	
								23	規定時間以内にトークンが回ってこない	通信ケーブルをチェック	
								2A	受信バッファオーバーフロー ・上位CPUの処理が遅いときに発生	通信ケーブルをチェック	
								2B	フレーム長エラー		<ul style="list-style-type: none"> <li>・データの施工不良および外部からのノイズで発生</li> </ul>
								2C	メディア不良		
								30	EEPROM不良	本機を交換	
								60	スイッチ設定エラー	スイッチ設定をチェック	
								6E	BCCエラー	パラメータ設定をチェック	
								6F	パラメータ設定異常		
								C1	通信異常	通信ケーブル、子局エントを チェック	
								FF	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8進数に変換すると、下2桁が異常子局番号となる(例：C1<sub>(H)</sub>=301<sub>(8)</sub>=子局01)</li> </ul>		

エラーコードC1～FF<sub>(H)</sub>の表示には、パラメータアドレス7750～7757<sub>(8)</sub>(3750～3757<sub>(8)</sub>)の設定が必要です。 16・14、22ページ参照

## 12 - 2 フラグ

フラグ領域は、親局 / 子局パラメータに設定した「フラグ先頭アドレス」から24バイトとなります。

( 1 ) フラグ一覧表 [ フラグ先頭アドレスがコ0740の場合 ]

	7	6	5	4	3	2	1	0	
コ0740	07	06	05	04	03	02	01	00	通信監視フラグ
コ0741	17	16	15	14	13	12	11	10	
コ0742	27	26	25	24	23	22	21	20	
コ0743	37	36	35	34	33	32	31	30	
コ0744	47	46	45	44	43	42	41	40	
コ0745	57	56	55	54	53	52	51	50	
コ0746	67	66	65	64	63	62	61	60	
コ0747	77	76	75	74	73	72	71	70	運転状態 監視フラグ〔1〕
コ0750	07	06	05	04	03	02	01	00	
コ0751	17	16	15	14	13	12	11	10	
コ0752	27	26	25	24	23	22	21	20	
コ0753	37	36	35	34	33	32	31	30	
コ0754	47	46	45	44	43	42	41	40	
コ0755	57	56	55	54	53	52	51	50	
コ0756	67	66	65	64	63	62	61	60	
コ0757	77	76	75	74	73	72	71	70	運転状態 監視フラグ〔2〕
コ0760	07	06	05	04	03	02	01	00	
コ0761	17	16	15	14	13	12	11	10	
コ0762	27	26	25	24	23	22	21	20	
コ0763	37	36	35	34	33	32	31	30	
コ0764	47	46	45	44	43	42	41	40	
コ0765	57	56	55	54	53	52	51	50	
コ0766	67	66	65	64	63	62	61	60	
コ0767	77	76	75	74	73	72	71	70	

### 留意点

- ・フラグは、子局側でも24バイト分をモニタできます。

(2) 親局のとき

通信監視フラグ

他局との通信状態をモニタするフラグです。非接続局はOFFのままです。

フラグ	フラグの動作条件	フラグ動作
自局の フラグ (親局)	親局のパラメータアドレス7777(8)(3777(8))の設定値が01(H)で親局正常動作中	ON
	親局のパラメータアドレス7777(8)(3777(8))の設定値が00(H)のとき	OFF
	パラメータ設定誤り、BCCチェックエラー、その他エラー時	

フラグ	フラグの動作条件	フラグ動作	
他局の フラグ (01~77)	子局との通信正常動作中	ON	特定子局
	子局との通信が途絶えたり、通信できないと	OFF	
	親局の通信監視フラグがOFFしたとき		全子局

親局は通信異常の子局に対して、定期的に通信回復動作を行います。異常局が回復すると通常の通信に戻ります。

運転状態監視フラグ〔1〕

各子局との通信が正常なとき、子局側の運転状態をモニタするフラグです。非接続局はOFFのままです。

フラグ	フラグの動作条件	フラグ動作
自局の フラグ (親局)	親局の通信監視フラグがONしているとき	ON
	親局の通信監視フラグがOFFしているとき	OFF

フラグ	フラグの動作条件	フラグ動作	
他局の フラグ (01~77)	子局運転中	ON	特定子局
	子局が停止中(異常による停止ではない)	OFF	
	親局の通信監視フラグがOFFしているとき		全子局
	通信監視フラグがOFFとなった子局のとき	不定	

親局のPLCが停止中または異常停止であっても、本機が通信中はONします。

運転状態監視フラグ〔2〕

各子局との通信が正常なとき、子局側の異常停止をモニタするフラグです。非接続局はOFFのままです。

フラグ	フラグの動作条件	フラグ動作
自局の フラグ (親局)	親局の通信監視フラグがONしているとき	ON
	親局の通信監視フラグがOFFしているとき	OFF

フラグ	フラグの動作条件	フラグ動作	
他局の フラグ (01~77)	各子局「正常」	ON	特定子局
	各子局「異常」(各子局が異常停止となる原因のとき)	OFF	
	親局の通信監視フラグがOFFしているとき		全局
	通信監視フラグがOFFとなった子局のとき	不定	

親局のPLCが停止中または異常停止であっても、本機が通信中はONします。

(3) 子局01～77<sup>(8)</sup>のとき

通信監視フラグ

他局との通信状態をモニタするフラグです。非接続局は「OFF」のままです。

フラグ	フラグの動作条件	フラグ動作
自局のフラグ	自局のパラメータアドレス7777 <sup>(8)</sup> ( JW20H/30H )、3777 <sup>(8)</sup> ( JW300 )の設定値が01 <sup>(H)</sup> で親局と正常動作中	ON
	自局のパラメータアドレス7777 <sup>(8)</sup> が00 <sup>(H)</sup> のとき	OFF
	親局のリンクスタートスイッチ00 <sup>(H)</sup> ( OFF )のとき	

フラグ	フラグの動作条件	フラグ動作	
他局のフラグ	各局との通信正常動作中	ON	特定局
	各局との通信が途絶えたり通信できないとき	OFF	
	親局の通信監視フラグが「OFF」したとき		全局

運転状態監視フラグ〔1〕

各局との通信が正常なとき、各局の運転状態をモニタするフラグです。非接続局は「OFF」のままです。

フラグ	フラグの動作条件	フラグ動作
自局のフラグ	自局の通信監視フラグが「ON」しているとき	ON
	自局の通信監視フラグが「OFF」しているとき	OFF

フラグ	フラグの動作条件	フラグ動作	
他局のフラグ	各局運転中	ON	特定局
	各局停止中（異常による停止ではない）	OFF	
	自局の通信監視フラグが「OFF」しているとき		全子局
	通信監視フラグが「OFF」となった子局のとき	不定	

自局のPLCが停止中または異常停止であっても、本機が通信中は「ON」します。

運転状態監視フラグ〔2〕

各局との通信が正常なとき、各局の異常停止をモニタするフラグです。非接続局は「OFF」のままです。

フラグ	フラグの動作条件	フラグ動作
自局のフラグ	自局の通信監視フラグが「ON」しているとき	ON
	自局の通信監視フラグが「OFF」しているとき	OFF

フラグ	フラグの動作条件	フラグ動作	
他局のフラグ	各局「正常」	ON	特定局
	各局「異常」（各局が異常停止となる原因のとき）	OFF	
	自局の通信監視フラグが「OFF」しているとき		全局
	通信監視フラグが「OFF」となった子局のとき	不定	

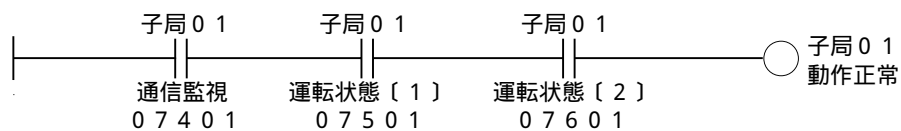
自局のPLCが停止中または異常停止であっても、本機が通信中は「ON」します。

(4) 各局PLCでの運転状態モニタ

各局PLCで、下記のようなフラグを使用したプログラムをすることによって、各局PLCの運転状態をモニタできます。

【例】フラグ先頭アドレスがコ0740の場合

フラグ 先頭アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	
コ0740	07	06	05	04	03	02	01	00	親局 通信監視フラグ
}	}	}	}	}	}	}	}	}	
コ0747	77	76	75	74	73	72	71	70	子局70(8)
コ0750	07	06	05	04	03	02	01	00	運転状態監視フラグ〔1〕
}	}	}	}	}	}	}	}	}	
コ0757	77	76	75	74	73	72	71	70	
コ0760	07	06	05	04	03	02	01	00	運転状態監視フラグ〔2〕
}	}	}	}	}	}	}	}	}	
コ0767	77	76	75	74	73	72	71	70	



## 12 - 3 エラーコードの格納

本機に異常が発生すると、各局PLCのシステムメモリ( #170 ~ 177、#160 ~ 167 ) 異常履歴格納レジスタに下記のエラーコードが格納されます。

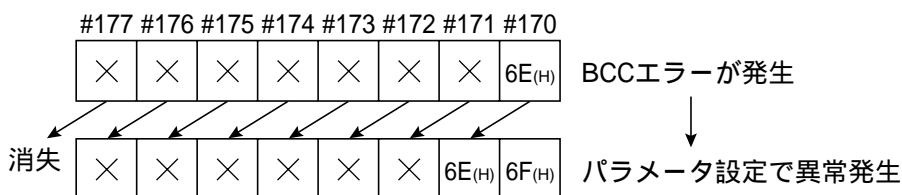
格納内容	システムメモリ			詳細ページ
	JW20H	JW30H	JW300	
オプションユニットのエラーコード	#170 ~ 177			12・7
自己診断結果のエラーコード	#160 ~ 167			
異常スイッチ番号のモニタ	#050	#150		
異常履歴格納レジスタ	E0000 ~ E1577	E6000 ~ E7577	E5600 ~ E7577	12・8

エラーコード (16進数)	原因	システムメモリに格納するエラーコード		対策
		#160 ~ #167	#170 ~ 177	
0 1	上位CPU ROM異常	5 3 (H)	—	本機を交換
0 2	上位CPU RAM異常			
0 3	上位CPU PLCとの2ポートRAM異常			
0 4	上位CPU 通信CPUとの2ポートRAM異常			
1 1	通信CPU ROM異常	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信ケーブルをチェック</li> <li>子局番号の重複をチェック</li> <li>本機を交換</li> </ul>
1 2	通信CPU RAM異常			
1 8	通信CPU 通信LSI異常			
1 F	応答なし	—	1 F (H)	パラメータ設定をチェック
2 0	複数トークン検出	—	2 0 (H)	
2 1	重複アドレス検出	—	2 1 (H)	
2 2	送信部故障	—	2 2 (H)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機を交換</li> <li>通信ケーブルをチェック</li> </ul>
2 3	規定時間内にトークンが回ってこない	—	2 3 (H)	
2 A	受信バッファオーバーフロー ・上位CPUの処理が遅いときに発生	—	2 A (H)	通信ケーブルをチェック
2 B	フレーム長エラー	・メディアの施工不良および外部からのノイズで発生	2 B (H)	
2 C	メディア不良		2 C (H)	
3 0	EEPROM不良	—	3 0 (H)	本機を交換
6 0	スイッチ設定エラー	—	6 0 (H)	スイッチ設定をチェック
6 E	BCCエラー	—	6 E (H)	パラメータ設定をチェック
6 F	パラメータ設定異常	—	6 F (H)	
C 1	通信異常	—	C 1 (H)	通信ケーブル、子局ユニットをチェック
{	・8進数に変換すると、下2桁が異常子局番号となる(例: C1(H)=301(8)=子局01)		}	
F F			F F (H)	

・電源投入時にエラーコード23(H)、2A(H)を格納することがありますが、異常ではありません。

( 1 ) システムメモリ #170~177 - - オプションユニットのエラーコード

システムメモリ #170に格納したエラーコードは、新しい異常が発生するごとに #170 #171 ... #177へ順次シフトし、8回までのエラーコードを記憶します。PLCをRAM運転中は、PLC電源をOFFしてもエラーコードは消えません。また、システムメモリ #170~#177の内容は、正常復帰してもエラーコードは記憶したままとなります。

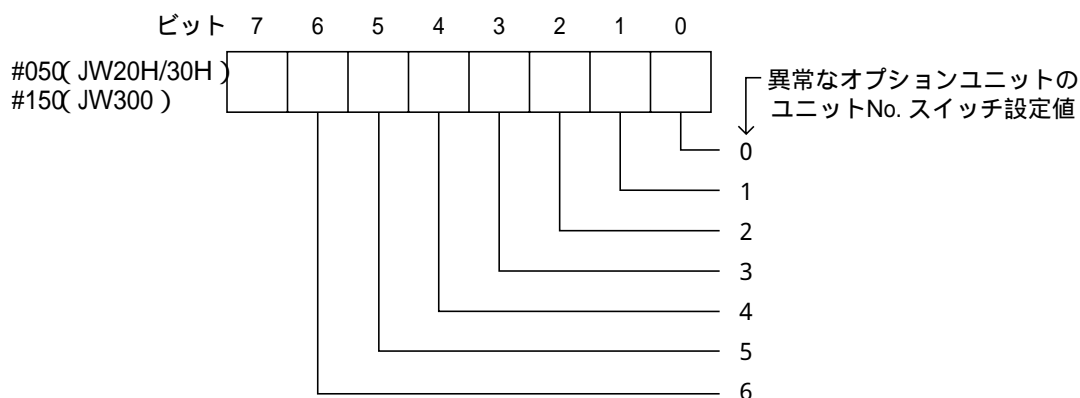


( 2 ) システムメモリ #160~167 - - 自己診断結果のエラーコード

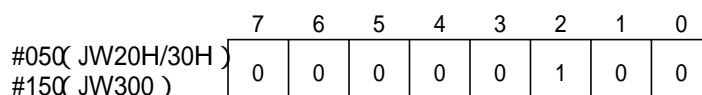
エラーコード01~18(H)の異常が発生すると、システムメモリ #160にエラーコード53(H( オプション異常 ))を格納します。新しい異常が発生するごとに #160 #161 ... #167へ順次シフトし、8回までのエラーコードを格納します。この場合、システムメモリ #170には何も格納しません。

( 3 ) システムメモリ #05Q( JW20H/30H )、#15Q( JW300 ) - - 異常スイッチ番号のモニタ

エラーコード53(H)が発生した場合、システムメモリ #05Q( JW20H/30H )、#15Q( JW300 )をモニタすると、異常なオプションユニット( ユニットNo. スイッチの設定値 )のビットがONします。複数ユニットが異常時は複数ビットがONします。正常復帰すると順次各ビットがOFFしますが、最後に復帰したビットはOFFしません。



【例】次のとき、ユニットNo.スイッチ設定値「2」のオプションユニットが異常です。



(4) 異常履歴

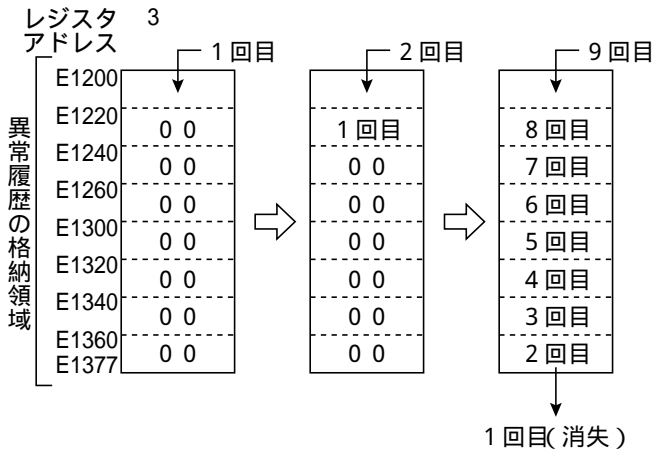
本機で異常が発生すると、異常履歴をレジスタに格納します。格納領域は、本機のユニットNo. スイッチ設定値で決定します。

ユニットNo. スイッチ の設定値	異常履歴格納レジスタ		
	JW20H	JW30H	JW300
0	E1400 ~ E1577	E7400 ~ E7577	
1	E1200 ~ E1377	E7200 ~ E7377	
2	E1000 ~ E1177	E7000 ~ E7177	
3	E0600 ~ E0777	E6600 ~ E6777	
4	E0400 ~ E0577	E6400 ~ E6577	
5	2 E0200 ~ E0377	E6200 ~ E6377	
6	2 E0000 ~ E0177	E6000 ~ E6177	
7	設定禁止		E5600 ~ E5777
8、9	設定禁止		

1

- 1 JW30Hのときシステムメモリ #210 = 02<sub>(H)</sub>、JW300のとき #0213 = 02<sub>(H)</sub> の設定を要します。
- 2 本機のモードスイッチを「2：標準機能」に設定時のみ有効です。

異常履歴の格納領域(128バイト)は16バイトづつ8分割して、異常発生順に8回まで格納します。異常が9回以上になると、最初に格納された異常データから順に消失します。



3 左記レジスタアドレスは、JW20H でユニットNo. スイッチを「1」に設定時です。

各異常データ(16バイト)の内容は、以下のとおりです。

JW20H/30Hの場合

アドレス(4)	内 容		備 考
n + 0 (E1200)	秒	発生日時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JW20H/30HのコントロールユニットがJW-21CU/31CUH/31CUH1のとき、1~7バイト目のデータは無視してください。</li> <li>( ・ JW-21CU/31CUH/31CUH1には時計機能が無いため、正しいデータを格納しません。 )</li> </ul>
n + 1 (E1201)	分		
n + 2 (E1202)	時		
n + 3 (E1203)	日		
n + 4 (E1204)	月		
n + 5 (E1205)	年		
n + 6 (E1206)	曜日		
n + 7 (E1207)	異常コード	本機のエラーコード	エラーコードを格納します。 12・6ページ参照
n + 10 <sub>(8)</sub> (E1210)	——	——	——
n + 11 <sub>(8)</sub> (E1211)	発生回数	000 ~ 377 <sub>(8)</sub>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同じ異常が発生すると、377<sub>(8)</sub>回まで加算します。400<sub>(8)</sub>回以上は377<sub>(8)</sub>のままとなります。(発生日時は最初に発生した日時です。)</li> </ul>
n + 12 <sub>(8)</sub> (E1212)	——	——	——
n + 17 <sub>(8)</sub> (E1217)	——	——	——

4 先頭アドレスがE1200(JW20H)のとき



JW300 の場合

アドレス ( 5 )	内 容		備 考
n + 0 ( E7200 )	秒	1 回目の 発生日時	_____
n + 1 ( E7201 )	分		
n + 2 ( E7202 )	時		
n + 3 ( E7203 )	日		
n + 4 ( E7204 )	月		
n + 5 ( E7205 )	年		
n + 6 ( E7206 )	曜日		
n + 7 ( E7207 )	異常 コード	本機の エラーコード	エラーコードを格納します。 12・6ページ参照
n + 10 <sup>(8)</sup> ( E7210 )	_____	_____	_____
n + 11 <sup>(8)</sup> ( E7211 )	発生回数	000 ~ 377 <sup>(8)</sup>	・ 同じ異常が発生すると、377 <sup>(8)</sup> 回まで加算しま す。400 <sup>(8)</sup> 回以上は377 <sup>(8)</sup> のままとなります。 ( 発生日時は最初に発生した日時です。 )
n + 12 <sup>(8)</sup> ( E7212 )	秒	最後の 発生日時	_____
n + 13 <sup>(8)</sup> ( E7213 )	分		
n + 14 <sup>(8)</sup> ( E7214 )	時		
n + 15 <sup>(8)</sup> ( E7215 )	日		
n + 16 <sup>(8)</sup> ( E7216 )	月		
n + 17 <sup>(8)</sup> ( E7217 )	年		

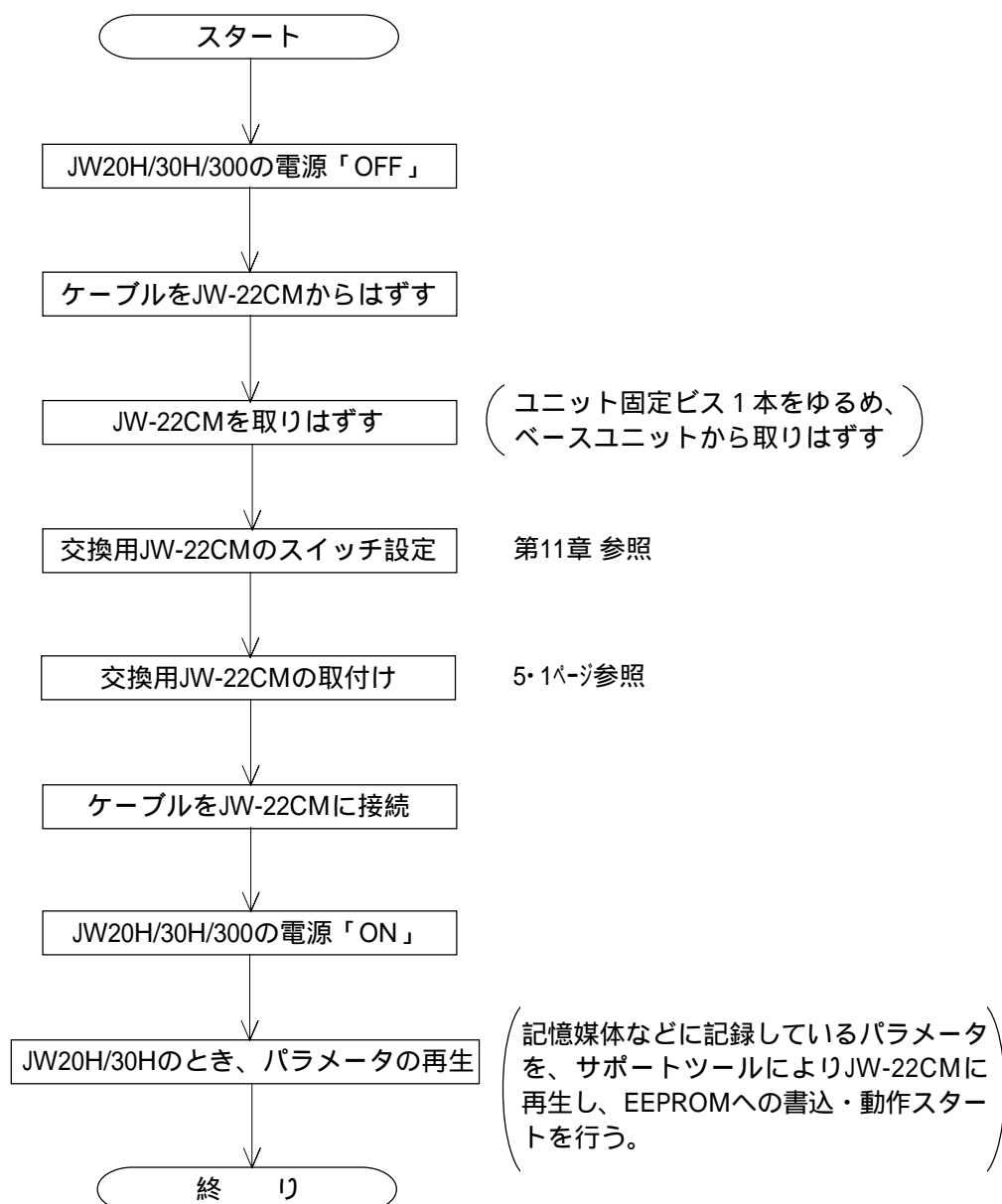
5 先頭アドレスがE7200のとき

## 第 13 章 JW-22CMの交換方法

動作異常( FTランプ点灯 )等のため、JW-22CMを交換する場合は下記の手順で実施してください。

( 設定したパラメータはサポートツールを使用して、必ず記憶媒体などで保存しておいてください。 )

### 操作手順



## 第 14 章 サポートツール

JW-22CM( [300] マーク付き )のパラメータ設定に使用するサポートツール、およびサポートツールによるリモートプログラミング・リモートモニタについて説明します。

### 14 - 1 JW-22CM のパラメータ設定

JW-22CM を実装する PLC 機種( JW20H/30H/300 )によって、JW-22CM のパラメータ設定に使用可能なサポートツール、およびパラメータを設定( サポートツールを接続 )するユニットが異なります。

JW-22CM の実装PLC	JW-22CMのパラメータ	
	設定可能なサポートツール	設定するユニット
JW20H	JW-15PG、JW-14PG( ハンディプログラマ ) JW-300SP、JW-100SP( ラダー設計支援ソフト ) JW-52SP、JW-92SR( ラダーソフト )	JW-22CM
JW30H		
JW300	JW-15PG( ハンディプログラマ ) JW-300SP( ラダー設計支援ソフト )	コントロールユニット ( JW-3**CU )

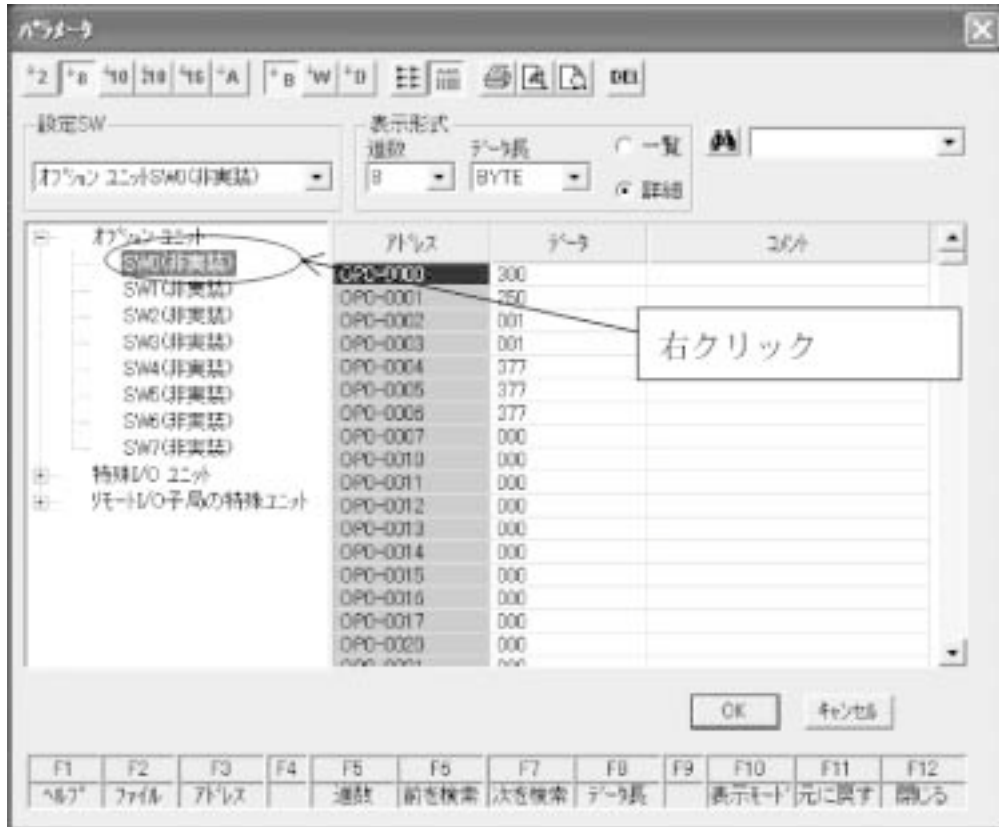
・ JW-22CM を JW300 に実装時、JW-22CM のパラメータはコントロールユニット内のオプションパラメータに設定します。JW20H/30H に実装時は、従来どおり JW-22CM 内のパラメータメモリに設定します。

JW-22CM を JW300 に実装時のパラメータ設定手順( JW-300SP、JW-15PGによる )を、14・2・3ページに説明します。

- ・ JW20H/30H に実装時のパラメータ設定手順は、従来どおりです。
- ・ JW-15PG による JW-22CM( JW20H/30H/300 に実装 )のパラメータ設定操作は、親局( 11・16・26 ページ )、子局( 11・31・37 ページ )を参照願います。

- ( 1 ) JW-300SP によるパラメータ設定手順( JW-22CM を JW300 に実装時 )  
 JW-300SP を使用して、JW-22CM( JW300 に実装時 ) のパラメータ( 本体パラメータ )を設定し、  
 JW300 コントロールユニット( JW-3\*\*CU )内のオプションパラメータへ転送する手順を説明しま  
 す。

プロジェクトウィンドウの「パラメータ」をクリックする。  
 パラメータウィンドウが表示される。



該当ユニット No. を右クリックし、「実装する」を選択し、機種を選択する。  
 各オプションユニットのパラメータ設定画面が表示される。  
 必要なパラメータを設定し、「OK」をクリックする。

パラメータアドレス 3777<sub>(8)</sub> の設定が 01<sub>(H)</sub> の状態で、コントロールユニットへ「パラメータの PLC 転送」を実行すると、パラメータメモリ転送エラー(メッセージ表示)となります。  
 このときは、次の手順でパラメータアドレス 3777<sub>(8)</sub> をクリア( 00<sub>(H)</sub> )した後、PLC( JW300 )への書込( 転送 )を実行してください。

【手順】パラメータウィンドウで該当ユニット No. のユニットを右クリックし、「動作設定」  
 「リンク動作停止」を実行する。

・ JW-300SP の詳細は、JW-300SP ユーザーズマニュアル( JW-300SP のヘルプ )を参照願います。

- ( 2 ) JW-15PG によるパラメータ設定手順( JW-22CM を JW300 に実装時 )  
JW-15PG を使用して、JW-22CM( JW300 に実装時 ) のパラメータを、JW300 コントロールユニット ( JW-3\*\*CU ) 内のオプションパラメータに設定する手順を説明します。

JW-15PG を、JW-3\*\*CU の PG/COMM ポートに接続する。

JW-3\*\*CU をプログラムモードにする。

JW-15PG をキー操作 ( 

クリア
CLR

編集
EDIT

A
0

B
1

 ) して、本体パラメータ( オプション ) 画面を表示する。

本体パラメータ画面にて、ユニット No( SW番号 ) を設定し、

,
---

 キーでパラメータアドレス( 4桁 ) を表示する。

パラメータアドレス 3777<sub>(8)</sub> に 00<sub>(H)</sub> を設定( 書き込み ) する。

アドレス 3777<sub>(8)</sub> が 00<sub>(H)</sub> 以外するとき、パラメータに設定値を書き込めません。

「カキコミキンシ - ハード - 」が表示されます。

必要なパラメータを設定する。

設定後、パラメータアドレス 3777<sub>(8)</sub> に 01<sub>(H)</sub> を設定する。

- ・ JW-15PG による JW-22CM のパラメータ設定操作は、親局( 11・16・26 ページ )、子局( 11・31・37 ページ ) を参照願います。  
なお、JW-15PG の操作内容等の詳細は、JW-15PG ユーザーズマニュアルを参照願います。

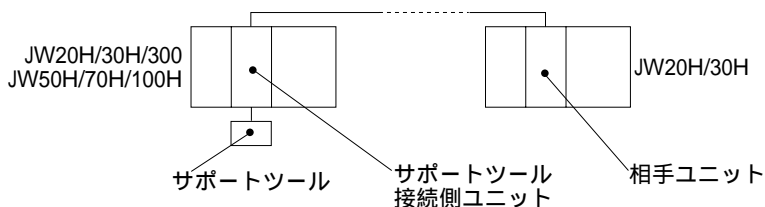
## 14 - 2 リモートプログラミング・リモートモニタ

サテライトネット上に接続された他局の PLC を操作する方法が、リモートプログラミング・リモートモニタです。

「JW20H/30H に対する場合」と「JW300 に対する場合」では、使用可能なサポートツール等が異なります。各場合に分けて、以下に説明します。

### 〔 1 〕 JW20H/30H に対する場合

JW20H/30H に対してリモートプログラミング・リモートモニタを行う場合、使用可能なサポートツール、サポートツール接続側ユニット、相手ユニットの関係は次のとおりです。



使用可能なサポートツール	サポートツール接続側ユニット	相手ユニット ( JW-22CM )		
		300 マーク付き	30Hn マーク付き	30H マーク付き
JW-15PG	300 マーク付きの JW-22CM			
JW-14PG	30Hn マーク付きの JW-22CM / JW-20CM			
JW-300SP	30H マーク付きの JW-22CM / JW-20CM			
JW-100SP	30H マーク付きの JW-22CM / JW-20CM			
JW-92SP ( Ver5.5以上 )	マーク無し			
JW-52SP ( Ver5.5以上 )	マーク無し の JW-22CM / JW-20CM			

: 全機能対応

: JW-31CUH/32CUH/33CUH として認識

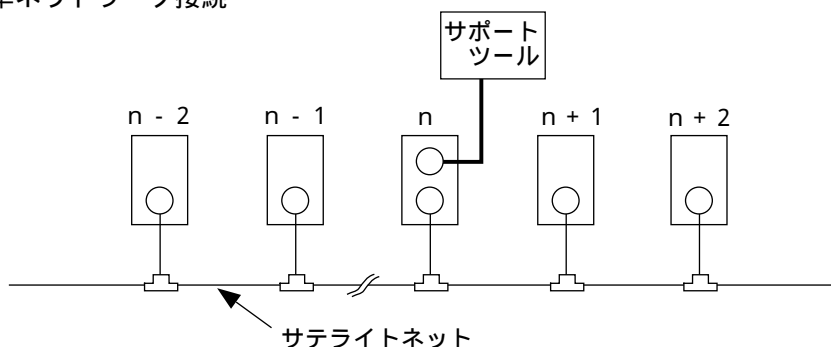
: JW-22CU/50CUH として認識

JW-300SP ( Ver1.10 ) では、標準ネットワーク接続に使用可能です。  
( 拡張ネットワーク接続には使用不可 )

(1) 機能 ( JW20H/30Hに対する場合 )

リモートプログラミング・リモートモニタには、標準ネットワーク接続と拡張ネットワーク接続での操作があります。

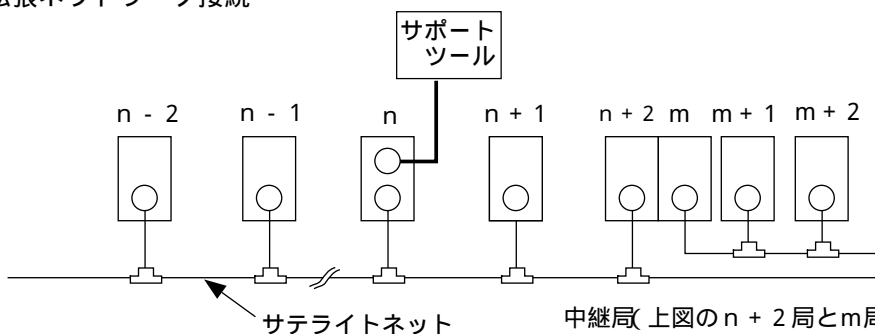
標準ネットワーク接続



n局に接続したサポートツール(前ページ)で、他局の下記操作を行えます。

- ・プログラム変更 (注)PLC運転中の書込み(プログラム変更)は、危険防止のため行えません。PLC停止後に行ってください。
- ・モニタ
- ・パラメータメモリの変更 ( JW-15PG/14PGのみ可能 )

拡張ネットワーク接続



中継局(上図のn+2局とm局)にJW20H( JW-22CM )は使用できません。JW30H/30X( JW-22CM )、JW50H/70H/100H( JW-20CM )をお使いください。

n局に接続したサポートツール(前ページ)で、他局の下記操作を行えます。

- ・プログラム変更 (注)PLC運転中の書込み(プログラム変更)は、危険防止のため行えません。PLC停止後に行ってください。
- ・モニタ
- ・パラメータメモリの変更 ( JW-15PG/14PGのみ可能 )

(2) 設定方法( JW20H/30Hに対する場合 )

ラダー設計支援ソフト JW-100SPでの設定例(概略)について説明します。

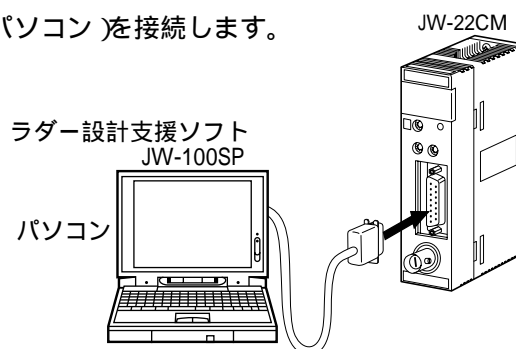
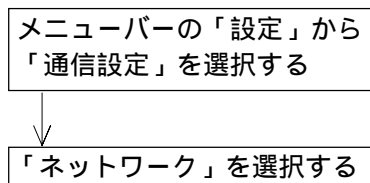
他のサポートツールの設定方法は、それぞれの取扱説明書(ユーザーズマニュアル)を参照願います。

JW-22CMとの接続

サテライトネット上のJW-22CMに、JW-100SP(パソコン)を接続します。

通信設定

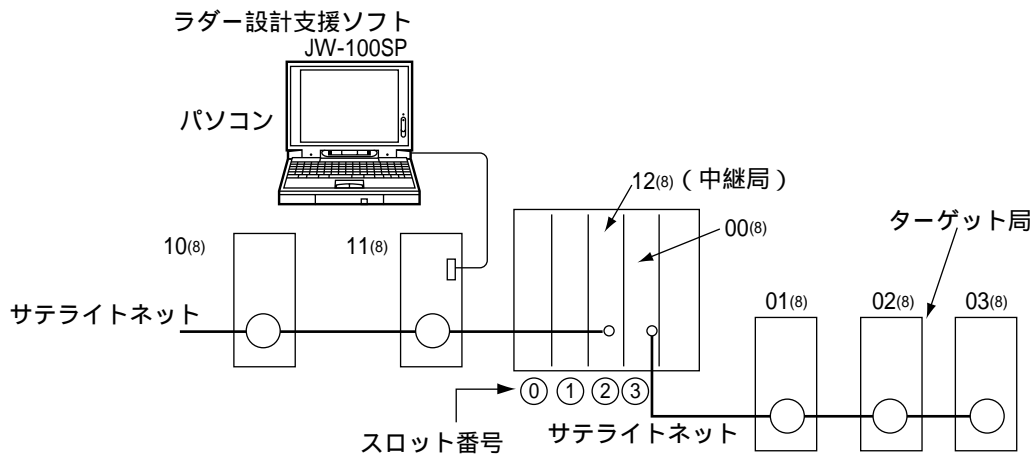
JW-100SPの通信設定を「ネットワーク」に設定します。



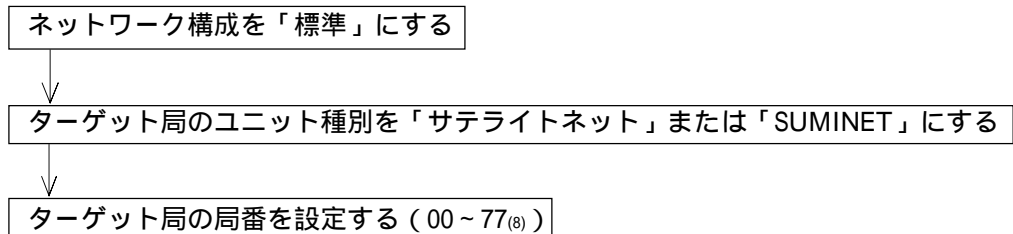
## ネットワーク設定

リモートプログラミング・リモートモニタを行う局(ターゲット局)が標準ネットワーク接続上か、拡張ネットワーク接続上かを設定します。

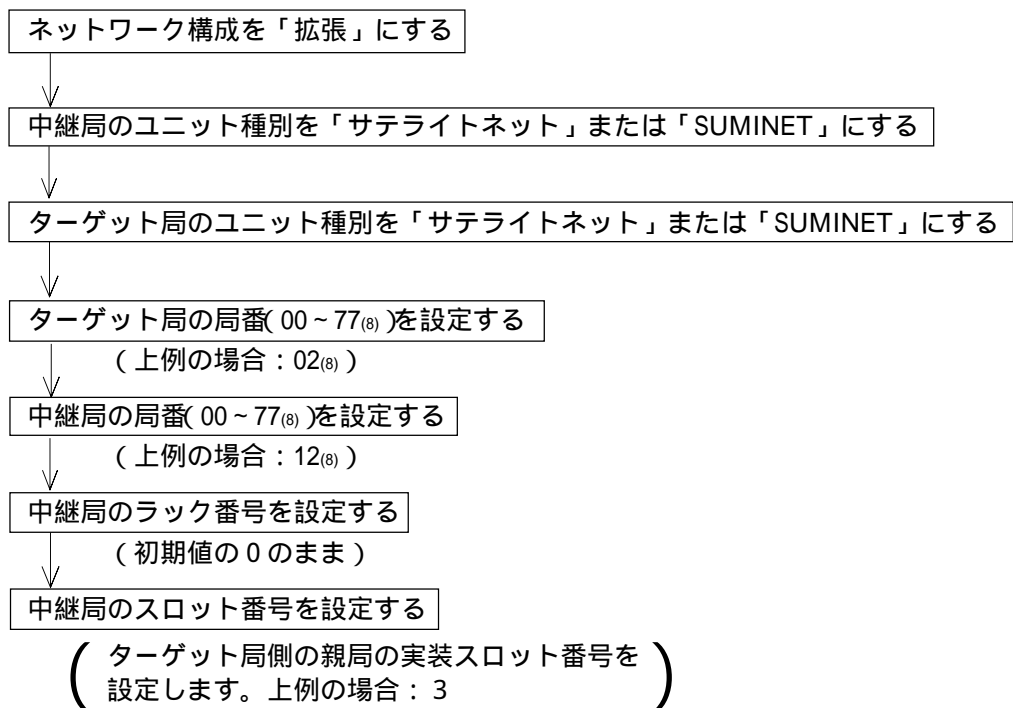
下例の場合、10~12<sup>(8)</sup>は標準ネットワーク接続、01~03<sup>(8)</sup>は拡張ネットワーク接続となります。



### 標準ネットワーク接続



### 拡張ネットワーク接続



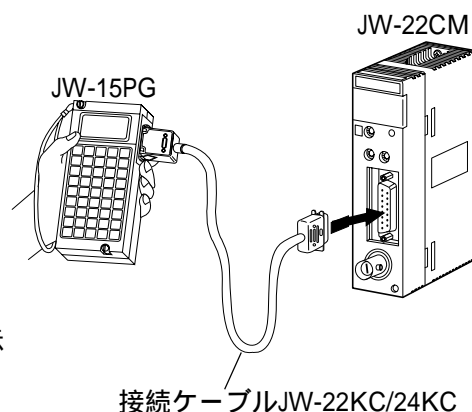


(3) リモートによるパラメータ設定( JW20H/30Hに対する場合 )

サテライトネット上に接続された他局( JW20H/30H )のパラメータ( JW-22CM )を設定する方法です。ただし、標準ネットワーク接続の範囲内のみです。  
使用できるサポートツールはJW-15PG/14PGです。

JW20H/30Hに対する操作例

JW-22CM / JW-20CMにJW-15PGを接続する。



イニシャルモードを選択する。

*	*	シフト SHIFT	INTL DISP	SET 8
---	---	--------------	--------------	----------

      イニシャルモード表示

リモートによるパラメータを設定の指定する。

<sup>A</sup> 0	<sup>A</sup> 0	<sup>B</sup> 1
----------------	----------------	----------------

      「リンク」、「1PG、2PG1モード」、「ターゲット局」を選択

リモートによるパラメータ設定を行うターゲット局(相手局)を設定する。

変換 CONV
------------

      コードを16進数(H)表示から8進数(O)表示に切り換え、ターゲット局(00<sup>(O)</sup> ~ 77<sup>(O)</sup>)を入力

ターゲット局と通信する。

,
---

      ターゲット局との通信開始

ターゲット局との通信終了後、リモートによるパラメータ設定を行う。

クリア CLR
------------

      イニシャルメニューに戻る

ターゲット局のPLCをプログラムモード(PLC停止)にする

イニシャルモードで「パラメータ」設定を選択する

7	7	7	7	モニタ MNTR	<sup>A</sup> 0	書込 ENT
---	---	---	---	-------------	----------------	-----------

      パラメータアドレス007777<sup>(O)</sup>に00(H)を書き込んで、JW-22CMの動作を停止する

(アドレス入力) 

モニタ MNTR
-------------

 (設定値入力) 

書込 ENT
-----------

      パラメータ設定を行うアドレスに設定値を入力する

パラメータアドレス007777<sup>(O)</sup>に81(H)を書き込んで、パラメータ内容をJW-22CMのEEPROMへ書き込み、JW-22CMを動作スタートする。

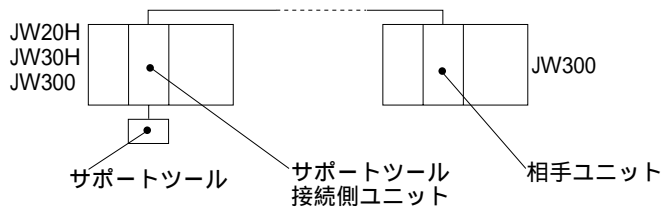
## 〔 2 〕 JW300 に対する場合

JW300 に対してリモートプログラミング・リモートモニタを行う場合は、次の条件(1.と2.)を満たす必要があります。

1. 接続するサポートツールが、JW300 に対して使用可能な「JW-15PG または JW-300SP」であること

2. 通信経路上のネットワークユニットが「JW300 対応の JW-22CM」であること

よって、使用可能なサポートツール、サポートツール接続側ユニット、相手ユニットの関係は次のとおりです。



使用可能なサポートツール	サポートツール接続側ユニット	相手ユニット ( JW-22CM )
		300 マーク付き
JW-15PG JW-300SP	300 マーク付きの JW-22CM	

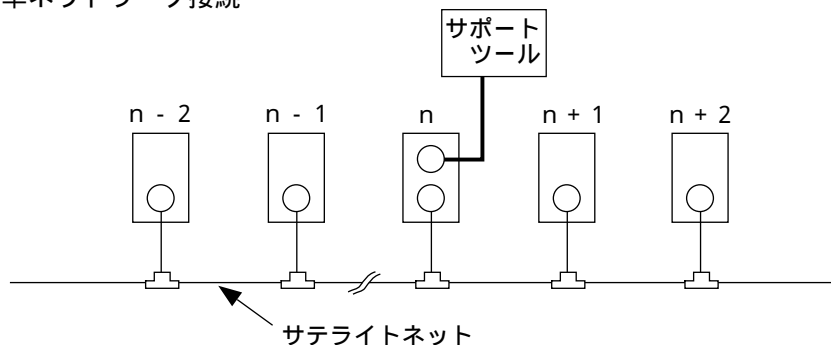
: 全機能対応

JW-300SR( Ver1.10 )では、標準ネットワーク接続に使用可能です。  
( 拡張ネットワーク接続には使用不可 )

(1) 機能 JW300に対する場合)

リモートプログラミング・リモートモニタには、標準ネットワーク接続と拡張ネットワーク接続での操作があります。

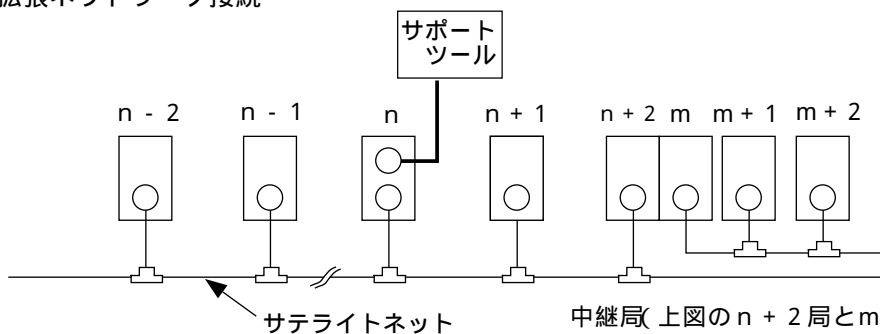
標準ネットワーク接続



n局に接続したサポートツールで、他局の下記操作を行えます。

- ・プログラム変更 ( JW-15PG、JW-300SP ) (注)PLC運転中の書込み(プログラム変更)は、危険防止のため行えません。PLC停止後に行ってください。
- ・モニタ ( JW-15PG、JW-300SP )
- ・パラメータメモリの変更 ( JW-15PGのみ可能 )

拡張ネットワーク接続



中継局(上図のn+2局とm局)には、JW30H/300 ( JW300対応のJW-22CM )をお使いください。

n局に接続したサポートツールで、他局の下記操作を行えます。

- ・プログラム変更 ( JW-15PG ) (注)PLC運転中の書込み(プログラム変更)は、危険防止のため行えません。PLC停止後に行ってください。
- ・モニタ ( JW-15PG )

( 2 ) 設定方法( JW300に対する場合 )

ハンディプログラムJW-15PGでの設定例( 概略 )について説明します。

JW-15PGの操作方法( 詳細 )については、JW-15PGユーザーズマニュアルを参照願います。

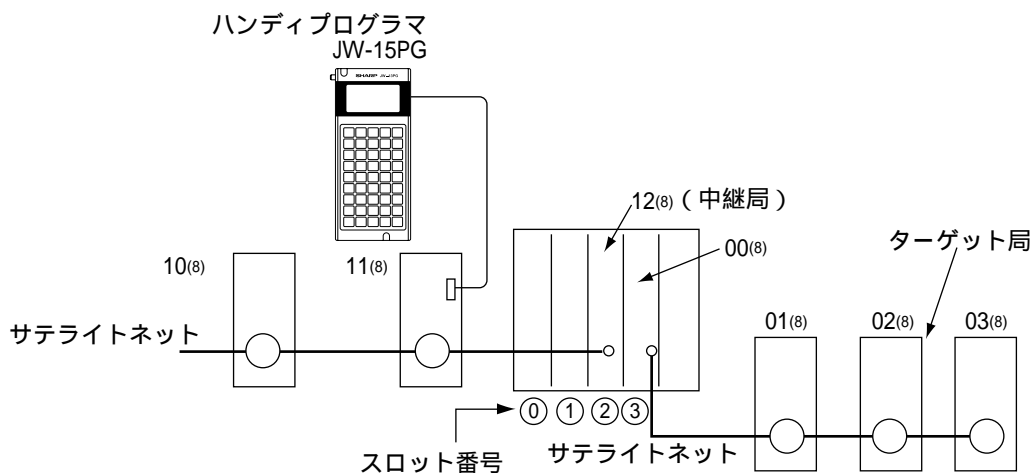
JW-22CMとの接続

JW-15PGを、サテライトネット上のJW-22CM( JW300対応 )に、接続ケーブル( JW-22KC/24KC )を使用して接続します。

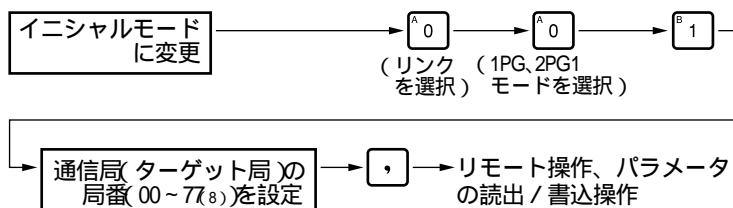
JW-15PGの設定( 操作 )

リモートプログラミング・リモートモニタを行う局( ターゲット局 )が標準ネットワーク接続上か、拡張ネットワーク接続上かを設定します。

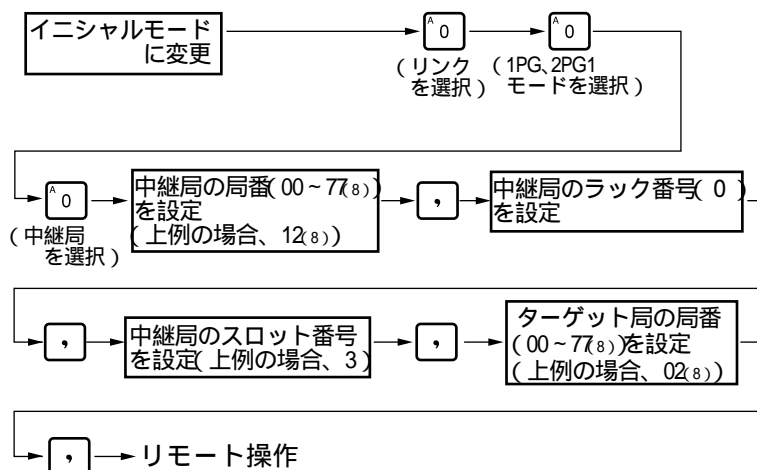
下例の場合、10~12<sup>(8)</sup>は標準ネットワーク接続、01~03<sup>(8)</sup>は拡張ネットワーク接続となります。



標準ネットワーク接続



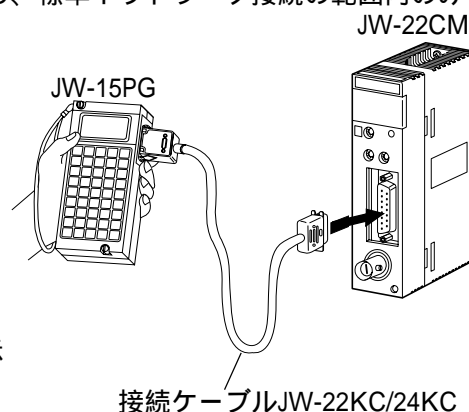
拡張ネットワーク接続



- (3) リモートによるパラメータ設定( JW300に対する場合 )  
 サテライトネット上に接続された他局( JW300 )のパラメータ( JW-22CM )を、その局のコントロールユニット( 本体パラメータ )に設定する方法です。ただし、標準ネットワーク接続の範囲内のみです。  
 使用できるサポートツールはJW-15PGです。

JW300に対する操作例

JW-22CM( JW300対応 )にJW-15PGの接続する。

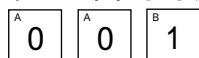


イニシャルモードを選択する。



イニシャルモード表示

リモートによるパラメータ設定を指定する。



「リンク」、「1PG、2PG1モード」、「ターゲット局」を選択

リモートによるパラメータ設定を行うターゲット局( 相手局 )を設定する。



コードを16進数(H)表示から 8進数(O)表示に切り換え、ターゲット局( 00<sub>(8)</sub> ~ 77<sub>(8)</sub> )を入力

ターゲット局と通信する。



ターゲット局との通信開始

ターゲット局との通信終了後、イニシャルメニューに戻る。



イニシャルメニュー

ターゲット局のJW300をプログラムモード( PLC停止 )にする

本体パラメータ( オプション )画面を表示する。



本体パラメータ表示

本体パラメータ画面にて、ユニット No( SW番号 )を設定し、 , キーでパラメータアドレス( 4桁 )を表示する。

パラメータアドレス 3777<sub>(8)</sub>に00<sub>(H)</sub>を設定( 書き込み )する。

アドレス 3777<sub>(8)</sub>が00<sub>(H)</sub>以外るとき、パラメータに設定値を書き込めません。

「カキコミキンシ - ハード - 」が表示される。

必要なパラメータを設定する。

設定後、パラメータアドレス 3777<sub>(8)</sub>に01<sub>(H)</sub>を設定する。

# 第 15 章 仕 様

## 15 - 1 一般仕様

項 目	仕 様
適合PLC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JW20H [ JW-21CU/22CU ]</li> <li>・ JW30H [ JW-31CUH、JW-32CUH、JW-33CUH JW-31CUH1、JW-32CUH1、JW-33CUH1/H2/H3 JW-32CUM1/M2 ]</li> <li>・ JW300 [ JW-311CU/312CU、JW-321CU/322CU JW-331CU/332CU、JW-341CU/342CU JW-352CU、JW-362CU ]</li> </ul>
装着スロット	JW20H/30H/300の基本ベースユニット
保存温度	- 20 ~ + 70
使用周囲温度	0 ~ + 55
周囲湿度	35 ~ 90%RH ( 結露なきこと )
耐震動	JIS B 3502に準拠 ( X, Y, Z 各 2 時間 )
耐衝撃	JIS B 3502に準拠
内部消費電流	約360mA
質量	約285g
付属品	取扱説明書 1 冊

## 15 - 2 通信仕様

項 目	仕 様
通信方式	トークン・パッシング
伝送速度	1.25Mビット / s
伝送 フォーマット	JIS X-5014 ハイレベルデータリンク 制御手順 ( HDLC ) のフレーム構成に準拠
伝送符号	NRZI ( Non Return to Zero Inverted )
検定方式	CRC
同期方式	ビット同期
変調方式	位相連続周波数変調 ( FSK )
通信網形式	バス方式
接続コネクタ	ユニット側 : BNCレセプタクル ( ジャック ) 回路側 : BNCプラグ
伝送回線	同軸ケーブル : 5C-2V JIS・C-3501 特性インピーダンス : 75 ケーブル総延長 : 最大 1 km

## 15-3 データリンク仕様

標準機能と省メモリ機能があり、本機のモードスイッチで切り換えます。

### (1) 標準機能

項目	仕様		
接続局数	最大64局		
リレーリンクエリア 1 (設定範囲：ファイルアドレス)	JW20H	JW30H	JW300
	000000 ~ 017777 <sub>(8)</sub>	000000 ~ 035777 <sub>(8)</sub>	00000000 ~ 00177777 <sub>(8)</sub> 2
レジスタリンクエリア 1 (設定範囲：ファイルアドレス)	000000 ~ 017777 <sub>(8)</sub>	000000 ~ 035777 <sub>(8)</sub> ファイル1~3、 10~2C <sub>(H)</sub> 2	00000000 ~ 40177777 <sub>(8)</sub> 2
フラグ領域 1 (設定範囲： ファイルアドレス、24バイト)	000000 ~ 017777 <sub>(8)</sub>	000000 ~ 035777 <sub>(8)</sub> ファイル1~3、 10~2C <sub>(H)</sub> 2	00000000 ~ 40177777 <sub>(8)</sub> 2
リンク点数(合計)	リレーリンク：最大2048点 レジスタリンク：最大2048バイト		
1点あたりの送信点数	リレーリンク：最大2048点 レジスタリンク：最大2048バイト		
通信形態	N：M通信		

### (2) 省メモリ機能

項目	仕様		
接続局数	最大64局		
リレーリンクエリア	001000 ~ 001477 <sub>(8)</sub> (コ1000 ~ コ0477) 3		
レジスタリンクエリア	004000 ~ 010777 <sub>(8)</sub> (09000 ~ 49777) 3		
フラグ領域 1 (設定範囲： ファイルアドレス、24バイト)	JW20H	JW30H	JW300
	000000 ~ 017777 <sub>(8)</sub>	000000 ~ 035777 <sub>(8)</sub> ファイル1~3、 10~2C <sub>(H)</sub> 2	00000000 ~ 40177777 <sub>(8)</sub> 2
リンク点数(合計)	リレーリンク：最大2048点 レジスタリンク：最大2048バイト		
1点あたりの送信点数	リレーリンク：最大256点 レジスタリンク：最大256バイト		
通信形態	N：M通信		

1 リレーリンクエリア、レジスタリンクエリア、フラグ領域の先頭アドレス(バイト数)は、JW20H/30HのときJW-22CMに、JW300のときコントロールユニットにパラメータを設定します。

2 コントロールユニットの機種により、設定範囲が異なります。  
11・12、28ページ(JW30H)、11・13、14、29ページ(JW300)

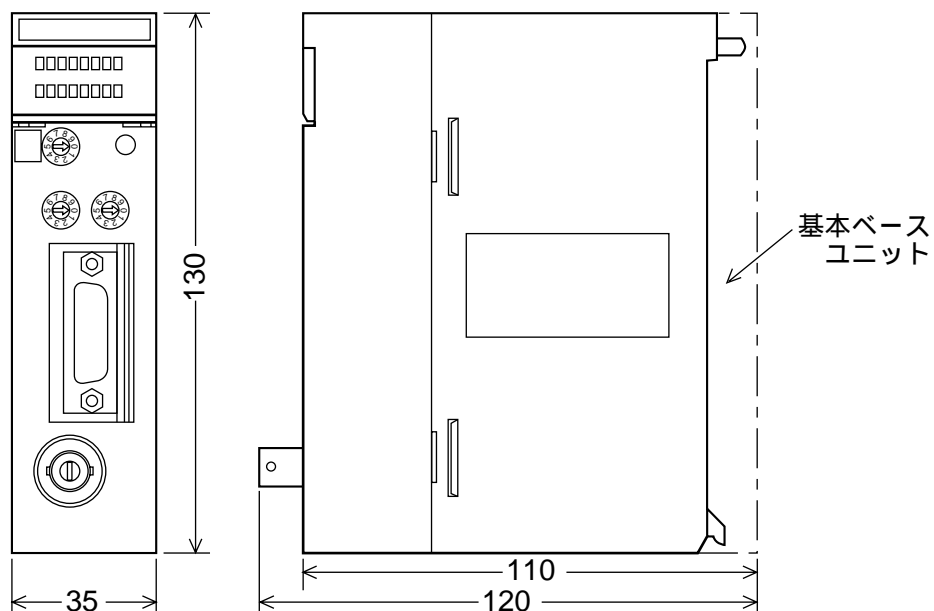
3 JW-22CMのユニットNo.スイッチで選択します。 11・2ページ

## 15-4 コンピュータリンク仕様

項目	仕様
リンク局数	最大64局
通信データ量	1コマンドあたり最大1024バイト
通信制御	ホストコンピュータからのコマンドに応答
制御内容	データメモリの読出 / 書込 プログラムメモリの読出 / 書込 システムメモリの読出 / 書込 PLCのコントロール

外形寸法図

(単位 : mm)





# 第 16 章 付 録

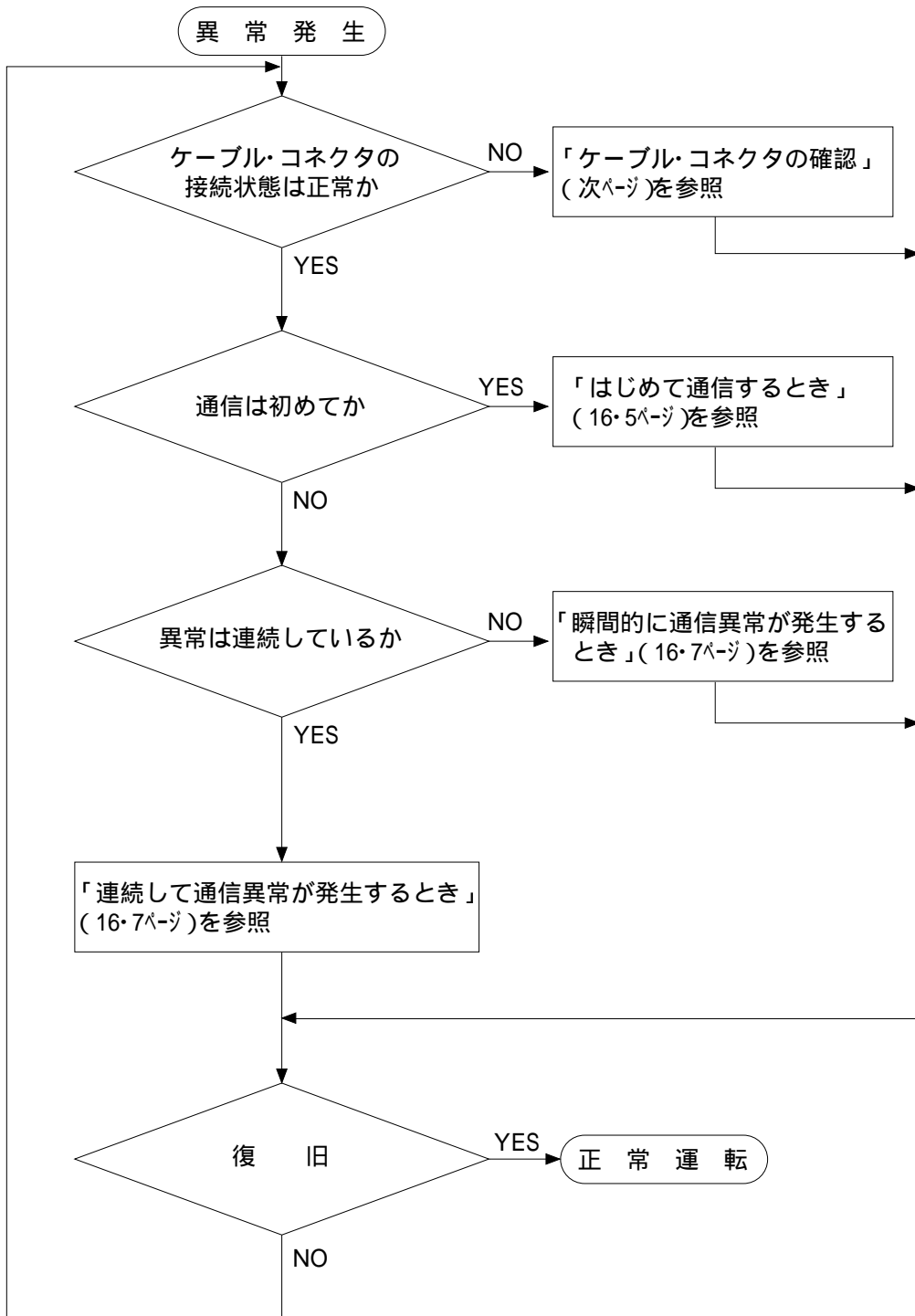
## 16 - 1 保守と点検

配線・取付・スイッチ設定の状態等を点検してください。

システム構成		( )	( )	( )	( )	( )
点検項目						
通信ケーブル	強電線・動力線と並行近接していないか					
	支線(ドロップケーブル)は400mm以内か					
	総延長は1km以内か					
	ケーブルの傷、破損はないか					
	コネクタの組み立ては確実か					
	コネクタの接続・ロックは確実か					
	コネクタに絶縁カバーは付いているか					
ユニット電源	ユニット固定ビスの締付けは確実か					
	GND端子にアース線は接続されているか					
ユニット	ユニット固定ビスの締付けは確実か					
	メモリユニットの取付けは確実か					
ユニット入力	ユニット固定ビスの締付けは確実か					
	通信ケーブルとDC入力ケーブル以外が同一管内に入っていないか					
基本ベースユニットの取付けは確実か						
JW22CM	ユニット固定ビスの締付けは確実か					
	モードスイッチの設定は正しいか					
	局番スイッチの設定は正しいか(00~77 <sup>(8)</sup> )					
	終端抵抗スイッチの設定は正しいか	ON				
	シールド接地スイッチの設定は正しいか					
	パラメータの設定は正しいか					

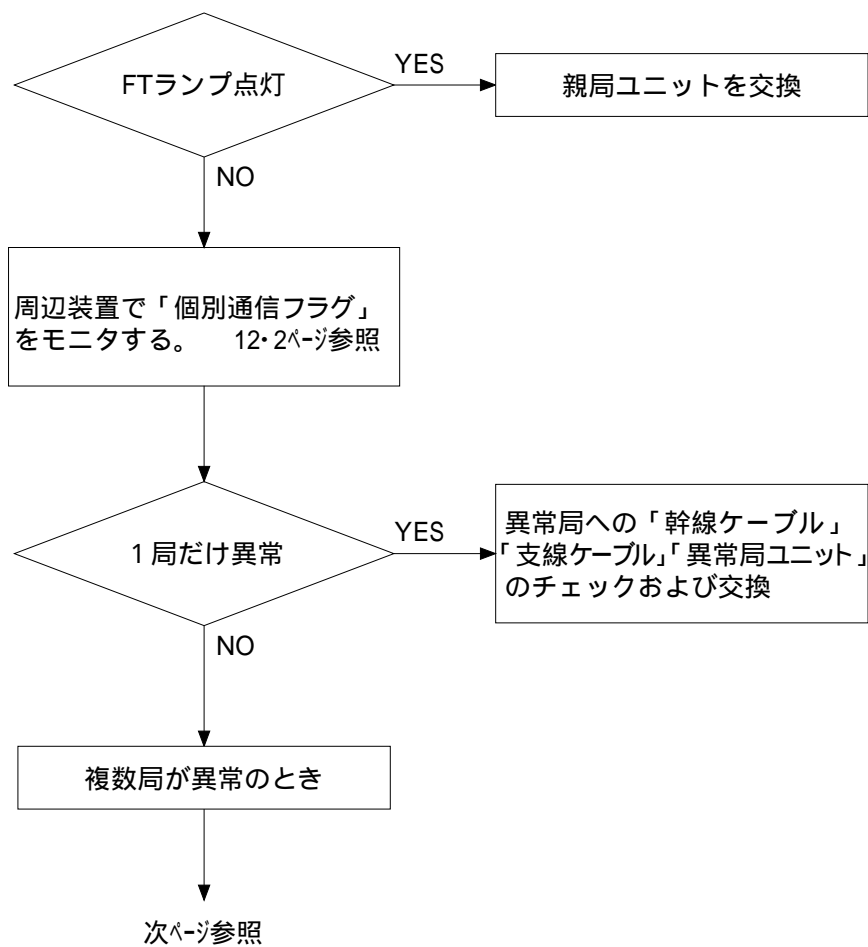
## 16 - 2 通信異常時の復旧方法

(1) チェックフロー図

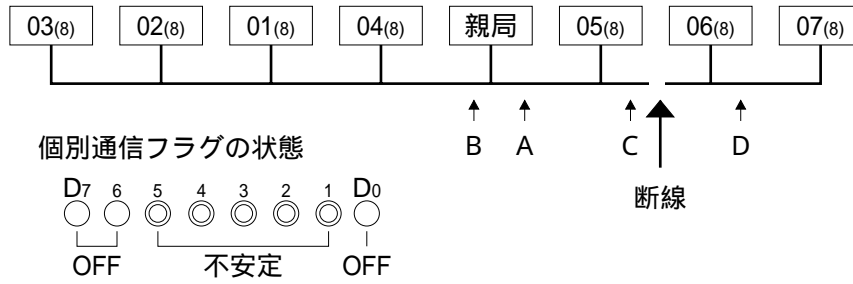


(2) ケーブル・コネクタの確認

幹線から支線(ドロップケーブル)への分岐部、各局への接続部での接触不良、または親局ユニットの不良が考えられますので、下記手順でチェックしてください。

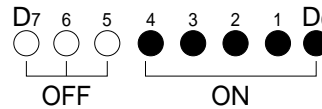


下記システムで子局05<sup>(8)</sup>と06<sup>(8)</sup>間の幹線ケーブルが断線している場合



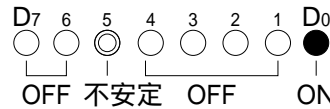
Aの位置でコネクタを外し、親局の終端抵抗を「ON」にする。

- 通信可能局03<sup>(8)</sup>,02<sup>(8)</sup>,01<sup>(8)</sup>,04<sup>(8)</sup>は正常なため、親局での通信監視フラグの状態は次のようになる。



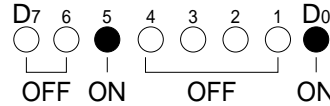
Aのコネクタを接続後、Bの位置でコネクタを外す。

- 終端抵抗の片側がない状態となるため、通信可能局05<sup>(8)</sup>,06<sup>(8)</sup>,07<sup>(8)</sup>のうち、正常局は1局もなく05<sup>(8)</sup>は不安定



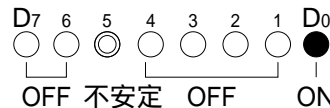
Bのコネクタを外した状態でCの位置でコネクタを外す。子局05<sup>(8)</sup>の終端抵抗を「ON」にする。

- 通信可能局05<sup>(8)</sup>は正常なため、異常箇所はCから先となる。



Bのコネクタを外した状態でCのコネクタを接続し、Dのとなり位置でコネクタを外す。子局05<sup>(8)</sup>の終端抵抗を「OFF」にし、子局06<sup>(8)</sup>の終端抵抗を「ON」にする。

- 終端抵抗の片側がない状態となるため、通信可能局は05<sup>(8)</sup>,06<sup>(8)</sup>となるが、05<sup>(8)</sup>は不安定、06<sup>(8)</sup>は「OFF」となりC～D間での異常となる。



状態	対策
05 <sup>(8)</sup> ,06 <sup>(8)</sup> 局間の幹線および支線ケーブルの断線、コネクタ接触不良	幹線および支線ケーブルのコネクタを両方外し、片方を短絡してテスター等で導通を確認する。
子局06 <sup>(8)</sup> の不良	子局ユニットを交換する。

(3) はじめて通信するとき(システム立ち上げ時)

**エラーコード6F<sup>(H)</sup>点灯の場合**

親局のエラーコードが6F<sup>(H)</sup>でCMランプは消灯している場合  
親局のパラメータ設定異常です。次の親局パラメータをチェックしてください。

パラメータアドレス <sup>(8)</sup>		設 定 項 目	設定内容の参照ページ
JW20H/30H	JW300		
4000 ~ 4001	0000 ~ 0001	親局リレーリンク 先頭アドレス	11・5 ~ 9
4003	0003	接続局数	
4400 ~ 4403	0400 ~ 0403	親局レジスタリンク 先頭アドレス	
5000 ~ 5001	1000 ~ 1001	親局リレーリンク 送信バイト数	
5200 ~ 5201	1200 ~ 1201	親局レジスタリンク 送信バイト数	
7710 ~ 7713	3710 ~ 3713	通信情報格納領域 先頭アドレス	
7764 ~ 7767	3764 ~ 3767	フラグ先頭アドレス	

親局のエラーコードが6F<sup>(H)</sup>でCMランプが点灯している場合  
親局のパラメータに設定している各子局の設定異常です。次の親局パラメータをチェックしてください。

パラメータアドレス <sup>(8)</sup>		設 定 項 目	設定内容の参照ページ
JW20H/30H	JW300		
4004 ~ 4377	0004 ~ 0377	各子局リレーリンク 先頭アドレス / オフ セットバイト数	11・5 ~ 9
4404 ~ 4777	0404 ~ 0777	各子局レジスタリンク 先頭アドレス / オフ セットバイト数	
5002 ~ 5177	1002 ~ 1177	各子局リレーリンク 送信バイト数	
5202 ~ 5377	1202 ~ 1377	各子局レジスタリンク 送信バイト数	

子局がJW-22CMの場合、設定範囲については「第11章 スイッチおよびパラメータ設定」を参照願います。

親局は正常で、子局のエラーコード6F<sup>(H)</sup>点灯の場合  
子局のパラメータ設定異常です。次の子局パラメータをチェックしてください。

パラメータアドレス <sup>(8)</sup>		設 定 項 目	設定内容の参照ページ
JW20H/30H	JW300		
7710 ~ 7713	3710 ~ 3713	通信情報格納領域 先頭アドレス	11・27
7764 ~ 7767	3764 ~ 3767	フラグ先頭アドレス	

子局がJW-22CMの場合、設定範囲については「第11章 スイッチおよびパラメータ設定」を参照願います。

親局のCMランプが消灯している場合（SD, RD, CDは点滅）

次の親局パラメータをチェックしてください。

パラメータアドレス <sup>(8)</sup>		内 容	設 定 値
JW20H/30H	JW300		
4002	0002	機能（リレー／レジスタリンク）	01(H)
7777		JW-22CMの動作スタート／停止	01(H)
	3777	スタートスイッチ	01(H)

その他の場合

- ・本機のスイッチをチェック　チェック項目を参照
- ・PLCのオプションケーブルをチェック（オプションケーブルが無いと正常に動作しません。）
- ・ケーブル、コネクタのチェック　チェック項目を参照
- ・エラーコードのチェック

[ JW-22CMのスイッチチェック項目 ]

局番スイッチ(STA.NO.)  
モードスイッチ(MODE)  
終端抵抗スイッチ(LT)  
シールド接地スイッチ(LG)

局番、モードスイッチに誤りがあった場合、電源を切った状態で設定を変更して電源を入れ直してください。

[ ケーブル・コネクタのチェック項目 ]

コネクタのゆるみ・はずれが無いか（コネクタが完全にロックするまで右にまわす）  
ケーブルにコネクタが正しく取り付けられているか（ピンが出ていない、コネクタを引っ張るとケーブルがはずれる等の不具合がある場合はコネクタを取り付け直す）  
配線形態は正しいか　第6、7章を参照  
支線は長すぎないか（支線長は400mm以下）  
終端抵抗は正しく接続されているか（終端局のLTスイッチを「ON」、またはターミネーションを取り付ける）

(4) 瞬間的に通信異常が発生する場合

異常原因として

- ・通信回線にノイズが影響している
- ・通信ユニットの異常
- ・通信ケーブルの異常

が考えられます。

異常が発生するタイミングを調べる

異常発生タイミングが周囲のロボット等の動きと同期している場合、通信回線にノイズが影響している可能性があります。配線経路をみなおしてください。

異常局を限定する

特定局のみ異常が発生する場合、異常原因がその局またはその周辺にある可能性があります。次の項目をチェックしてください。

LT(終端抵抗)スイッチの設定

ケーブル 16・6ページのケーブル・コネクタのチェック項目を参照

エラーコード 12・1ページ参照

異常の限定が困難な場合

回線の状態が不安定になっている可能性があります。 16・6ページのケーブル・コネクタのチェック項目を参照

(5) 連続して通信異常が発生する場合

異常局を限定する

通信フラグ等で異常局を特定し、その局をチェックする

- ・異常局の電源確認
- ・異常局のエラーコード確認
- ・異常局付近のケーブル確認 16・6ページのケーブル・コネクタのチェック項目を参照

異常局の限定が困難な場合

回線全体が不安定になっている可能性があります。ケーブル・コネクタをチェックをしてください。 16・6ページのケーブル・コネクタのチェック項目を参照

## 16 - 3 パラメータメモリー一覧表

### 〔 1 〕 JW20H/30H に実装時

JW-22CM を JW20H/30H に実装時、パラメータ(親局/子局)のアドレスと設定内容は、以下のとおりです。なお、パラメータは JW-22CM に設定します。 11・16、31ページ参照

### ( 1 ) 親局( JW20H/30H に実装時 )

パラメータアドレス4004 ~ 4377<sup>(8)</sup>と4404 ~ 4777<sup>(8)</sup>の設定内容は、子局が JW-22CM の場合です。

子局が ZW-20CM、JW-20CM の場合は、各マニュアルを参照願います。

( 1 / 7 )

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容	設定方法 ( 値、例 )	
0000	親局での設定異常子局番号を格納	-	-
4000	親局上でのリレーリンクエリアの先頭アドレス	( 8進数、ワード )	31000の場合 001000 <sup>(8)</sup> ファイルアドレスで設定
4001			
4002	機能設定 ( リレー / レジスタリンク )	01 <sup>(H)</sup>	01 <sup>(H)</sup> 固定
4003	接続局数 ( 2 ~ 64台 )	( 10進数、バイト )	12局の場合 012 <sup>(D)</sup>
4004 }	・子局01 <sup>(8)</sup> がデータリンク(標準機能)に設定時、子局01 <sup>(8)</sup> 上でのリレーリンクエリアの先頭アドレス	4004	} 31200の場合 001200 <sup>(8)</sup> (ファイルアドレスで設定) 00 <sup>(H)</sup> :親局と同じ場合 80 <sup>(H)</sup> :親局と異なる場合
		4005	
		4006	
		4007	
4007 }	・子局01 <sup>(8)</sup> がデータリンク(省メモリ機能)に設定時、子局01 <sup>(8)</sup> 上でのリレーリンクエリアのオフセットバイト数	4004	} 100 <sup>(H)</sup> 10の場合 00100 <sup>(D)</sup>
		4005	
		4006	
		4007	

00<sup>(H)</sup>に設定すると、4004 ~ 4005<sup>(8)</sup>の設定値に関係なく、親局と同じ先頭アドレスになります。

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
4010 ~ 4013	子局02 <sup>(8)</sup> 上での先頭アドレス、またはオフセットバイト数 ( 4004 ~ 4007と同様 )
4014 ~ 4017	子局03     "
4020 ~ 4023	子局04     "
4024 ~ 4027	子局05     "
4030 ~ 4033	子局06     "
4034 ~ 4037	子局07     "
4040 ~ 4043	子局10    "
4044 ~ 4047	子局11    "
4050 ~ 4053	子局12    "
4054 ~ 4057	子局13    "
4060 ~ 4063	子局14    "
4064 ~ 4067	子局15    "
4070 ~ 4073	子局16    "
4074 ~ 4077	子局17    "
4100 ~ 4103	子局20    "
4104 ~ 4107	子局21    "
4110 ~ 4113	子局22    "
4114 ~ 4117	子局23    "
4120 ~ 4123	子局24    "
4124 ~ 4127	子局25    "
4130 ~ 4133	子局26    "
4134 ~ 4137	子局27    "
4140 ~ 4143	子局30    "
4144 ~ 4147	子局31    "
4150 ~ 4153	子局32    "
4154 ~ 4157	子局33    "
4160 ~ 4163	子局34    "
4164 ~ 4167	子局35    "
4170 ~ 4173	子局36    "
4174 ~ 4177	子局37    "

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
4200 ~ 4203	子局40 <sup>(8)</sup> 上での先頭アドレス、またはオフセットバイト数 ( 4004 ~ 4007と同様 )
4204 ~ 4207	子局41     "
4210 ~ 4213	子局42     "
4214 ~ 4217	子局43     "
4220 ~ 4223	子局44     "
4224 ~ 4227	子局45     "
4230 ~ 4233	子局46     "
4234 ~ 4237	子局47     "
4240 ~ 4243	子局50     "
4244 ~ 4247	子局51     "
4250 ~ 4253	子局52     "
4254 ~ 4257	子局53     "
4260 ~ 4263	子局54     "
4264 ~ 4267	子局55     "
4270 ~ 4273	子局56     "
4274 ~ 4277	子局57     "
4300 ~ 4303	子局60     "
4304 ~ 4307	子局61     "
4310 ~ 4313	子局62     "
4314 ~ 4317	子局63     "
4320 ~ 4323	子局64     "
4324 ~ 4327	子局65     "
4330 ~ 4333	子局66     "
4334 ~ 4337	子局67     "
4340 ~ 4343	子局70     "
4344 ~ 4347	子局71     "
4350 ~ 4353	子局72     "
4354 ~ 4357	子局73     "
4360 ~ 4363	子局74     "
4364 ~ 4367	子局75     "
4370 ~ 4373	子局76     "
4374 ~ 4377	子局77     "

・アドレス4000 ~ 4377<sup>(8)</sup>の初期値は、すべて00<sup>(H)</sup>です。



アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容	設定方法 ( 値、例 )	
4400	親局上でのレジスタリンクエリアの先頭アドレス	( 8進数、ワード )	} 09000 <sup>(8)</sup> の場合 004000 <sup>(8)</sup> ( ファイルアドレスで設定 )
4401		( 16進数、バイト )	
4402			} ファイル番号 1 の場合 01 <sup>(H)</sup> 00 <sup>(H)</sup>
4403			
4404 }	・子局01 <sup>(8)</sup> がデータリンク( 標準機能 )に設定時、子局01 <sup>(8)</sup> 上でのレジスタリンクエリアの先頭アドレス	4404 ( 8進数、ワード )	} 29000の場合 006000 <sup>(8)</sup> ( ファイルアドレスで設定 )
		4405 ( 16進数、バイト )	
		4406 ( 16進数、バイト )	} ファイル番号 2 の場合 02 <sup>(H)</sup> 00 <sup>(H)</sup> :親局と同じ場合 80 <sup>(H)</sup> :親局と異なる場合
		4407 ●	
4407 }	・子局01 <sup>(8)</sup> がデータリンク( 省メモリ機能 )に設定時、子局01 <sup>(8)</sup> 上でのレジスタリンクエリアのオフセットバイト数	4404 ( 10進数、ワード )	} 100バイトの場合 00100 <sup>(D)</sup>
		4405	
		4406 00 <sup>(H)</sup>	
		4407 80 <sup>(H)</sup>	

00<sup>(H)</sup>に設定すると、4404～4405<sup>(8)</sup>の設定値に関係なく、親局と同じ先頭アドレスになります。

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
4410 ~ 4413	子局02 <sup>(8)</sup> 上での先頭アドレス、またはオフセットバイト数 ( 4404 ~ 4407と同様 )
4414 ~ 4417	子局03     "
4420 ~ 4423	子局04     "
4424 ~ 4427	子局05     "
4430 ~ 4433	子局06     "
4434 ~ 4437	子局07     "
4440 ~ 4443	子局10    "
4444 ~ 4447	子局11    "
4450 ~ 4453	子局12    "
4454 ~ 4457	子局13    "
4460 ~ 4463	子局14    "
4464 ~ 4467	子局15    "
4470 ~ 4473	子局16    "
4474 ~ 4477	子局17    "
4500 ~ 4503	子局20    "
4504 ~ 4507	子局21    "
4510 ~ 4513	子局22    "
4514 ~ 4517	子局23    "
4520 ~ 4523	子局24    "
4524 ~ 4527	子局25    "
4530 ~ 4533	子局26    "
4534 ~ 4537	子局27    "
4540 ~ 4543	子局30    "
4544 ~ 4547	子局31    "
4550 ~ 4553	子局32    "
4554 ~ 4557	子局33    "
4560 ~ 4563	子局34    "
4564 ~ 4567	子局35    "
4570 ~ 4573	子局36    "
4574 ~ 4577	子局37    "

・アドレス4400～4777<sup>(8)</sup>の初期値は、すべて00<sup>(H)</sup>です。

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
4600 ~ 4603	子局40 <sup>(8)</sup> 上での先頭アドレス、またはオフセットバイト数 ( 4404 ~ 4407と同様 )
4604 ~ 4607	子局41     "
4610 ~ 4613	子局42     "
4614 ~ 4617	子局43     "
4620 ~ 4623	子局44     "
4624 ~ 4627	子局45     "
4630 ~ 4633	子局46     "
4634 ~ 4637	子局47     "
4640 ~ 4643	子局50     "
4644 ~ 4647	子局51     "
4650 ~ 4653	子局52     "
4654 ~ 4657	子局53     "
4660 ~ 4663	子局54     "
4664 ~ 4667	子局55     "
4670 ~ 4673	子局56     "
4674 ~ 4677	子局57     "
4700 ~ 4703	子局60     "
4704 ~ 4707	子局61     "
4710 ~ 4713	子局62     "
4714 ~ 4717	子局63     "
4720 ~ 4723	子局64     "
4724 ~ 4727	子局65     "
4730 ~ 4733	子局66     "
4734 ~ 4737	子局67     "
4740 ~ 4743	子局70     "
4744 ~ 4747	子局71     "
4750 ~ 4753	子局72     "
4754 ~ 4757	子局73     "
4760 ~ 4763	子局74     "
4764 ~ 4767	子局75     "
4770 ~ 4773	子局76     "
4774 ~ 4777	子局77     "

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容	設定方法 ( 値、例 )	
5000	親局のリレーリンクエリアの送信バイト数	( 10進数、ワード )	8 バイトの場合 00008 <sup>(D)</sup>
5001			
5002	子局01 <sup>(8)</sup> のリレーリンクエリアの送信バイト数	( 10進数、ワード )	
5003			

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
5004 ~ 5005	子局02 <sup>(8)</sup> のリレーリンクエリアの送信バイト数 ( 5002 ~ 5003と同様 )
5006 ~ 5007	子局03     "
5010 ~ 5011	子局04     "
5012 ~ 5013	子局05     "
5014 ~ 5015	子局06     "
5016 ~ 5017	子局07     "
5020 ~ 5021	子局10    "
5022 ~ 5023	子局11    "
5024 ~ 5025	子局12    "
5026 ~ 5027	子局13    "
5030 ~ 5031	子局14    "
5032 ~ 5033	子局15    "
5034 ~ 5035	子局16    "
5036 ~ 5037	子局17    "
5040 ~ 5041	子局20    "
5042 ~ 5043	子局21    "
5044 ~ 5045	子局22    "
5046 ~ 5047	子局23    "
5050 ~ 5051	子局24    "
5052 ~ 5053	子局25    "
5054 ~ 5055	子局26    "
5056 ~ 5057	子局27    "
5060 ~ 5061	子局30    "
5062 ~ 5063	子局31    "
5064 ~ 5065	子局32    "
5066 ~ 5067	子局33    "
5070 ~ 5071	子局34    "
5072 ~ 5073	子局35    "
5074 ~ 5075	子局36    "
5076 ~ 5077	子局37    "

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
5100 ~ 5101	子局40 <sup>(8)</sup> のリレーリンクエリアの送信バイト数 ( 5002 ~ 5003と同様 )
5102 ~ 5103	子局41     "
5104 ~ 5105	子局42     "
5106 ~ 5107	子局43     "
5110 ~ 5111	子局44     "
5112 ~ 5113	子局45     "
5114 ~ 5115	子局46     "
5116 ~ 5117	子局47     "
5120 ~ 5121	子局50     "
5122 ~ 5123	子局51     "
5124 ~ 5125	子局52     "
5126 ~ 5127	子局53     "
5130 ~ 5131	子局54     "
5132 ~ 5133	子局55     "
5134 ~ 5135	子局56     "
5136 ~ 5137	子局57     "
5140 ~ 5141	子局60     "
5142 ~ 5143	子局61     "
5144 ~ 5145	子局62     "
5146 ~ 5147	子局63     "
5150 ~ 5151	子局64     "
5152 ~ 5153	子局65     "
5154 ~ 5155	子局66     "
5156 ~ 5157	子局67     "
5160 ~ 5161	子局70     "
5162 ~ 5163	子局71     "
5164 ~ 5165	子局72     "
5166 ~ 5167	子局73     "
5170 ~ 5171	子局74     "
5172 ~ 5173	子局75     "
5174 ~ 5175	子局76     "
5176 ~ 5177	子局77     "

・アドレス5000 ~ 5177<sup>(8)</sup>の初期値は、すべて00<sup>(H)</sup>です。

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容	設定方法 ( 値、例 )	
5200	親局のレジスタリンクエリアの送信バイト数	( 10進数、ワード )	64バイトの場合 00064 <sup>(D)</sup>
5201			
5202	子局01 <sup>(8)</sup> のレジスタリンクエリアの送信バイト数	( 10進数、ワード )	
5203			

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
5204 ~ 5205	子局02 <sup>(8)</sup> のレジスタリンクエリアの送信バイト数 ( 5202 ~ 5203と同様 )
5206 ~ 5207	子局03        "
5210 ~ 5211	子局04        "
5212 ~ 5213	子局05        "
5214 ~ 5215	子局06        "
5216 ~ 5217	子局07        "
5220 ~ 5221	子局10        "
5222 ~ 5223	子局11        "
5224 ~ 5225	子局12        "
5226 ~ 5227	子局13        "
5230 ~ 5231	子局14        "
5232 ~ 5233	子局15        "
5234 ~ 5235	子局16        "
5236 ~ 5237	子局17        "
5240 ~ 5241	子局20        "
5242 ~ 5243	子局21        "
5244 ~ 5245	子局22        "
5246 ~ 5247	子局23        "
5250 ~ 5251	子局24        "
5252 ~ 5253	子局25        "
5254 ~ 5255	子局26        "
5256 ~ 5257	子局27        "
5260 ~ 5261	子局30        "
5262 ~ 5263	子局31        "
5264 ~ 5265	子局32        "
5266 ~ 5267	子局33        "
5270 ~ 5271	子局34        "
5272 ~ 5273	子局35        "
5274 ~ 5275	子局36        "
5276 ~ 5277	子局37        "

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
5300 ~ 5301	子局40 <sup>(8)</sup> のレジスタリンクエリアの送信バイト数 ( 5202 ~ 5203と同様 )
5302 ~ 5303	子局41        "
5304 ~ 5305	子局42        "
5306 ~ 5307	子局43        "
5310 ~ 5311	子局44        "
5312 ~ 5313	子局45        "
5314 ~ 5315	子局46        "
5316 ~ 5317	子局47        "
5320 ~ 5321	子局50        "
5322 ~ 5323	子局51        "
5324 ~ 5325	子局52        "
5326 ~ 5327	子局53        "
5330 ~ 5331	子局54        "
5332 ~ 5333	子局55        "
5334 ~ 5335	子局56        "
5336 ~ 5337	子局57        "
5340 ~ 5341	子局60        "
5342 ~ 5343	子局61        "
5344 ~ 5345	子局62        "
5346 ~ 5347	子局63        "
5350 ~ 5351	子局64        "
5352 ~ 5353	子局65        "
5354 ~ 5355	子局66        "
5356 ~ 5357	子局67        "
5360 ~ 5361	子局70        "
5362 ~ 5363	子局71        "
5364 ~ 5365	子局72        "
5366 ~ 5367	子局73        "
5370 ~ 5371	子局74        "
5372 ~ 5373	子局75        "
5374 ~ 5375	子局76        "
5376 ~ 5377	子局77        "

・アドレス5200 ~ 5377<sup>(8)</sup>の初期値は、すべて00<sup>(H)</sup>です。

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容	設定方法 ( 値、例 )	
7501	子局01 <sup>(8)</sup> のSEND・RECEIVE命令のタイムアウト時間 ( 0.1 ~ 25.5秒 )	( 10進数、バイト )	10秒の場合 100 <sup>(D)</sup>

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
7502	子局02 <sup>(8)</sup> のSEND・RECEIVE命令のタイムアウト時間 ( 7501と同様 )
7503	子局03     "
7504	子局04     "
7505	子局05     "
7506	子局06     "
7507	子局07     "
7510	子局10     "
7511	子局11     "
7512	子局12     "
7513	子局13     "
7514	子局14     "
7515	子局15     "
7516	子局16     "
7517	子局17     "
7520	子局20     "
7521	子局21     "
7522	子局22     "
7523	子局23     "
7524	子局24     "
7525	子局25     "
7526	子局26     "
7527	子局27     "
7530	子局30     "
7531	子局31     "
7532	子局32     "
7533	子局33     "
7534	子局34     "
7535	子局35     "
7536	子局36     "
7537	子局37     "

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
7540	子局40 <sup>(8)</sup> のSEND・RECEIVE命令のタイムアウト時間 ( 7501と同様 )
7541	子局41     "
7542	子局42     "
7543	子局43     "
7544	子局44     "
7545	子局45     "
7546	子局46     "
7547	子局47     "
7550	子局50     "
7551	子局51     "
7552	子局52     "
7553	子局53     "
7554	子局54     "
7555	子局55     "
7556	子局56     "
7557	子局57     "
7560	子局60     "
7561	子局61     "
7562	子局62     "
7563	子局63     "
7564	子局64     "
7565	子局65     "
7566	子局66     "
7567	子局67     "
7570	子局70     "
7571	子局71     "
7572	子局72     "
7573	子局73     "
7574	子局74     "
7575	子局75     "
7576	子局76     "
7577	子局77     "

・アドレス7501 ~ 7577<sup>(8)</sup>の初期値は、すべて00<sup>(H)</sup>です。

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容	設定方法 ( 値、例 )	
7601	子局01 <sup>(8)</sup> のPLC機種	91 <sup>(H)</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JW-22CM</li> <li>・ PLCがJWモデルで、JW-20CM またはJWマーク付きZW-20CM</li> </ul>

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
7602	子局02 <sup>(8)</sup> のPLC機種 ( 7601と同様 )
7603	子局03        "
7604	子局04        "
7605	子局05        "
7606	子局06        "
7607	子局07        "
7610	子局10        "
7611	子局11        "
7612	子局12        "
7613	子局13        "
7614	子局14        "
7615	子局15        "
7616	子局16        "
7617	子局17        "
7620	子局20        "
7621	子局21        "
7622	子局22        "
7623	子局23        "
7624	子局24        "
7625	子局25        "
7626	子局26        "
7627	子局27        "
7630	子局30        "
7631	子局31        "
7632	子局32        "
7633	子局33        "
7634	子局34        "
7635	子局35        "
7636	子局36        "
7637	子局37        "

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
7640	子局40 <sup>(8)</sup> のPLC機種 ( 7601と同様 )
7641	子局41        "
7642	子局42        "
7643	子局43        "
7644	子局44        "
7645	子局45        "
7646	子局46        "
7647	子局47        "
7650	子局50        "
7651	子局51        "
7652	子局52        "
7653	子局53        "
7654	子局54        "
7655	子局55        "
7656	子局56        "
7657	子局57        "
7660	子局60        "
7661	子局61        "
7662	子局62        "
7663	子局63        "
7664	子局64        "
7665	子局65        "
7666	子局66        "
7667	子局67        "
7670	子局70        "
7671	子局71        "
7672	子局72        "
7673	子局73        "
7674	子局74        "
7675	子局75        "
7676	子局76        "
7677	子局77        "

・ アドレス7601 ~ 7677<sup>(8)</sup>の初期値は、すべて91<sup>(H)</sup>です。

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容	設定方法 ( 値、例 )									
7700 ┆ 7703	SEND・RECEIVE機能におけるチャンネル毎の方式	7700	CH0	00 (H)	命令方式						
				80 (H)	データメモリ起動方式						
		7701	CH1	00 (H)	命令方式						
				81 (H)	データメモリ起動方式						
		7702	CH2	00 (H)	命令方式						
				82 (H)	データメモリ起動方式						
		7703	CH3	00 (H)	命令方式						
				83 (H)	データメモリ起動方式						
7710 ┆ 7713	SEND・RECEIVE機能におけるデータメモリ起動方式を使用時、通信情報格納領域の先頭アドレス	7710	( 8進数、ワード )	コ1100の場合 001100 <sup>(8)</sup> (ファイルアドレスで設定)							
				7712	( 16進数、バイト )	ファイル番号 0 の場合 00(H)					
		7713	80(H)で本設定が有効								
7750 ┆ 7757	子局の接続状況 ・接続している局番( 01 ~ 77 <sup>(8)</sup> )に該当する右記ビットを「ON」する ・親局00 <sup>(8)</sup> ( アドレス000750のビット目 ) 「ON」時：エラーコード出力する 「OFF」時：エラーコード出力しない	ビット目	7	6	5	4	3	2	1	0	・子局00 ~ 04(8)を接続し、エラーコード出力する場合 ( アドレス )( ビットパターン ) 7750 - 00011111 7751 - 00000000 ┆ 7757 - 00000000
		7750	07	06	05	04	03	02	01	00	
		7751	17	16	15	14	13	12	11	10	
		7752	27	26	25	24	23	22	21	20	
		7753	37	36	35	34	33	32	31	30	
		7754	47	46	45	44	43	42	41	40	
		7755	57	56	55	54	53	52	51	50	
		7756	67	66	65	64	63	62	61	60	
7757	77	76	75	74	73	72	71	70			
7763	局番情報出力の有無			00(H)	出力しない						
				01(H)	出力する						
7764 ┆ 7767	親局上でのフラグ領域の先頭アドレス	7764	( 8進数、ワード )	コ0200の場合 000200 <sup>(8)</sup> (ファイルアドレスで設定)							
				7766	( 16進数、バイト )	ファイル番号 2 の場合 02(H)					
		7767	●			00(H)：フラグ出力しない ┆ 80(H)：フラグ出力する					
7777	本機の動作停止			00(H)	—————						
	本機の動作スタート			01(H)							
	本機のEEPROMへの書込 / 動作停止			80(H)							
	本機のEEPROMへの書込 / 動作スタート			81(H)							
	パラメータの設定値を初期化			08(H)							

・上記アドレスの初期値は、11・5、6ページを参照願います。

( 2 ) 子局01 ~ 77<sup>(8)</sup>( JW20H/30Hに実装時 )

( 1 / 1 )

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容	設定方法 ( 値、例 )				
7500	親局のSEND・RECEIVE命令のタイムアウト時間 ( 0.1 ~ 25.5秒 )	( 10進数、バイト )	10秒の場合	100(D)		
7501 } 7577	子局01 ~ 77 <sup>(8)</sup> のSEND・RECEIVE命令のタイムアウト時間 ( データリンク親局と同様、16・12ページ参照 )					
7600	親局のPLC機種			91(H)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JW-22CM</li> <li>・ PLCがJWモデルで、JW-20CMまたはJWマーク付きZW-20CM</li> </ul>	
7601 } 7677	子局01 ~ 77 <sup>(8)</sup> のPLC機種 ( データリンク親局と同様、16・13ページ参照 )	( 7600と同様 )				
7700 } 7703	SEND・RECEIVE機能におけるチャンネル毎の方式	7700	CH0	00 (H)	命令方式	
				80 (H)	データメモリ起動方式	
		7701	CH1	00 (H)	命令方式	
				81 (H)	データメモリ起動方式	
		7702	CH2	00 (H)	命令方式	
				82 (H)	データメモリ起動方式	
		7703	CH3	00 (H)	命令方式	
					83 (H)	データメモリ起動方式
7710 } 7713	SEND・RECEIVE機能におけるデータメモリ起動方式を使用時、通信情報格納領域の先頭アドレス	7710	( 8進数、ワード )		コ1100の場合 001100 <sup>(8)</sup> ( ファイルアドレスで設定 )	
		7711				
		7712	( 16進数、バイト )	ファイル番号 0 の場合 00(H)		
		7713	80(H)で本設定が有効			
7720 7721	省メモリ機能におけるリレーリンクの受信バイト数	( 10進数、バイト )	設定値を 0 にすると、送信バイト数( 親局で設定 )と同じになる			
7722 7723	省メモリ機能におけるレジスタリンクの受信バイト数	( 10進数、バイト )	設定値を 0 にすると、送信バイト数( 親局で設定 )と同じになる			
7763	局番情報出力の有無	00(H)		出力しない		
		01(H)		出力する		
7764 } 7767	各子局上でのフラグ領域の先頭アドレス	7764	( 8進数、ワード )		コ0600の場合 000600 <sup>(8)</sup> ( ファイルアドレスで設定 )	
		7765				
		7766	00(H)	ファイル番号 2 の場合 02(H)		
		7767	●	<input type="checkbox"/> 00(H) : フラグ出力しない <input type="checkbox"/> 80(H) : フラグ出力する		
7777	本機の動作停止	00(H)		—————		
	本機の動作スタート	01(H)				
	本機のEEPROMへの書込 / 動作停止	80(H)				
	本機のEEPROMへの書込 / 動作スタート	81(H)				
	パラメータの設定値を初期化	08(H)				

・ 上記アドレスの初期値は、11・27ページを参照願います。

〔 2 〕 JW300 に実装時

JW-22CM を JW300 に実装時、パラメータ(親局/子局)のアドレスと設定内容は、以下のとおりです。なお、パラメータは JW300 のとき、コントロールユニット(JW-3\*\*CU)の本体パラメータ(該当オプションNo.)に設定します。 11・16、31ページ参照

( 1 ) 親局 JW300 に実装時)

パラメータアドレス0004 ~ 0377<sup>(8)</sup>と0404 ~ 0777<sup>(8)</sup>の設定内容は、子局がJW-22CMの場合です。子局がZW-20CM、JW-20CMの場合は、各マニュアルを参照願います。

( 1 / 7 )

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容	設定方法(値、例)		
0000	親局上でのリレーリンクエリアの先頭アドレス	( 8進数、ワード )	1000の場合 001000 <sup>(8)</sup> ファイルアドレスで設定	
0001				
0002	機能設定(リレー/レジスタリンク)	01 <sup>(H)</sup>	01 <sup>(H)</sup> 固定	
0003	接続局数(2~64台)	( 10進数、バイト )	12局の場合 012 <sup>(D)</sup>	
0004	・子局01 <sup>(8)</sup> がデータリンク(標準機能)に設定時、子局01 <sup>(8)</sup> 上でのリレーリンクエリアの先頭アドレス	( 8進数、ワード )	11200場合 001200 <sup>(8)</sup> (ファイルアドレスで設定) 00 <sup>(H)</sup> :親局と同じ場合 80 <sup>(H)</sup> :親局と異なる場合	
				0005
				0006
				0007
0007	・子局01 <sup>(8)</sup> がデータリンク(省メモリ機能)に設定時、子局01 <sup>(8)</sup> 上でのリレーリンクエリアのオフセットバイト数	( 10進数、ワード )	100バイトの場合 00100 <sup>(D)</sup>	
				0004
				0005
				0006
		0007	80 <sup>(H)</sup>	

00<sup>(H)</sup>に設定すると、0004 ~ 0005<sup>(8)</sup>の設定値に関係なく、親局と同じ先頭アドレスになります。

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
0010 ~ 0013	子局02 <sup>(8)</sup> 上での先頭アドレス、またはオフセットバイト数(0004 ~ 0007と同様)
0014 ~ 0017	子局03     "
0020 ~ 0023	子局04     "
0024 ~ 0027	子局05     "
0030 ~ 0033	子局06     "
0034 ~ 0037	子局07     "
0040 ~ 0043	子局10    "
0044 ~ 0047	子局11    "
0050 ~ 0053	子局12    "
0054 ~ 0057	子局13    "
0060 ~ 0063	子局14    "
0064 ~ 0067	子局15    "
0070 ~ 0073	子局16    "
0074 ~ 0077	子局17    "
0100 ~ 0103	子局20    "
0104 ~ 0107	子局21    "
0110 ~ 0113	子局22    "
0114 ~ 0117	子局23    "
0120 ~ 0123	子局24    "
0124 ~ 0127	子局25    "
0130 ~ 0133	子局26    "
0134 ~ 0137	子局27    "
0140 ~ 0143	子局30    "
0144 ~ 0147	子局31    "
0150 ~ 0153	子局32    "
0154 ~ 0157	子局33    "
0160 ~ 0163	子局34    "
0164 ~ 0167	子局35    "
0170 ~ 0173	子局36    "
0174 ~ 0177	子局37    "

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
0200 ~ 0203	子局40 <sup>(8)</sup> 上での先頭アドレス、またはオフセットバイト数(0004 ~ 0007と同様)
0204 ~ 0207	子局41     "
0210 ~ 0213	子局42     "
0214 ~ 0217	子局43     "
0220 ~ 0223	子局44     "
0224 ~ 0227	子局45     "
0230 ~ 0233	子局46     "
0234 ~ 0237	子局47     "
0240 ~ 0243	子局50     "
0244 ~ 0247	子局51     "
0250 ~ 0253	子局52     "
0254 ~ 0257	子局53     "
0260 ~ 0263	子局54     "
0264 ~ 0267	子局55     "
0270 ~ 0273	子局56     "
0274 ~ 0277	子局57     "
0300 ~ 0303	子局60     "
0304 ~ 0307	子局61     "
0310 ~ 0313	子局62     "
0314 ~ 0317	子局63     "
0320 ~ 0323	子局64     "
0324 ~ 0327	子局65     "
0330 ~ 0333	子局66     "
0334 ~ 0337	子局67     "
0340 ~ 0343	子局70     "
0344 ~ 0347	子局71     "
0350 ~ 0353	子局72     "
0354 ~ 0357	子局73     "
0360 ~ 0363	子局74     "
0364 ~ 0367	子局75     "
0370 ~ 0373	子局76     "
0374 ~ 0377	子局77     "

・アドレス0000 ~ 0377<sup>(8)</sup>の初期値は、すべて00<sup>(H)</sup>です。



アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容	設定方法 ( 値、例 )		
0400	親局上でのレジスタリンクエリア の先頭アドレス	( 8進数、ワード )	} 09000 <sup>(8)</sup> の場合 004000 <sup>(8)</sup> ( ファイルアドレスで設定 )	
0401		( 16進数、バイト )		
0402		00 <sup>(H)</sup>	} ファイル番号 1 の場合 01 <sup>(H)</sup>	
0403				
0404 }	・子局01 <sup>(8)</sup> がデータリンク( 標準機能 )に設定時、子局01 <sup>(8)</sup> 上でのレジスタリンクエリアの先頭アドレス	0404	} 29000の場合 006000 <sup>(8)</sup> ( ファイルアドレスで設定 )	
		0405		( 8進数、ワード )
		0406	( 16進数、バイト )	} ファイル番号 2 の場合 02 <sup>(H)</sup>
		0407	●	
0407 }	・子局01 <sup>(8)</sup> がデータリンク( 省メモリ機能 )に設定時、子局01 <sup>(8)</sup> 上でのレジスタリンクエリアのオフセットバイト数	0404	} 100 <sup>(H)</sup> の場合 00100 <sup>(D)</sup>	
		0405		( 10進数、ワード )
		0406	00 <sup>(H)</sup>	
		0407	80 <sup>(H)</sup>	

00<sup>(H)</sup>に設定すると、0404 ~ 0405<sup>(8)</sup>の設定値に関係なく、親局と同じ先頭アドレスになります。

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
0410 ~ 0413	子局02 <sup>(8)</sup> 上での先頭アドレス、 またはオフセットバイト数 ( 0404 ~ 0407と同様 )
0414 ~ 0417	子局03     "
0420 ~ 0423	子局04     "
0424 ~ 0427	子局05     "
0430 ~ 0433	子局06     "
0434 ~ 0437	子局07     "
0440 ~ 0443	子局10    "
0444 ~ 0447	子局11    "
0450 ~ 0453	子局12    "
0454 ~ 0457	子局13    "
0460 ~ 0463	子局14    "
0464 ~ 0467	子局15    "
0470 ~ 0473	子局16    "
0474 ~ 0477	子局17    "
0500 ~ 0503	子局20    "
0504 ~ 0507	子局21    "
0510 ~ 0513	子局22    "
0514 ~ 0517	子局23    "
0520 ~ 0523	子局24    "
0524 ~ 0527	子局25    "
0530 ~ 0533	子局26    "
0534 ~ 0537	子局27    "
0540 ~ 0543	子局30    "
0544 ~ 0547	子局31    "
0550 ~ 0553	子局32    "
0554 ~ 0557	子局33    "
0560 ~ 0563	子局34    "
0564 ~ 0567	子局35    "
0570 ~ 0573	子局36    "
0574 ~ 0577	子局37    "

・アドレス0400 ~ 0777<sup>(8)</sup>の初期値は、すべて00<sup>(H)</sup>です。

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
0600 ~ 0603	子局40 <sup>(8)</sup> 上での先頭アドレス、 またはオフセットバイト数 ( 0404 ~ 0407と同様 )
0604 ~ 0607	子局41     "
0610 ~ 0613	子局42     "
0614 ~ 0617	子局43     "
0620 ~ 0623	子局44     "
0624 ~ 0627	子局45     "
0630 ~ 0633	子局46     "
0634 ~ 0637	子局47     "
0640 ~ 0643	子局50     "
0644 ~ 0647	子局51     "
0650 ~ 0653	子局52     "
0654 ~ 0657	子局53     "
0660 ~ 0663	子局54     "
0664 ~ 0667	子局55     "
0670 ~ 0673	子局56     "
0674 ~ 0677	子局57     "
0700 ~ 0703	子局60     "
0704 ~ 0707	子局61     "
0710 ~ 0713	子局62     "
0714 ~ 0717	子局63     "
0720 ~ 0723	子局64     "
0724 ~ 0727	子局65     "
0730 ~ 0733	子局66     "
0734 ~ 0737	子局67     "
0740 ~ 0743	子局70     "
0744 ~ 0747	子局71     "
0750 ~ 0753	子局72     "
0754 ~ 0757	子局73     "
0760 ~ 0763	子局74     "
0764 ~ 0767	子局75     "
0770 ~ 0773	子局76     "
0774 ~ 0777	子局77     "

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容	設定方法 ( 値、例 )	
1000	親局のリレーリンクエリアの送信バイト数	( 10進数、ワード )	8 バイトの場合 00008 <sup>(D)</sup>
1001			
1002	子局01 <sup>(8)</sup> のリレーリンクエリアの送信バイト数	( 10進数、ワード )	
1003			

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
1004 ~ 1005	子局02 <sup>(8)</sup> のリレーリンクエリアの送信バイト数 ( 1002 ~ 1003と同様 )
1006 ~ 1007	子局03       "
1010 ~ 1011	子局04       "
1012 ~ 1013	子局05       "
1014 ~ 1015	子局06       "
1016 ~ 1017	子局07       "
1020 ~ 1021	子局10       "
1022 ~ 1023	子局11       "
1024 ~ 1025	子局12       "
1026 ~ 1027	子局13       "
1030 ~ 1031	子局14       "
1032 ~ 1033	子局15       "
1034 ~ 1035	子局16       "
1036 ~ 1037	子局17       "
1040 ~ 1041	子局20       "
1042 ~ 1043	子局21       "
1044 ~ 1045	子局22       "
1046 ~ 1047	子局23       "
1050 ~ 1051	子局24       "
1052 ~ 1053	子局25       "
1054 ~ 1055	子局26       "
1056 ~ 1057	子局27       "
1060 ~ 1061	子局30       "
1062 ~ 1063	子局31       "
1064 ~ 1065	子局32       "
1066 ~ 1067	子局33       "
1070 ~ 1071	子局34       "
1072 ~ 1073	子局35       "
1074 ~ 1075	子局36       "
1076 ~ 1077	子局37       "

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
1100 ~ 1101	子局40 <sup>(8)</sup> のリレーリンクエリアの送信バイト数 ( 1002 ~ 1003と同様 )
1102 ~ 1103	子局41       "
1104 ~ 1105	子局42       "
1106 ~ 1107	子局43       "
1110 ~ 1111	子局44       "
1112 ~ 1113	子局45       "
1114 ~ 1115	子局46       "
1116 ~ 1117	子局47       "
1120 ~ 1121	子局50       "
1122 ~ 1123	子局51       "
1124 ~ 1125	子局52       "
1126 ~ 1127	子局53       "
1130 ~ 1131	子局54       "
1132 ~ 1133	子局55       "
1134 ~ 1135	子局56       "
1136 ~ 1137	子局57       "
1140 ~ 1141	子局60       "
1142 ~ 1143	子局61       "
1144 ~ 1145	子局62       "
1146 ~ 1147	子局63       "
1150 ~ 1151	子局64       "
1152 ~ 1153	子局65       "
1154 ~ 1155	子局66       "
1156 ~ 1157	子局67       "
1160 ~ 1161	子局70       "
1162 ~ 1163	子局71       "
1164 ~ 1165	子局72       "
1166 ~ 1167	子局73       "
1170 ~ 1171	子局74       "
1172 ~ 1173	子局75       "
1174 ~ 1175	子局76       "
1176 ~ 1177	子局77       "

・アドレス1000 ~ 1177<sup>(8)</sup>の初期値は、すべて00<sup>(H)</sup>です。

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容	設定方法 ( 値、例 )	
1200	親局のレジスタリンクエリアの送信バイト数	( 10進数、ワード )	64バイトの場合 00064 <sup>(D)</sup>
1201			
1202	子局01 <sup>(8)</sup> のレジスタリンクエリアの送信バイト数	( 10進数、ワード )	
1203			

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
1204 ~ 1205	子局02 <sup>(8)</sup> のレジスタリンクエリアの送信バイト数 ( 1202 ~ 1203と同様 )
1206 ~ 1207	子局03        "
1210 ~ 1211	子局04        "
1212 ~ 1213	子局05        "
1214 ~ 1215	子局06        "
1216 ~ 1217	子局07        "
1220 ~ 1221	子局10        "
1222 ~ 1223	子局11        "
1224 ~ 1225	子局12        "
1226 ~ 1227	子局13        "
1230 ~ 1231	子局14        "
1232 ~ 1233	子局15        "
1234 ~ 1235	子局16        "
1236 ~ 1237	子局17        "
1240 ~ 1241	子局20        "
1242 ~ 1243	子局21        "
1244 ~ 1245	子局22        "
1246 ~ 1247	子局23        "
1250 ~ 1251	子局24        "
1252 ~ 1253	子局25        "
1254 ~ 1255	子局26        "
1256 ~ 1257	子局27        "
1260 ~ 1261	子局30        "
1262 ~ 1263	子局31        "
1264 ~ 1265	子局32        "
1266 ~ 1267	子局33        "
1270 ~ 1271	子局34        "
1272 ~ 1273	子局35        "
1274 ~ 1275	子局36        "
1276 ~ 1277	子局37        "

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
1300 ~ 1301	子局40 <sup>(8)</sup> のレジスタリンクエリアの送信バイト数 ( 1202 ~ 1203と同様 )
1302 ~ 1303	子局41        "
1304 ~ 1305	子局42        "
1306 ~ 1307	子局43        "
1310 ~ 1311	子局44        "
1312 ~ 1313	子局45        "
1314 ~ 1315	子局46        "
1316 ~ 1317	子局47        "
1320 ~ 1321	子局50        "
1322 ~ 1323	子局51        "
1324 ~ 1325	子局52        "
1326 ~ 1327	子局53        "
1330 ~ 1331	子局54        "
1332 ~ 1333	子局55        "
1334 ~ 1335	子局56        "
1336 ~ 1337	子局57        "
1340 ~ 1341	子局60        "
1342 ~ 1343	子局61        "
1344 ~ 1345	子局62        "
1346 ~ 1347	子局63        "
1350 ~ 1351	子局64        "
1352 ~ 1353	子局65        "
1354 ~ 1355	子局66        "
1356 ~ 1357	子局67        "
1360 ~ 1361	子局70        "
1362 ~ 1363	子局71        "
1364 ~ 1365	子局72        "
1366 ~ 1367	子局73        "
1370 ~ 1371	子局74        "
1372 ~ 1373	子局75        "
1374 ~ 1375	子局76        "
1376 ~ 1377	子局77        "

・アドレス1200 ~ 1377<sup>(8)</sup>の初期値は、すべて00<sup>(H)</sup>です。

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容	設定方法 ( 値、例 )	
3501	子局01 <sup>(8)</sup> のSEND・RECEIVE命令のタイムアウト時間 ( 0.1 ~ 25.5秒 )	( 10進数、バイト )	10秒の場合 100 <sup>(D)</sup>

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
3502	子局02 <sup>(8)</sup> のSEND・RECEIVE命令のタイムアウト時間 ( 3501と同様 )
3503	子局03            "            "
3504	子局04            "            "
3505	子局05            "            "
3506	子局06            "            "
3507	子局07            "            "
3510	子局10            "            "
3511	子局11            "            "
3512	子局12            "            "
3513	子局13            "            "
3514	子局14            "            "
3515	子局15            "            "
3516	子局16            "            "
3517	子局17            "            "
3520	子局20            "            "
3521	子局21            "            "
3522	子局22            "            "
3523	子局23            "            "
3524	子局24            "            "
3525	子局25            "            "
3526	子局26            "            "
3527	子局27            "            "
3530	子局30            "            "
3531	子局31            "            "
3532	子局32            "            "
3533	子局33            "            "
3534	子局34            "            "
3535	子局35            "            "
3536	子局36            "            "
3537	子局37            "            "

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
3540	子局40 <sup>(8)</sup> のSEND・RECEIVE命令のタイムアウト時間 ( 3501と同様 )
3541	子局41            "            "
3542	子局42            "            "
3543	子局43            "            "
3544	子局44            "            "
3545	子局45            "            "
3546	子局46            "            "
3547	子局47            "            "
3550	子局50            "            "
3551	子局51            "            "
3552	子局52            "            "
3553	子局53            "            "
3554	子局54            "            "
3555	子局55            "            "
3556	子局56            "            "
3557	子局57            "            "
3560	子局60            "            "
3561	子局61            "            "
3562	子局62            "            "
3563	子局63            "            "
3564	子局64            "            "
3565	子局65            "            "
3566	子局66            "            "
3567	子局67            "            "
3570	子局70            "            "
3571	子局71            "            "
3572	子局72            "            "
3573	子局73            "            "
3574	子局74            "            "
3575	子局75            "            "
3576	子局76            "            "
3577	子局77            "            "

・アドレス3501 ~ 3577<sup>(8)</sup>の初期値は、すべて00<sup>(H)</sup>です。

( 6 / 7 )

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容	設定方法 ( 値、例 )	
3601	子局01 <sup>(8)</sup> のPLC機種	91 <sup>(H)</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JW-22CM</li> <li>・ PLCがJWモデルで、JW-20CM またはJWマーク付きZW-20CM</li> </ul>

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
3602	子局02 <sup>(8)</sup> のPLC機種 ( 3601と同様 )
3603	子局03        "
3604	子局04        "
3605	子局05        "
3606	子局06        "
3607	子局07        "
3610	子局10        "
3611	子局11        "
3612	子局12        "
3613	子局13        "
3614	子局14        "
3615	子局15        "
3616	子局16        "
3617	子局17        "
3620	子局20        "
3621	子局21        "
3622	子局22        "
3623	子局23        "
3624	子局24        "
3625	子局25        "
3626	子局26        "
3627	子局27        "
3630	子局30        "
3631	子局31        "
3632	子局32        "
3633	子局33        "
3634	子局34        "
3635	子局35        "
3636	子局36        "
3637	子局37        "

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容 / 方法
3640	子局40 <sup>(8)</sup> のPLC機種 ( 3601と同様 )
3641	子局41        "
3642	子局42        "
3643	子局43        "
3644	子局44        "
3645	子局45        "
3646	子局46        "
3647	子局47        "
3650	子局50        "
3651	子局51        "
3652	子局52        "
3653	子局53        "
3654	子局54        "
3655	子局55        "
3656	子局56        "
3657	子局57        "
3660	子局60        "
3661	子局61        "
3662	子局62        "
3663	子局63        "
3664	子局64        "
3665	子局65        "
3666	子局66        "
3667	子局67        "
3670	子局70        "
3671	子局71        "
3672	子局72        "
3673	子局73        "
3674	子局74        "
3675	子局75        "
3676	子局76        "
3677	子局77        "

・ アドレス3601～3677<sup>(8)</sup>の初期値は、すべて00<sup>(H)</sup>です。

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容	設定方法 ( 値、例 )		
3700 ┆ 3703	SEND・RECEIVE機能におけるチャンネル毎の方式	3700	CH0	00 (H) 命令方式
				80 (H) データメモリ起動方式
		3701	CH1	00 (H) 命令方式
				81 (H) データメモリ起動方式
		3702	CH2	00 (H) 命令方式
				82 (H) データメモリ起動方式
		3703	CH3	00 (H) 命令方式
				83 (H) データメモリ起動方式
3710 ┆ 3713	SEND・RECEIVE機能におけるデータメモリ起動方式を使用時、通信情報格納領域の先頭アドレス	3710	( 8進数、ワード )	コ1100の場合 001100 <sup>(8)</sup> ( ファイルアドレスで設定 )
		3711		
		3712	( 16進数、バイト )	ファイル番号 0 の場合 00(H)
		3713	80(H)で本設定が有効	
3750 ┆ 3757	子局の接続状況 ・接続している局番( 01 ~ 77 <sup>(8)</sup> )に該当する右記ビットを「ON」する ・親局00 <sup>(8)</sup> ( アドレス000750のビット目 ) 「ON」時：エラーコード出力する 「OFF」時：エラーコード出力しない	ビット目	7 6 5 4 3 2 1 0	・子局00 ~ 04(8)を接続し、エラーコード出力する場合 ( アドレス )( ビットパターン ) 3750 - 00011111 3751 - 00000000 ┆ 3757 - 00000000
		3750	07 06 05 04 03 02 01 00	
		3751	17 16 15 14 13 12 11 10	
		3752	27 26 25 24 23 22 21 20	
		3753	37 36 35 34 33 32 31 30	
		3754	47 46 45 44 43 42 41 40	
		3755	57 56 55 54 53 52 51 50	
		3756	67 66 65 64 63 62 61 60	
3757	77 76 75 74 73 72 71 70			
3763	局番情報出力の有無	00(H)		出力しない
		01(H)		出力する
3764 ┆ 3767	親局上でのフラグ領域の先頭アドレス	3764	( 8進数、ワード )	コ0200の場合 000200 <sup>(8)</sup> ( ファイルアドレスで設定 )
		3766	( 16進数、バイト )	ファイル番号 2 の場合 02(H)
		3767	●	00(H)：フラグ出力しない ┆ 80(H)：フラグ出力する
3777	スタートスイッチ	00(H)		パラメータを設定( 書込 )時
		01(H)		00(H) 01(H)へ変更時に、パラメータの設定内容がコントロールユニットからJW-22CMへ転送

・上記アドレスの初期値は、すべて00(H)です。

(2) 子局01~77<sup>(8)</sup>( JW300に実装時)

(1/1)

アドレス <sup>(8)</sup>	設定内容	設定方法 ( 値、例 )		
3500	親局のSEND・RECEIVE命令のタイムアウト時間 ( 0.1 ~ 25.5秒 )	( 10進数、バイト )	10秒の場合 100 <sup>(D)</sup>	
3501 } 3577	子局01 ~ 77 <sup>(8)</sup> のSEND・RECEIVE命令のタイムアウト時間 ( データリンク親局と同様、 16・20ページ参照 )			
3600	親局のPLC機種	91 <sup>(H)</sup>	・ JW-22CM ・ PLCがJWモデルで、JW-20CM またはJWマーク付きZW-20CM	
3601 } 3677	子局01 ~ 77 <sup>(8)</sup> のPLC機種 ( データリンク親局と同様、 16・21ページ参照 )	( 7600と同様 )		
3700 } 3703	SEND・RECEIVE機能におけるチャンネル毎の方式	3700	CH0	00 <sup>(H)</sup> 命令方式 80 <sup>(H)</sup> データメモリ起動方式
			3701	CH1
		3702		CH2
			3703	CH3
		3710 } 3713		SEND・RECEIVE機能におけるデータメモリ起動方式を使用時、通信情報格納領域の先頭アドレス
3712 } 3713	( 16進数、バイト )		-ファイル番号 0 の場合 00 <sup>(H)</sup> 80 <sup>(H)</sup> で本設定が有効	
3720 3721	省メモリ機能におけるリレーリンクの受信バイト数	( 10進数、バイト )	設定値を 0 にすると、送信バイト数( 親局で設定 )と同じになる	
3722 3723	省メモリ機能におけるレジスタリンクの受信バイト数	( 10進数、バイト )	設定値を 0 にすると、送信バイト数( 親局で設定 )と同じになる	
3763	局番情報出力の有無	00 <sup>(H)</sup>	出力しない	
		01 <sup>(H)</sup>	出力する	
3764 } 3767	各子局上でのフラグ領域の先頭アドレス	3764 } 3765	( 8進数、ワード )	コ0600の場合 000600 <sup>(8)</sup> ( ファイルアドレスで設定 )
3777	スタートスイッチ	00 <sup>(H)</sup>	パラメータを設定( 書込 )時	
		01 <sup>(H)</sup>	00 <sup>(H)</sup> 01 <sup>(H)</sup> へ変更時に、パラメータの設定内容がコントロールユニットからJW-22CMへ転送	

・上記アドレスの初期値は、すべて00<sup>(H)</sup>です。

## 16 - 4 JW300 の「ファイルアドレス」と「fileN、アドレス n」

JW300 の場合、パラメータ( JW-22CM )の「レジスタリンクエリアとフラグ領域の先頭アドレス」には、間接アドレス指定の「fileN、アドレス n」を設定してください。

JW300 のレジスタリンクエリアとフラグ領域の設定範囲は 11・13,14,29ページ、ファイルアドレスと「fileN、アドレス n」の関係は 16・26 - 29ページを参照願います。

### 〔 1 〕 JW300 のファイルアドレス

JW300 のデータメモリ( ファイルアドレス順 )を示します。 11・13, 14, 29ページに関連

ファイルアドレス <sup>(8)</sup>	JW-311CU/312CU	JW-321CU/322CU	JW-331CU/332CU JW-341CU/342CU JW-352CU、JW-362CU	バイトアドレス
00000000		リレー ( 7168点 )		100000
00001577				101577
00001600		TMR・CNT 00000 ~ 00777の接点 ( 512点 )		
00001777				b00000
00002000		TMR・CNT・MD 00000 ~ 00777の現在値 ( 1024バイト )		b01777
00003777				009000
00004000		レジスタ009000 ~ 099777 ( 5120バイト )		099777
00015777				E0000
00016000		レジスタE0000 ~ E7777 ( 4096バイト )		E7777
00025777				b02000
00026000		TMR・CNT 01000 ~ 01777の現在値 ( 1024バイト )		b03777
00027777				102000
00030000		リレー ( 23552点 )		107577
00035577				
00035600		TMR・CNT 01000 ~ 01777の接点 ( 512点 )		
00035777				109000
00036000		レジスタ109000 ~ 199777 ( 5120バイト )		199777
00047777				209000
00050000		レジスタ209000 ~ 299777 ( 5120バイト )		299777
00061777				309000
00062000		レジスタ309000 ~ 389777 ( 4608バイト )		389777
00072777				Z000
00073000		レジスタZ000 ~ Z377 ( 512バイト )		Z377
00073777				
		00074000 110000 リレー ( 22528点 )	00074000 110000	
		00101377 115377		
		00101400 TMR・CNT02000 ~ 03777 の接点 ( 1024点 )	00140377 115377	
		00101777	00140400	
		00102000 b04000 TMR・CNT・MD 02000 ~ 03777 の現在値 ( 2048バイト )	TMR・CNT02000 ~ 17777 の接点 ( 7168点 )	
		00105777 b07777	00143777	
			00144000 b04000	
			TMR・CNT・MD 02000 ~ 17777 の現在値 ( 14336バイト )	
			00177777 b37777	
		ファイルレジスタ 次ページ	ファイルレジスタ 次ページ	



ファイルレジスタのファイルアドレス(バイトアドレス)

- JW-311CU/312CUのとき  
ファイルレジスタはありません。
- JW-321CU/322CUのとき

領 域	ファイルアドレス(8)	バイトアドレス(8)	容量(バイト)
ファイルレジスタ	00200000 ~ 00277777	00000000 ~ 00077777	32K

- JW-331CU/332CUのとき

領 域	ファイルアドレス(8)	バイトアドレス(8)	容量(バイト)
ファイルレジスタ	00200000 ~ 00577777	00000000 ~ 00377777	128K

- JW-341CU/342CUのとき

領 域	ファイルアドレス(8)	バイトアドレス(8)	容量(バイト)
ファイルレジスタ	00200000 ~ 02177777	00000000 ~ 01777777	512K

- JW-352CUのとき

領 域	ファイルアドレス(8)	バイトアドレス(8)	容量(バイト)
ファイルレジスタ	00200000 ~ 10177777	00000000 ~ 07777777	2048K

- JW-362CUのとき

領 域	ファイルアドレス(8)	バイトアドレス(8)	容量(バイト)
ファイルレジスタ	00200000 ~ 40177777	00000000 ~ 37777777	8192K

〔 2 〕 JW300 の「fileN、アドレス n」

JW300 の間接アドレス指定で設定する「fileN、アドレス n」は、ファイルアドレス(16・24、25ページ)と以下の関係になります。

【例】ファイルアドレス 03100000<sub>(8)</sub>は、file = 0C<sub>(H)</sub>の n = 100000<sub>(8)</sub>となります。

ファイルアドレス <sub>(8)</sub>	fileN		n <sub>(8)</sub>	容量 (バイト)		
	10進	16進				
00000000 ~ 00073777	0	00	000000 ~ 073777	30K	64K	↑
00074000 ~ 00105777			074000 ~ 105777	5K		
00106000 ~ 00177777			106000 ~ 177777	29K		
00200000 ~ 00277777	1	01	000000 ~ 077777	32K	64K	↑
00300000 ~ 00377777			100000 ~ 177777	32K		
00400000 ~ 00577777	2	02	000000 ~ 177777	64K		↑
00600000 ~ 00777777	3	03	000000 ~ 177777	64K		
01000000 ~ 01177777	4	04	000000 ~ 177777	64K		
01200000 ~ 01377777	5	05	000000 ~ 177777	64K		
01400000 ~ 01577777	6	06	000000 ~ 177777	64K		
01600000 ~ 01777777	7	07	000000 ~ 177777	64K		
02000000 ~ 02177777	8	08	000000 ~ 177777	64K		
02200000 ~ 02377777	9	09	000000 ~ 177777	64K		
02400000 ~ 02577777	10	0A	000000 ~ 177777	64K		
02600000 ~ 02777777	11	0B	000000 ~ 177777	64K		
03000000 ~ 03177777	12	0C	000000 ~ 177777	64K		
03200000 ~ 03377777	13	0D	000000 ~ 177777	64K		
03400000 ~ 03577777	14	0E	000000 ~ 177777	64K		
03600000 ~ 03777777	15	0F	000000 ~ 177777	64K		
04000000 ~ 04177777	16	10	000000 ~ 177777	64K		
04200000 ~ 04377777	17	11	000000 ~ 177777	64K		
04400000 ~ 04577777	18	12	000000 ~ 177777	64K		
04600000 ~ 04777777	19	13	000000 ~ 177777	64K		
05000000 ~ 05177777	20	14	000000 ~ 177777	64K		
05200000 ~ 05377777	21	15	000000 ~ 177777	64K		
05400000 ~ 05577777	22	16	000000 ~ 177777	64K		
05600000 ~ 05777777	23	17	000000 ~ 177777	64K		
06000000 ~ 06177777	24	18	000000 ~ 177777	64K		
06200000 ~ 06377777	25	19	000000 ~ 177777	64K		
06400000 ~ 06577777	26	1A	000000 ~ 177777	64K		
06600000 ~ 06777777	27	1B	000000 ~ 177777	64K		
07000000 ~ 07177777	28	1C	000000 ~ 177777	64K		
07200000 ~ 07377777	29	1D	000000 ~ 177777	64K		
07400000 ~ 07577777	30	1E	000000 ~ 177777	64K		
07600000 ~ 07777777	31	1F	000000 ~ 177777	64K		
10000000 ~ 10177777	32	20	000000 ~ 177777	64K		

↑ ファイルレジスタ

JW-31\*CU    JW-32\*CU    JW-33\*CU    JW-34\*CU    JW-352CU    JW-362CU

↑ 次ページへ

ファイルアドレス <sup>8)</sup>	fileN		n <sup>8)</sup>	容量 (バイト)
	10進	16進		
10200000 ~ 10377777	33	21	000000 ~ 177777	64K
10400000 ~ 10577777	34	22	000000 ~ 177777	64K
10600000 ~ 10777777	35	23	000000 ~ 177777	64K
11000000 ~ 11177777	36	24	000000 ~ 177777	64K
11200000 ~ 11377777	37	25	000000 ~ 177777	64K
11400000 ~ 11577777	38	26	000000 ~ 177777	64K
11600000 ~ 11777777	39	27	000000 ~ 177777	64K
12000000 ~ 12177777	40	28	000000 ~ 177777	64K
12200000 ~ 12377777	41	29	000000 ~ 177777	64K
12400000 ~ 12577777	42	2A	000000 ~ 177777	64K
12600000 ~ 12777777	43	2B	000000 ~ 177777	64K
13000000 ~ 13177777	44	2C	000000 ~ 177777	64K
13200000 ~ 13377777	45	2D	000000 ~ 177777	64K
13400000 ~ 13577777	46	2E	000000 ~ 177777	64K
13600000 ~ 13777777	47	2F	000000 ~ 177777	64K
14000000 ~ 14177777	48	30	000000 ~ 177777	64K
14200000 ~ 14377777	49	31	000000 ~ 177777	64K
14400000 ~ 14577777	50	32	000000 ~ 177777	64K
14600000 ~ 14777777	51	33	000000 ~ 177777	64K
15000000 ~ 15177777	52	34	000000 ~ 177777	64K
15200000 ~ 15377777	53	35	000000 ~ 177777	64K
15400000 ~ 15577777	54	36	000000 ~ 177777	64K
15600000 ~ 15777777	55	37	000000 ~ 177777	64K
16000000 ~ 16177777	56	38	000000 ~ 177777	64K
16200000 ~ 16377777	57	39	000000 ~ 177777	64K
16400000 ~ 16577777	58	3A	000000 ~ 177777	64K
16600000 ~ 16777777	59	3B	000000 ~ 177777	64K
17000000 ~ 17177777	60	3C	000000 ~ 177777	64K
17200000 ~ 17377777	61	3D	000000 ~ 177777	64K
17400000 ~ 17577777	62	3E	000000 ~ 177777	64K
17600000 ~ 17777777	63	3F	000000 ~ 177777	64K
20000000 ~ 20177777	64	40	000000 ~ 177777	64K
20200000 ~ 20377777	65	41	000000 ~ 177777	64K
20400000 ~ 20577777	66	42	000000 ~ 177777	64K
20600000 ~ 20777777	67	43	000000 ~ 177777	64K
21000000 ~ 21177777	68	44	000000 ~ 177777	64K
21200000 ~ 21377777	69	45	000000 ~ 177777	64K
21400000 ~ 21577777	70	46	000000 ~ 177777	64K
21500000 ~ 21777777	71	47	000000 ~ 177777	64K
22000000 ~ 22177777	72	48	000000 ~ 177777	64K
22200000 ~ 22377777	73	49	000000 ~ 177777	64K
22400000 ~ 22577777	74	4A	000000 ~ 177777	64K

前ページより

次ページへ

ファイルアドレス <sup>8)</sup>	fileN		n <sup>8)</sup>	容量 (バイト)
	10進	16進		
22600000 ~ 22777777	75	4B	000000 ~ 177777	64K
23000000 ~ 23177777	76	4C	000000 ~ 177777	64K
23200000 ~ 23377777	77	4D	000000 ~ 177777	64K
23400000 ~ 23577777	78	4E	000000 ~ 177777	64K
23600000 ~ 23777777	79	4F	000000 ~ 177777	64K
24000000 ~ 24177777	80	50	000000 ~ 177777	64K
24200000 ~ 24377777	81	51	000000 ~ 177777	64K
24400000 ~ 24577777	82	52	000000 ~ 177777	64K
24600000 ~ 24777777	83	53	000000 ~ 177777	64K
25000000 ~ 25177777	84	54	000000 ~ 177777	64K
25200000 ~ 25377777	85	55	000000 ~ 177777	64K
25400000 ~ 25577777	86	56	000000 ~ 177777	64K
25600000 ~ 25777777	87	57	000000 ~ 177777	64K
26000000 ~ 26177777	88	58	000000 ~ 177777	64K
26200000 ~ 26377777	89	59	000000 ~ 177777	64K
26400000 ~ 26577777	90	5A	000000 ~ 177777	64K
26600000 ~ 26777777	91	5B	000000 ~ 177777	64K
27000000 ~ 27177777	92	5C	000000 ~ 177777	64K
27200000 ~ 27377777	93	5D	000000 ~ 177777	64K
27400000 ~ 27577777	94	5E	000000 ~ 177777	64K
27600000 ~ 27777777	95	5F	000000 ~ 177777	64K
30000000 ~ 30177777	96	60	000000 ~ 177777	64K
30200000 ~ 30377777	97	61	000000 ~ 177777	64K
30400000 ~ 30577777	98	62	000000 ~ 177777	64K
30600000 ~ 30777777	99	63	000000 ~ 177777	64K
31000000 ~ 31177777	100	64	000000 ~ 177777	64K
31200000 ~ 31377777	101	65	000000 ~ 177777	64K
31400000 ~ 31577777	102	66	000000 ~ 177777	64K
31600000 ~ 31777777	103	67	000000 ~ 177777	64K
32000000 ~ 32177777	104	68	000000 ~ 177777	64K
32200000 ~ 32377777	105	69	000000 ~ 177777	64K
32400000 ~ 32577777	106	6A	000000 ~ 177777	64K
32600000 ~ 32777777	107	6B	000000 ~ 177777	64K
33000000 ~ 33177777	108	6C	000000 ~ 177777	64K
33200000 ~ 33377777	109	6D	000000 ~ 177777	64K
33400000 ~ 33577777	110	6E	000000 ~ 177777	64K
33600000 ~ 33777777	111	6F	000000 ~ 177777	64K
34000000 ~ 34177777	112	70	000000 ~ 177777	64K
34200000 ~ 34377777	113	71	000000 ~ 177777	64K
34400000 ~ 34577777	114	72	000000 ~ 177777	64K
34600000 ~ 34777777	115	73	000000 ~ 177777	64K
35000000 ~ 35177777	116	74	000000 ~ 177777	64K

前ページより

次ページへ

ファイルアドレス <sup>8)</sup>	fileN		n <sup>8)</sup>	容量 (バイト)
	10進	16進		
35200000 ~ 35377777	117	75	000000 ~ 177777	64K
35400000 ~ 35577777	118	76	000000 ~ 177777	64K
35600000 ~ 35777777	119	77	000000 ~ 177777	64K
36000000 ~ 36177777	120	78	000000 ~ 177777	64K
36200000 ~ 36377777	121	79	000000 ~ 177777	64K
36400000 ~ 36577777	122	7A	000000 ~ 177777	64K
36600000 ~ 36777777	123	7B	000000 ~ 177777	64K
37000000 ~ 37177777	124	7C	000000 ~ 177777	64K
37200000 ~ 37377777	125	7D	000000 ~ 177777	64K
37400000 ~ 37577777	126	7E	000000 ~ 177777	64K
37600000 ~ 37777777	127	7F	000000 ~ 177777	64K
40000000 ~ 40177777	128	80	000000 ~ 177777	64K

前ページより



- [あ]  
異常と対策 12・1  
一般仕様 15・1  
エラーコードの格納 12・6  
親局および子局のスイッチ設定 11・2  
親局のパラメータ設定 11・5  
親局PLCと子局PLC間のデータ伝送 8・5
- [か]  
階層リンク 8・7  
各局PLCでの運転状態モニタ 12・5  
各部のなまえとはたらき 4・1  
局番スイッチ(STA NO.) 11・3  
ケーブル加工方法 6・1  
ケーブルの盤外配線方法 7・5  
ケーブルの盤内配線方法 7・2  
子局のパラメータ設定(全子局共通) 11・27.,  
コネクタ圧着手順 6・5  
コネクタ部の防水・絶縁処理 7・4  
コンピュータリンク仕様 15・3
- [さ]  
サポートツール 14・1  
使用上のご注意 2・1  
スイッチおよびパラメータ設定 11・1  
終端抵抗スイッチ(LT) 11・3  
仕様 15・1  
使用に関すること 2・2  
省メモリ機能 15・2  
システム構成 3・1  
シールド接地スイッチ(LG) 11・4  
清掃に関すること 2・2  
静電気に関すること 2・2  
設置・取付に関すること 2・1  
操作手順 11・1  
増設局の局番 7・6
- [た]  
通信異常時の復旧方法 16・2  
通信異常時のチェックフロー 16・2  
通信仕様 15・1  
通信局増設時の配線方法 7・6  
通信遅延時間 8・4  
通信方法 8・1  
伝送所要時間と通信遅延時間 8・3  
データリンク仕様 15・2  
データリンク(省メモリ機能) 8・2  
データリンク(標準機能) 8・1  
データリンク動作説明 8・1  
特長・機能 1・1  
取付方法 5・1
- [な]  
ネットワーク拡張 8・6
- [は]  
配線後のチェック 7・5  
配線に関すること 2・1  
はじめて通信するとき  
(システム立ち上げ時) 16・5  
パラメータ設定 11・5、11・27、14・1  
パラメータメモリー一覧表 16・8  
標準機能 15・2  
表示ランプ 12・1  
付録 16・1  
分岐方法 7・6  
フラグ 12・2  
フラグ一覧表 12・2  
保守と点検 16・1
- [ま]  
モードスイッチ(MODE) 11・2
- [や]  
ユニットNo.スイッチ(UNIT NO.) 11・2
- [ら]  
リモートによるパラメータ設定 14・7  
リモートプログラミング・リモートモニタ 14・4
- [A、B、C・・・]  
JW-22CMの交換方法 13・1

## 改訂履歴

版、作成年月は表紙の右上に記載しております。

版	作成年月	改訂内容
初版	1992年9月	—————
改訂2.0版	1995年12月	・ JW30H( JW-31CUH/32CUH/33CUH )対応に伴う改訂 ( [30H]マーク付きのJW-22CM )
改訂2.1版	1997年10月	・ JW30H( JW-31CUH1/32CUH1/33CUH1・2・3 )対応に伴う改訂 ( [30Hn]マーク付きのJW-22CM )
改訂3.0版	2004年7月	・ JW300シリーズ対応に伴う改訂 ( [300]マーク付きのJW-22CM )

## 商品に関するお問い合わせ先 / ユーザーズマニュアルの依頼先

### シャープマニファクチャリングシステム(株)

仙台営業所	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3丁目1番27号	☎(022)288-9275
東日本営業部	〒162-8408	東京都新宿区市谷八幡町8番地	☎(03)3267-0466
中部営業部	〒454-0011	名古屋市中川区山王3丁目5番5号	☎(052)332-2691
豊田営業所	〒471-0833	豊田市山之手8丁目124番地	☎(0565)29-0131
西日本営業部	〒581-8581	大阪府八尾市跡部本町4丁目1番33号	☎(0729)91-0682
広島営業所	〒731-0113	広島市安佐南区西原2丁目13番4号	☎(082)875-8611
福岡営業所	〒816-0081	福岡市博多区井相田2丁目12番1号	☎(092)582-6861

## 修理・消耗品についてのお問い合わせ先

### シャープドキュメントシステム(株)

札幌技術センター	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7丁目3番17号	☎(011)641-0751
仙台技術センター	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3丁目1番27号	☎(022)288-9161
宇都宮技術センター	〒320-0833	宇都宮市不動前4丁目2番41号	☎(028)634-0256
前橋技術センター	〒371-0855	前橋市問屋町1丁目3番7号	☎(027)252-7311
東京フィールド サポートセンター	〒114-0012	東京都北区田端新町2丁目2番12号	☎(03)3810-9963
横浜技術センター	〒235-0036	横浜市磯子区中原1丁目2番23号	☎(045)753-9540
静岡技術センター	〒424-0067	静岡県静岡市清水鳥坂1170	☎(0543)44-5621
名古屋技術センター	〒454-0011	名古屋市中川区山王3丁目5番5号	☎(052)332-2671
金沢技術センター	〒921-8801	石川県石川郡野々市町字御経塚町1096の1	☎(076)249-9033
大阪フィールド サポートセンター	〒547-8510	大阪市平野区加美南3丁目7番19号	☎(06)6794-9721
岡山技術センター	〒701-0301	岡山県都窪郡早島町大字矢尾828	☎(086)292-5830
広島技術センター	〒731-0113	広島市安佐南区西原2丁目13番4号	☎(082)874-6100
高松技術センター	〒760-0065	高松市朝日町6丁目2番8号	☎(087)823-4980
松山技術センター	〒791-8036	松山市高岡町178の1	☎(089)973-0121
福岡技術センター	〒816-0081	福岡市博多区井相田2丁目12番1号	☎(092)572-2617

・上記の所在地、電話番号などは変わることがあります。その節はご容赦願います。

## シャープマニファクチャリングシステム株式会社

本社 〒581-8581 大阪府八尾市跡部本町4丁目1番33号

インターネットホームページによるシャープ制御機器の情報サービス  
<http://www.sharp.co.jp/sms/>

お客様へ.....お買いあげ日、販売店名を記入されますと、修理などの依頼のときに便利です。

お買いあげ日	年	月	日
販売店名			
	電話( )	局	番

TINSJ5243NCZZ  
 04G 0.1 A  
 2004年7月作成